「新世紀エヴァンゲリオン」
JUNE読本
SUN-MAGAZINE MOOK

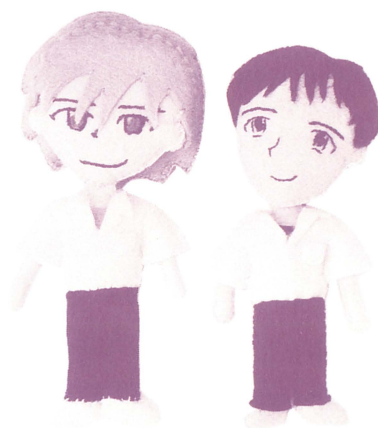
残酷な天使のように

庵野秀明
監督インタビュー
PART1&2
新名かおる
佐伯かよの
野火ノビタ
明智抄
force
仲村明子

JUNE
編集部・編

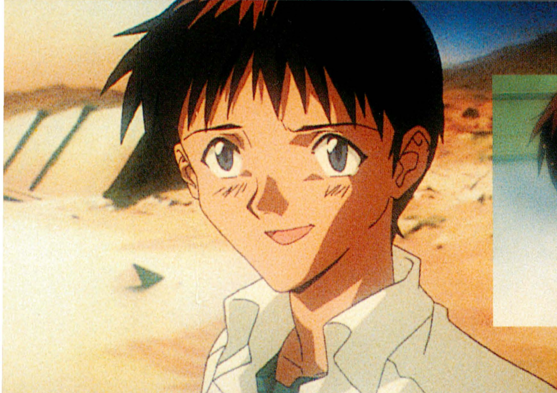
[新世紀エヴァンゲリオン
JUNE読本]
SUN-MAGAZINE MOOK

残酷な



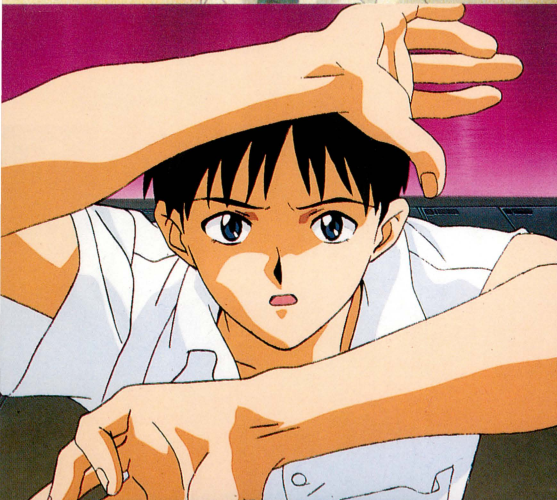
天使のように

JUNE
編集部・編











でも僕は僕が嫌いなんだ。

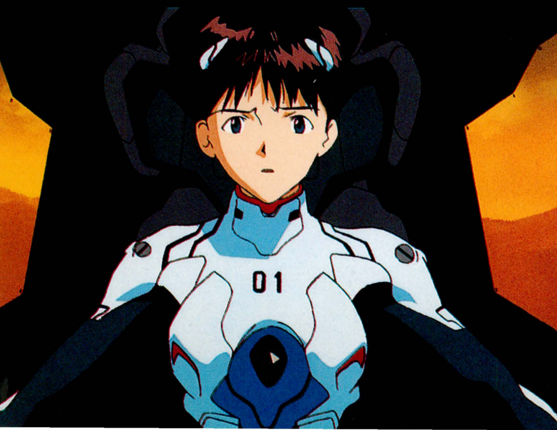
――でも、好きになれるかも知れない。

碇(いかり)シンジ

キャラクターファイル

…by…

野火ノビタ



14才。サード・チルドレン、エヴァンゲリオン初号機専属操縦者。幼い頃、エヴァ・プロトタイプの起動実験中の事故によって母・碇ユイと死別、同時に父・ゲンドウによって「先生」の元に預けられる。そのとき自らを「要らない子供」として認識した彼は、他人との触れ合いが苦手なナイーブな少年に育つ。そして14才、ネルフ本部で父と再会。しかし父はネルフ司令として、エヴァに乗って使徒と戦うことを彼に強いる。彼は反発するがしかし、エヴァに乗ることで初めて他人から必要とされ、少なからず昂揚する。だがそれは、エヴァなしには自分を保てないこと、エヴァへの依存に過ぎなかった。彼のまだ見ぬ自分自身を探す旅路はなお終わらない。

キャラクターファイル by 野火ノビタ



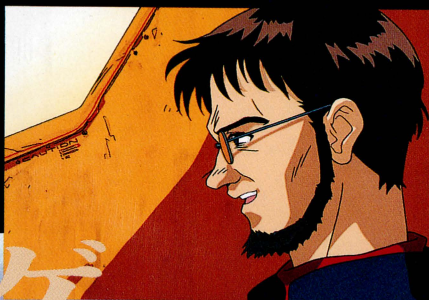


綾波レイ



これが涙？泣いているのは私？

14才。ファースト・チルドレン、零号機専属操縦者。過去の経歴は全て抹消済み。笑わない、泣かない、謎めいた少女。その正体は、おそらく碇ユイの肉体を礎に、使徒から造られたクローンである。ネルフのセントラルドグマには、彼女のパーツでありダミーである無数のクローン体が眠っている。それゆえに確かな自己像を持てない彼女は、そんな自分を救ってくれたゲンドウの、壊れた眼鏡を自分自身の形見のように大切に持っている。が、他者と融合しようとする使徒の欲望が、そのまま自分の寂しい願いだと知ったとき、彼女は零号機もろとも自爆する。しかし同時に彼女の代わり・別のクローン体が目覚め、このあわれな少女の存在を引き継ぐのだった。



シンジの父であり、ネルフ司令官。シンジに対してもネルフに対しても、冷徹で厳格な支配者として振る舞う。副司令官冬月コウゾウとは奇妙な友情と信頼関係を結ぶ。赤城母娘博士の不実な情人。しかしレイに対しては、妻への、と同時に娘への、両義的情愛を注ぐ。アダム再生計画、および人類補完計画の中心人物であるが、冬月、妻・ユイと共にゼーレとは別の目的を持っていたと思われる。全ての謎を握る人物。エヴァの事故で妻を失う。

碇ゲンドウ

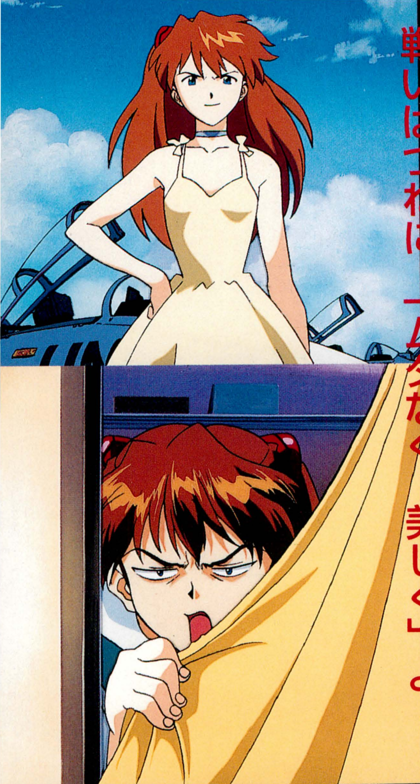
乗るなら早くしろ。でなければ帰れ！







惣流（そうりゅう）・アスカ・ラングレー



戦いはつねに、「ムダなく、美しく」よ!







セカンド・チルドレン、弐号機専属操縦者。14才にしてすでにドイツの大学を卒業している天才少女。美しく、プライドが高く勝ち気で、エヴァの操縦に関しても天才を誇る。しかしその気の強さの裏には、幼少時に父母にかえりみられなかったという心の傷が潜む。彼女の母はエヴァの起動実験中に精神崩壊を起こし、娘ではなく人形に愛を注いだ末に自殺する。彼女にとってエヴァで勝利することはつまり、母にかえりみられたい一心で良い子にすることと同じだった。その心の傷が、エヴァによる戦闘での敗退をきっかけに露呈する。最後の支えであった加持リョウジへの少女らしい想いが、彼の死によって永遠に失われたと同時に、彼女の精神は崩壊する。



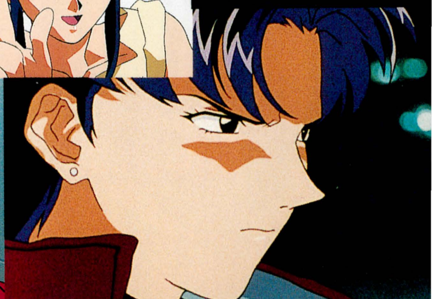
葛城（かつらぎ）ミサト

ネルフ作戦部長。対使徒戦略を指揮する。保護者として自宅でシンジ、アスカと同居。南極でセカンドインパクトに巻き込まれた葛城調査隊・葛城博士の娘であり、唯一の生還者。その時胸の傷とともに心にも傷を受け、数年間失語症となる。嫌悪していたはずの父に救われたことで、父に屈折した愛情を抱く。常に陽気で気さくな自立した女性として振る舞うが、父の形見である十字架のペンダントを胸に、今なお苦悩する。





奇跡ってのは、起こして初めて価値がでるものよ。







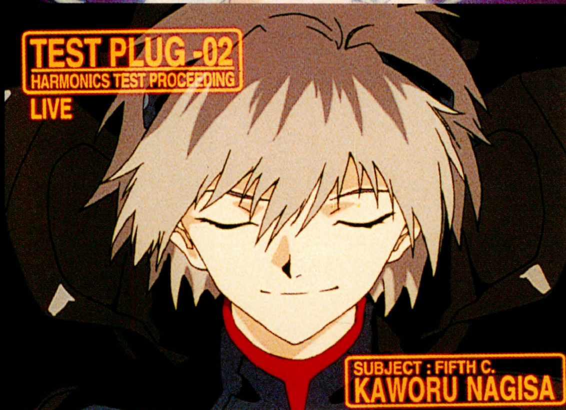






僕は君に会うために生まれてきたのかも知れない。

マルドゥック機関（＝ネルフ）による選出を待たずにゼーレから直接送り込まれたフィフス・チルドレン。14才。その生年月日はセカンド・インパクトと同日であり、レイと同じく過去の経歴は白紙である。彼は湖のほとり、全ての友人を失い孤独に立ち尽くすシンジの前に、救いのように現れた。彼はやさしく、そして堅く正確な言葉でシンジに好意を告げ、シンジの心は急速に彼に傾倒する。しかし、彼の正体はレイと同じく使徒のクローン体であり、17番目の使徒そのものだった。サードインパクトを起こすため、アダムとの接触を目指すが、シンジの乗る初号機の手に抱かれ、自らの死をシンジに託す。長い長い苦悩の末、シンジは彼をその手にかける。



渚（なぎさ）カヲル

キャラクターファイル
by
野火ノビタ



新世紀エヴァンゲリオン
JUNE読本

残酷な天使のように

JUNE編集部・編

JUNE

庵野秀明

Hideaki Anno

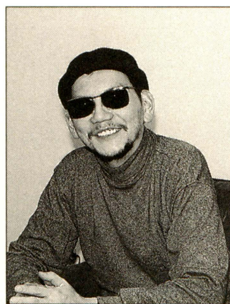
☆

ロングインタビュー　Part I

☆

欠落を埋めようとする作業が、僕は、生きるってことだと思います。

多くの謎を残したまま終了した
TV版エヴァンゲリオン。
ゲンドウは本当はシンジを愛してる?
使徒って何?など、疑問は尽きませんが、
やはりJとしてはカヲルとシンジの関係が
なぜああなったの?
というのがまず知りたいこと。



☆

一九六〇年、山口県出身。「風の谷のナウシカ」で巨神兵の溶解シーンを作画、注目を集める。84年、ガイナックス設立に参加、同社の第一回作品「王立宇宙軍オネアミスの翼」で作画監督を担当。その後、OVA「トップをねらえ!」で初めて監督・脚本を手がける。TVシリーズでの監督作は「エヴァンゲリオン」の他、「ふしぎの海のナディア」。現在は、初の長編実写映画「ラブ・ポップ」(原作/村上龍)を準備中。

広報担当の佐藤さんもまじえ、
弐拾四話を中心に3時間に及んだ
庵野監督へのインタビューから、まずは、
カヲルとシンジの㊙エピソードや、
監督の表現者としてのこだわりを
語った部分を収録します。
(小説JUNE96年8月号より再録)

◆JUNEとかって読まないんですよ◆

佐藤 たまたまとりあげていただいた号が出た次の週があれ（弐拾四話）でしたからね。何か見てみようかなと思った人のハートをわし掴みにしたんじゃないかなと（笑）

――あの回はマンガ家とか書き手の人の間でも電話やＦＡＸが飛び交って、あそこまでやってくれるかって感じですごく盛り上がってます。

監督は脚本も書かれてますけど、カヲル君のなかなか嬉しいセリフはどうやって生まれたものでしょう？

庵野 うーん、あれどうやって書いたかなあ。けっこう自然に出たな。

――自然に出たんですか（笑）何かリサーチなさったとかは。

庵野 ないです。ＪＵＮＥとかって読まないんですよ。

――じゃあ逆に自分が口説く時、あるいは口説かれる時、ああいう感じで言われると嬉しいかなとか。「君の心はガラスのように」とか言っちゃったり言われちゃったり、何か、実際あったということはないんですか？

庵野 いやあ、ないですね。

――お風呂場で手を握られてしまったとか。

庵野 そういうのは男はないんですよ。女は、この年だと多少の経験はありますから。

――女の子と風呂に入るのはいいよね、と「ニュータイプ」でおっしゃってましたけど。

佐藤 はっはっは（笑）

庵野 うん、いいと思いますよ。

――そっけないお返事（笑）あれ、部屋の中とかではなくて最初からお風呂場に？

庵野 中学生くらいの時だったら、友達と銭湯によく行ったりしてるでしょ。学校帰りとかに。あと、海へ遊びに行ったあとそのまま行くとか。田舎のほうは銭湯多いんで。男の社交場みたいな感じで。まあ、一緒に背中洗いあうとか、そういうスキンシップな部分というのはないんですけどね。とりあえずみんなで一緒に行くような、ダーってそこで遊んで帰るみたいなところです。もうちょ


▶キャラがこれほどお風呂に入るアニメも珍しいかも。ミサトの風呂好きはむろん、10話では温泉も登場


◀24話ではネルフ銭湯のほかに、失踪したアスカが廃墟のひからびたバスタブに入っている、という場面も。風呂＝子宮という監督の言葉に納得、の演出

っと健康的なイメージだったんですけど（笑）

──「温泉ペンギン」が出てますし、ミサトもお風呂が好きなんでしたっけ？ お風呂というか水の中は気持ちがいいという感じで。

庵野 そうですね。胎内回帰のイメージもあるんですけど。風呂の中というのは。そういう意味で言うとアニメで疲れて帰ってやっぱりお風呂に入ると。

庵野 いや、風呂はいいと思いますよ（笑）

──で、富士山とネルフのマークが交互に出るというのが、やっぱり楽しかったんですけど。桶に全部ネルフマークがついているのも。

庵野 ええ。それも逆さまについてますよね。とにかく疲れてたんで、遊びがほしかったんですよ。あれはなかなかいいなあと。

佐藤 風呂に入りたいっていう気持ちが集中してたのかもしれませんね（笑）

──ネルフのお風呂のスタッフってどういう人たちなんだろう。制服があるんでしょうか。動力源は？（笑）

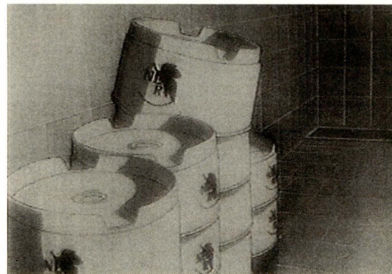
庵野 やっぱり原子力ですよ（笑）原子力の残り湯だと思いますよ。2次冷却水あたりで充分だと思いますから。

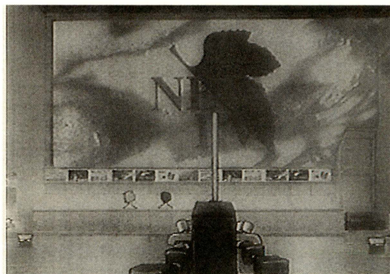
──ビデオ版であのへんがパワーアップされるというのはないですか？

庵野 シーンをちょっと足そうと思いますよ。シンジとカヲル君の話に集約しとけばいいやという感じでやったんですけど、もうちょっと余裕ができるんだったら、カヲル君とミサトだけは会わせないといかんと。レイとチラッと挨拶しただけで、あとはシンジとしか話をしてないんですよね、実は。他の人に会う必要ないんですけど、ミサトだけはちょっと会わせとかないとまずいかなあと。どういうシーンになるかちょっと思いつかないんですが。

──ああいうJUNE的というか友情を越えたような演出っていうのは、自然にああいう感じに出てきたって、さっきおっしゃってましたが。

◆とにかく疲れたんで、遊びがほしかった◆


▲そしてケロリン…じゃなかったネルフ湯桶


▲ウワサのネルフ温泉マーク

◆別にシンジ君がそこで肉欲に走るわけでは（笑）◆

庵野　たぶん知る限りの、そのへんのやつを入れたんですよ。もしくは僕自身の持ってるそういう部分っていうのがその程度のもんなのかなって。

――その程度でもかなりなもの（笑）

庵野　やっぱり、スタッフにおかしいって言われましたけどね（笑）

――頬を赤らめちゃったりするというのは。やっぱり、好意示された嬉しさですか。

庵野　そうですね。別にシンジ君がそこで肉欲に走るわけではないですから（笑）

――そういう意味では向田邦子さんも小説で書いていましたけど、日本のサラリーマンとか男同士というのは外国で言えばホモと同じだ。別に肉体関係がなくても。だって会社で一緒に仕事しているほうが家に帰るより楽しいから残業して、休日も出たりしている。で、実は監督もＧＡＩＮＡＸにいるほうが、男といるほうが楽しいということはないですか？（笑）

庵野　うーん、楽しい…そういうふうにはならないですね。まあ、楽にはなりますけど。

――女の人といるほうが疲れる？

庵野　気を使いますね。それは当然。

――サービスしなきゃいけない。

庵野　サービスとかそういうわけじゃなくて、やっぱり女性には気を使うと思いますね。気を使わなくなるまでに結構時間がかかると思いますけど。

――最初からああいう予定だったんですか。あの回にカヲル君が最後のシ者として。

庵野　オープニングにも二コマだけ出てますけど。

――オープニングを設定した時点ではあの絵しかなかったんですか。

庵野　まあ、貞本（義行）のほうのラフの絵しかまだ上がってなかったんで。ちょっと変わっちゃってますけど、本編の絵とは。

――でも役割的には同じ？

庵野　そうですね。最後の使徒は人と同じ形で少年にしようと思ってたんで。

――でも渚カヲルって名前だって、女の子でもいいわけじゃないですか。

庵野　でもあれは少年ですよ。女性っていう感覚がまるでないですもんね。シンジともう一人のシンジですから。理想のシンジが現れるんで、それは女性ではダメです。

――ああ、なるほどね。

庵野　シンジが持っているコンプレックスを全部クリアしているキャラクターですから。まあ、そのへんはちょっと描写が僕の力不足でストレートに出てないですけど。誰からも好かれるキャラクターで。初期の段階では猫を連れた美少年だったんですよ。一番最初のプロットのタイトルは「猫と転校生」。猫を連れた転校生が中学校にきて云々という話だったんですけどね。やっていくうちにもう24話では学校どころではなくなってしまったので。あれが11話から16話くらいまでのところにくるエピソードだったら、まだよかったんですけどね。

――たいてい脚本に庵野さんともうひと方クレジットされていますが、お二人の関係はどういう感じなんですか。

庵野　一緒に話してからプロットをやってもらって、脚本という形になったのを僕がもう一回、要するにアニメーション用にちょっと直すという。まあ、その時点で脚本書き送りになっちゃってたんで、その前の段階の打ち合わせの時に考えていたストーリーとかドラマとキャラクターが、その脚本が上がってくる時にはつじつまが合わなくなっているというのもあるんですよ。そういうのを合わせて直していかなきゃいけないので。僕が統一してやってますから、統一はされるんですけど。ドラマ部分のお手伝いとかですよ。

――24話はどなたが？

庵野　あれは薩川（さつかわ）（昭夫）さんという方が。薩川さんのほうが、こういう言い方はまずいですけど、ホモっ気はばっちりっス（笑）

――男の友情に厚い。

庵野　僕よりはそうかな？（笑）

◆カヲルはシンジが持っているコンプレックスを全部クリアしている◆

●薩川昭夫…脚本家。映画「屋根裏の散歩者」「押繪と旅する男」（ともに原作は江戸川乱歩）の脚本で93年にデビュー。庵野監督とは「ナディア」の編集を担当したのがきっかけで出会い、「エヴァ」では弐拾四話をはじめ全12本の脚本を執筆しています。最新作は秋に公開予定の「D坂殺人事件」（江戸川乱歩原作／実相寺昭雄監督）

●薩川昭夫脚本リスト→第3話「鳴らない、電話」第4話「雨、逃げだした後」第5話「レイ、心のむこうに」第6話「決戦、第3新東京市」第9話「瞬間、心、重ねて」第10話「マグマダイバー」第12話「奇跡の価値は」第13話「使徒、侵入」第15話「嘘と沈黙」第19話「男の戦い」第21話「ネルフ誕生」第24話「最後のシ者」「シト新生」DEATH編

◆薩川さんのほうが、ホモっ気はばっちりっス（笑）◆

――薩川さんが暴走しそうになったのを庵野監督が止めた？

庵野　いや、そんなことはないです。薩川さんの雰囲気って、脚本に残ってます。薩川さんの脚本のオリジナルのほうがもっとそういう意味ではJUNEっぽかったです。

――例えば？

庵野　僕は風呂にしちゃったんですけど。オリジナルの脚本は川で裸で二人で泳いでたんですよ（笑）

――昼間ですか？

庵野　わかんないっス。夜だったかもしれない。

――夜、月の光を浴びながら？

庵野　わかんないっス。川で二人で泳ぐという美しい絵があったんですよ。さすがにこれは僕の許容範囲を越えるっていう（笑）

――エンディングの『FLY ME TO THE MOON』の男二人バージョン（笑）

庵野　演出家も拒絶してしまって、「さすがにこれはできん」（笑）

――そういったシーンは他には？

佐藤　あれ、チェロがあるじゃないですか。一緒に…「僕がピアノを弾くんで、君がチェロを弾きたまえよ」って。夕方の教室でポロロンッって先にカヲル君が弾いてて、そうっとシンジ君が覗くと「君も何かできるの」「今度一緒にやろうよ」みたいな感じで。「ちょっと僕が歌をうたうから」って。

庵野　そうだそうだ。人のいなくなった、疎開した後の音楽室でやるっていうのがあったんです。

――カヲル君と音楽のイメージとの結び付きというのは？

庵野　言葉じゃないと思うんですよ。コミュニケーションとして、最初にきた時に。

――シンジもチェロをやって、一応音楽をやってたんですよね。それともあれは治療の一種か何か？

庵野　いや、わかんないッス。あれは脚本家の人のアイディアなんです。まあ、キャラクターがチエロって感じがするっていうそれだけですけど。

――その最初の脚本は何か形になってたりしないんですか。

庵野　なってないですね。シナリオまでです。

――ＪＵＮＥの読者がいかに喜ぶことか。やっぱりという（笑）だってせっかくおいしいキャラが出て来たと思ったら使徒だとはいえ一回でいなくなってしまうというのはあまりにも。おかげでコミケは楽しみですけど。

佐藤　この間までは「トウジ攻シンジ受」みたいなのばかりやったっていう噂なんですけれど（笑）いまは違うねんという話を聞いて。

庵野　トウジ君いなくなって、みんなカヲル君になってしまったみたいです。

――ＪＵＮＥはやっぱり一緒にピアノとチェロですよ。川のシーンも捨て難い。でもお風呂のシーンのほうがＨかもしれない。野外の川で水遊びって健康的ですね。

佐藤　しかし、どんなんか知らないけど、夜、「月の光だけで、誰も見てないよ」とか言って一緒に裸で川に入るほうが俺はちょっとアレやと思うけどな（笑）風呂で二人裸でおるのは普通やからね（笑）

庵野　ね、全裸でね。

佐藤　「君も一緒に泳ごうよ」とか「誰か見るかもしれないよ」とか、それもリバー・フェニックスの世界に入ってると俺は思うけどな（笑）

――そうですねえ。でも女の子にとってはどっちだろう。お風呂場で二人っきりのほうが、結果的にはとてもＪＵＮＥ度が高かったというか。

庵野　まあ、男風呂っていうのはまず覗けない世界ですから。禁断の領域っていう雰囲気があるのかもしれない。でも、どう見ても銭湯っスけどね（笑）

佐藤　あれがいいんちゃいます？　リアルで。

◆一緒に裸で川に入るほうが俺はちょっとアレやと思うけどな（笑）◆

●薩川昭夫さんによる、「最後のシ者」準備稿（初稿・二稿）は、別冊ＪＵＮＥ96年9月号（創刊号）に収録されてます。イラストは野火ノビタ先生

◆うちの番組見たこともないのによくできたなあ◆

――薩川さんは他の作品は？

佐藤　この間、実相寺（昭雄）先生が撮った実写の『屋根裏の散歩者』とか。嶋田久作の。

――なるほど。あれもJUNE度がちょっとあってうちで紹介したんです。そうか。だんだんつじつまがあってきましたね（笑）

庵野　JUNEな脚本家だったんっス。

――「シ者」で「渚」という文字面のシャレは？

庵野　あれは薩川さんです。一応、水というか海というか、水に関係するのにしてくれって。カヲルというのも薩川さんで。

――使徒っていうのは使者って言い換えてもいいわけですね。

庵野　うーん、まあ、意味合い的にはそうですね。

――「シ者」っていうのは死んでる者っていうシャレもあるんですか？

庵野　ええ、掛けことばです。

――それでシンジのほうが生きる者でカヲル君が死者であるという。

庵野　ええ。漢字にしたりカタカナにしたりしていろいろ掛けられるんです。

――カヲル君を演じた声優さんの石田彰さんも良かったですよね。

庵野　石田くん良かったっスよね。

――雰囲気あってね。石田さんには何か、こういうふうにとか指示は出したんですか。

庵野　どう言ったっけ。線を細く、優しくとかそれくらいですね。一回、テストの時はちょっとイメージ違ったんです。2回目の、こういうふうにしてくれって言った後はもうそのままOKです。本番はすごく良かったです。絵も何にもなくて、うちの番組見たこともないのによくできたなあって。

――監督は、少年にこだわりっていうのはありますか。

庵野　あんまりないです。

●実相寺昭雄…映画監督。TVシリーズの「ウルトラマン」『ウルトラセブン』を手がけたのち、映画に進出。「帝都物語」などの作品がある。傾いた構図や画面を歪めて不安感をかきたてる手法など、独自の映像センスで知られる。



◀「屋根裏の散歩者」（脚本／薩川昭夫。明智小五郎（左）を嶋田久作さんが怪演♥）

◆カヲル君は失敗しちゃったかなって気がなきにしもあらずです◆

――こういう少年だったら格好よかったのにみたいな。

庵野 いや、カヲル君はよくわかんなくなってきちゃったので、失敗したかなって気がなきにしもあらずです。ただのおかしい奴です（笑）イメージがちょっと違うんです。まあ、キャラクターとしては石田くんの声がすごく良かったので、ただ自分が考えてたのとはちょっと足らないかなと。もっと誰からも愛される、すごくいい人にしたかったんですよ。もうシンジが見たらコンプレックスを持つしかないみたいな。

――最初は猫を連れてたということですけど、どうしてそうしたんですか。

庵野 なんか変でいいじゃないですか。ウェットな感じで。転校生でがらがらがらって戸を開けて、猫を抱いてたら、いい絵だと思いますよ。猫を横に歩かせると作画大変なんで、ここに抱えてると（笑）

――何で猫をやめたんですか。

庵野 面倒くさいから（笑）

――じゃあ前の場合だったら、猫も一緒にＥＶＡで潰すつもりだったんですか。それとも、猫だけは生き残るとか、形見として。

庵野 いや。イメージとしては…あとはアイディアとしては猫のほうがオリジナルの使徒で、人間のほうが傀儡（かいらい）っていうか。どっちが本物かわからないっていう。まあ、それもよくある話なので、いいやって。（編注＝ＳＦ映画の『地球の静止する日』など）

◆

庵野 正直に言うと、自分が考えてた最終回って、もうネタは使っちゃったんですよ。

――いままでの中で？

庵野 ええ。25、26話って、あれ最終回なんです。本当にそうするつもりだったんです。

――えっ!?　そうですか。

庵野 1本、量が増えちゃったんです。25話で大体の謎にカタがついたら、あとはシンジさえなん

とかすればいいやと。

――それでいろんな考え方がありますよというのを見せて。

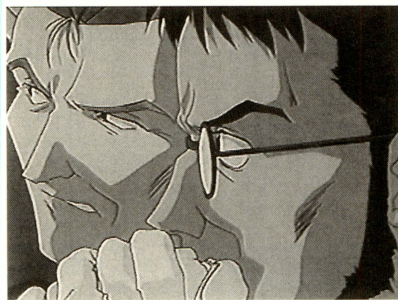
庵野　ヴィジュアルの見せ方とかセリフの言い回しとか、方法論は違うんですが、根底に流れている、言いたいことっていうのは同じなんです。

――そうなんですか。僕はまた、最後のほうで時間がつまってきたので、本来の形を不本意な形で出すよりは転んでもただでは起きないという感じで（笑）転んだけれどもちゃんと芸を見せてということかなあと思ってたんですけど。

庵野　いや、それもありますけど。でもそれはあくまで方法論のところで。劇中劇というアイディアと舞台みたいにしてしまうのはギリギリで思いついたんですが、シンジ君が他人の、表面だけじゃなくって過去を見てく、という…どんな人間でも汚い部分ってあるわけじゃないですか。でも人と付きあう時には、特にその人が嫌われたくないと思った瞬間に、パッとそこをできるだけ見せないようにすると思うんですよ。少しでもいいところを見せようと。そういうところだけ見てて判断するわけじゃなくって、その人が持ってるネガティブな部分まで見た時に、果たしてその人間をひとつの個として見られるかという。

――まるごと受け入れることができるか、みたいな。

庵野　そうなんです。それはフロイト博士が言っている口唇期の良い母と悪い母という理屈なんですけど。要するに母親というのは自分を無条件で守ってくれると同時に自分を束縛しているという悪い部分もあるもんだと。あと母親は毎日機嫌がいいわけではないですよね。例えば自分が泣いた時には、機嫌がよければいい子いい子してくれて、泣いちゃいけませんよみたいなこと言うんだけれど、イライラしていて機嫌が悪い時は怒鳴ったりもしますよね。子供から見たら同じ人物に見えないんですよ。だからいい母親と悪い母親というのが存在していて、それがひとつの人格の中に内包されているというところを認めて初めて他人っていうのが見えるんです。それをやるつもりだったんで。やるアイディアというのは全部出せたんですよ。



◀口元を隠すのは、ミステリアスな効果＋「セル枚数が少なくてすむ、というのも」

◆一回ネタを使っちゃったんできついですよね◆

――本来の予定は演劇的なものではなかった?

庵野 もうちょっとドラマの中に入れ込んで。まだ25話のほうはそこまでやる予定でやってたんですけどね。シンジが見たミサトとアスカというのをやれば、とりあえずOK。で、アスカが25話で立ち直る予定だったんですけど。だめですね、むずかしいですね。

――お父さんのゲンドウに関しては?

庵野 親父は、まあ、最終回ですね。友達とか他人の部分を25話でやって、血縁のところは最終回でやるとか。

――別に殺したりはしない?(笑)

庵野 わかんないッス。まあ、一回ネタを使っちゃったんできついですよね。同じのをもう一回やれるかどうかは…同じネタを賞味期限切れたから使うというのもあるんですけど、賞味期限切れないし、少なくともLDはカップリングで出るんで、ダブるのはできるだけ避けたいなと。

――台本を画面に映すことは最初から予定されていたわけじゃないですよね?

庵野 いや、ありましたよ。劇中劇の、最後は台本にしようって。要するにTVから出ている虚構というか。

――そうだったんですか…。では、庵野さん自身が実写で出ちゃうみたいなのは?

庵野 やろうと思ったんですけどね。ダメだって言われまして。いや、マジに半パートそれをやろうって言ってたんですけどね。局のほうから、それはやめてくれって言われまして。

ヴィジュアルの部分のクオリティがもう22話以降、維持できないというのが12月の前の段階でもわかってたんですよ。もう3カ月くらい前に、これから逆算スケジュールを切っていくと「あっもうダメだ」と。その場合に選択肢がいくつかありますよね。そのうちで一番きついのを選んだと。

――これだけ話題になった作品って、いままでないんじゃないでしょうか。

庵野 まあ、普通の終わり方をしなくて今は良かったと思いますけどね。

――みんなに考えさせるものになった。

庵野　まあ、予定調和だけは避けたかったんで、最後は裏切ろうと思ってたんです。

――それで渡辺多恵子さんが裏切られたと怒って（笑）渡辺さんもすごくハマってまして、繰り返し見て、そのあと次の週はこうなるだろうという予測を立ててと。で、一時シンクロ率が400%まであがって（笑）

佐藤　とけちゃいますね。

――ところが彼女はアスカに一番感情移入して見ていたそうで。だからアスカがおかしくなっていったのがすごく納得がいかなくて、20話以降自分で描き直したいくらいだと。それで最後の2話で切れて、もうすごい怒り狂ってまして（笑）監督には絶対落とし前をつけてくれと伝えてくれと頼まれて来ました（笑）

庵野　ああ、私、渡辺さんのファンなんです。

――そうなんですってね。とにかく渡辺さんはすごくハマってて、最終回も友達と大勢で見たそうですよ。その分だけ憎しみがあって（笑）

佐藤　それは迂闊（うかつ）でしたね、渡辺さんともあろうお方が（笑）

――逆にシンクロしていたために離れられなかったというか、客観的になれなかったというか。

庵野　そうですね。あれだけ冷静に物事を見る人が、それはちょっと意外でした。ああ、じゃあ渡辺さん脚本やらないかな。

――すごい読み込んでらっしゃるから。

庵野　本当ですか。じゃあ、脚本、最初から頼んでみようかな。

佐藤　納得いかないなら、あなたがやってくださいって（笑）

庵野　まあ、渡辺さんは渡辺さんで、たぶん自分が思い描く最高のラストというのが出てくるはずなんですよ。あの人は…マンガを読んで一度だけ本人にお会いしたことがあるんですけど、お会いして話をした時に、あっ僕より数段、ストーリーテリングとかドラマの構成力とかが…3つぐらいステージが上の人だなと（笑）全然かなわない（笑）だから、たぶん渡辺さんが考えたほうが、い

いラストになる（笑）僕がやるよりはいいと思いますよ。これは正直そう思います。僕より多分うまく構成して話を作れると思うんですよ。でも、そういうふうに自分で組み立てたものは、自分のものでしかないということですよ。

――それはきっと監督のものとは違いますよね。

庵野 違いますね。そこが問題なんですよ。怒っている人も多分自分のやつがあったと思うんですけど。

――そういう意味でいうと、みんな感情移入して見るから、虚構であることを忘れたいという。もちろん知っているんだけども、できるだけ一体化したいという時に、これは夢なんだと言われちゃうとはぐらかされちゃった感じを受けたりするのかなと思うんですけど。

庵野 まあ、物足りなさは残ると思います。でも、…完結すること自体がすべてのエンドマークというもんじゃないと思うんですよ。それはもう、固定観念でしかないと思うんですよね。物語が収束しなくても、そのキャラクターだけなんとかなればいいというものもあるわけですよね。そういう固定されたものに捕らわれて云々というのも、どうかなと思うんですけど。

――ああいう形で決着がついたように見えないというのは、逃げたということになるんじゃないかと。逃げちゃだめだと言ってたのに逃げたじゃないかというふうに思われちゃっているかもしれないですね。

庵野 なんで「逃げちゃだめだ」をテーマということにするんでしょうね。

――えっ!?　…そう言われると（笑）まあ、シンジ君がいつも正しいとは限らないですからね。

庵野 ええ。なんで主人公が言って、やってることがみんな正しいと思うんでしょう。

――そうか。主人公が「逃げても良かったんだ」って言って。

庵野 ええ。テーマはそうですよ。逃げてもいいんですよ。

――そうすれば渚くんも殺さなくてすんだしっていう。

庵野 共感する人はそれでいいんですよ。逃げちゃだめだと言ってた人が逃げたということでそれ

◆…完結すること自体がすべてのエンドマークというもんじゃない◆

を糾弾するのもOKなんですよ。でも、それを正しいと思い込むなというのはありますよね。僕がやってることがみんな正しいのかと言ったら、そんなこと全然ないですよ。25、26話の中でも「逃げ出したければ逃げてもいい」ってセリフが入ってますからね。まあ、逃げ出すことによって得るものもあるし失うものもあるわけですからね。人間生きている以上どっちかあるんですよ。何にもしなければどっちもないですけど。それは死んでるのも同じです。そういう人がいっぱいいるみたいですけど。まあ、得るものがある以上、失うものも必ずあるんですよ。人を傷つけずに自分が前に進むことはできないですからね。それを恐れてしまったら何もできないわけですから。まあ、逃げちゃだめだというのが、OKというものでもないんです。逃げちゃだめだというのは、逃げたことによって、すっげえ嫌な目にあったからそう思ってただけで。逃げたことによって、「あっすっげえ楽になった」と思ったらそれでいいと思うんですよ。

アダルト・チルドレンっていうのは、最近僕がよく耳にする言葉ですけど、それは、ダメな両親のもとで育って、その両親に引きずられたまま大人になってしまって、親とか男とかに依存しないと生きていけなくなってしまった人たちの総称らしいんですけど。それを見ても、親から逃げ出すというか、親元を離れることによって解放される気分というのは来るんですよね。すっごい過保護な親で、「××ちゃん××ちゃん、東京に行ったら悪魔がいるから、そんなとこに行っちゃいけないよ」って自分の檻の中から絶対出さない母親っているわけじゃないですか。いつまで経っても。で、それを良しとしてその場にいたがる人はそれでいいんですけど、それがすごく窮屈でいやな気分になってる人っているわけじゃないですか。拘束されっぱなしのそんなところから逃げ出して、東京でまだフリーターでもやってその日暮らししたほうがましだって人がいるわけでしょう。そういう人はそっから逃げ出してるわけですよね。田舎からの脱出ですよね。

——逃げると言うか、脱出と言うかで全然イメージは違いますよね。

庵野　逃げ出すっていうことでは同じですよね。逃げ出すことによって自分が解放されるんだったらそれはOKなんですよ。全然OKなんです。むしろ逃げ出したほうがいいんじゃないかと僕は思

いますから。まあ、シンジはいま、26話を見ればエヴァンゲリオンにとり憑かれてますよね。それにしがみつくことによって、他の人から認められて自分の存在意義もあり、になってますよね。そこから解放されればもっと別の、少なくとも次の段階が待ってる、そういうもんだと思いますよ。ただ自己への退行は袋小路への無限ループでしかないと思います。それはそれで行き着く先っていうのはそういうもんだと思いますので。袋小路に入ってしまったら、そこを蹴破るしかない。蹴破った後は次の袋小路が待ってるだけなんですけど。でも人ってそうやって生きていくしかないから、それでもしょうがないかなと思いますけど。

――シンジの場合はエヴァに乗るしかないという。ミサトたちとの繋がりも、仕事仲間になることじゃないとダメって。そういう意味で言うと、庵野さんは『エヴァ』を描かなければGAINAXにはいられないとか（笑）描くことが自分の一番得意なジャンルだし。

庵野　もうちょっと大きな、アニメーションとか、そういうもんなんですよね。最近、『エヴァ』が終わってからですね、ふと古本屋に行ったら寺山修司の『演劇論集』がありまして。今まで寺山修司って人に興味なかったんですよ、全然。何も見てないし、何も読んでないし、名前だけしか知らない。何か演劇やってた人で、押井守さんの元ネタの人だとかその程度の知識しかなかったんですよ。それでちょっと買って読んだらですね。理論はすごく面白いですよ。ああ、こりゃあ70年代の人はこっちに行くかというのはわかるんですけど。その本の中に、寺山さんが演劇をやるのは演劇という媒体をもって社会と接することができる、要するに自分は演劇というものを介さないと社会というものに接することができないんだ、とか書いてあって。ああ、それはわかります。要するに僕はアニメーションというものを通さないと社会と接することができない。まあ、それだけのことです。アニメに依存しないと自分の演技をできないってことですから。他の人とも話をすることができない。それは自分の中になにもないってことです。

――逆に言うと天職ってことにも。

庵野　うーん、わかんないっス。僕は才能というのは欠落だと思いますから。溢れ出るものじゃな

◆自己への退行は袋小路への無限ループでしかない◆

いです。ものすごく大きな穴です。

――その欠落を埋めるために作る？

庵野 そうです。それが表現です。すべての表現はそれです。だからデカダンスではありえないわけです。アニメーションというのはね。いや、すべての表現は僕はそうだと思います。声優さんが演技するのも、アニメーターが絵を描くのも、僕がこういう作業するのもすべてそうだと思いますけどね。

――じゃあ「補完計画」というのも、やっぱりその欠落を埋めるためなんですか。

庵野 埋めようとする作業が僕は生きるってことだと思います。

――なるほど。

庵野 ただそれは、比較的に見れば、他の人よりは僕の穴はかなり大きいって気もします。だからここまでやらないと、まだ満足しないって感じなんです。これでも満足しないですね。

（１９９６年４月25日、ガイナックスにて）

［こぼれエピソード］

●ネルフマークの葉っぱはイチヂクだった。

●「残酷な天使のテーゼ」の歌詞“少年よ神話になれ”は、最初の案では“凶器になれ”だった。

●24話で使われてたベートーベンの第９は、歌詞も要チェック。

●第１話の使徒・サキエルは、あさりよしとおさんの「ワッハマン」に登場するイシュタルが原形。

●ベジタリアンの庵野監督、動物クッキーも食べられないそう。

庵野秀明

Hideaki Anno

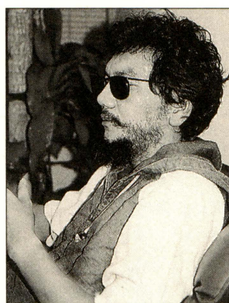
☆

ロングインタビュー　Part Ⅱ

☆

僕は、人間は不安なほうが自然だと思うんです。幸せっていうのは錯覚でしかない。

小J8月号に続く、
庵野監督の最新インタビュー。
当初、前回の未収録部分から掲載する
予定でしたが、
「この間はダメ人間状態だったので」（笑）
立ち直ってきた今の心境を聞いてほしい、
との申し出をいただき、



☆

スペシャルゲスト

野火ノビタ

急きょ再インタビューが実現。
ゲストに野火ノビタ先生を迎え、
（庵野監督は野火先生のエヴァ本を
読んでいるそう）、監督のバックボーンから
放映終了直後に陥った不安までを、
うかがいました。
（別冊JUNE96年11月号より再録）

◆庵野さんと私個人が、視聴者と送り手としてファイトしてたんですね◆

庵野 （野火さんに）唐沢さんの本に書いてましたよね。正直、少し泣きました。あの文章はありがたかったです。

野火 「エヴァンゲリオン」は、私も何度も泣かされました。アニメで声を上げて肩を震わせて泣いたのは、本当に初めてです。一番最初にガーンと思ったのは14話なんです。総集編パートもうまく作ってあるなって感じなんですけど、CM明けてから、いきなりレイちゃんの独白がバーッと来るところ。うわあぁぁぁ…号泣って感じ（笑）その時に初めてピーンッと来たというか。それまでは面白いアニメとしか思ってなかったんですけど、これは私自身の問題でもあると。

―― 以前に野火さんが言ってたんですけど、見てる側と作る側の戦いみたいなところもあると。真剣に見ざるをえないというところで、実は自分も参加してる。

野火 非常に真剣勝負していたつもりだったんです。庵野さんと私個人が、視聴者と送り手としてファイトしてたんですね。熱く燃え上がって（笑）相手も傷ついてるが俺も傷ついてるって感じだったんですね、お互い打ってはならない秘蔵パンチを繰り出しつつ。でも、試合終了5分前ってとこで闘技場を降りられてしまった気がして。「ああっ、ちくしょう。俺はまだ戦えるのにっ！」って（笑）

庵野 そういう意味では、スタッフとも真剣勝負ですよね。一番最初の敵。まあ、喧嘩もせずに面白いものはできないですよ。うちのスタッフはきついんです。金のつながりじゃないんですよ。つまんなくなればやめるっていう。

―― 野火さんは、14話以前はファイトしてたんですか？ 六話で「どんな顔をしていいのかわからない」ってレイが言うところとか。

野火 あれも良かったんですけど、まだドラマツルギーだけっていうか。その後ろにあるものが、14話で見えたんだと思うんですね。前半部分っていうのは、ドラマツルギーの奥にあるものを、ドラマに仕立て上げるっていうのがうまかったと思うんです。でも私が本当に感動した



◀「エヴァ」のキャラ、そして庵野監督への共感を、分裂病研究の名著「ひき裂かれた自己」に託して語る、野火さんの批評本「大人は判ってくれない」（ちなみにこのタイトルは、ムーンライダースの同名曲から）。冒頭で監督が話題にした〝唐沢さんの本〟（エヴァ批評アンソロジー「サード・ミレニアム」のこと。なお〝唐沢さん〟は唐沢俊一先生とは別の方）に収録された文章に加筆修正したもの

のは、あの謎解きの面白さとかではなくてですね、あの……本当に言いがたいものだったんです。

庵野　それは多分……僕、中学の時から少女マンガのファンでして。今でいうガールフレンドで、リツコさんって言う人なんですけどね（笑）あの子と知り合わなければ、いまの僕はいないっていうくらい影響を受けたんです。ＳＦと少女マンガに引き込まれましたから。「別冊マーガレット」を読んで、くらもちふさこさんとか、市川ジュンさんや和田慎二さんとか。ギャグを描かない頃の亜月裕さんとか岩館真理子さんも。その後「りぼん」に行って太刀掛秀子さん、高橋ゆかりさんとかですね。あと、大島弓子さんの短編とか渡辺多恵子さんの「ファミリー」。「花ゆめ」「ララ」「別コミ」、一時期「ちゃお」まで行きましたから（笑）。でも、講談社系は読まなかったですね。とにかく少年マンガって読んでてつまらなかったんですよ。永井豪さんの「デビルマン」とかは読んでたんですけど。あと「アストロ球団」は面白かったです。僕の人生、「アストロ球団」ですから。一試合、完全燃焼なんですよ。その他の熱血マンガは、わかっちゃうから。先の展開が。

――ああ、少女マンガってわからないですものね。

庵野　何で好いたはれたというだけで16ページも24ページも、ヘタしたら単行本10冊もつんだろうって（笑）全然わからなくて。先も読めないんですよね。あの感覚的なところに魅かれて。大島さんなんか本当にわからないですね。もう感性だけじゃないですか。あと、くらもちふさこさんや岩館真理子さんとか、ページを開いたら、ネームがこの位置にあるということですら、もう芸術になってるんですよ。一枚の絵として完成してるっていうんですか。日本で一番進んでる文化は少女マンガだと思いますからね。

――少女マンガをアニメ化しようと思ったことはないですか？

庵野　勝てないですよ。例えばくらもちふさこさんの少女マンガをアニメにしようなんて無理っすよ。アニメに置き換えられるような感性を持ってる演出家っていうのはいないと思うな。くらもちさんと同一でもダメなんですよ、その上をいかないと。僕はそこまで傲慢（ごうまん）にはなれな

◆日本で一番進んでる文化は少女マンガだと思います◆



◀野火ノビタ先生

◆やっぱりデビルマンは否定しきれないっすね◆

いと思うんです。

野火　さっきちょっとデビルマンの話が出たんですけど、私、すぐれものにハマるとすぐ「デビルマンかっ!」って思うんですね（笑）「エヴァンゲリオン」の時もやっぱり思って（笑）何でかって言うと、シンジ君は結局お母さんが使徒になるんですよね。そうするとデビルマン（と同じ）になるわけですよね。だからシンジ君はずっと、自己について悩んでるわけなんですけど、最終的には、それが更に根底から覆されて人間であるアイデンティティも揺さぶりをかけられるのかなあと思ってたんですよ。

庵野　まあ、近いっすね。やっぱりデビルマンは否定しきれないっすね。

——お母さんは使徒なんですか？

庵野　どうなんでしょう。あとで気がついたんですけど、無意識のうちにやってたんです。ウルトラマンとかデビルマンと、同じなんですよ。人間より上の生物を倒す時にやることっていったら、相手を取り込んでしまうってことですよね。石ノ森先生も前に描いてたんですけど、「悪を倒すのに、悪の力を借りる」。まあ、使徒のコピーを作って、それに人の心を加えるってパターンです。

◆

——話は飛ぶんですけど、スタジオジブリのＬＤボックスに文章をお書きになったそうですけど、どんなことを？

庵野　結局、悪口に近いことばかりです（笑）

——庵野監督は宮崎駿監督のどういう部分を批判されたんですか？　あるいは宮崎アニメと庵野監督のアニメはどこが違うんでしょう。

庵野　基本的には一緒だと思うんです。宮さんの絵は一般性を持ってしまった。例えば、僕はもっと一般受けするアニメを作るつもりは全然ないんですよ。一般化に向かうというのは僕から見れば「サザエさん」なんですね。宮さんもどんどん丸くなっていって、今「サザエさん」



◀「完全復刻版デビルマン」
永井豪とダイナミックプロ
（全５巻／講談社／各450円）

になってるんですよね。昔の「サザエさん」は毒があったんですけど。

宮さんの最高傑作は「ナウシカ」の7巻ですよ。連載してる時は宮さんのとこへ行くと「続きはやく見せて下さいよ」って、棚に描きかけのが入ってるから見ようとしたら、「まだ見ちゃダメだ」って（笑）宮さんが部屋から出ていったら棚から出す（笑）。で、来月は「（アニ）メージュ」見なくていいやって（笑）もうアニメなんかやらずに、「ナウシカ」をずっと描いていてくれればいいのに、僕のために（笑）と思ったんですね。最後のあたりはドロドロやっててよかったです。行くたびこうなってて（頭を抱える）「どうやって終わらせたらいいのかわからない」って。その気持ちが今ならよくわかります。結局、僕の「エヴァンゲリオン」も、行き着くのは「デビルマン」と「ナウシカ」の7巻ですよ。まあ、思想的な部分で同じ答えに行っちゃうんでこれはしょうがないわって。

野火 私リアルタイムで映画の「ナウシカ」を見た時に、泣いちゃったんですね。でも7巻まで読んだ後にまた見たら、うーん、釈然としないっと思って。1、2巻までが映画になってますけど、マンガの中ではその巻まででもすでに7巻に通じるような暗いものがあって。でも映画にした時に、宮崎さんはそういうものを全部切っちゃったというか。でも庵野さんは逆を行ってるんだなって（笑）庵野さんって「黒い宮崎」なのかしらって思って（笑）

―― 庵野監督の想定観客っていうのは？

庵野 それは昔も今もこれからも自分自身だけです。逆に自分が面白いと思わないものは他人に見せたって、面白いと思わないと思うんですよね。

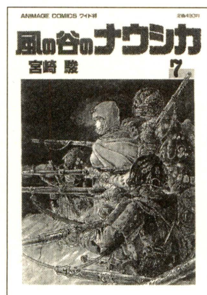
野火 ただ、そこで聞きたいのは、自分だけ楽しいというんだったら、日記を書いてればいいじゃないですか。でもわざわざ公開するのは、どういう意図なんでしょう。

庵野 他人との関係というか、接点がそれしかないからでしょうね。

―― 広い自己満足という。

庵野 というか、作家ってやっぱり人に見せるものってオナニーしかないですよね。

◆「ナウシカ」をずっと描いていてくれればいいのに、僕のために◆



◀「風の谷のナウシカ」宮崎駿
（全7巻／徳間書店／各480円）

野火　その感覚ってよくわかります。やっぱり見られてないと感じないんですよね（笑）

庵野　そういうものだと思います。人が見てるから余計いいという。ナルシストしか作家になれないですからね。自分自身にある程度自信があって、それを見せるってやつです。自信のない人というのは前を隠しちゃってますから。

――でも、その例でいくと、風俗では客のリクエストに応えてあげるというのもあるわけじゃないですか。お客さんのほうを直接してあげるというか。

庵野　だからゲームのほうに行くわけですよ。アニメのキャラを「この人俺のこと好きにならないかな」と思っているよりは、よりアクティブに、好きだとか言ってくれるわけじゃないですか、ゲームって。それが要するに出張してシゴいてあげてるっていう（笑）

――なんで自分のオナニーを見せてあげたいと？

庵野　いや、僕は自分のオナニーショーは商売になると思ったからです。

――それが得意技だから。

庵野　ええ。出張してやってあげる気にはならないですね。自分でやれと思いますよ。僕はフィルムにこだわる仕事ですからね。そこまでサービスする必要はないです。そこまでいったら人間、自分で何にもしないじゃないですか。

――でも人のためにしてあげてるっていう言い訳もあるじゃないですか。

庵野　人のためなんて、そんなの嘘ですよ。

――俺のオナニーを真似てやってみろと？

庵野　そこはもう、関係性は人それぞれだから。それを見て自分でマスかく人も、それは良し。それを見て顔を突き出して、ひたすらかけてくれるのを待ってるのも良し（笑）。

◆

――菜食についてうかがいたいんですが、肉を食べないのは主義なんですか？

庵野　いや、嫌いなだけです。普通の生活に興味がないですし、食うのにも興味がないんです

よ。だから宇宙食というのは、僕の子供の時の理想だったんですよ。あんなパックひとつで一日生きていけるんだったらそれでいいやって。いま愛用してるのはエネルギーinなんですよ。

――それは母親が料理がヘタだったとか、そういうことではなくて？

庵野 そんなことはないです。僕だけです、食わなかったの。小さいころから。物心ついたころには食ってなかったです。

――小学校の時、給食とかどうでした？

庵野 全然、食わなかったです。みんな残して。無理やり食えって言われても食わなかったですよ、余計に。小学校2年の時に先生が教室に残したんですね。夜8時までずーっと粘ったんですけど、先生が帰りたくて、もういいから帰れって。でも、あの頃は、この給食を食わされるくらいなら死んだほうがマシだと思ってましたからね、本当に。それくらい他人に強制されるとやらないんです。だから親が殴ろうが蹴ろうが食わなかったですからね。余計に意固地になって食わないんです。だから親が真っ先にあきらめました。

――拒食症とは違うわけですよね。

庵野 ええ。腹は減りますけど。でもたいてい水を飲めば腹は膨れますから。30年以上食ってるものはほとんど同じです。

――例えばイクラとかは？

庵野 食ったことあるんですけどね、まずかったんで、すぐ吐いちゃいましたよ。やっぱり何十年もそういう体質になってると、もうダメですね。肉の味が口の中に広がると吐いちゃうから。もう完全にそういうのは体が受けつけないくらいになってます。

――食べないっていうのは生きる意欲がないというのとは違うんですか？

庵野 同義語かもしれないですね。わからないですけど。

――食欲とか性欲とかでいうと、特に食欲だけ欠落してるんですか？　物欲とかは。

庵野 あんまりないです。今回当たって儲かった部分っていうのは全部スタッフに返しちゃっ

◆親が殴ろうが蹴ろうが食わなかったですからね◆

◆セルアニメっていう方法自体が限界だと思うんですよ◆

たんですよ。だってスタッフのおかげですから、儲かった部分はスタッフにできるだけ還元するべきでしょう。まあ、僕自身、あまり金に興味ないというのがよくわかりました。前はあまり持ってないから、興味ないと思い込んでるのかなあと思ってたけど（笑）。性欲は人並みくらいにはあると思います。男はないですが（笑）。

◆

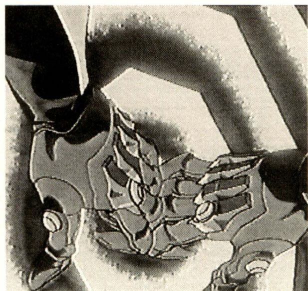
――ＪＵＮＥで、女の人がなぜ男同士のになるかって問題を突き詰めていくと、最終的には家族問題に行き着いちゃうところがあって。だから『エヴァ』が家族問題をちゃんと描いていたので、女の人も見られたという。

庵野　いや、ちゃんとはやれてないですね。

――でも戦闘シーンと同じくらいちゃんと。

庵野　うーん。セルアニメっていう方法論自体が限界だと思うんですよ。記号論でしかないですよね。マンガもそうなんですけど、まだ自由があっていいと思うんです。セルって枠線をどうしても描かなきゃいけないんですよ。結局は枠線を描いて中を塗るっていうぬり絵なんですよね。白と黒とのああいうモノトーンの美しさっていうのは、まず少女マンガには勝てないんですよ。金属も岩もセルになったらみんな同じ質感ですから。それを叩いた時にカンカンッて音がすれば金属かな、コンコンッって音がすれば、あっ岩かっていう程度の稚拙な表現なんですよね。眉をしかめているのをパッと見たらみんな怒ってるとしか思ってくれないですよ。あとは役者に頼らざるをえないんです。だから本気で怒っているのか、わざと怒っているのかというのも、セルの一枚絵で表現できないんですよね。そういう不自由な表現の中で、人間を描くなんて至難の技なんです。でもだからこそ、こだわらないとダメだと思うんですよね、人間ドラマに。でも、やっぱり描ききれてるとは思いません、「エヴァンゲリオン」は。人間ドラマというのは、こんなに生易しいものじゃないと僕は思います。

◆



▶「ATフィールドのこじあけるイメージって、強姦ですから。服をひきちぎる感じなんです（あそこには絹を裂く音を入れてます）。人間の一番最初の防護っていうのは服じゃないですか。はだかで歩いててもいいのに、人間だけは、少なくとも陰部は隠そうとしますよね」

◀「強姦の一番最初は服を脱がすところですから。
ＡＴ（Absolute Terror＝絶対恐怖領域）って、なんか怖い感じがしていいかと。自分の中の恐さですよ。絶対に人に入ってもらいたくないところ。要するに自分のなかの一番大事なものを守るものなんですよ」



◆「ナディア」を越えるものが自分の中で生まれて来なかった◆

――前作から「エヴァ」まで空白がありますね？

庵野　最初は何やっていいかわからなかったんですよ。頭の中では「ガンダム」「ヤマト」を越えたいとかいう思いがぐるぐる回ってて。「ナディア」が終わってから、「ナディア」を越えるものが自分の中で生まれて来なかったんです。

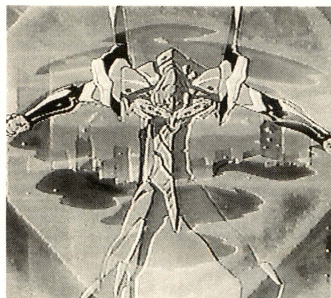
そのうちやっと、テレビの企画が決まって。いわゆるロボットものの各話完結の話で考えてたんですよ。「マジンガーZ」をもっとリアルにやればいいやって感じで。だんだんその程度じゃつまんなくなっちゃって。それでも何やっていいかわからなくて半年以上企画書だけ。1話の脚本に半年ぐらいかかったんです。で、2話あたりからどういうものかがちょっとずつ見えてきて。

3話は全く空白のままできなくて、5、6話が先にできてしまって、で3話に返ると「あ、だめだ、間に一本やはり入れなきゃ」ってまた4話ができてきたんです。

3話に立ち返った時に、その30分のうちにシンジとトウジ、ケンスケが仲良くなるのがおかしくなっちゃったんですよ。普通のロボットものだったら、パターンとしてその一話分の中でそのエピソードがハッピーエンドで終わらなきゃいけないんですよね。その枠のなかで終わる話として考えていたんですけど、そこから進んじゃうとあとがしんどくなるんですよ。キャラクターをより人間的にやらなきゃならなくなって、テレビアニメのカテゴリーを越えてしまうので。でも、結局そこから出ざるを得なくなって、4話を作った時に、人間をギリギリまでマジにやらなきゃいけない作品に決まっちゃったんですね。

で、7・8・9話はスタッフももう疲れてたんで、とにかく明るい話をここで入れなきゃと。重いのをやってると気も重くなるんですよね、やっぱり。スタッフがのびちゃってたから、各話完結で気が楽に進むやつを続けて。

初期はホンに2か月、コンテに2か月。僕が直すところまでいれると4・5か月、それだけ時間かけてやってましたけど、だんだんひまもなくなって、26話なんて三日ですから。あれが



▶「最初考えた時は設定的なものだったんです。使徒にはエヴァじゃないと歯が立たないっていう設定を作った時に、ATフィールドというのが出てきて「自分の中でなんでこんなの作ったんだろうとその意味合いを後から考えたら、「あ、心の壁みたいなもんか」と。要するに、それが象徴しているものは何だろうって考えて、後からそこに行き着いたんです。」

精一杯ですよ。できたのは、うちのスタッフの優秀さですよ。それはすごいと思う。24話なんて3週間ですよ。摩砂雪がほとんど一人でやってたんです。3週間ひとりでやってあそこのレベルまで来るっていうのはすごいんですよ。そういうスタッフに恵まれてる。スタッフの才能のお陰です。じゃなかったらとてもとても。

――野火さんが号泣したという14話なんですが、あのレイのモノローグはどんなふうに？

庵野 14話の前半はああいうふうに総集編にしようと思ってて、後半に入った時に、レイってどういうやつだろうっていうのをずーっと忘れてたから、描かなきゃと。

16話のほうが先なんですよ、脚本は。最初はシンジと使徒がファーストコンタクトで話をするという予定だったんですけど、できなかったんです。

最初のイメージでは、いろんな国の言葉といろんな動物の鳴き声と雑多なノイズが画面の中を流れてて、そのなかで使徒が日本語にたどり着くという。で、ピッと合致したときに絵がパッと広がって、きみの思考言語というか考えてるパターンはこれでいいのかね、と聞いてくるところからスタートだったんですけど。

――カッコイイですね。

庵野 それはそれでいいなと思ったんですけど、そこで日本語を話したらおしまいだなというのがあったんです。カヲルくんというのが最初から人型で用意されてたんで、そこまで人の言葉をしゃべるのは取っておこうと。じゃあシンジが取り込まれて何するんだろうと思ったら、たぶん自分のことをじっくり考えるチャンスなんじゃないかなと。その16話の、インナースペースみたいなところが最初なんですよ。あれはわりとスラスラとできたんです。

で、レイの話になった時に、詰まったんです。全然書けなくて。レイっていうキャラクターは分裂症的にしようと思ったんですけど、書こうとした時に、思いつかなかったんですよ、何も。結局気×いを書く時には自分が気×いになるしかないんだろうなと。その時にちょっと友達と相談してですね「気×いが書いてる文章って何かないかなあ」って聞いた時に、別冊宝島

●摩砂雪…弐拾四話などで作画監督を担当。劇場版「シト新生」DEATH編も監督している。

◆空虚みたいな、存在価値が何もない◆

の精神病の本、あれ貸してくれたんですよ。イージーでリーズナブルな本なんですけど（笑）その中に気×いの書いたポエムが載ってて、すごく良かったんです。詩を読んで感動したのはあれが最初に近いというぐらい。鋭利なナイフの先の光みたいな感じがあって。これは確かに常人の感覚じゃないっていう。よかったんです。今考えればそういう素養が自分にあったというだけの話なんですけど（笑）。気×いの文章を一級品と思うのは気×いだけという。それを読んでドワーッとイメージが広がって一気に書けたっていう。

あれ底本があるっていわれてますけど、じつはないんですよ。インスパイアされたものはありますけど全然別のものです。誰かの詩にすごく似てるって、それを真似したんじゃないかと言われてるんですけど、「ああ、じゃあその人も多分気×いなんだ」と（笑）。有名な詩らしいんですけどね。そういうのと同じだと言われるくらいのものが書けるなんて、俺も才能あるんじゃないかと思っちゃいますよね（笑）。

放映が終わった後はいよいよひどくなって医者に行きましたからね。マジに死ぬことまで考えましたから。空虚みたいな、存在価値が何にもない。おおげさでもなんでもなく自分のすべて賭けてたんですよ、ホントに。それが終わった後自分の中に何もないというのがわかってしまって。後で聞いたら「あ、それは自我崩壊だよ」って。すごく悪いLSDとかやったときに味わう感覚らしいんですよ。「薬もなくそれができるのはすごいことだよ」と言われて、そう今だとすごく得した気分なんですけど（笑）。ホントに死にたいのかどうか確認するのに、ここ（GAINAXの建物）の屋上に登って足を出して、バランスを前に倒れるぐらいまで持ってって、ホントに死にたいならここで死ぬはずだし、死にたくなかったら後ろに下がるだろうと、自分で確認するためにやったんですよ。まあ死に至らなかったからここにいるわけで。

最初は躁だったんだけど、鬱がどんどんひどくなって。会社の仕事場から出なくなって、トイレの時だけは外に出たけど、メシもほとんど食わなくて。人に会いたくないんだけど人に会いたいというジレンマがバーッとなって。

『山　重い山　時間をかけて変わるもの
空　青い空　目に見えるもの　目に見えないもの
太陽　ひとつしかないもの
水　気持ちのいいこと　碇司令？
花　同じものがいっぱい　いらないものもいっぱい
空　赤い、赤い空　赤い色　赤い色は嫌い
流れる水
血　血の匂い　血を流さない女
（…）
これは誰？　これは私　私は誰？
私は何？　私は何？　私は何？
私は自分　この物体が自分
自分を作っている形　眼に見える私
でも私が私でない感じ　とても変
（略）』
――第14話、綾波レイのモノローグより。

家に帰らないんですよ。帰る手間がめんどくさいから。だからずっとここに寝泊まりして、帰るのは年に何回かしかなくて。会社にいると、トイレに行く時にスタジオ横切るんで、人に会ってしまうので、とにかく一人で考えようと思って、自分のうちに何カ月かぶりに帰ったんです。万年床だからいつでももぐりこめば済むんで、シャツとパンツ一枚で寝転がった時に、ものすごく怖い、怖い考えとしか言いようがない、そういうのに全身が包まれる感覚があって。それに包まれた時に、バッと飛び起きてあわてて服を着て、とにかくカバン持って、表通りに出て「タクシー!」。で、会社に来て、会社の自分の部屋に来て寝る。これが自我崩壊かって。死にたいとかそういう感覚でもないんですよ。なんとも言えない。逆にそれだけ本気で「エヴァンゲリオン」やってたんですよね。

——人間てどうしてそう存在理由が必要なんでしょうねえ。不安になったり。

庵野　僕は、人間は不安なほうが自然だと思うんですよ。幸せっていうのは錯覚でしかないと。

——「エヴァ」の次の作品というのは、何年後になるんでしょう?

庵野　アニメやるかどうかわかんないですよ。アニメが駄目だと思ったらさっさと引き上げちゃいます。今アニメで立て直していいもの作ろうと思ったら、相当エネルギー使わないと。若くて元気のいいのはゲームのほうにいっちゃいます。

——そういう意味で女の人ががんばってくれるといいなと思うんですけどね。

野火　やっぱり向き不向きがね。夢見る力では男の人に勝てないと思いますよ。ひとつの世界を構築して行く力が、女はちょっと。

庵野　うーん、そういうところはあると思いますけど、男も女にかなわないところはあると思います。女は女にしかわからないですよね。さんざん悩んで…アスカの生理の話って結局ストレートに描けなかったんですよね。やっぱりわかんない。わかんないのに描くっていうのは僕はだめだったんですよ。シナリオのほうではもっといろいろ書いてあったけど、バッサリ切ったと思います。22話の、洗面所でおなかを押さえてて「子供なんか絶対にいらないのに」って

セリフだけで済ませて。それ以上は描けなかった。リテイクする時にもうワンシーンだけ足そうと思ってるけど。自信がないっていうかやっちゃいけないと思うんですよね。月に一回必ず腹が痛くなるその痛さとか全然わかんないですからね。経験がないのに口先だけでやったって、女性に対して失礼だと思うんで。それでもアスカっていう女の子を出すのに、そこだけは入れたかったんですよ。できるぎりぎりの範囲ですよね。そこから先は絶対だめ。だから野火さんがアスカを描いた「絶対安全剃刀」に全然かなわん、って。貞本とふたりで「だめだ」って。

野火　毎回遺書のような気持ちで書いてました。だからやっぱりわが身を切り売りするしかないんじゃないですか。

庵野　やっぱり「エヴァ」って男の生理でできてるなと思いますよね。できるだけ女性のほうにも近づけようとは思っても、やっぱり男から見る女ですよね。他のアニメと違うのはあんまり都合よく作ってないってとこですけど、なんか擬似的なものって気がするんですよね、本当の女じゃなくて。

野火　エヴァに乗りたーいっていう男の子がいっぱい出たでしょ。そういうのに、私、庵野さん悪意を持ってたのかなって。コミケ会場で「レイちゃんはやっぱり包帯姿だよね」とか言ってる男とかの前を、私は呪詛（じゅそ）しながら通りすぎてたんですけど（笑）、庵野さんもそうに違いないと思ってたんですけど。

庵野　うーん、いやけっこう……ああでもそれは似てますよね。俺も「死んでしまえ」と思ってたんです（一同笑）

要するに群がるしかない人というのは、ほんとにいるんだなと。オウムのシステムが身をもってわかったという。「あ、教祖になるのは簡単だな」と。

群れって嫌いなんですよ。すごく憧れる部分があるからまた嫌なんですけど。っていいながらも群れざるを得ない。一匹狼にはなれない。一匹狼になるんだったらアニメやってないですよね。

◆やっぱり「エヴァ」って男の生理でできてるなと思いますよね◆



――依存しなきゃいけないっていうのは怖いですよね。

庵野　依存心は誰にでもあると思うんですよ。程度を越えるとまずいなと思いますけどね。フィルムもドラッグとおんなじですから。どうしても耐性と精神的依存性っていうのが問題として出てくるのはしょうがないですよね。より刺激の強いほうにみんな走ってしまう。それを見ないと気がすまないという。そういうんではドラッグ的なものは多かったと思いますけどね、うち（ガイナックス）のアニメって。

　僕も今、金曜日が楽しみなんですよ。「（激走戦隊）カーレンジャー」と「こどちゃ」（「こどものおもちゃ」）なんです。「こどものおもちゃ」はビデオに録って毎回観ようっていうほどではないんです。やっぱり今一番楽しいのは「カーレンジャー」。観れればいいんですよ。この間のはちょっと保存版ですけど。

――なんだったんですか。

庵野　セルフパロディをやってて。暴走戦隊ゾクレンジャーっていう（爆笑）徹底しててよかったんですよ。わかってらっしゃるっていう。ツボを心得てて、心地よいパロディでしたね。やっぱり本物がやると違うなあ。歌まで用意してたんです。自分のとこでないとできないですよね。ちゃんとセリフまで同じにして。黄色の奴なんて「まかせんしゃい」（笑）レッドの決めポーズもちゃんとあわせてあって。一話が短いぶんぎゅうぎゅうに詰まってていいですよね。この前なんてとうとう見栄が切れなかったんですよ。要するにゾクレンジャーのほうがやってしまうので、本家のほうが見得を切る暇がない（笑）。RVロボがガッシャンって出てきて、ワンショットべつなのが入ったら、次のカットではもう合体終わってますから。テンポ早くて。

――おもちゃを買ったりしないんですか。

庵野　買いましたよ、RVロボ。オモチャ屋で、この年で買ったら子供のプレゼントだと思うから普通包むじゃないですか、「そのままでいいですか」だって。自分で買ったと思われちゃった（笑）（1996年8月22日　ガイナックスにて）

●『まかせんしゃい』…戦隊シリーズ第1作「秘密戦隊ゴレンジャー」のキレンジャーのキメ台詞

渚カヲルくんコレクション
KAWORU COLLECTION



グッズ・ガイド・フォー・タブラー♡

GOODS GUIDE for TABRER



「カードダスマスターズII」カヲルくんのキャラクターグラフィティカード9枚の裏を組み合わせたもの。プレゼントカードの絵柄でもあります。

カードダス 第弐弾

¥20　1セット（5枚）¥100（税込）
全64種類（プリズムカード9種類　リバースプリズム1種類）A

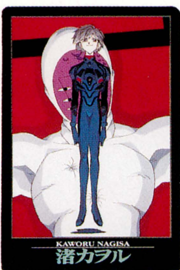






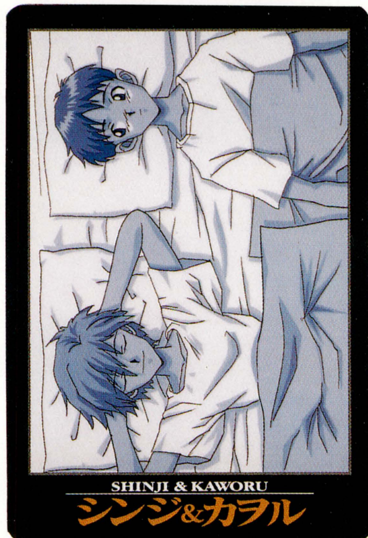






カードダス 第壱弾

¥20　1セット（5枚）¥100（税込）
全44種類（プリズムカード8種類）A







カードダスマスターズ 第弐集





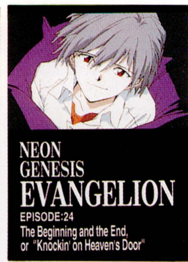




カードダスマスターズ 第一集

1パック（10枚＋説明カード入り）¥291（税別）
全172種類（スペシャルカード4種類）A







カードコレクション PARTⅡ

1パック（30＋4枚）
¥600　全55種類　B







カードコレクション PARTⅠ

1パック（30＋4枚）¥600
全45種類　B

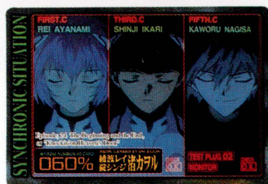
「僕はカードになるために生まれてきたのかもしれない…」



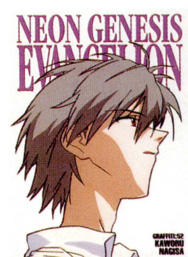


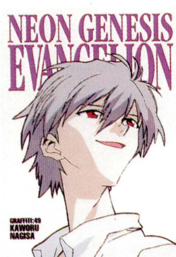


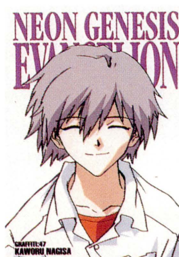




発売元／㈱セガ・エンタープライゼス
製造元／A…㈱バンダイ
製造元／B…天田印刷加工㈱

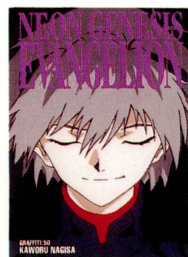


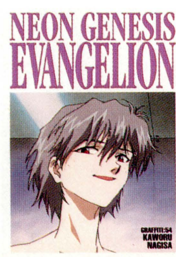


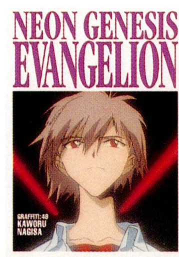


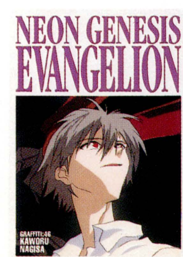


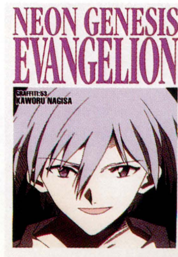












1パック（10枚＋説明カード入り）¥291（税別）
全172種類（スペシャルカード9種類）A

ポストカードコレクションⒷ



1セット（12枚）￥800

ポストカードセットⒷ





￥400

プリクラ



㈱セガ・エンタープライゼス
カヲルくんとツーショット♡
（ごめんねシンジくん）

「君たちにはポストカードも必要だ」

ラミカードⒷ



￥100

WシールポストカードⒶ



シールコレクションⒶ





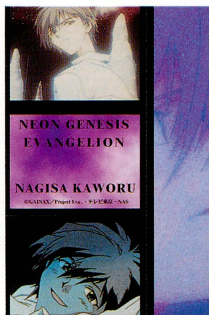
1ケース（6枚）￥600

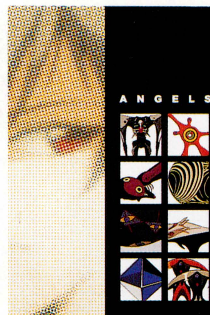
ノート



￥250

発売元／(株)セガ・エンタープライゼス
製造元／(株)ムービック







1パック（5枚）￥600　全25種類（全てシール付き）（上段左、下段中はシールをはがすと出てきます♡）

©



「レイとアスカ」300ピース ￥1400
ちょっと♡な2人かも

「すべての子供達に」
51×73.5㎝ 1000ピース ￥3000

ジグソーパズル©



ジグソーパズルⒷ



108ピース 18.2×25.7㎝
￥1000



Ⓓ「使徒（エンジェルス）」
500ピース
38×53㎝
￥2000

シンジくんの
フクザツな表
情が…♡

ジグソーパズルⒹ



「最後のシ者」 500ピース
38×53㎝ ￥2000



「縁（えにし）（少年の場合）」Ⓓ
300ピース 26×38㎝ ￥1400
のぞき見カヲルくん♡



「渚カヲル」Ⓓ
108ピース
18.2×25.7㎝
￥1200

クリアファイルⒷ



￥350



￥300



￥250

下敷Ⓑ



￥250



￥250

Ⓐ…発売元／㈱セガ・エンタープライゼス 製造元／天田印刷加工㈱ Ⓑ…㈱ムービック Ⓒ…セントラルホビー㈱ Ⓓ…㈱やのまん

カヲルTシャツⒶ
Size−M，L（チビT仕様）¥2,200



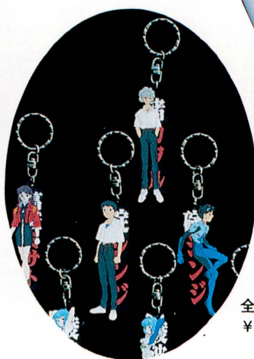
「そう、着衣に
値するよ」

缶コーヒー
UCCオリジナル　エヴァンゲリオン缶250g
期間限定発売
カヲルくんて美味しいよね♡



UCC上島珈琲㈱

キーホルダーⒹ


全12種類
¥500

修正液Ⓑ



¥400　あの名ゼリフが!!

UFOキャッチャー
（非売品）


キーチェーンフィギュア2


キーチェーンマスコット2


メタルフィギュア

ジッパーフィギュア

ぬいぐるみ補完計画

パブミラー

プリクラホルダー

㈱セガ・エンタープライゼス

カプセル／HGシリーズ　第参弾Ⓒ
¥200（税込）

カプセル／5インチフィギュアⒸ
¥200（税込）

カプセル／コレクターズスイングⒸ
¥200（税込）

発売元／㈱セガ・エンタープライゼス　Ⓐ…製造元／㈱コスチュームパラダイス　Ⓒ…製造元／㈱バンダイ
Ⓑ…（株）ムービック　Ⓓ…発売元／（株）ムービック　製造元／（株）コスチュームパラダイス

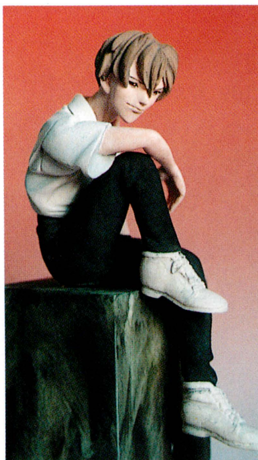




エヴァンゲリオン参号機・使徒カラーセット

これはフィギュア用の塗料です。下のカラーはその名も〝カヲルフレッシュ〟。(カヲルくん専用ファンデーション!?) UVケアもバッチリ(笑)。全6色入り。

￥1000　販売元／グンゼ産業㈱ ホビー部



フィギュアⒺ

これは「歌はいいねぇ♪」の登場シーンのカヲルくん

(注) 完成品ではなく未着色の部品の形で販売されています

「FIFTH CHILDREN (カヲル)」
￥6,800

シンジくんのポーズが♡ フィギュアⒹ



「渚カヲル」ＥＶ－25　サイズ1/8　￥4800
「碇シンジ」ＥＶ－24　サイズ1/8　￥4800

第十七使徒タブリス　渚カヲル

原型製作／河合孝典（まけいぬ）　製作／中山栄治



◀台付きで1050㎜という迫力耽美なカヲル様は『モデル・グラフィックス』５月号でじっくりごらん下さい。この作品のもとになった「まけいぬ１：５スケール〝渚カヲル〟」のキットは夏のワンフェスで発売予定とか（ポケットに両手を入れて立っているノーマル《？》カヲル君♡）
撮影／ENTANIYA　協力／Model Graphix



発売元／㈱セガ・エンタープライゼス　Ⓓ…製造元／㈱寿屋　Ⓔ…製造元／㈱ムサシヤ



Hand Made Evangelion
文化の極み
フィギュア制作／桑竹井介
ヌイグルミ制作／井口佳子
人形撮影／玉川　豊
←作り方は167ページをごらん下さい

エヴァ新聞

from ふくやまけいこ



おひさしぶりです お元気ですか？
いきなりだけど ふくやま こんど イタコに もしかしたら 行くことになったっす。潮来と書いて イタコと読むなんて 出不精のふくやまは 今まで知らなかったよ（いや ただ物を知らないだけか）トホホ ってわけで アニメやゲームを作ってる会社の「ガイナックス」が毎年 温泉地とかで 社員のひとや 仕事あいての作家さんや ファンで集まって遊ぶ会を開いてて「ガイナ祭」っていうんだけど、それに 呼ばれたんだす。招かれたのは すごく うれしいんだけど、なにしろ体調の いい日が少ないんで どうすっか迷ってたんだ。

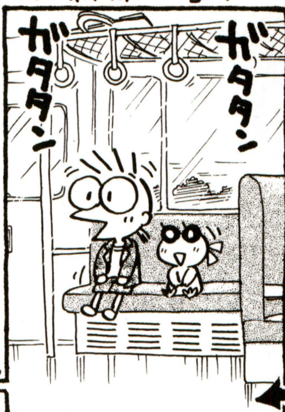




でも きょねんも さそってくれたのに 行かなかったし。歌で知ってるイタコは 見てみたいし。なにしろ なにしろ 今年のガイナ祭は うわさの上映会が エヴァンゲリオン1・2話なんだよ!!
あのガイナ通信に キャラクターラフが載ってたあれだよ！ なんかもう 絵を見ただけで すっごく おもしろそうなんで ふくやま 早く見たくて見たくて たまんなかったんだ。
土、日2日間あるんだけど、土よう日は用事があって 参加できても日ようだけ だから、何も役に立つような事できなくて 呼んでくれたガイナックスには すごく申しわけないんだけど、でも見たいよ。行けるかどうかも よく わかんないけど、もし行けたら また 新聞書くから 読んでね!!

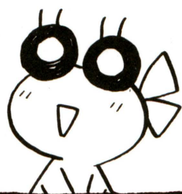
95.5 ふくやまより またね

一九九五年
七月
茨城県
潮来町



イタコへ行った子

ふくやまけいこ



エヴァンゲリオン見たいからね

なんでも遅いまんが家ふくやま





いまいさんは例によってよっぱらって人をかじってるハズ

ガブ

イマイ

ミレリン

きょねんはみれりんがかまれたってね

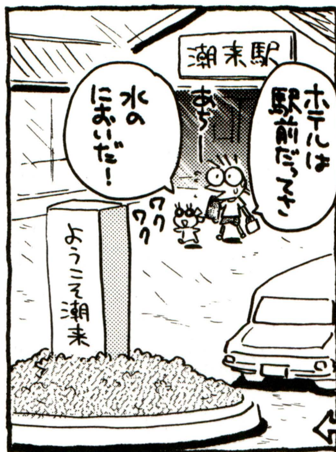
ヒリ

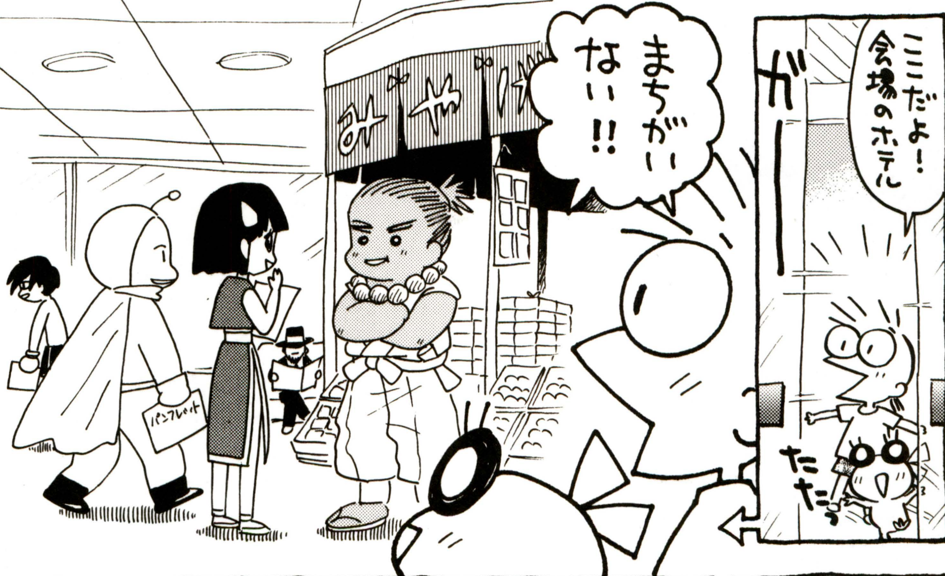
ヒリ

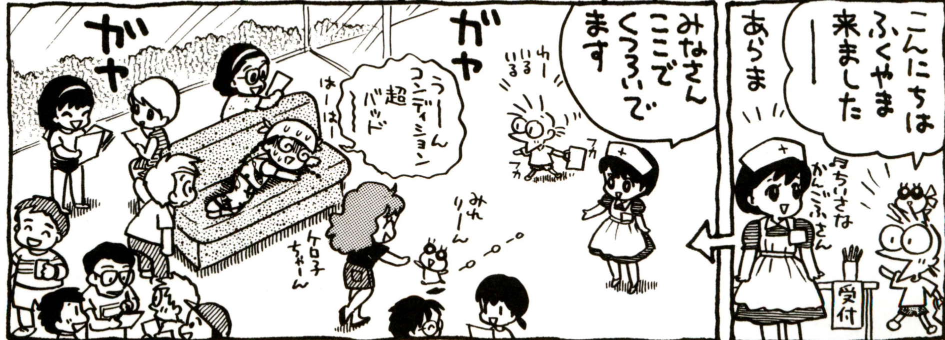


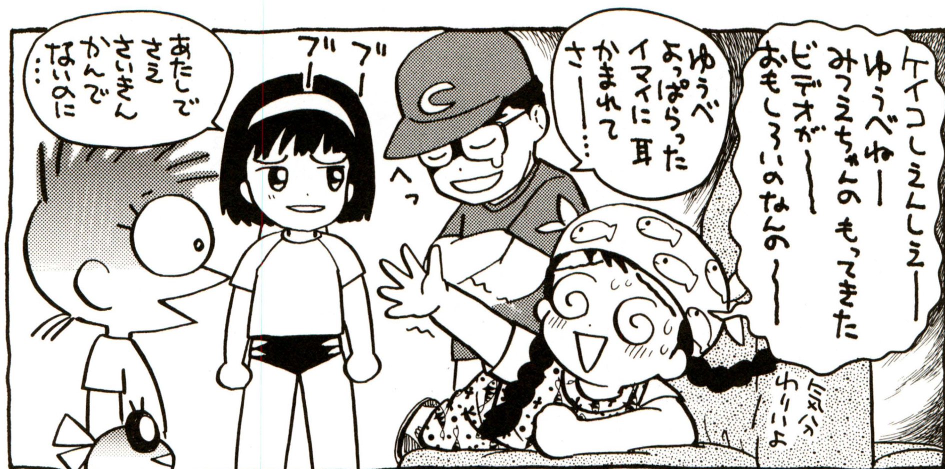

こうして夏の里山を電車に乗ってると銀河鉄道の夜をおもいだすねえ


夏の車内はしんとヒエヒエだからよけいにそう思うね
用心の長そで


潮来駅
あぢー
ホテルは駅前だってさ
水のにおいだ！
ワクワク
ようこそ潮来


ここだよ！会場のホテル
ガー
たたっ
まちがいない!!
パンフレット


こんにちはふくやま来ました
あらま
ちいさなかんごふさん
受付
みなさんここでくつろいでます
いるいる
わー
うーんコンディション超バッド
はーはー
ガヤ
ガヤ
みれりーん
ケロ子ちゃーん

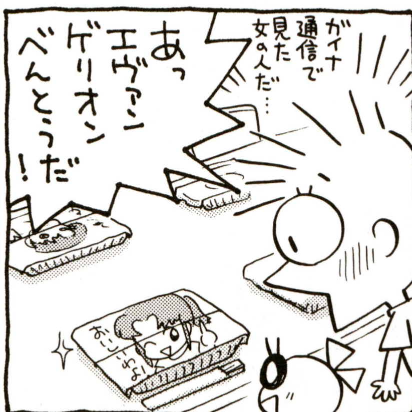

ケイコしえんしえー
ゆうべねー
みつえちゃんのもってきた
ビデオが～～
おもしろいのなんの～～
気分わりいよ
ゆうべ
よっぱらった
イマイに耳
かまれて
さーー…
へっ
ブー
ブー
あたしで
さえ
さいきん
かんで
ないのに
…

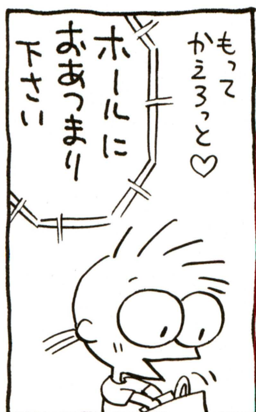

明日には治ると
思うけどー
キモチワルイ～
エヴァン
ゲリオンは
見た？
見た？ あ～見た～見たよ～

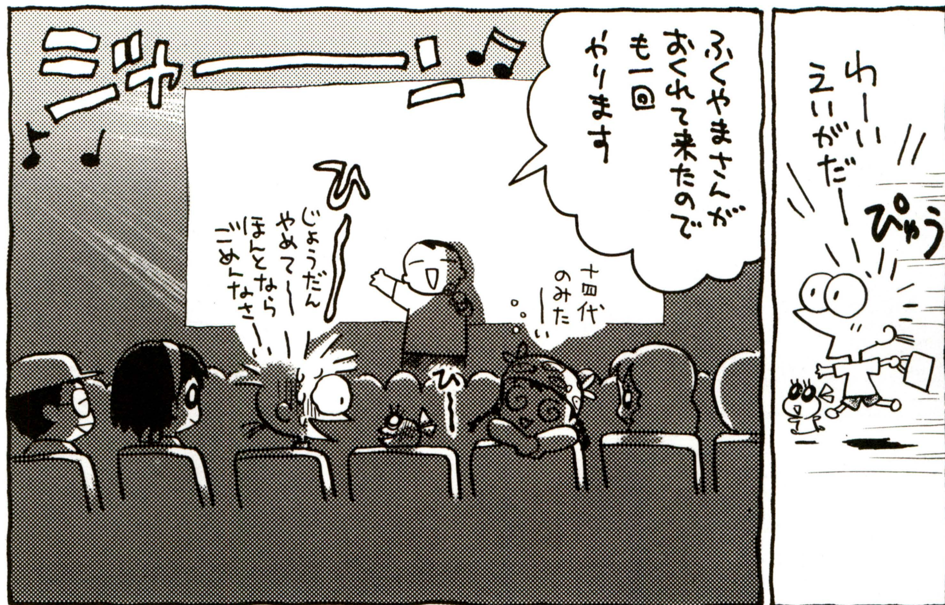

今日も上映するって
聞いたんだけど
これから
上映会って
かんじじゃ
ないね…
なごやか
シナプスコーナー
うん
くぴ
ジュース


聞いて
みますね
ははあ
今日は
もう
なし？


エヴァン
ゲリオンは
？
まず
ごはんでも
たべましょ
食堂

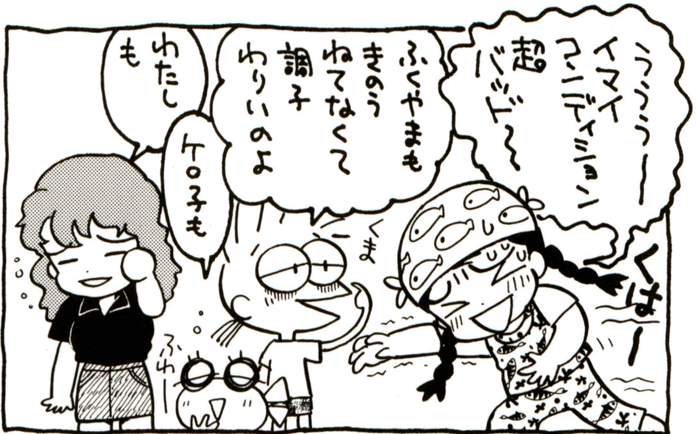

ガイナ
通信で
見た
女の人だ…
あっ
エヴァン
ゲリオン
べんとうだ
！


もって
かえろっと♡
ホールに
おあつまり
下さい

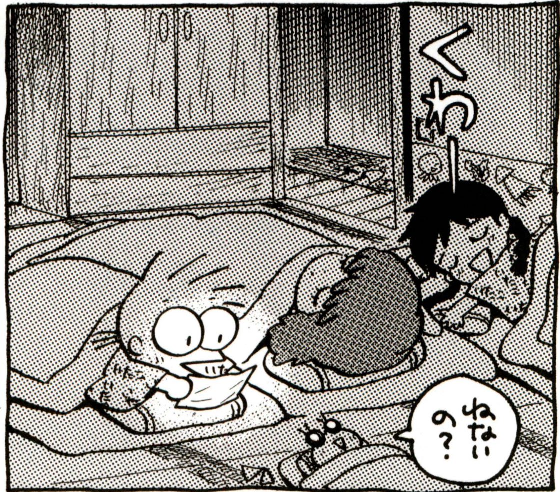

わーい
えいがだー
ぴゅう
ジャーーン
ふくやまさんがおくれて来たのでもう一回やります
ひ〜〜
じょうだんやめて〜ほんとならごめんなさ〜い
十四代のみたい。。。
ひ〜


オープニングはまだなかったけど
あ
よ。
のります
使徒もシンジ君もかわいかった。

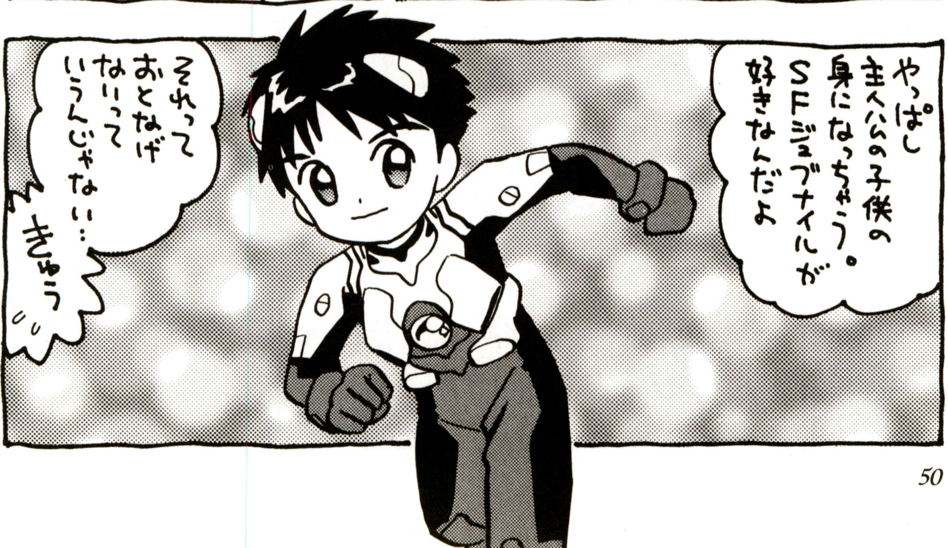

エヴァンゲリオンが〜♪
エヴァンゲリおんど
これにて閉会いたします〜〜
カラオケの間
少女マンガ家の部屋
と学会
あとなんにもみないうちに終わっちゃったね
さみ〜
なんにも働かないうちにのまちがいだよう
ちっちっち
カエル〜
きゅう


ううう〜イマイチコンディション超バッド〜
くはー
ふくやまもきのうねてなくて調子わりいのよ
くま
わたしも
ケロ子も
ふわー


おもいきってもー一泊しちゃえ
ガイナックス
あガイナのひとたち
またねー


くわー
ねないの？


ふくやまは「ロボットに子供しか乗れない」って話好きだなーこんないい年になっても
おいしいわよ
いたこた

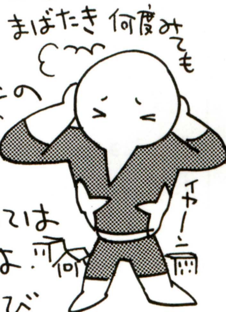

やっぱし主人公の子供の身になっちゃう。SFジュブナイルが好きなんだよ
それっておとなげないっていうんじゃない…
きゅう

エヴァ新聞 2号

秋はさんまがうまいね号



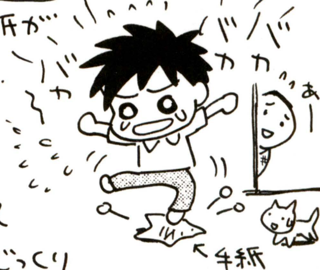
こんちは お元気ですか. 7月に イタコ行って以来
久しぶりのエヴァ新聞だよ! あの時ついてなかった
かっこいいオープニングもついて やっと待ってたエヴァンゲリオンの
放送が はじまった! どーしてかは知らないけど.
ガイナックスのアニメの赤と青は特別にきれいな気が
するよ. すんごく目にしみいってくる赤と青だ. ふくやまにとっては
アメリカのTV連続ものの黄色テロップに通じるもんがあるよ.
はじまりの音楽とともに人名が まっきいろな字で出るたび
「アメリカじゃ これから どんな おもしろいことが おきるのだ!?」と
ワクワク するよ. うまいよね やりかたが. アメリカは。って 違うよ
エヴァンゲリオンの話だよ.





イタコで見た時は 音がわれてて よく聞こえなかった
から. 今回やっと いろいろくわしいことが わかって
新鮮な気持ちで見たけど.
いやー リツコさんの あの「仕事だから」って たいど
ふくやま気にいっちゃったよ!! 子供を目の前に
しても きげんとるとか そういう気が ないとこ.
(あの場合は もちろん それどころじゃ ないけど)
すんごく気持ちよかったです。

それと シンジが ミサトに見せた 父ちゃんの 手紙が
ボロボロで セロテープで つないだりしてたとこ.
もらった時は 頭にカッと血がのぼって
「来いとはなんじゃい! ふざけんなー」って
バリバリ やぶいたり ゴミ箱に なげたりして
でも 気になって 気になって あとで つないで じっくり
ながめて 「どーいうつもり なんだろう」って
考えこんでたんだろうって、あれだけで伝わってくるから すごいや。



1話めを見た時は きれいな絵だなと思ったけど、2話めを見たら すでに絵が描きこなされてて 人好きのする絵でかわいかったね。でも いろいろ ビックリすることが多いよ。→このへん



特にミサトのマンション！未来なのに(あいかわらず)マンションのくせに ふすまとたたみがあって、入口なんかツーっと すべってハイテクなのに中はせまくて、たまらなく日本レベルの住まいでリアルだ！で そのへんが また昔NHKのドラマ見ちゃ「未来でSFなのに、このうちはねーべ」と思ってた自分を思いだして妙な手触りがあるよ。



ミサトは あの町のことを「使徒迎撃用要塞都市、第3新東京市よ」と紹介してたけど、そんな所 よく住むよ みんなと 思うのは ふくやまだけか？





アニメってたいていレタリングが形とれてないもんなのに活字がすごくきれいだ。あれってコンピューターのおかげなのかな。変なとこに目がひっかかんなくていいなって思った。

なにげなくみてても、こんな字のカンバンないはって ふくやまは気になる。ならない？



思いつくままかいてるので見にくくてごめんね。ところで前回のイタコども特報版で「わかんない」といわれたので以下前回のかいせつだよ

いまい → 今井ひづるさん。かわいい絵をかく よっぱらい。十四代 → イマイの好きな日本酒。うまい！
みれりん → あき みれいさん。小説をかく グラマー美人。
銀河鉄道の夜 → 宮沢賢治の原作をネコのキャラクターでアニメにした作品。音楽が泣ける！
みつえちゃん → 青木みつえちゃん。かわいい絵をかく ムチムチギャル。
カープぼうしの人 → 赤井さん。ガイナックスの人。プリンセスメーカーを作ってる人
ブルマの子 → ひぐちきみこさん。ガイナックスの人。かわいい絵をかく。赤井夫人。
妙なかっこ → ガイナ祭では みんなやりたい人はコスプレをしていたのだ!!

エヴァしんぶん

まいにちさむいねセーター出さなきゃの号

ガルルル

こんちは、たびたびどーも、勝手に出してるエヴァ新聞です。
エヴァンゲリオン3話 おもしろかったね！
お話もおもしろかったけど、マンガ版とTV版に
出てくる作者別の微妙な違いがおもしろい。
マンガ描いてる人は逃げなくてすんだんって
かんじがする。「逃げるよりかイヤでもやった方が
ましかも」って思えたんっていうか←勝手に言ってるけど、
でもどっちもおもしろいし人によって違うってこと
自体がおもしろいと思うよって あんまり書いてて
ワケわかんなくなってきた。おもしろいって、何？
「おもしろいって結局何なんだ？何のこと？
あああ わかんない すぐグラグラするふくやまだ。

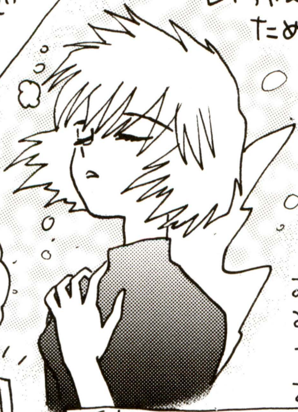
エヴァ初号機に自主的に
友人をのせるのせないも
おもしろかったが トウジがシンジを
なぐる時のケンスケのたいどが
また おもしろい



↑
4話で シンジとトウジの
ようすを見守るネルフの黒服も
「ヤレヤレ」ってかんじでいいよね

レイちゃんは あいかわらず
いつもつまんなそうで
かっこいい





人間じゃない感じ
人間のふりしてる感じ
でも人間になりたいと思ってる感じ
〜〜〜ポエマーふくやま〜〜〜

これは人造人間であって はたまた
おとなになるための足場がなかなか
みつからない中学生の気分でもある
だから レイちゃんは青少年に人気が
あるのか？ イヤただ単にカワイイからだろうけど

「だがそのキズは
彼に甘えた言葉を
はがす」



あいかわらず予告は妙だ。
字だと変に思わないのに
読まれるとアタフタしてしまう
とこが また ふしぎだ

6話は日本列島のあかりがガンガン消えてくとこが
もー子供向SFを読んでるよーでワクワクドキドキしたよ!!
でもレイちゃんのほほえみ、あれで
いいんだけど ふくやまは あの顔、
森やすじさんに描いてもらって
見たかった気がするよ〜

↑
東映長編アニメの
アニメーター、せんさいなかおをかく人（うゎーオレオタクじゃん）



エヴァーしんぶんの

まいんち さむいけど エヴァンゲリオンはいいね号



まいどどうも！エヴァンゲリオン新聞だよう.
いや一 7話見た!? JAかわいいね. あの手のパタパタ たまらん!!
ふくやま今までミサトはにがてだったけど, ミサトのいい所が出まくりで
なんかすっごくいい話だよ♡ 8話のアスカもかわいいし.
9話の音楽とシンクロシーンも爽快だったし♡気分がハレバレしたっす.
使徒やエヴァの肉がニョゴニョゴして目が生えてくるの. 動きに説得力があって
目の前で不思議がおこってるってなっとくするよ. アニメっていいなあ.

JA イヤーン





でもって前号もかいたけど
「おもしろい」ってますますわかんなく
なってきてますますウダウダしてる
ふくやまなんだ. 物を見て
おもしろいっては思うんだけど
それが自分の中でかたづかないよ.
折れ刃式のプログレッシブナイフを
見てカッターみたいクスクスと
おもしろいのだがそれはどこに
おちつくのか？ふくやまは頭が悪いよ.

それにしても 5話以降のエヴァンゲリオンの調子良さは一体何なのでしょう！
特に 11話の「静止した闇の中で」はふくやま大好きだ！
父ちゃんはやっといいとこを見せるし. もちろん今までだっていいとこいっぱいで
ふくやまゲンドウファンだけど. 今回はかっこいいったらありゃしない.
それになにしろ 3人の中学生が力をあわせて地下を迷うのだ. こんなに
ふくやま好みのお話がさいきんあったでしょうか！

中学生が 協力してローテクで がんばるんだよー うーたまらん







〜ところで
新聞作製にタイムラグが
あるのですがエヴァンゲリオンに
総集編登場！やっぱしあのレベルで
つづけるのは大変そうだよね.
しかしなにしろいい話がたくさんだ.
ふくやまがんばってレーザー買っちゃうよ！
15話のレイちゃんは人がよくてきれいな
かんじ♡ 止めて見ちゃえ えいっ！

はたらくぞ

エヴァンゲリオン新聞だよ



from ふくやま

ども！ふくやまだよ 久しぶり。
ここんとこずっとしんぶん出すヒマもなくはたらいていたので 前からずいぶん間があいちゃった。いろいろ書きたいことはあったんだけどな。カゲにのまれたシンジのこととか 加持さんのスイカ畑のかっこいいセリフとか 17～19話の久々のはらわた大緊張のドラマとか ゲンドウぐらい仕事の事だけ考えて生きてたら気分良かろうとか ロボットにはじめて学校の服で乗りこむ！という またまたふくやま好みのシチュエーションとか「私たちはもうエヴァを止めることはできない」とか言って次回あっさりつかまってるエヴァって一体…とかあったんだけども――

なにしろカヲル君だよ！！

あと女のハートをグッとつかむレイちゃんじばくシーンのゲンドーとーちゃん 泣けた！

ふくやまはこれまでアニメでこんなに「マンガ的な絵」って見たことないやって思ったよ。まるでひとりの人が描いてるかのような画面の統一感…じゃなくてあーいう線がアニメで、たくさんの人がかくため生まれてく線で描けるようになるなんて、もう本当にびっくりだよ。ふくやまビデオセットしてるからいいやと思いつつ仕事しながらふりかえって、絵をひとめ見て正座にすわりなおして最後まで見ちゃったよ。なんかみんなもすごいすごいと言ってるが わたしはもうセリフとか何言っても あそこまでの線しかかれたらもーなんでもいいや何言われてもなっとくしちゃうやって感じだよ。何言ってるんだかわかんなくなったけど。



――で 出しそびれてるすきにまたタイムラグで
25．26話 見たんだけど う～ん 昔やってたアメリカのTVドラマ「プリズナーNo6」かと思ったよ。どうしましょう。
しかし今は仕事で時間なくて形がととのえばもーよし状態なので人ごとではないのだ。いや形ととのえばよしってつもりじゃないのはわかるから
いっしょにしちゃわるいな あああ それにしても…以下次号！！

エヴァ新聞
終刊号
シンジ君
あれがわたしたちの星だよ
行ってしまうの？
長らくご愛読ありがとうございました

「水の旅人」とか
「ラブレター」とか
とにかく あの手の
映画に出てきそうな
クラシカルな図書館だ。

見かけは古くても
今の時代だから
ビデオも
置いてある

それを
手にしたのは
ほんのぐうぜん
だけど

受付

見てしまったから

もう何をしてても
気になって
しかたがない

あの水色の
髪の子は
どうなっただろう

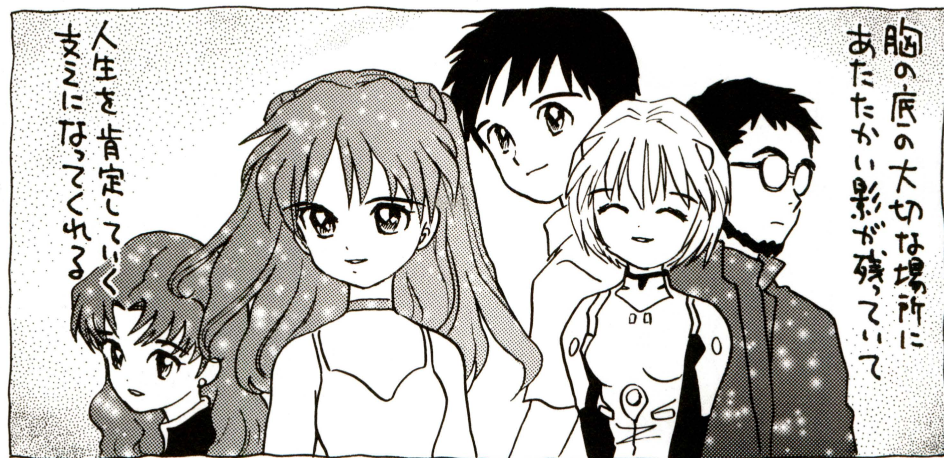
友だちをなくした
あの子は無事に
町を守る仕事に
戻れたのか

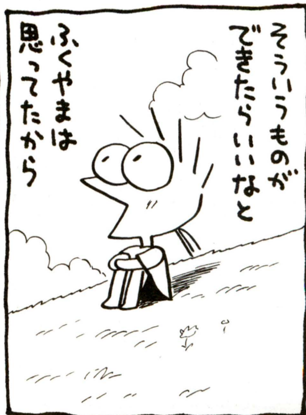
あんな子が
いきなり
転校して
来たら

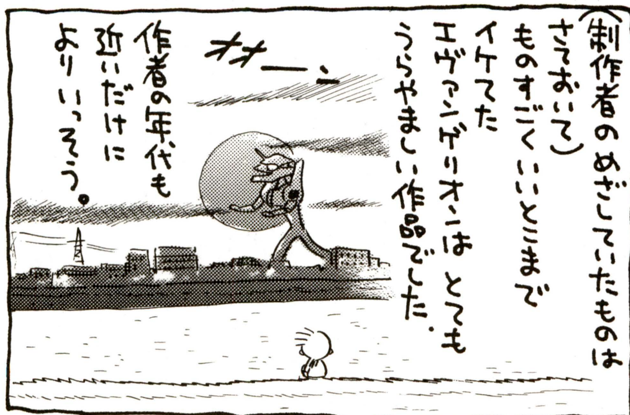
学校が
どんなに
おもしろく
なるだろう


そうして いつか他のものに
すっかり興味が移って
野楽器


あのビデオの事は
もうすっかり
忘れてしまった
そんな時でも


胸の底の大切な場所に
あたたかい影が残っていて
人生を肯定していく
支えになってくれる


そういうものが
できたらいいなと
ふくやまは
思ってたから


(制作者のめざしていたものは
さておいて)
ものすごくいいとこまで
イケてた
エヴァンゲリオンは とても
うらやましい作品でした。
オオー…
作者の年代も
近いだけに
よりいっそう。

「エヴァ新聞」製作中のふくやまのもとに突如怪しい友人友情FAXが!!

いきなり転載

from 前田春信さん

最初で最後の

がんばるふくやまさまぁ

衝撃えゔぁまんが

うちにエヴァの資料一つ足りとて無し！

その日シンジちゃんはとってもhappy

ミサトさんはネルフにいってるし

電話線はぬいちゃったし

アスカ入院だし

ならない でんわ

今日は一日中シンジちゃんの時間！

GO!

ああ。ミサトさん…

ハァハァ

ケイコがんばれ

カヲルくんをかこうとしたがかみがたがわからない

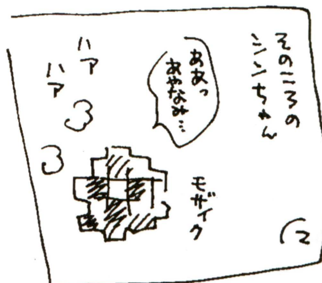
にせもの

なんとかの刃

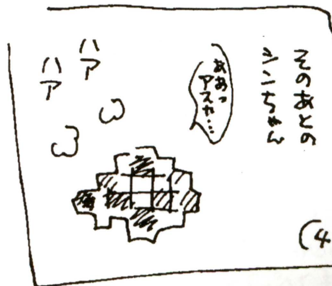
エヴァ

↑あんた…これはロンギヌスの……


そのころネルフでは
シトでーす
きゃあ


そのころのシンちゃん
ああっ あやなみ…
ハア ハア
モザイク

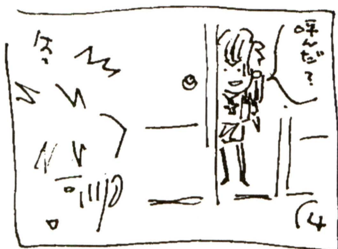

そのあとのネルフで
シンジ君!!
おかしいわっ いるはずなのにっ
どーしてでんわにでないのっ


そのあとのシンちゃん
ああっ アスカ…
ハア ハア


さいごはも一回ミサトさんだな
じゃば じゃば
手を洗っている（リアルな描写）


ああー…っミサトさん…


ミサトさーん
ミサトさーん


呼んだ？
はっ


フフフ
すべて計画どおり…
ギュウウウウン……

エヴァ新聞リバース号



from ふくやまけいこ
字ばっかでごめんの号

ども！お元気ですか。エヴァ新聞終刊号はウケたみたいでよかったよ！
本当に前田さんはおもしろいんだ。というわけでいきなりリバース号だよ
さっきTV見ててちょっと発見があったのでぜひとも聞いてほしかったんだ。めいわくですまん！

でそれは教育TVでやってたBBCか何かの番組なんだけど、「フェルマーの定理が解けた」ってやつ。3chでやる海外ものは内容にかかわらずきれいでおもしろいんで見るんだよ。内容はさっぱりわかんなくて途中でねむくなっちゃったんだけど、定理を解いた人がその過程で日本人の学者が考えた定理を使ってたので、インタビュアーがその日本人の学者のところへも話をききに行ったの。それで何しろ海外のTVだし海外の学者だし英語でしゃべってるんだけど、字幕には「終戦時の教授たちの授業は面白くなかった(←ごめんうろおぼえ)」って出て、その時学者は「ノット・インスパイアリング」って言ったんだ。聞き違ってたらすまんけど。

(↑フラーレンとかフラクタルとか)

で、そのひとことを聞いて半寝状態だったふくやまの頭が、もうまさにサササーッと霧がはれていくかのようにクリアーになった気がしたのよ。そうだ！わしのもとめていたことばはまさにこれじゃ!!ってかんじ！

あくまでもふくやまの頭の中の考えだけど、「面白い」って日本語で言うと、すっごく公式見解ってイメージがあるんだ。たとえば何かをさして「あれ、面白くない」って言うと「えー、絵もレベル高いし話もととのっててうまくできてるし効果もナイスじゃん」て反論されたらたちうちできなくて困っちゃうかんじがするんだ。ふくやま気が小さいし。でも、「ノット・インスパイアリング」って言うとイメージが手元にぐっと近づいて、個人的見解になる気がする。「たしかにうまくできてっけど、オレにゃなんにもなんともグッとくるもんがまるきりないんだからどーでもいいっす」って直接ないみあいがひとことで集約されてるかんじですっごくふくやまはスキーーーッとするんだよ!! しない？そう。で、何が言いたかったかというともーさいごはすごいことになってたけど、「エヴァンゲリオン」はふくやま内では「ノット・インスパイアリングではないもの」だったんだなーってすごくおさまるとこにおさまった気がしたんだ。このへんわかりづらいけどこれを「インスパイアリングなもの」って言っちゃうとまたすごく違うんだよ。(自分から離れたもの(↑これだと)のイメージになっちゃう)なんつーか「アイキャントゲットノットサティスファクション」みたいなもんでこの二度にわたる強い否定に意味があるっつーか(どーでもいい全く関係なかろうと思うものは「ノー・バリューズ」でいいんだけど)これはまたイミがまるっきり逆だし。

ああ…もっとちゃんと言いたいのにその全てを記すには同人用原稿用紙ではあまりにもスペースが足りないのでまたじっくり書くか描くかするよ。まとまんなくていつもごめんね！

ではまたね!! 1997. from ふくやまけいこ

Angelic Impact

―― How to Capture ➡ Blood Type A ――

渚カヲルにおけるA型攻略法

「最後のシ者」を観ながら私は思った―「渚カヲル…なんてA型(シンジ)のおとし方が上手いんじゃあ…! 見習おっ♡」以下にその手くだを書いてみましたが是非一度試してみたいもんです。A型の人いらっしゃ〜い♡

カヲルでいいよ
ロマンチックに海!
出会いっ
い、いじゃあ僕もシンジでー
そう言われるとこう言わざるをえない。
①好き好き光線を出して、おもいっきしフレンドリー♡

ガラス細工のように繊細だね 好意に値するよ
タラシ…
理解者づら
②ナイーブなA型の心をくすぐりほめ殺し!
つかみはOK!!

③とどめの洗脳
―僕は君に逢うため生まれて来たのかもしれないな
あんに君も僕に逢うため生まれてきたのサ!と言ってる
好きだ〜っ君の事が大好きだ〜っっ 僕は絶対君を拒絶しないから安心して〜って この胸に飛び込んでおいでっ!!と念じ続けるのがコツ♡

④一生忘れなくさせる
ありがとう君に逢えてうれしかっ…
ブチッ

BY. A型の友人募集中♡の保チュン
―でも私カヲルじゃないからムリっか?

高群保
TAKAMURE TAMOTSU

天乃永遠

TENNO TOWA

『僕は君に逢うために生まれてきたのかもしれない』

世の中に殺しモンクは数あれどこれほどのセリフを真顔でつぶやいてしまえるキャラクターはそうはいまい（それも同性に…！）

生ト死ハ

等価置ナンダ
僕ニトッテハネ

誰でもない
シンジのためだけに
彼は『存在』した

シンジに『殺される』ために…！

——この究極の設定は私の心(ハート)をわしづかみにした（笑）



Angelic Impact

実は
最終使徒であった
彼の背中に
翼が見えたのは
私だけではあるまい

ボクノキモチヲ
裏切ッタナ！

シンジ（初号機）の
手の中で
悠然と
微笑んで
死を待つ
カヲルの
残酷な
美しさに
目眩さえした

サア僕ヲ
消シテクレ

はたして
使徒（カヲル）は
新生するのか

ギョッキーン

14才の少年少女は
本当に人類を
救えるのか!?

ぽちゃーん

だいじょぶか
シンジ？
××××やってる
バアイか!?（泣）

今は
ただ
ひたすら
物語の
完結を
待ち望む
日々なのです

あんのかんとくさま〜
スタッフのみなさま〜
さだもとさま〜
がんばって〜
コミックスも待ってます〜

EVA





カヲル君の謎

文／北原ゆうこ　画／たかおひろこ

自然体に謎な人

北原ゆうこ



「あの人、謎じゃない部分ってあるの？」

そもそも謎というのは解明されているものの中に混じった未解明の部分で、あそこまで何もわからないと、もう、どこが謎でどこが普通なんだか。〝カヲルくんの謎〟と言うと、謎は、〝カヲルくん〟の一部分しかないみたいだね。それ以外は普通みたいだよね。

綾波が『エヴァ』の奥底を漂い沈殿する謎ならば、カヲルは大渦巻のような謎だった。〝風のようにさわやかな笑顔〟と予告されたが、風は風でも巨大台風だった。吹き飛ばされないようにするのが精一杯。全体の把握なんて、とてもとても。

夕暮れの芦ノ湖畔（あしのこ）、湖の中の像の上でハミングしながら登場した瞬間から、彼はとてもあやしかった。どうやって登ったの？わざわざあんなところでシンジを待っていたの？

それ以後の台詞も仕草も、いや、何もしなくても立っているだけで、オーラ全開、あやしさ大爆発。そんな彼にあっさりとうちとけたシンジ。君は相当大物だ。あんなにあからさまにあやしいのに。あの綾波ですら「あなた、誰？」「私に似ている…どうして？」と呟いたのに。使徒だと知って「僕の気持ちを裏切ったな！」って、おいこら、それ以前に言うことはないのかぁぁっ！「君が何を言っているかわからないよ、カヲルくん！」そうだね。もっとも、シンジがカヲルをわかろうとしていたかどうかは少し疑問だけれど。

そういえば、カヲルの首、どうなったんだろう？



わからないものは知りたい、好きになった対象はより知りたいと思うのは人情というものだが、これは少しばかり相手が悪かった。

ただでさえ山積みの謎を更に増やしてカヲルは消えた。生き急ぐと言うか死に急ぐと言うか、すさまじい勢いで、こちらに理解するための基盤になる知識がないのを考慮せずに、好き勝手に喋れる限り喋った。口数はとても多かった。

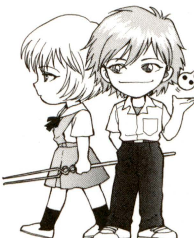
使徒なのにゼーレの指示で動いているの？リリスって何？アダムがリリスで「そういうことか」どういうこと？綾波に言った「君と僕は一緒だね」、これはどういう意味なの？いつからゼーレの手にあったの？ネルフに来るまではどこにいたの？

どうして自分が生きようとはしなかったんだろう。ネルフ基地の中でシンジと語り合いながら、自分（使徒）が生きる意味よりも、リリンを生かす意味の方を探していたような印象を受ける。先に答えを出してしまっているようで、自分への執着がなくて、結論の実行へと突き進む姿は、迷いがない分、綺麗で悲しかった。



彼が語っていた人間論は、体験が含まれているのか？知識だけなのか？知識だけだとしたら寂しい。でも、激しい知識でもあったな。誰が教育したのか是非知りたい。あの音楽のセンスといい台詞の数々といい…第16使徒までの過程で学習したというのなら、使徒の学習能力（とその方向性）恐るべし！

そういえば劇場版でも、殺される綾波1号ちゃんの瞳の中にカヲルの顔が映っているとか、5号機以降のエヴァのダミープラグには〝KAWORU〟と書かれているというのもあったな。減らないかわりに増えていくのね。





渚カヲルは謎の人。理屈を越えて自然体に謎な人。謎なことに説得力がある人。そんな人です。使徒だけど。





KAWORUくんの謎

「あなた、誰?」
一ってのはアヤナミのセリフだけど
どんだけしゃべろーが どんなコトしようが
やっぱりこう問いかけたくなってしまう。
それでいいと思うんだな、渚カヲル君は。
「言」に「迷」で「謎」。言いたいこと言って
みんなを迷わせて、さっさと退場 一 まさに
「謎」そのもの。実際ここまでとらえどころのない
キャラクターもめずらしい。でも
正体がわかってしまうなんて
かえってツマラナイ。なんたって
美形の敵キャラ(…だよね?)は
神秘性が命!謎でケッコウ。
主人公をふりまわしてこそ存在
価値がある、好意にアタイするっ
てモンでしょう! はーウットリ♡

なぞのカヲル君







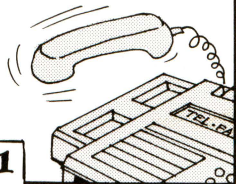




だから「謎」はどうしたって…?
だってェ、ワケわかんないから えっちでイイんじゃん♥
ヤボは言いっこなし! むずかしいコト言われてもわかんないしィー。
えっちじゃない カヲルくんなんか カヲルくんじゃないもーん。

おいら、くさってる? ….ごめん。 by:たかおひろこ

たらさわみち









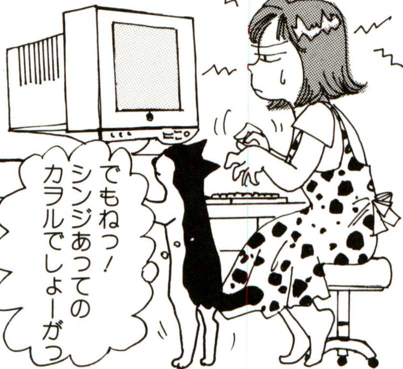
「やっぱり」って何「やっぱり」ってーー! 世間じゃそんなにカヲルフィーバーなわけーー!?

古いぞ……

そりゃ顔はいいし話のいーとこもってくし…

口はデカイし……

ーんで パソコンで「エヴァンゲリオン」の.ホームページを見てみるとォ



カヲル君何てたったあれだけの出番で人気とっちゃってずるい

なで肩で悪い?

「あんたってバカぁ?」

僕が完璧

何故

僕がいちょう主役なのに

僕も包帯しよかな…

裏切ったな!

もしかして

逃げちゃだめだ! ×3

どうせ…

なんで

ファザコン?

「お出し変えたー?」

いじめて君モード全開?

とーちゃんばかり何故もてる…

どーせどーせ僕のホームページなんてカヲル君に比べたら地味さ

暗く

おおぉ…
なんちゅーすごい検索数なのっ
「カヲル君の部屋」ーって…
第九(ダイク)のBGMつきだァ!
ジャーン♪
ジャジャジャジャジャ ジャジャジャジャジャ ジャジャ
ド派手ーー!
凝ってるじゃん

——で「シンちゃんの部屋」っていうと……

しーーーん
音なし
シンプル……
検索数もぐっと少ない
シンちゃんだー♡
地味…
でも…らしくってかぁいい
みんなもっと見てあげてよォ

だから 好き
なんだな
アニメ史上で最もひ弱でネ暗で痛いけなキャラ…
シャーよりアムロだったし…
あなたは私が守るもの
アヤナミモード
ジルベールよりセルジュだったし…
美形よりカワイ形?

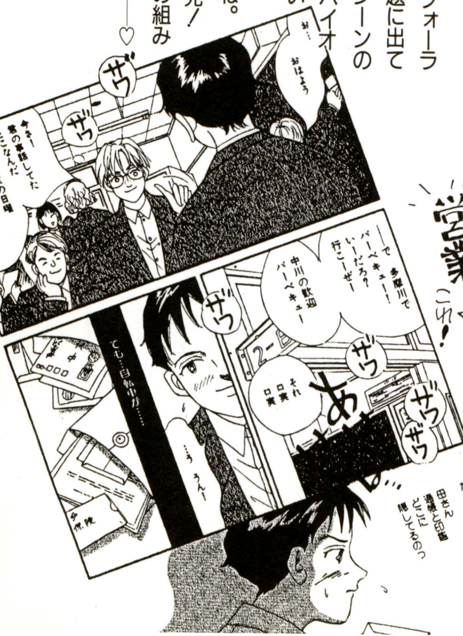
——いえ、マジな話……!しばらくアニメから離れていたのですが、たまたま夕飯の時に目に入り、まずその絵の美しさにひかれたのですね。(これはずいぶん作り手がマニアックな連中ヤナー)て。

貞本義行さんのキャラクターもとても好みです。アニメもいいんですが私はけっこうマンガのシンジ君が好き。アニメより、もう少し表情がころころと変わって、少年らしい。

アニメの魅力はスピード感と場面転換のうまさと、音の使い方、「音」って…むやみやたらに使わないってことです

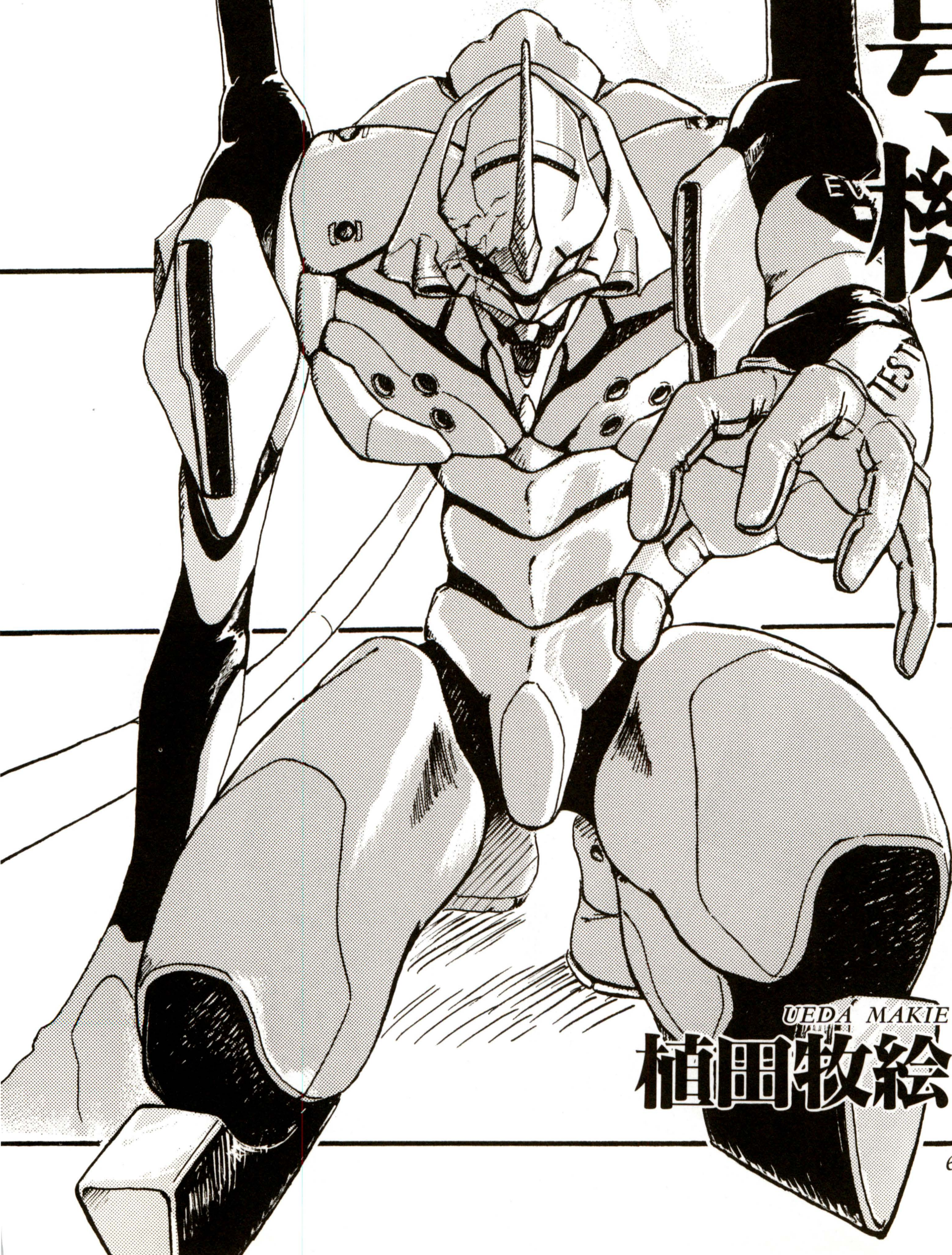
そうそう! クラシック・フォーラムでも「エヴァ」のこと話題に出ていて映画でカノンを弾くシーンのところで『カヲルの第一バイオリンは座る位置がおかしいです!』とのこと……。

いや本当うれしいですよね。
こうゆうマニアックな意見!
そうそう!少年とチェロの組み合わせもイロッポイよね——♡

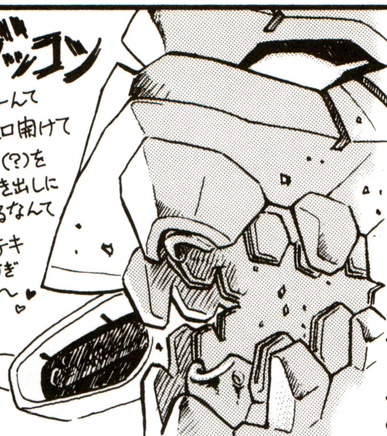


あ、カヲル君の「声」好きですゥー 石田彰さん!
なんたって「シークエスト」のルーカスの声だしィ…
BYフジミ→ イガくんの声だしィ…
実はシンジ君モードのキャラ主人公にしてマンガ描いちゃったの……
「MF動物病院日誌」第5巻に載ってます
ちょっち営業 これい
たらさわのホームページもみてね
http://www.fbook.com/michi/
たらさわは超ルーカス君ファン♡

嗚呼(ああ)、愛しの初号機

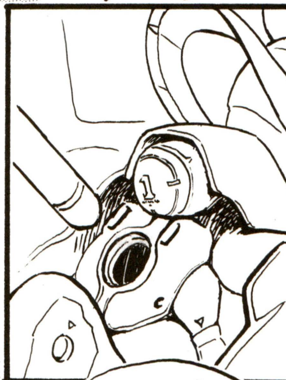


UEDA MAKIE
植田牧絵



けっこう、忘れられがちな気がするんですが、エヴァの魅力のひとつとして、山下いくと氏デザインの『エヴァンゲリオン』の格好よさがあると思うんです。特に私の場合、2話のむちゃくちゃ凶悪な初号機に出会わなかったら、エヴァを観てなかったかも知れないくらい、これは重要なファクターなんですね。本来正義である筈のものが、あんなに禍々しいなんて、もうクラクラしちゃう♡

日本のアニメに登場した多くの人型兵器がそうだったように、EVAも男性形をしてます。だけど、フタを開けてみると実は女性型精神構造保持(©大原まり子)だっていうあたりも、更にのめりこんだ理由かも。この手の倒錯的な構造って、私にとってはすごいJUNE的なんですよ。



エントリープラグの挿入シーンって、考えてみるとずいぶんやらしーなあと思うのは私だけでしょうか？ その…物理的な形式が、ということよりもむしろ意味的に。
だって、母親のタイナイへ戻っていくわけだから……

EVAが好きなんてモノ好きにもほどがあるよ

…とまあ、シンちゃんにあきれられたところでそろそろお開きにしましょう

第22使徒 ミニマムこと
植田牧絵
でした♀

まったく～

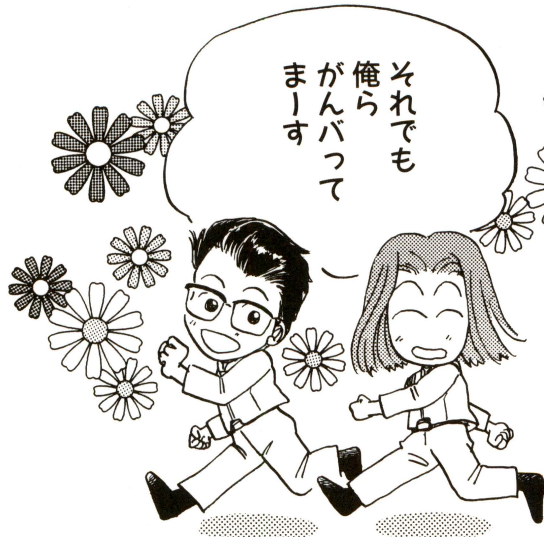
日向くんと青葉くん

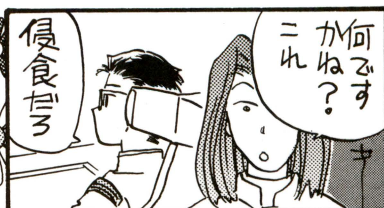
たきぐちけいこ

Angelic Impact

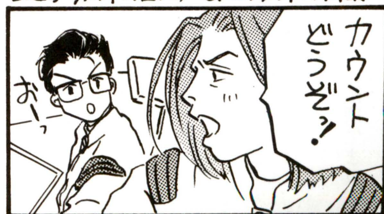
今ではエヴァファンというよりカヲルくんのおっかけと化している私だが
忘れてはならないキャラがいる**日向マコトと青葉シゲル**だ。
彼らに興味を持ったのはほんとにささいなことからだった。
第壱話を見てて「結城比呂(ゆうきひろ)と子安武人(こやすたけひと)出てるけどどのキャラやってるの?」
他のアニメじゃ主役クラスこなしてるのにキャラクターがわからない!
エンディングを見てかろうじて日向と青葉ってわかったけど誰が誰なの一っ!
絶叫のまま、次週へ。

話数をこなしていくうちに、メガネが日向でロン毛が青葉とわかり、
何かしでかしてくれるのかなと思いつつ、日向はミサトのパシリ、青葉は…。
彼らはきっとどんなに仕事をこなしても、おいしいところはミサトやゲンドウにもっていかれ、一生昇進などないのだろうと思われる。ネルフのドレイである。まさに日本の縦社会のようだ。
正体不明の敵の襲来、泥沼のようなただれた人間関係、働きつづける男たちのストレスはどこで、なにで解消するのだろう。閉ざされた空間でほとんど休みなしの人生を送っている彼らだが、わかっているのは多分、青葉は音楽で、ある程度は解消されていると予想されるものの日向は…。
彼はきっと近場にいる同性にそれは向けられていると思う。
たいした趣味もない疲れた男のストレスは青葉に向けられていると思われる。ミサトに対するむくわれない愛情もミサトから「いい人」に見られるためなら手段を選ばない。そうここで声を大にしていおう!青葉はなぜかマコトに対して敬語&ていねい語を使っている。それはなぜか!単に育った環境のせいだけではない主従関係がそこにあるように思える。





なぜか タメグチの日向/なぜかシタテの青葉



第14話「使徒侵入」より

DEATH AND REBIRTH

エヴァがイヤや

仲村明子
NAKAMURA AKIKO

著者紹介●1962年生。公立博物館歴史調査員・戦争秘史研究家・フリーライター。戦記雑誌「別冊丸」にてフォトドキュメント「B 29の残したもの」連載中。新聞・雑誌・TVなどの戦争記事でコメント多数。「アンジェリーク ラブラブ通信 vol.3」から連載開始。落ち込むとゲーム「アンジェリーク」をプレイするかアニメ「ブルーシード」を全話観る。
家庭的な夫と、息子・娘の四人家族。

「エヴァンゲリオンでまともなのはカヲル君だけだよ」

道原かつみさんの仕事場でこう発言をしたときに一斉にあがったのはブーイング。

原爆下の米軍俘虜(ほりょ)取材のために広島を訪れた私は明智抄さんと共に道原さんの自宅に泊めていただいた。そこにエヴァのLDとカヲル君のポスターを見つけて先の発言をしたのだけれど……

エヴァンゲリオンは面白かった。仕事から帰宅し夕食の用意をしている合間に断片的に観ていただけだがすべての設定にゾクゾクした。しかし快感と同時に私の中に生じてくる嫌悪とも取れる不快感からビデオを見直そうとは思わなかったし、この感情が生じてくる理由に向かい合いたくなかった。

「出てくる登場人物はみんな変や、異常や、やっとられへん、カヲル君だけやで、救いがあるんは」

いつも私はストレスが溜まると大阪の明智さんに昼夜時間に関係なく長電話をかけていた。二十年近い付き合いで彼女は私に慣れている（友情に感謝）。しかし、この半年のストレスの半分以上はエヴァがらみだったような気がする。これは愛する夫が私のビデオを勝手に観てエヴァにはまったせいだけど、畜生、夫婦の楽しい会話を返せ！

私らの世代（一九六〇年代初期生まれ）は

Angelic Impact

ESSAY on EVA

NAKAMURA AKIKO

映像では「サンダーバード」や「マイティジャック」初期ウルトラシリーズ、「謎の円盤UFO」手塚・タツノコアニメみたいなおもしろいテレビを観て育ったし、思春期には長浜忠夫アニメと「宇宙戦艦ヤマト」や「機動戦士ガンダム（ファースト）」「スペース1999」等々、少女漫画は絶頂期、SF小説も色んなジャンルが読めたし、マイナーなのも翻訳されてた。メッチャ恵まれとった世代やのに……。その感動を伝えられる世代なのに。

そりゃエヴァは面白い、でも誰もが観る時間帯に放映してよかったのか。ガンダムのアムロも性格に問題があった、でも回りに支えてくれ育ててくれる大人がいて、最終話でみんなが両腕を広げて抑えてくれてたじゃない。エヴァは辛すぎる。

えっ、最終回でみんなが手を叩いて「おめでとう」と言っているって、シンジ君本人も居場所ができたと喜んでいるって？

ちゃうの、アムロはみんなが抱きとめてくれようと、迎え入れようとしてくれているの！シンジ君のは拍手、シンジ君が学んだことへの、一つの答えを見つけたことへの「おめでとう」でしょ、拍手では抱きしめてもらえてないでしょ。

放映時小学校一年生だった息子はフォースチルドレンのエピソードを観て泣きながら台所の私に訴えてきたぞ、

「トウジ君がつぶれた、お父さんが止めてくれなくて、シンジ君が嫌がっているのに……」

それ以降、息子はエヴァンゲリオンを観ようとしなかったよ。

私が子供のときも悲しいのを観たけど主人公に救いの手はあったぞ、他者であれ本人であれ。時間帯を考えてくれてもいいんじゃないの。テレビは老若男女・誰でも観るんだよ、嫌なら観るなとよく言われるけど、あの時間帯のアニメでしょ、スイッチの入れかたを知っている子供は観ちゃうよ。

私の息子が特別に感受性が鋭いわけではないよ。

私、籤運が悪くて、子供会・父母会・PTA、役員を何度も経験したけど、子供たちは、大人が思っているよりずっと感情が豊かだよ。大人が忘れているだけなのかもしれないけれど……

保護者の皆さんと飲んだりする機会も多いけど我が子の感受性に戸惑う親は多いよ。

あと、これは母親としての意見だけど、よくも息子をあんなやりきれない思いで泣かしてくれたな。それだったらあとでフォローしてくれよ。

「フランダースの犬」より救いがないぞ。

私がエヴァが嫌いな理由にシンジの生い立ちがある。

私が幼いとき父は優しかった。溺愛されていた。欲しいものは何でも買ってもらえたし、本当によく遊んでくれて、いろんなところに連れていってくれた。

ある日、父は名古屋のバス停で私に握手をして「エエ子にしてたらおとうちゃん帰ってくる」と言った。母が泣いていたのを覚えている。「お母ちゃんを守らなあかんで」車掌さんがドアを閉めて父の姿は消えた。私が幼稚園の時には父はいなかったから幾つの時だろうか。

その後、たまに会う父は機嫌がいいと優しいが、気まぐれになってすぐに殴る人となった。幼い私は父が体をバルタン星人に乗っ取られたと思っていた。

父は神戸の長田にある自分の生家で先妻との間に生まれた二人の息子（つまり私の義兄）と、祖父母と暮らしていたのだ。

父は先妻が病死したあと、その悲しみに耐えられなくて失踪したらしい、下の義兄はまだ赤ん坊だった。腕のよい職人であった父は名古屋で偽名で働いた。まじめな働きぶりは回りから評価され、女性にもモテたらしい。そこに紹介する人がいて、母と見合いをした。

母はサナトリウム（療養所）に八年いて世

間知らずで面食い。それで結婚した。その時既に父の戸籍は抹消されていた、世間知らずの母がそれに気がつくのはずっとあと。おかげで私の出生届は一九六九年だ。ふっ……

話を戻すが、義兄たちは勉強も運動もできて器量までよかった。

何も知らずに長田に遊びに行ったとき、父を含めて父方の身内からは「母親が違うとこうも違う」とよく言われた。

小学校二年の時に母は弟を出産、父がたまに逢いに来たときに妊娠したらしいが。産後母の体調が悪くて、私は親戚に預けられ、たらい回しにされた。可愛げのない子。

そして父は私を長田の家に連れていった。泣いて嫌がったが父に殴られ顔が腫れて唇が切れた。長田で暮らしていた時期、私は小学校に通っていない。義兄たちが嫌がったからだ。私は本来存在していない子供だったし、世間体も悪かろう。

祖母は「お父ちゃんは戦争で苦労したのだから我が儘言ったらアカン」と言った。

トラブルメーカの私は長田から返品され母と弟と暮らした。穏やかな日々があった。

しばらくして父と母は一緒に暮らすことになった、私たちは名古屋から明石に転居した。義兄は明石に来なかった、父はそれを嘆いた。私のせいだと言った。許してくれなかった。

エヴァのシンジは父を求めている、褒められたがっている。やってられん、私も褒められたかった……そのために頑張った。

去年の五月に父は死んだ、悲しかった、望みは叶わない。

遺品を整理したときに出てきた父の若いころの写真、夫に似ている。あまりにも情けない。父と正反対の男性を選んだと信じていたのに。

「明智さん、旦那が私にエヴァを好きになって欲しがるネン、イヤやゆうてんのに私のパソコンにデータを入れとるんよ」

夫は純粋にエヴァが好きでたまらないようだが、息子と私はエヴァが嫌いだ。パソコンは夫に払い下げた。

あのドロドロした人間の感情、自信のない救いのない人格、自己修正能力が欠如している。登場人物は私に似ている。私は他人が私をどう見ているかいつも気にしている。他人とうまくやるのが苦手だ。私に居場所を与えてくれる友人は平凡な人ではない。

「明智さん私がエヴァに耐えられないのは近親憎悪だったのかなぁ」

「えっ、今頃気づいたの、知っていると思ってた」

気がつくのに一年かかっていた。

「登場人物に母親がおらへんねん、みんな。キショク悪いほど、出てくる母親は皆女やネン、男がおらんと生きてかれへんねん」

「加持リョウジってのがおって、メチャかっこええねん、ルックスばっちり、多分エリート。ネルフのある地下コロニーでこっそりスイカを育ててるんやけど、自分の信念を貫いて殺されるんや。女にメッセージを残して」

明智さんはエヴァを全話観てなくてカヲル君の話と最終の二話しか観ていない。私の偏見に満ちた視点を面白がっている気がする。

「加持は男の憧れやで、理想、多分。好きな女が道を歩いている、車が迫ってくる。あっあぶない！　どんっ！『あぁー、○○さん、どうしてこんなことを、貴方は私を嫌っていると思っていたのに』『ずっと君だけを見つめていた……こんなときに言うのは酷だが愛している。ウッガクッ』って感じ」

「人間にある心の隙間を埋めるのがテーマなんやろうか、でもクラークの『幼年期の終わり』みたくなるんやろうか人類が肉体を捨てて高貴な魂の存在へと脱皮・進化するやつ。それとも『伝説巨神イデオン』みたいになるんか、そんなら〝明るいイデオン〟でやってほしい。諸星大二郎のマンガで地球上全てが溶け合い意識を共有するのがあったっけ」

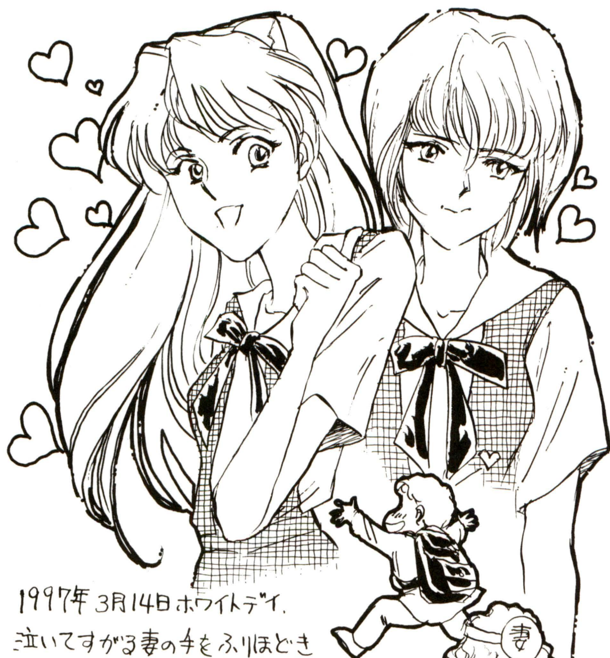
SF的な設定はパーペキ。

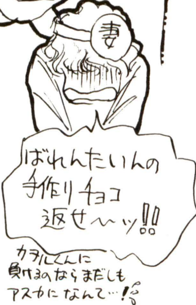
細かい小道具も素敵。

スンゴク面白い、余計に腹が立つ。

私、仕事で太平洋戦争時の帝都戦闘も調べ

ているから、あの防衛網も興味ある。
　登場人物の多くは、悲劇の聯合艦隊からのネーミング。
「日向は大正時代にちょっち花形、太平洋戦争時には着艦不可能な空母に改造されて、囮艦になったりして終戦間際に呉で撃沈されとるわ。青葉も呉で同時期にやられとる。葛城も一緒にやられたけど航行可能で戦後復員輸送艦になったのよ。赤城（赤木）は二代目がミッドウェーで大破して仲間の艦の魚雷で処分されとる。赤城一代目は貨物船に生まれ変わって二代目より長生きや、二代目が沈んでから十二年後に解体されとる。綾波かぁソロモン海戦で最後まで激闘して沈んでる、敵駆逐艦四隻道連れ。飛鳥と蒼竜は太平洋戦争開戦時に活躍したけど……後半は活躍せずに沈んだ」
「冬月は終戦時に門司にいてほとんど無傷だったけど五日後に機雷にふれて航行不能になったたって、二年後に船体を若松港の防波堤としたみたい。摩耶はレイテ海戦で敵潜水艦の魚雷直撃、四分で沈んでる」（参考文献　光人社「聯合艦隊軍艦銘々伝」片桐大自著）
　二月、連載記事の締切りに私は煮え詰まっていた。戦死者のご遺族の思いをいかに伝えるか、何度も書き直していた。
「あっこしゃん♡　あっこしゃん♡　これ観てよ、凄いよ。今回のポスター」
　夫に悪気はなく、気を紛らわせてくれるつもりだったのだろう。でもその瞬間私は切れた、暴走した。夫に叫びまくり、暴れた。そのエヴァビデオ付前売券に付いてきたポスターにはやりきれないメッセージがあったような気がする。私は一瞬観ただけだけど……ポスターに描かれた、救いがない、あまりにも辛い叫びをあげた主人公たちに吐き気がした。
「明智さんカヲル君だけやネン。まともに描かれているのは、自分の欲しいものを言えたのは、叶ったのは……救いは彼だけにあったんよ。私はイヤや」





イラスト／明智　抄

●断片的で長い追伸

しつこいけど、エヴァは面白かった。だからこんなにも腹が立った。萎えていた私の感性を蘇らせてくれたかもしれない。思春期に感受したものをここまで消化している庵野監督は天才だと思う。あの時代に青春を過ごした人は沢山いる、でも、良質のパロディという形で消化していく人が多いと思う。エヴァは完全なオリジナルとして評価されるべきだといえる。それをそうさせないのも監督の個性ではないか、監督の個性が前面に押し出されすぎている、登場人物なんかエヴァの一部でしかない。それはそれで魅力的だし、はまっている人を知っている。夫だ。彼は会社に私のビデオテープを持ち込んでエヴァ教信者を増やしている。

私は放映中、真剣に制作者の状態を心配したことがある。こんな考え方をしていたら私なら死んでしまうと訳のわからない思いに捕らわれた。登場人物の断片的な過去の描かれ方が辛かったしね。唯の視聴者、しかも平凡なおばさんに辛いと思わせるほどの情報量だったと勝手に評価しています。

ぶっちゃけると、私が放映中にまともに席を立たずに一話を観たのは、あの二十五・六話のみです。それまではちょっと観ては逃げていました。なぜこの二話だけを観ていたかというと。三月六日、私は人間関係に疲れて寝込んでいました。無言でボロボロと涙を流している私のために、娘と息子はお小遣いを持って近所の薬局へ「お母さんの元気になる薬ください」と買い物をした帰り道、急いだ娘は、わが家の団地の前の車道に飛び出したのです。よくある交通事故です。入院し、片足切断の危機におびえながらの手術をし、沢山の医療器具に繋がれた包帯だらけの五歳の娘、そのベッドの横でエヴァを観ていた訳です。私って最低、母親失格かも。最終回が終わって、ビデオでまともに全話を観たのは半年後です。

残念ながら庵野監督にはお会いしたことがないと思う。私は十八歳のとき新聞奨学金制度を利用して上京した。当時属していた関西系吾妻ひでおファンクラブも新聞配達と雑務に追われて幽霊会員化していた。三代目会長であった友人に確認してみたが、庵野氏はカッコいい人だったらしい。

カッコよくて才能に恵まれた人物が（うらやましいことに人材にまで恵まれているとカヤの外の私は思っている）時間と金に追われて作ったエヴァが大ヒットし評価を受けている。しかしまだ未完成である。未完の状態で受ける評価、怖いものがある。頑張ってください。

そして、ミサトさんではないけれど、エヴァに夢を観たのかもしれない。先人たちが固めた世界をブチ壊せる才能に。その自分勝手な期待が裏切られたと思わせる程の実力……。人間の描かれ方、ファンへのフォローのなさが大っきらいだけど尊敬します。

エヴァが嫌いな息子は妹苛めに使徒（ガチャポンやガレージキット）を使う。「浸食されるぞぉ、ほれほれっ」泣きわめく娘は面白いが夫のコレクションはボロボロだ。これらのキットは二匹のハムスターの玩具としても使えます。キラキラ光るカードは娘が保育園にばらまいていたし。

わが家は糞狭い団地。朝、目覚めると、昨日まで無かったレイのジグソーパズルの掛時計が壁にあったりする。私が原稿に煮詰まっていると、隣の部屋で夫と息子がエヴァ暴走時のBGMを赤ペラで歌う！　旦那の首を絞めて「アンタナンカ、アンタナンカシンデモカワリハイルノヨ」と言いたい。

深夜、サターンのエヴァで、アスカにモップでドツカレて喜んでいる私のダーリン……言ってあげよう、この私が愛を込めて、

「あんたバカァ」

最低じゃなくって、健全なことですよね。

Shimako Sato
佐藤嗣麻子

佐藤　「エヴァ」はね、2話と19話が大好きなの（笑）。エヴァが動いているとこが好きなの。ずっとそれを楽しみに全部を見たんだけど、この2話しか大活躍してくれなかった（涙）。エヴァの機体の中では裏切り者の参号機バルディエルが好き

（映画版でのシンジくんの××シーンについて）
佐藤　あれは前から知っていました。お友達の樋口真嗣さんがいろんな人に相談していたから。どうやって見せたらいいかって。飲み屋で大声で相談していて顰蹙かっていました（笑）。

（僕は最低、というシンジくんのセリフについて）
佐藤　最低じゃなくって、健全なことですよね。まぁ、若いですから（笑）。

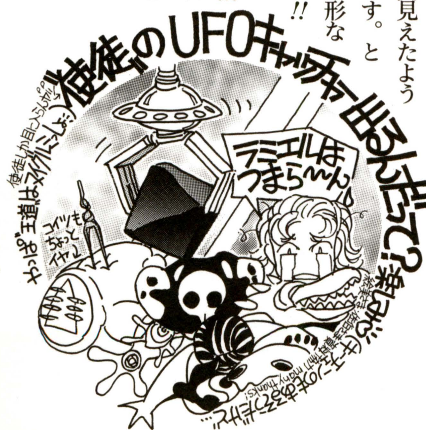
（エヴァの結末について）
佐藤　エヴァがいっぱい出てきて戦う。そして地球が滅びて、後にそれを〝火の七日間〟っていう様になるの（笑）。で、『風の谷のナウシカ』に受け継がれるわけ。実は巨神兵がエヴァなの。似てるでしょ？手が長いし（笑）。だから庵野さんが巨神兵が崩れていくシーンを担当したんですねぇ（笑）。そういう噂が一時期流行りました。

（カヲルくんの声について）
佐藤　カヲルくんの声って「ちびまる子ちゃん」の花輪くんじゃないの？　え？　違うの？（笑）

〝創作魂〟を揺さぶられる作品

Yoiko Haruno
ハルノ宵子

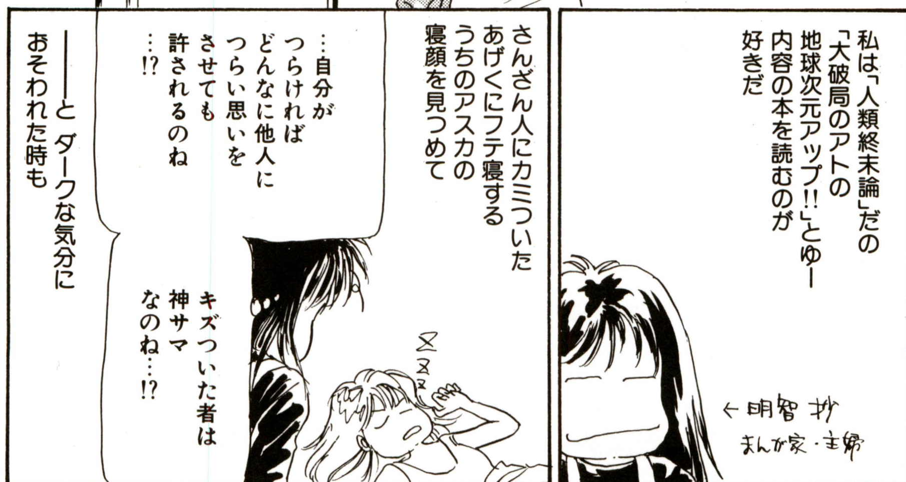
たぶん大方のファンの見方とは正反対だと思うのですが、ハルノはキャラクターの弱さ（人間的な〝弱さ〟じゃないよ）がネックとなって「エヴァ」にはハマりきれなかったのです。とにかく――設定も世界観もスゴイ！都市やメカ、小道具に至るまでのデザインがスゴイ！生活感やあの夏の暑い空気、雨の匂い、セミの声虫の声、身体に迫る皮膚感覚がスゴイ！攻撃されるジオフロントや夕空に沈黙するエヴァの怖くて美しい終末的なビジュアルもスゴイ！エヴァがコード引きずって空も飛べず、けっこーデクノボーなのもラヴリー♡と、そのすべてが並はずれていただけに、キャラクターのステレオタイプがどーも気になってしまいました。どんなに巧みに演出しても〝人間〟が〝紋切り型〟に…（だからむしろ苦悩せず、受入れるレイが一番人間的に思えました）でも逆にそこから、「これでもか！」のショッキングな心理描写にカモフラージュされた〝生身の人間〟は苦手という監督さんの本音が垣間見えたようで、興味深かったです。ともあれ「エヴァ」は形なんて〝いびつ〟でいい!!　とてつもないエネルギー値を内包した〝創作魂〟を揺さぶられる作品であることは確かです。



我が家の人類補完計画

明智（あけち） 抄（しょう）

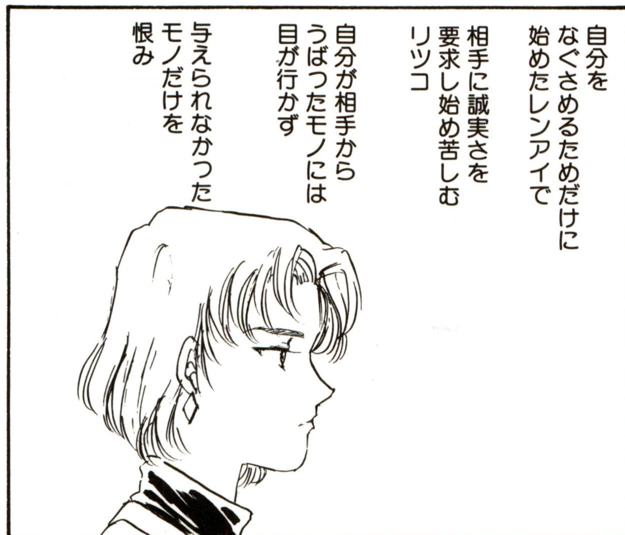





…もうじき
悪い宇宙人と
良い宇宙人が
地球の存亡を
かけて
闘いを始める
ってのに
私の悩みなんて
ちっぽけね…！
と たちなおる
とんでも

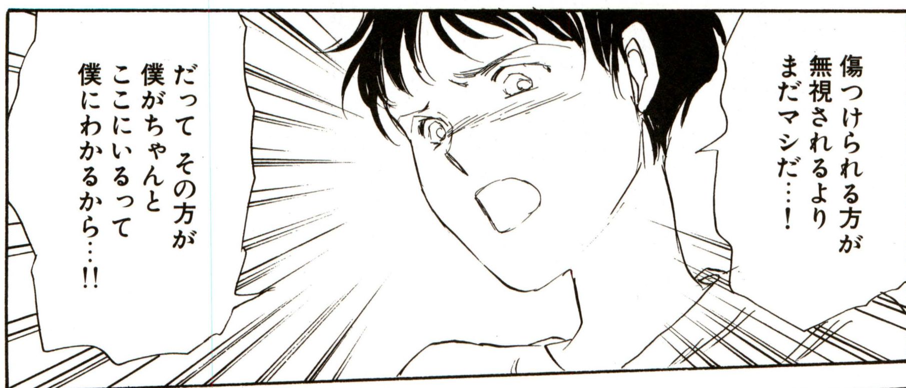

周囲をヘキエキさせる
まいあがった見苦しい
必死な明るさと
その後一人になって
「自分を演じる」疲れに
肩を落とす
うちの加持クンの
背中をみつめ


…終末さえ
訪れれば
もう誰も
演じなくて
いいわ
演じる余裕も
なくなって
あなたは
否応なく
あなた自身で
いられるから
…！

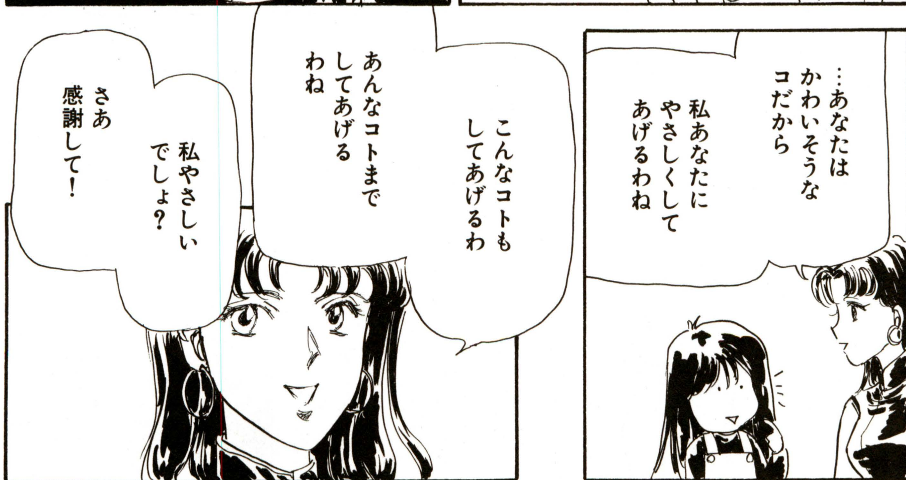

自分を
なぐさめるためだけに
始めたレンアイで
相手に誠実さを
要求し始め苦しむ
リツコ
自分が相手から
うばったモノには
目が行かず
与えられなかった
モノだけを
恨み


愛情餓鬼となって
スベテを破壊する
…何もかも
壊された
…でも
へーキ
だって今に
スベテの人類が
何もかも
失うんだもん


わかってほしくて
心を閉ざすシンジ
かまってほしくて
私の腕を
ふり払うシンジ
目をそらした相手に
腹を立て
自らを傷つけて
みせるシンジ


傷つけられる方が
無視されるより
まだマシだ…！
だって その方が
僕がちゃんと
ここにいるって
僕にわかるから…!!


びしゃっ
大丈夫よ
シンジくん
あなたの苦しみは
いやされるわ
…もうじき
地球が
次元アップ
すれば
あなたの霊性も
進化して
あなたは宇宙に
あまねく存在する
モノとなるのよ…!!
ASHI


…あなたは
かわいそうな
コだから
私あなたに
やさしくして
あげるわね
こんなコトも
してあげるわ
あんなコトまで
してあげる
わね
私やさしい
でしょ？
さあ
感謝して！

私がここまでしてあげてるから
あなたはとても幸せでしょ？


はい服
はいごはん
はい荷物
私が必要でしょ？
もしそうじゃないなら
そんなコは壊して捨ててしまうわ…！

――だって私あなたを幸せにできないと
私が壊れてしまうもの
あなた私を壊さないために
幸せになる義務があるのよ――!!


…どっかのヒミツ組織が――
おもい…暑い…
苦しいよお…


きっと もうじきマインドコントロール装置を始動させて
ミサトさんを何も考えられないカラダにしてくれる
あっ脱いだわね、私の好意を…っ!!
そしたらミサトさんはもう苦しまなくていいんだよね


…あーあホントに使徒でも襲ってきてくれたらいいのに


そしたら我が家のヒトも使徒との闘いに夢中になって私のことはほっといてくれるのに…
…はっ…!?


もしかして…我が家の使徒はこの私…!?
のびっ


私にのみ備わったATフィールドが私達の相互理解を阻んでいるのかしら…!?

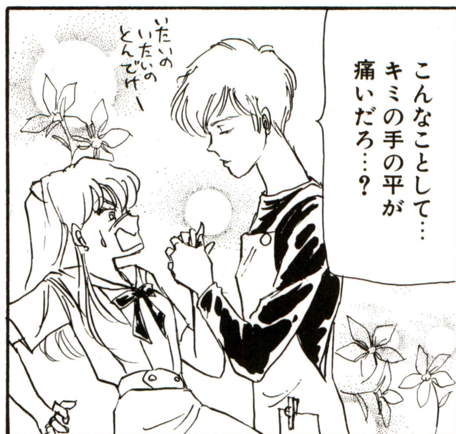

——となれば私は変態をなしとげヒトに無理矢理ATフィールド発生装置をとりつけるしかあるまい…!!


とゆーワケでヒト型になってみちゃった私です
…いやもともとヒト型だったけどさ…

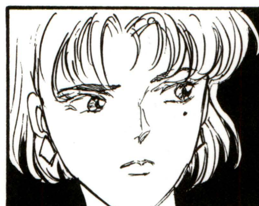

もう私は加持クンの疲れた背中をみても人類の終末は望みません
…ありがとう君のおかげで楽しいひとときだったよ

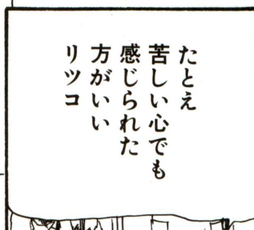

…でもホントはいいんだ
何も言わなくても
君さえここにいてくれたら
ボクはそれで楽しいんだ…


なによ───ッ
アスカに
右のほおを
ぶたれたら


こんなことして…
キミの手の平が
痛いだろ…？
いたいの
いたいの
とんでけー


…痛いだろ？


…何も
感じられない
よりは

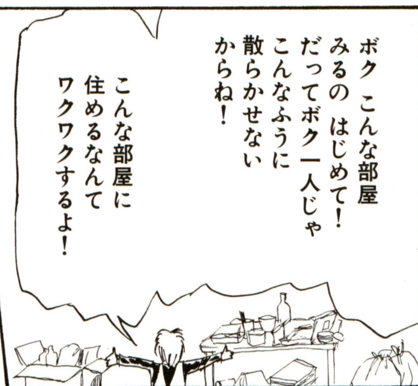

たとえ
苦しい心でも
感じられた
方がいい
リツコ


だから君は
自分を
いたわって
あげなきゃ
だって君は今
とても
傷ついて
いるんだから

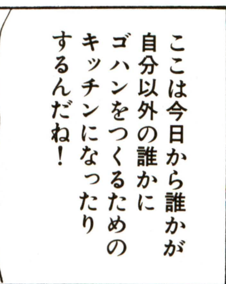

苦しんでる
ヒトは
いたわって
あげなきゃね

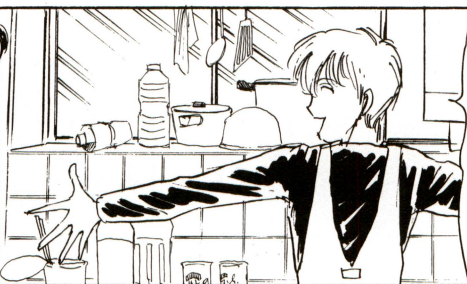

誰も許さなくて
いいからリツコ
自分のために
泣いてあげましょ
でも自分も誰も
責めるのはやめて
誰もあやして
くれなかった
君の中の
小さなリツコを
君が抱きしめて
あげるんだ


すごいや
ミサトさん!


ボク こんな部屋
みるの はじめて!
だってボク一人じゃ
こんなふうに
散らかせない
からね!
こんな部屋に
住めるなんて
ワクワクするよ!


………


ここは今日から誰かが
自分以外の誰かに
ゴハンをつくるための
キッチンになったり
するんだね!





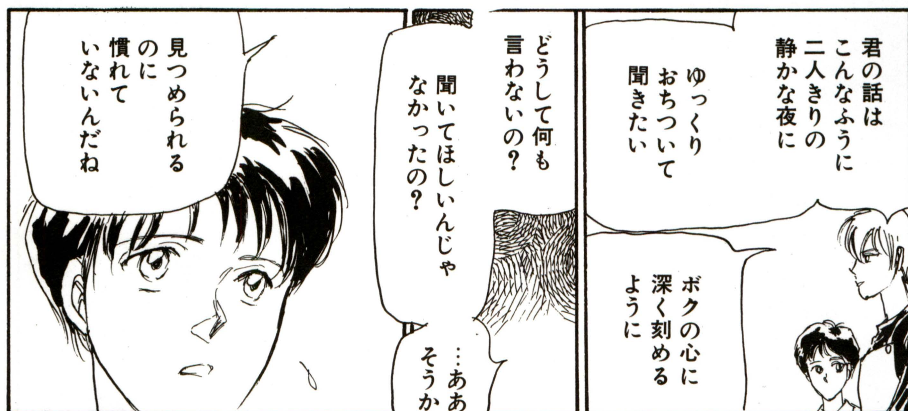

ボクは散らかった
部屋は好きだよ
だってそれ以上
散らかしても
あんまり気に
ならないし
何より
ちょっと片づけると
うんとキレイになって
すごく気持ち
いいから

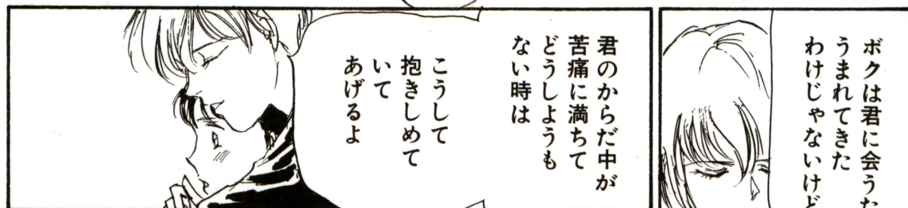

ミサトさんも
やってごらんよ
すごく
気持ちいいし


きっとこのアトの
ビールも うんと
おいしいよ!




…君の話が聞きたい


君の話はこんなふうに二人きりの静かな夜に
ゆっくりおちついて聞きたい
ボクの心に深く刻めるように
どうして何も言わないの？
聞いてほしいんじゃなかったの？
…ああそうか
見つめられるのに慣れていないいんだね


ボクは君に会うためにうまれてきたわけじゃないけど
君のからだ中が苦痛に満ちてどうしようもない時は
こうして抱きしめていてあげるよ


君のために強くなった
君がどんなに暴れても君の心の嵐が おさまるまでボクは腕をゆるめない
そのためにボクは強くなった

スベテのＡＴフィールドは
ヒトをはねつけるためでなく
愛するヒトを守るために
発生するのです

愛が私を
エヴァンゲリオン
初号機にかえた――



補完

なんなのこれ、日本のアニメ？って

マリス・ミゼル **mana** 談

リアルタイムで一回見たんですよ。テレビを何気なくつけてたら、偶然にもラストのシーンだったんです。あの回想シーン(24話冒頭)。見てたら、なんかこのアニメおかしいぞ、と思ったんですよ(笑)。普通のアニメでは考えられない撮り方というか、見せ方じゃないですか。首吊りするシーンの影があったり。なんなのこれ、日本のアニメ？　って思って。そのシーンだけ、すごく焼きついたんです。

その後で「エヴァンゲリオン」っていうのを知って、見たんですけど、その時には、なんかものすごくアニメっぽいな、と。え、これがあの？　と思って。でもあのシーンがどうしても見たかったので、レンタルビデオを借りたら、ビデオがそこまで出てなくて、そのシーンは結局見れなかったんですけど(笑)。全編がああいうノリだと思ってたんですよ。そしたら、場面によってはけっこうコミカルじゃないですか。でも、コミカルな裏に、残虐性とか悲劇とかがすごく隠されていて、そういうのにすごく惹かれていって。

今ものすごくはやり過ぎて、ちょっといやなんですけどね。

アニメが好きで、ガンダムとかもずーっと見てたんです。新しいシリーズの「ウイング」とかは見てないですけど。ガンダムはデザインも一般受けしそうな塗装とかしてるじゃないですか。おれはけっこうえぐいのが好きなんで、「ボトムズ」とか好きなんですよ（笑)。ああいう一般受けしそうにない、マニアックな路線のがすごく好きで。

エヴァ見たときに、初号機とか、紫に緑に黄色とか入ってて、なんか最近のNIKEとかのシューズみたいなデザインで、いやだなと思ったんですよ、最初は。でも内容を見てると、装甲板じゃなくて拘束具とか、エヴァ自身が人造人間だったりするじゃないですか。設定すごいぞ、とか思って。あとカメラ割りというか、見せ方が映画的で、これが日本のアニメか!?　と思って。いろいろ、いやな部分もありますけど、総合的に見るとすごいなと。

（ラストに関しては）あれはあれで新しい終わり方というか。ただの客として見てたら怒るかもしれないけど、どういう見せ方をしていこうっていう、作ってる側が、マリス・ミゼル、バンドと似てると思うんですよ。はっきりとはわからないんですけど、戦略があってああいうふうにしてるっていうか。こういうのもありかな、という。テレビの次に、春に映画になって、夏もやって…商業的なんですけど、まあバンドと同じだし。そういう見方をしてますけど。

（好きなキャラクターは）うーん…アダム（＝リリス)。あれが一番好きなの（笑)。デザインが好きで、あのガレージキット、絶対欲しいか、作りたいなって。

（人間のキャラでは）……見た目はアスカが好きなんですけど、性格がちょっといやなんですよ(笑)。妙に元気すぎるからいやなんですけど。あれでこう普通に、おとなしい、っていうんじゃないけど、だったらいいなと。顔のタイプです。単純に。健康的な女は基本的に好きじゃないんですけど、けっこうかわいいの好きなんですよ。



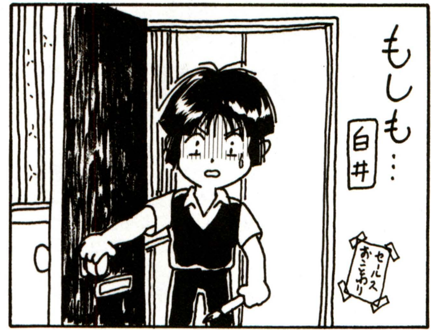
MALICE MIZER

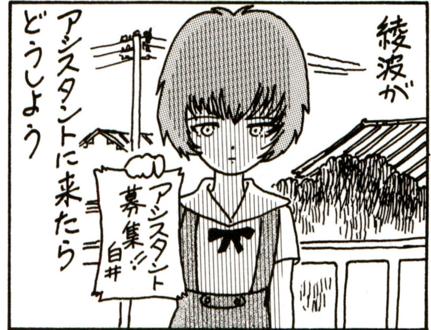
◀ご覧のとおりの華麗なビジュアルと音楽が話題を呼んでいるアーティスト集団。左からmana(g.)、yu〜ki(b.)Camui Gackt(vo.)、kami(dr.)、kōzi(g.)。7／19にメジャーデビューシングル「ヴェル・エール〜空白の瞬間の中で〜」(コロムビア／￥2039)が発売されます。（『Air／まごころを、君に』の初日でもありますね♡)



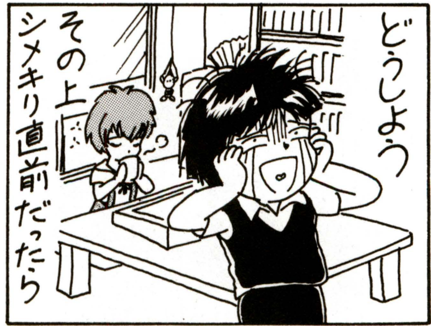
▶イベントの告知に配られたチラシ。「これを作ったのはほんの遊び心です」とmanaさんはおっしゃっていました

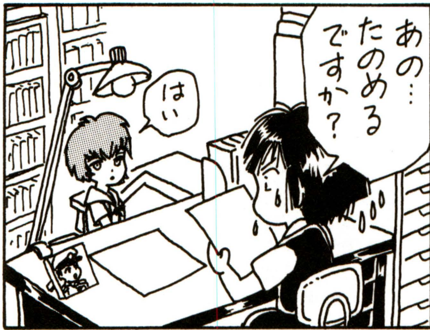
SHIRAI ERIKO 白井恵理子

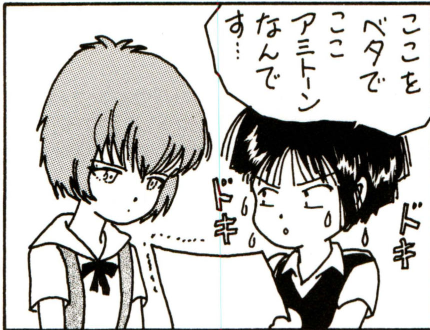








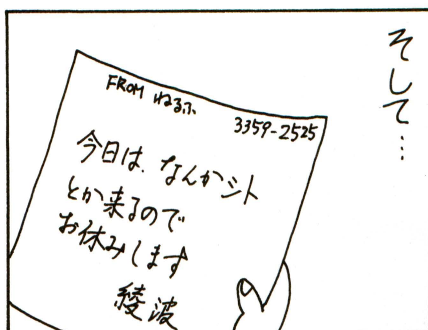


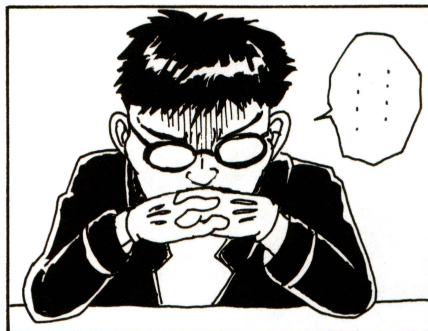






もしも…そして…だけど…


そして…
FROM ねるふ 3359-2525
今日は、なんかシトとか来るのでお休みします
綾波

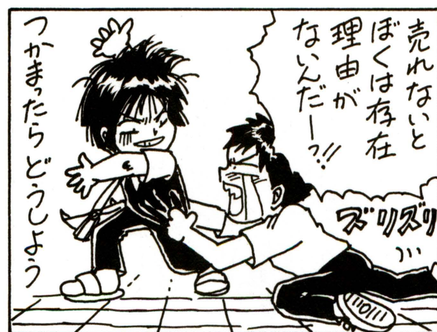

………


代理にゲンドウが来ちゃったら
………
どうしよう!!


しかも自分の同人誌を
ただひたすら書き始めちゃったらどうしよう!!
バリバリバリ
キャー


そんでもってコミケで売ったりしてさ。
レイ本 いちおく円
見本
レイの全て


おねがいです!! 買って下さい!!
父さんの本 買って下さい!!
売り子がシンジで
でも…一億円だろ


売れないとぼくは存在理由がないんだーっ!!
ズリズリ
つかまったらどうしよう


おまけにシンクロしてしまったら
ぼくはここにいちゃいけないんだあああ
やあああ
どうしよう!!



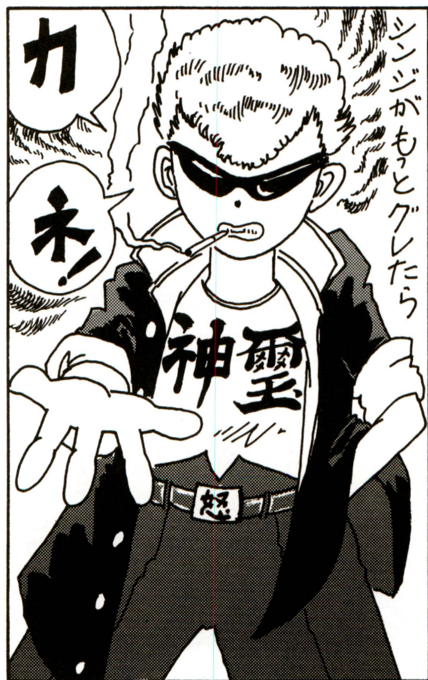
だけどある日急に
ああ!! 何をするんだ!! 夕食を
ゲンドウ!
ガシャーン



その上
おーうオヤジィ!!



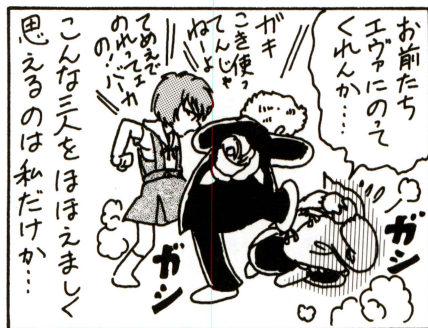
綾波がグレたら
肉はキライだってってんだろこのクソジジイ!!
でっでも少しは食べないと…
ゲンドウのアタマ



シンジがもっとグレたら
いい子だったのでセンスが古い
カ
ネ!

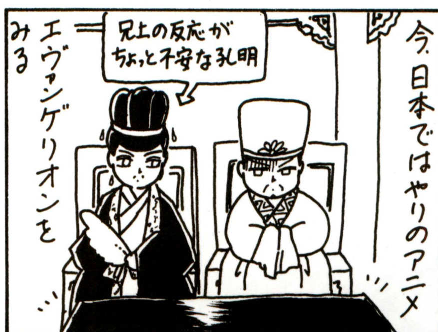


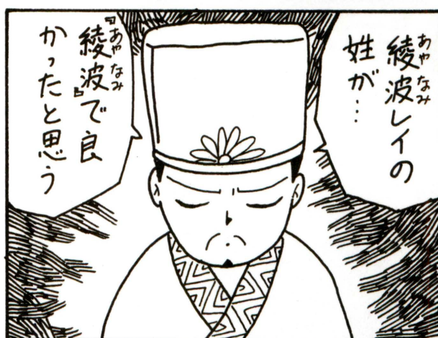
口答えすんじゃねェよ!! 使えねェ男!!
パン パン
パン
ちょっとスッキリするような気がする。



お前たちエヴァにのってくれんか….
ガキこき使ってんじゃねーよ
てめえでのれってェの!バーカ
ガシ
ガシ
こんな三人をほほえましく思えるのは私だけか…

NAMAE SOREWA MOERU INOCHI

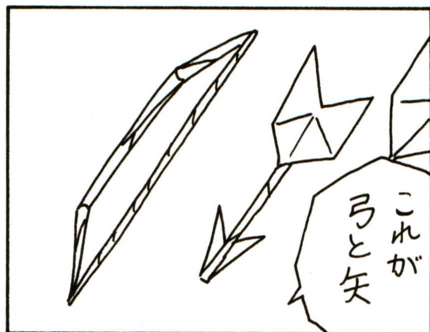


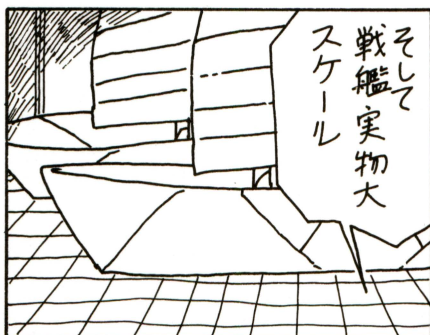




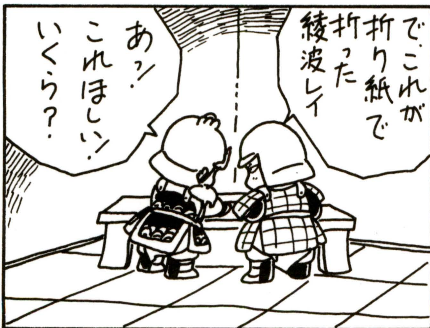


ORIGAMI ART











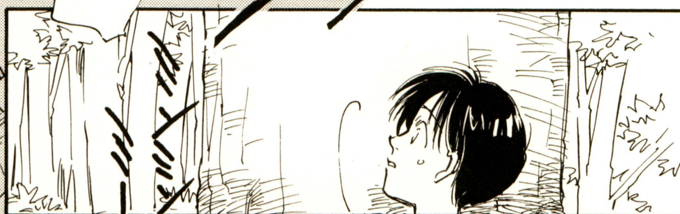
force

蛹

野火ノビタ





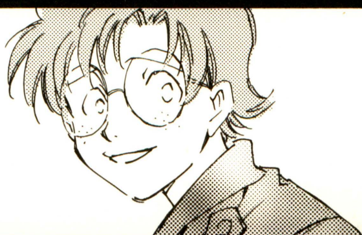


ああ…

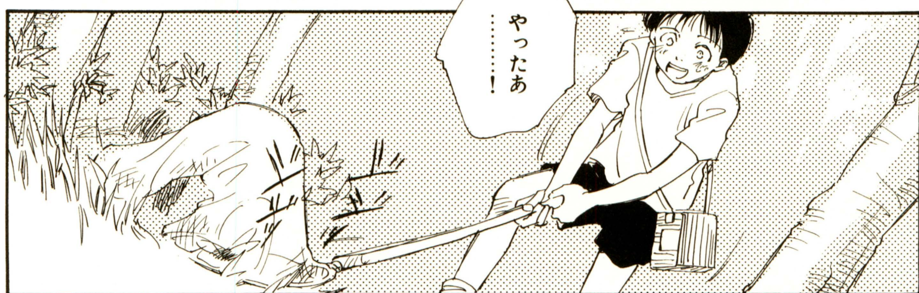
セミか…

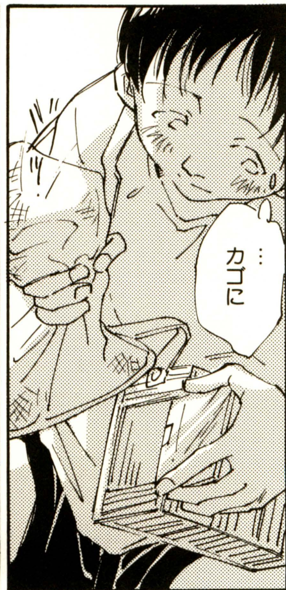
蛹（さなぎ）

野火ノビタ
NOBI NOBITA

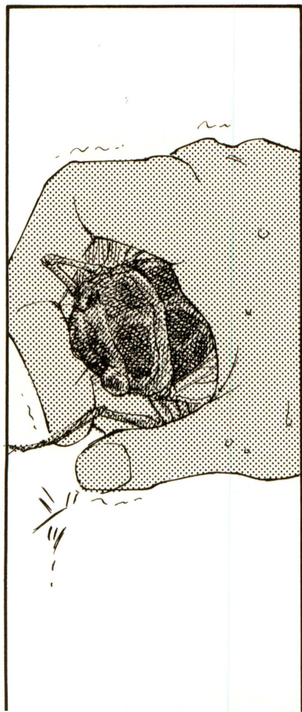

夜はいいよな
あのうるさいセミが鳴かないから
小さい頃は静かでよかったけど――
……小さい頃は――…
終らない夏は続いてた――でも
あーあ…
ザッ
せっかく…みつけたのに
今度こそ！
ガサ


セミはまだ
珍しかつたんだ……
つかまえたっ!!


やったあ……!


…カゴに

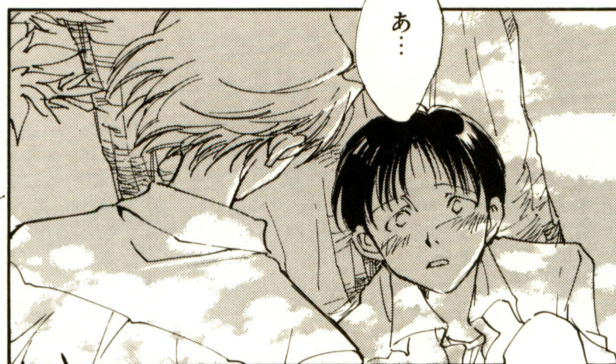

そーっと…

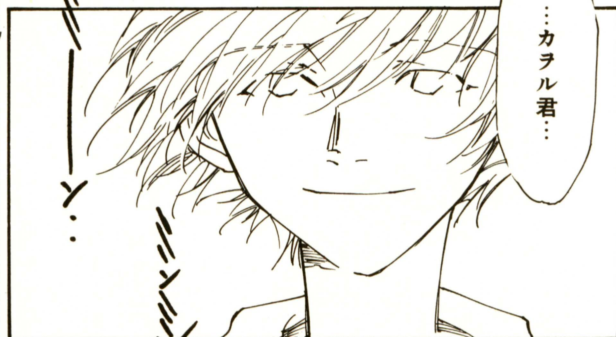


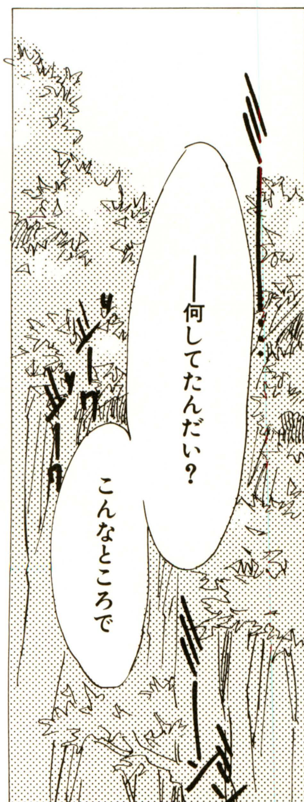
わ
わぁっ…



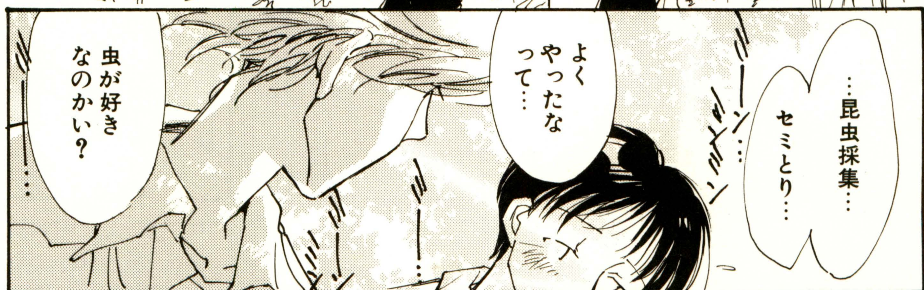



あ…


…カヲル君…


—何してたんだい？
こんなところで


ちょっと…
考えごと…
何を？
…小さいころの
ことをとか…


…昆虫採集…
セミとり…
よく
やったな
って…
虫が好き
なのかい？


……
ううん
……
……
珍しかった
だけなんだと
思う


昔は…
こんなにセミ
いなかったし……

……今は！

うるさいくらいだよね

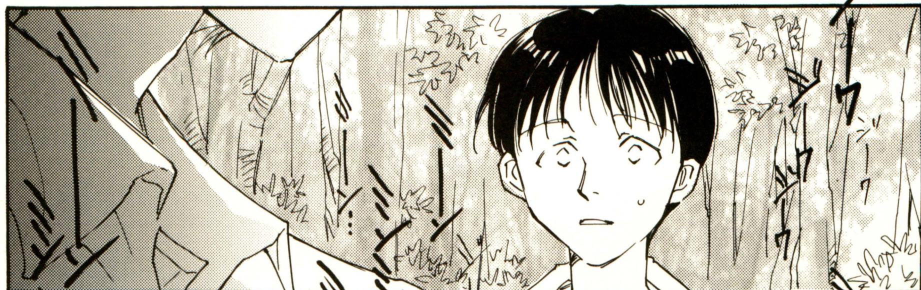
……セミは七年
土の中にいるんだよ

七年目の夏に
やっと地上に出て
羽化するんだ

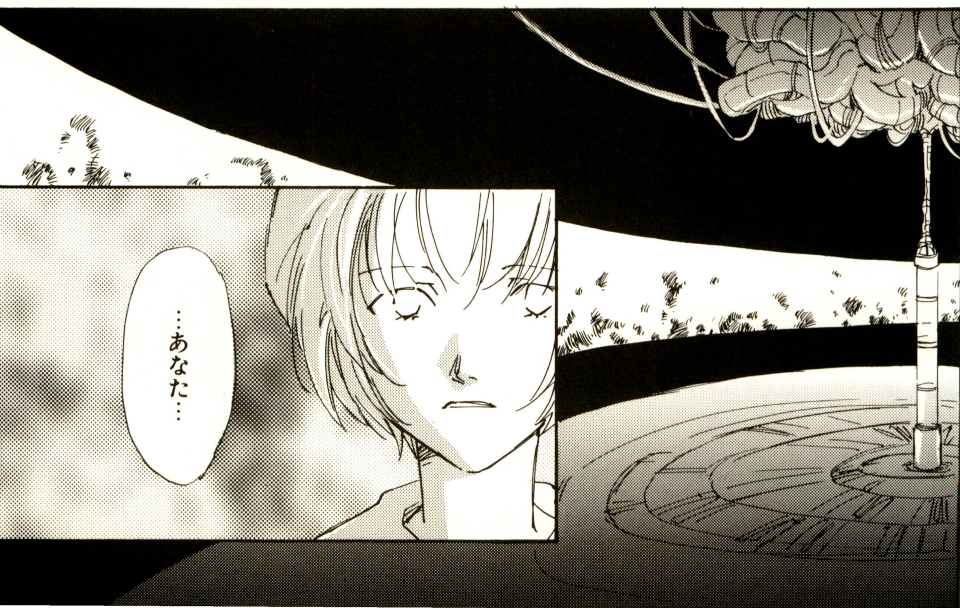
ああ
知って――

―？





ジーワ
ミーンン…
ツクツクツクツク…
ジー…


…あなた…

…やあ

キミは何年

このなかにいたの？

パターン青！

間違いありません!!

使徒です!!

ウソだ！

ウソだ！

ウソだ！

カヲル君が…っ

彼が使徒だったなんて

そんなのウソだ!!

事実よ

ぼくは14年

裏切ったな！

ぼくの気持ちを裏切ったな！

カヲル君！

やめてよ！



どうしてだよ!!

ぼくも
3人目だと
思うから

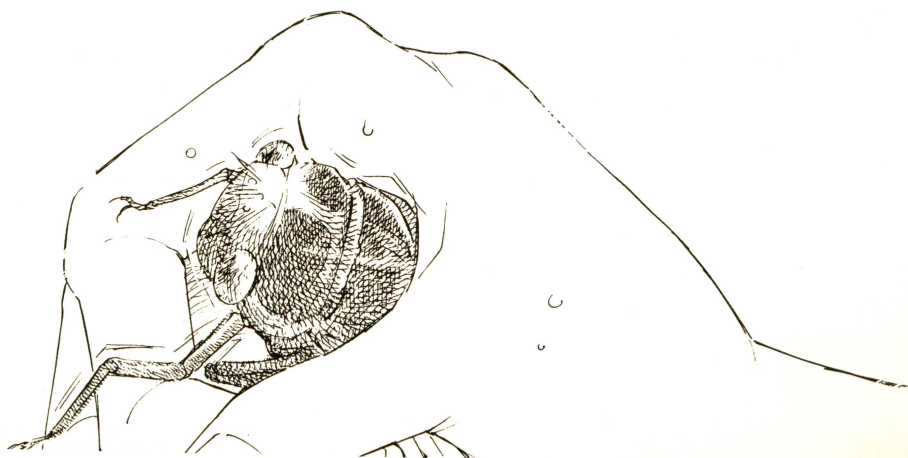
LOST

目標
ロスト!

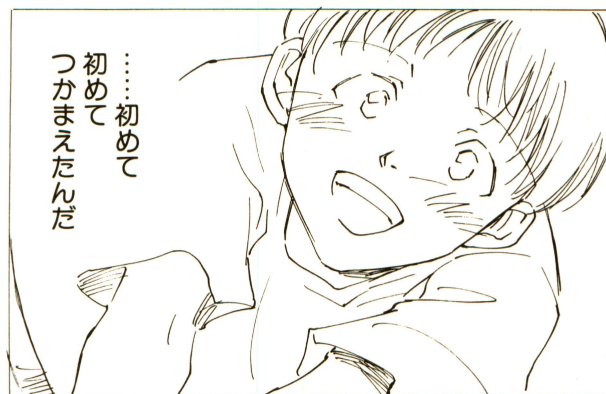
カヲル君!!

手の中で

あんまり鳴くから　こわかつた

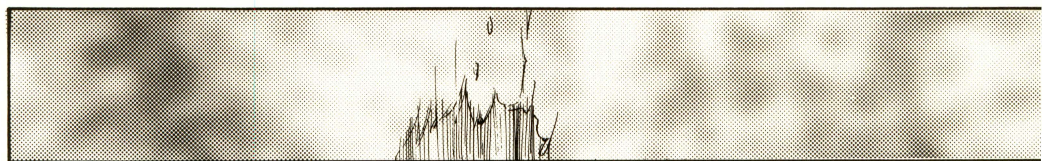


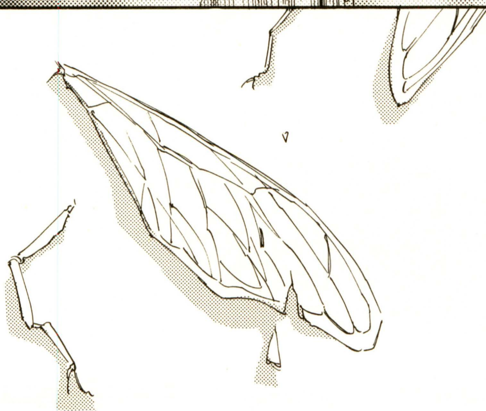


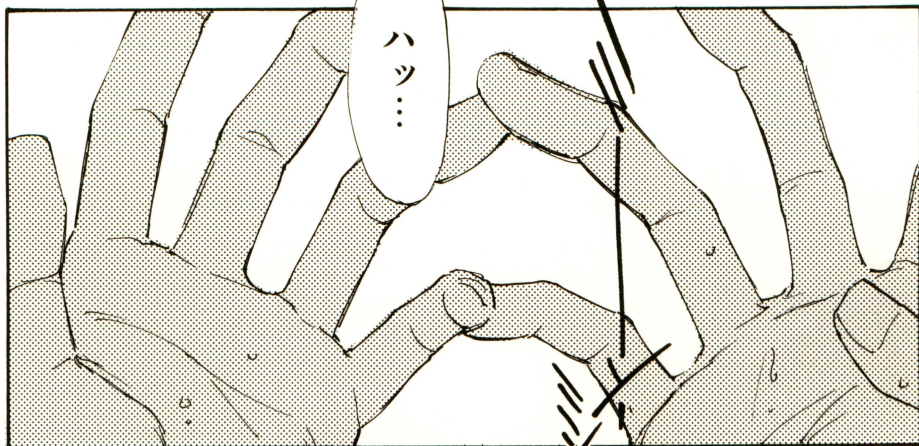


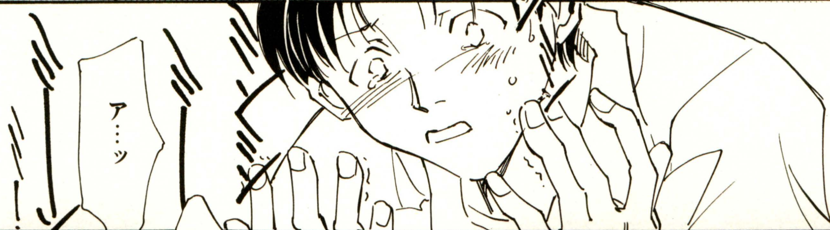


逃がしたく
なかったんだ









あぁ　あぁ…

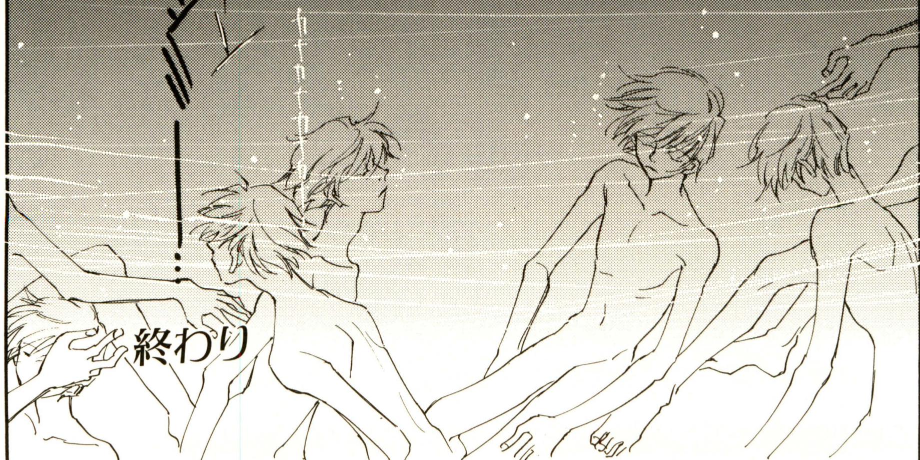
——足のしたに
ぼくは踏んで生きている

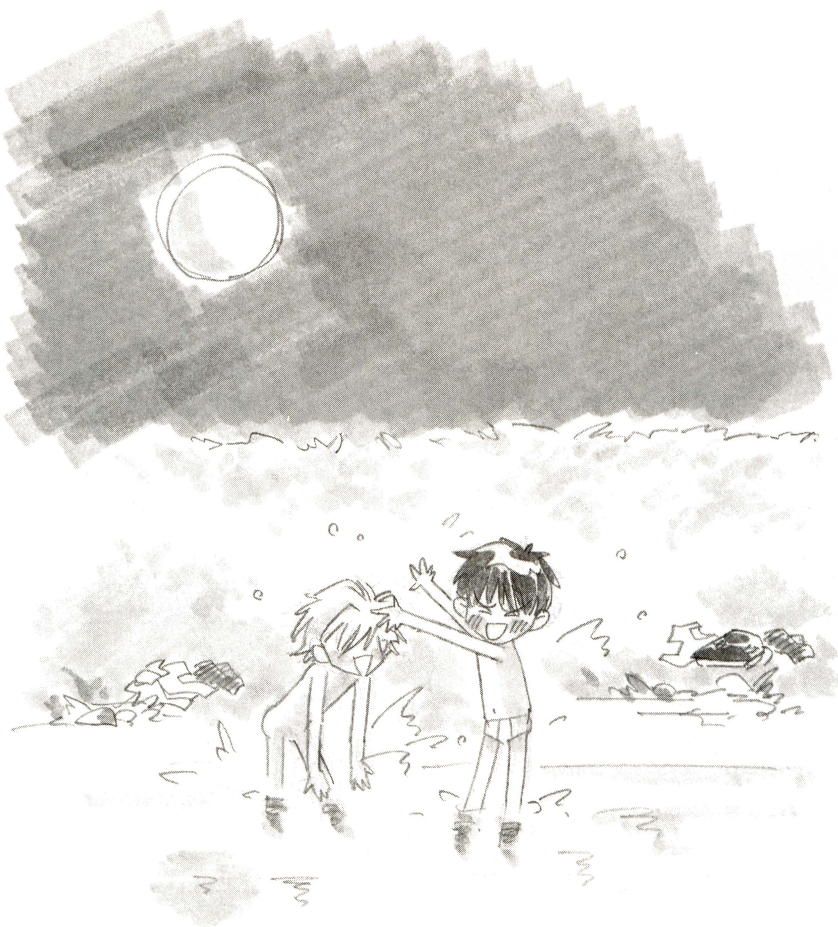


明日来る夏
明後日来る夏

一年後の夏
二年後の夏
…七年後の夏を待っている

何千何万の蟬の蛹———

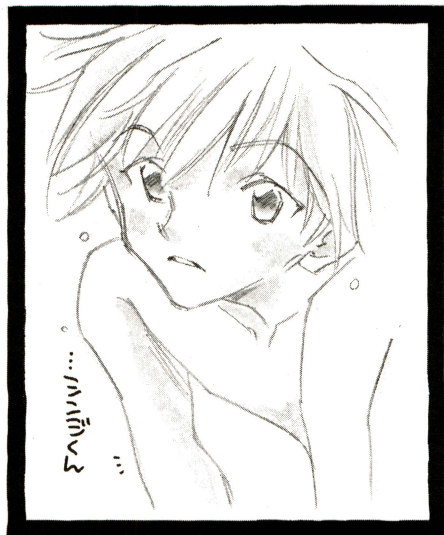


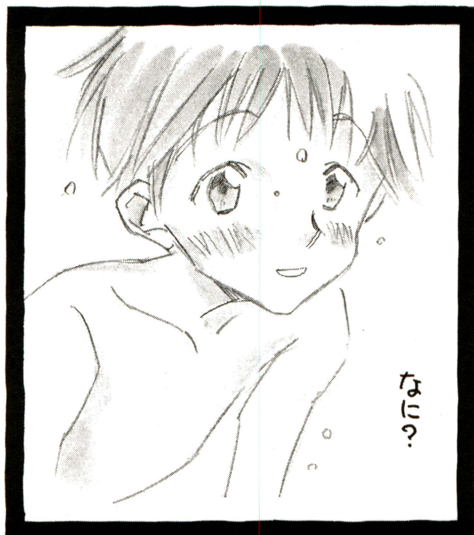


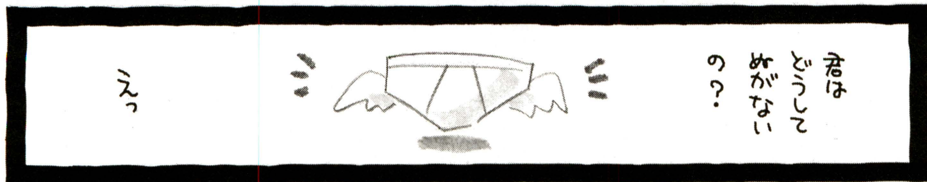
夜、川で遊ぶ

白泉　らら
LaLa Shiraizumi

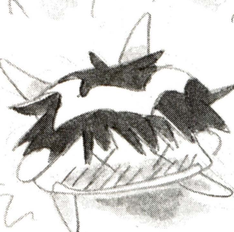

わーい
わーい
ジャ
ジャ

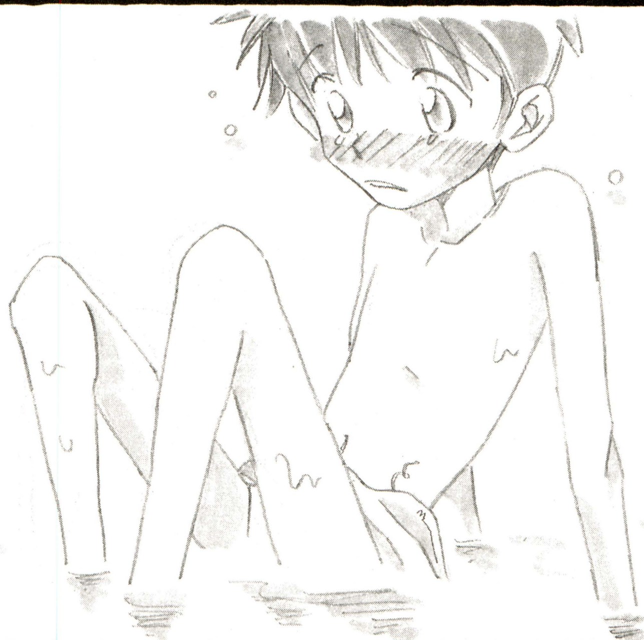

…シンジくん…


なに?


君はどうしてぬがないの?
えっ

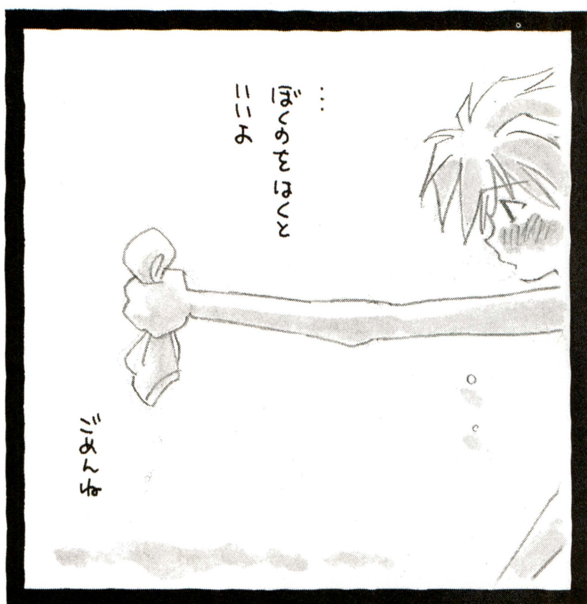
おめぎょ
ぎゃあ
ぎゃあ
こっこれはいいよ!!
ぎゅう
ぎゅう
パッチーン!!


あ…

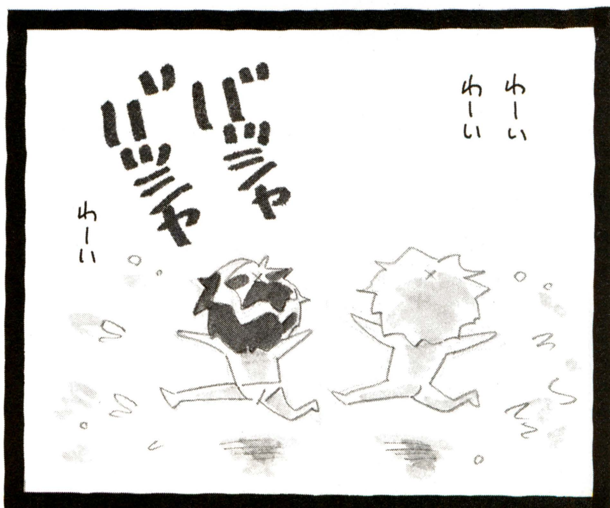



ゴムがきれちゃった
もうはいて
帰れないよ


…ぼくのをはくといいよ
ごめんね




……
ありがとう…


わーい
わーい
バッシャ
バッシャ
わーい


シンジくん
…なに?


人間って
たのしいね

↓しんじのこと。

チェリー

BY 高群 保
たかむれ たもつ

シンジ君♡

えっ

何？カヲル君

ポッ。

なぜ赤くなる おまえ…

~~僕のためにウェディングドレスを着てくれないか!?~~♡

もといっ

この服を着てくれないかーい!?

ガバーっわぁ

ゴッ！

似合う！似合うよっシンジ君っっ
いやハイジっ！
カ…カヲル君
やだよう こんなカッコ はずかしい…
声でない
プルプル
思った通りキュートなハイジだよっ♡
B型だもんね…カヲル（多分）

わたしにもわからん…。
うるせぇよカヲル…
君はアルプスの山の中でお祖父さんと2人で暮らす可憐な少女ハイジ…
おじいさーん
リズジ〜
なぜかガツさん
でもイケズなおばさんに騙（だま）されて借金のカタにフランクフルトに売りとばされるんだ。
——そして
その君を買ったのはこの僕さーっっ!!
Get You!（ゲッチュー）
キャッ♡
言ってる事がわかんないよぉ!!
ギャ〜
日本語しゃべって〜

そんな話じゃなかったって!

ちがうでしょっ!

ドス!!

だってね

ぺ

ハイジの相手
は

ク・ラ・ラ♬
だもん

KISS♡

じゃあ順番はじゃんけんねっ

オッケイ!!

る——

——しかし
どちらにしろ
ハイジは受だった。

·END·

「…カヲル君…!」

「シンジ君ー!」

エヴァン
最終回に
よせて…
なぐり描き
マンガ
圀



地球幼年期の終わり…

「それを取り去り心を開いた時初めて人類は肉体という檻から解放されるんだよ」

BGMは第九よ♪

「でもでも僕はずかしいよこんなかっこ…」

イヤイヤ

「はずかしがる事はないよ」

「これが僕たちのありのままの姿なんだから。」

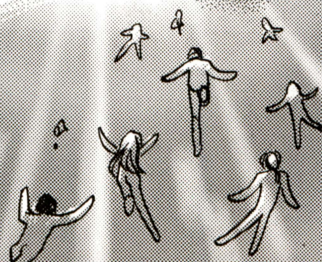
美しい僕たちを世界中に見せてやろう。

なんちゃって

「カヲル君…」



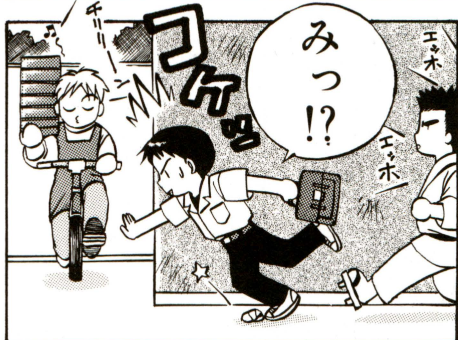
じ〜ん…
「ああ 何だろう… この幸福感は」
やってるからじゃないのか…
「アヤナミ」
「ミサトさん」
「カジさん」
「アスカ」
「トウジ」
「父さん…」
「みんなー」
「ああ…!」


ー今 人類の
新世紀が 始まるー

ーあんな終わり方もヤだったけど
こんな終わり方も
絶対ヤだっ!!
なぜアニメの キャラって空を飛ぶの…… それもハダカで……
おのれらサンライズパターン。

笑顔の行方

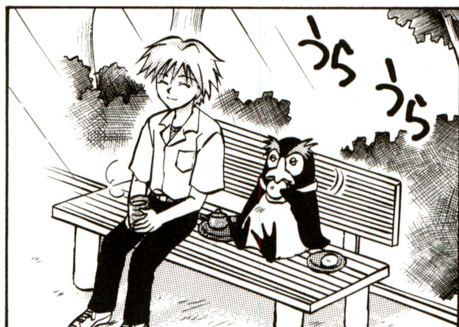


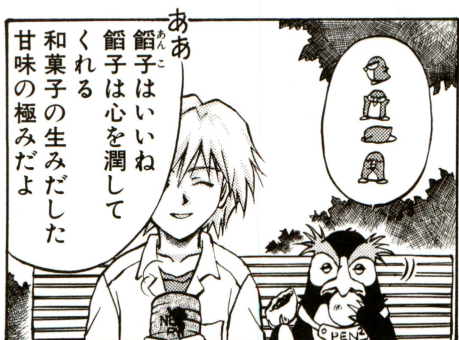






おかしなふたり



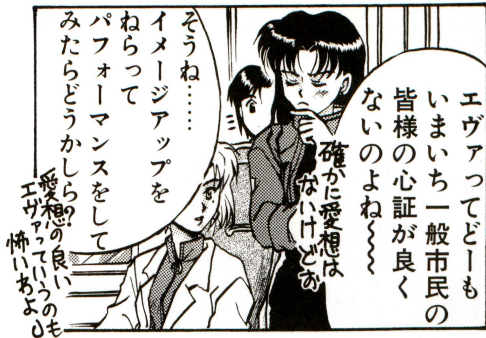


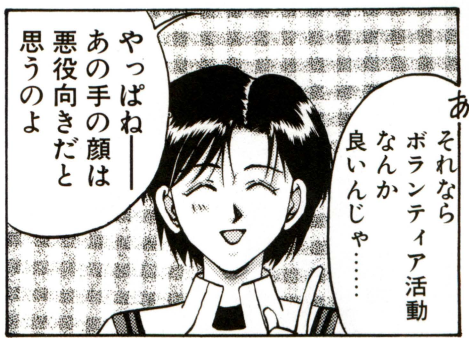




日下皓（くさか しろい）

イメージアップ大作戦①

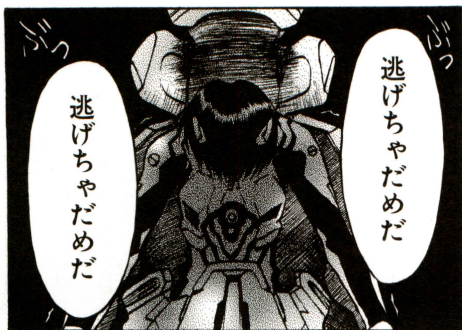








イメージアップ大作戦②

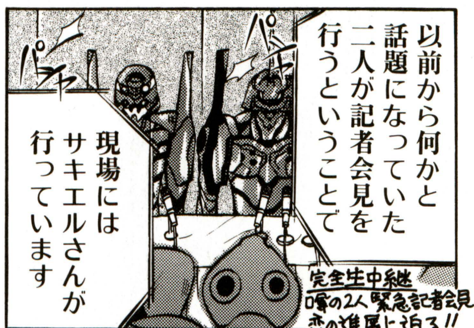






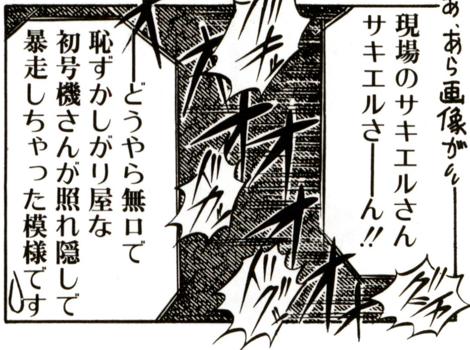


熱愛発覚

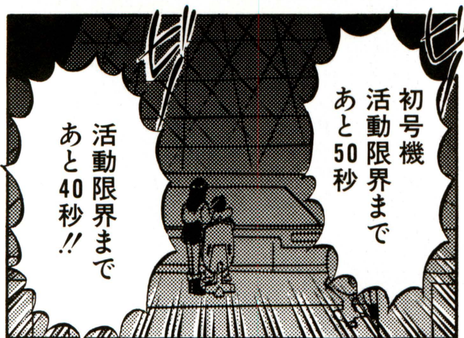




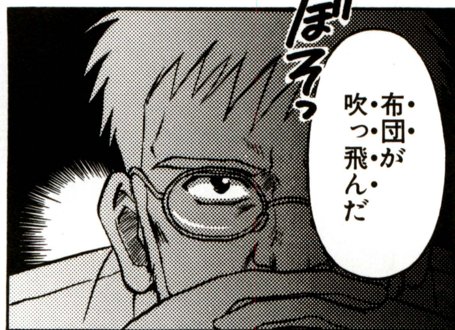


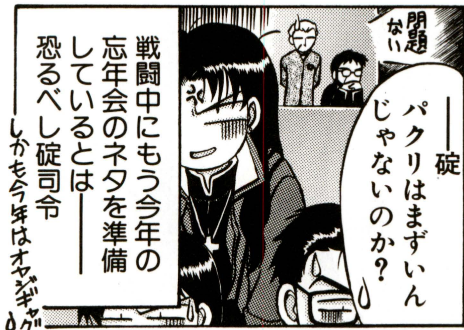


ネルフ大爆笑2015









ROTAE MUNDI

冬凪れく




渚ってェ
今日転校すんだってさ
なんか
急じゃない？
行き先
第3新東京だってよ
おかしくねェ？
でもあいつ
うれしそーじゃねぇ？


うれしいんじゃ
ないのォ？
第一俺嬉しいもん
あいつってなんか
怖えしよ
「にっこり笑って
人殺す」ってか？
そーそー
そーゆータイプ


やあ

ROTAE MUNDI

ロタエ・ムンディ

—世界輪—

冬凪れく

REKU FUYUNAGI

第3新東京市に
行ってもらおう
お前の
生まれてきた
意味はこれからに
ある
人形ではあるが
人ではない
カヲル
世界の維持には
お前が必要だ


……
わかってるよ
——車輪はまわる
廻りつづける
僕は僕の自由意志で未来を決める

車輪を形づくるのは
神に命じられた
ウロボロスの蛇

その為に
僕をつくったんでしょう?

自分の口で
尾を挟み
永遠を形
づくつている

私ヘビ
キライなのよ

ヒトガタではあるが
人間(ヒト)ではない

蛇は自分の尾に
むせながら考える
この尾を吐くことは
できないだろうか

初めてその事を聞かされたのは
まだ十かそこらだつた

永遠にまわるハズの
輪をとぎれさせることは
できないだろうか？



ものの道理もわきまえ
ない子供には
酷すぎる事実だったが

苦しい

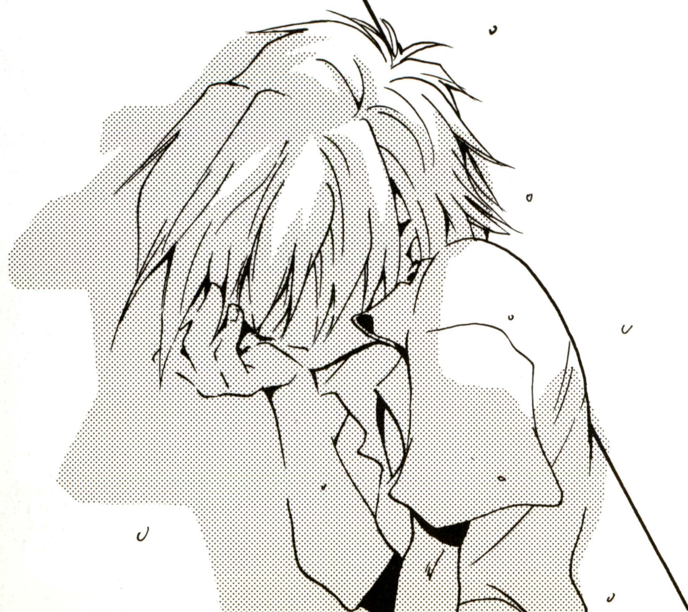
彼ら・・は僕を
人としては見てない
のだから仕方ない

全てが

うそだった

ANGEL
察日誌

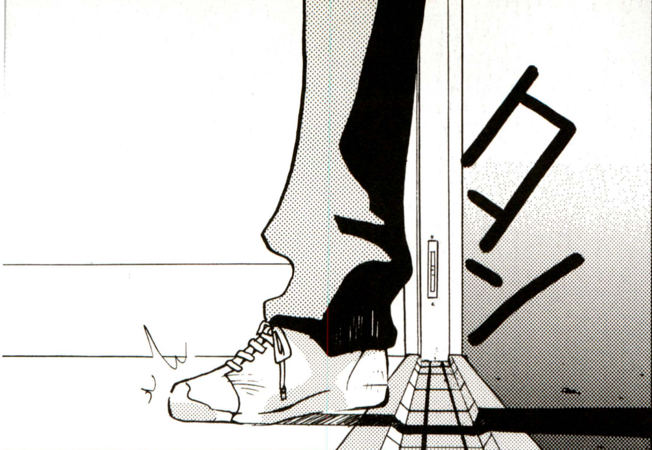
蛇はのろのろと
神への復讐を
考える




ごめん

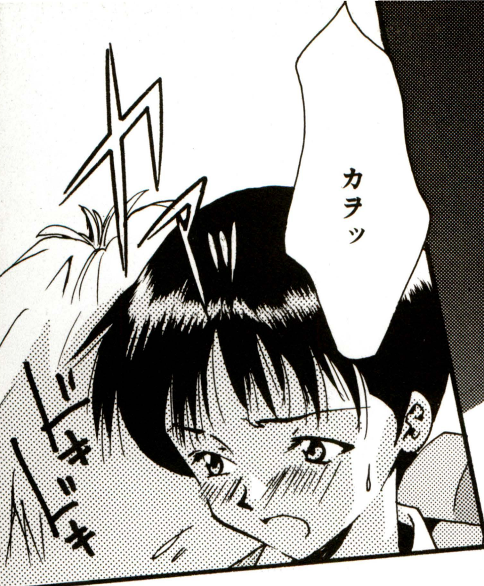
何が？
家に帰りたくないなんていって…
その
第3新東京市に来て初めての日で疲れてるのに
疲れる？どうして
僕は嬉しくてたまらないのに
きょと
うれしい？
カシッ
どうぞ





ドン

!

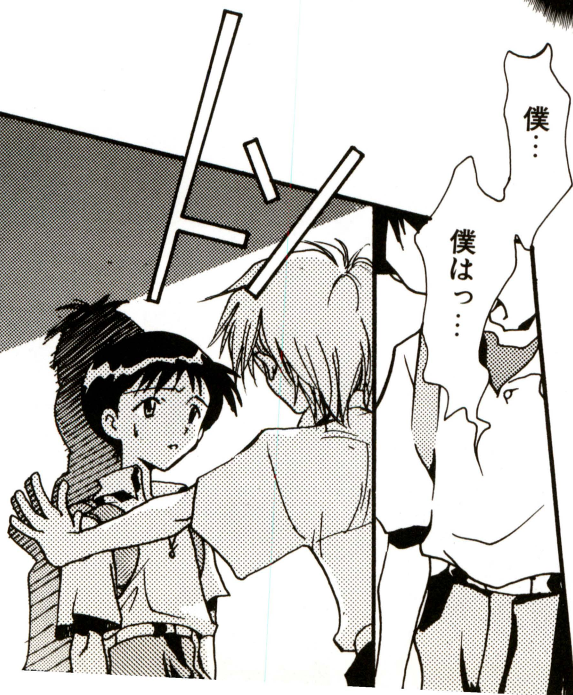

カァッ
ドキドキ
カヲッ
何をそんなに
こわがるんだい？
細心の注意を
はらって
人との接触を
さけて…
ドクン
ドクン
ドキン
「ひとり」から「ふたり」に
なることを
望んだことは
ないのかい？

ドクン

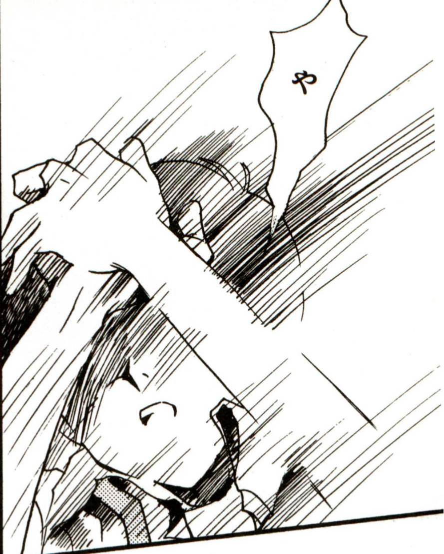
ハッ

何ヲのぞむの？

淋しいんだ
淋しいから！




「ふたり」にはなりたくない?
僕と







2人なら
淋しくない

がくがく

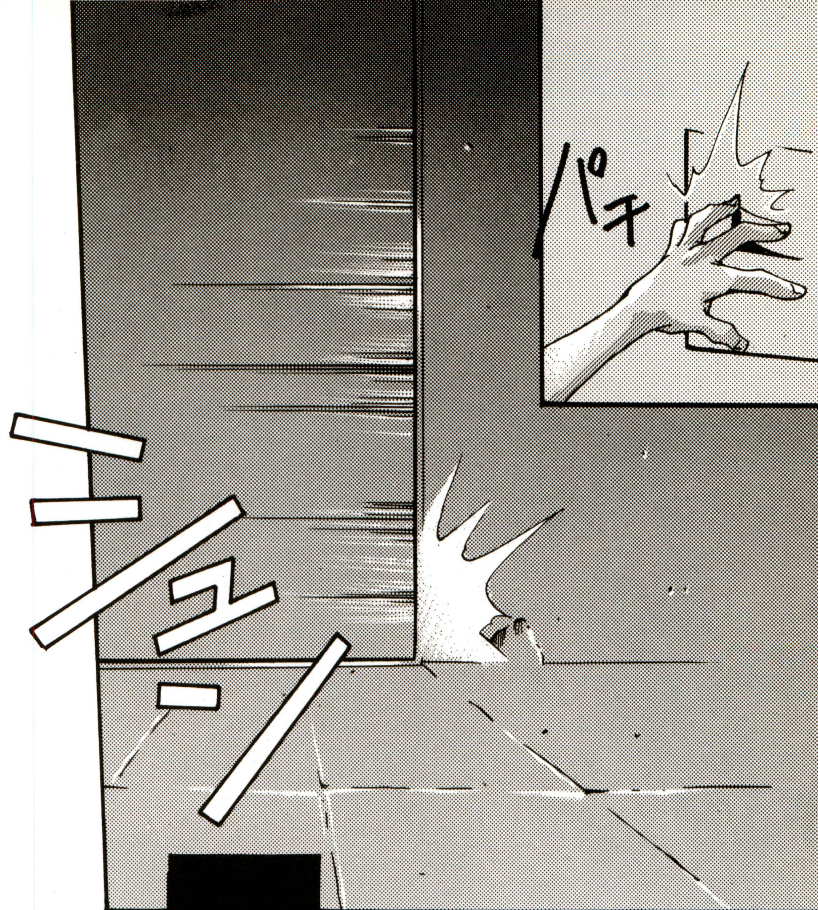
カヲルくん

ボクハ キミヲワナニカケル

僕が嬉しいのは君に逢えたから

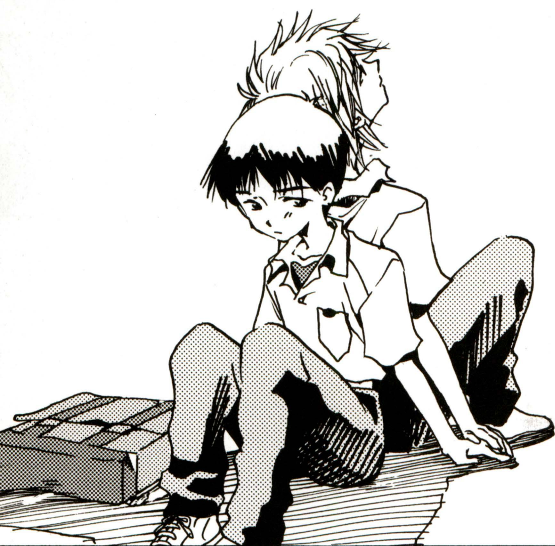


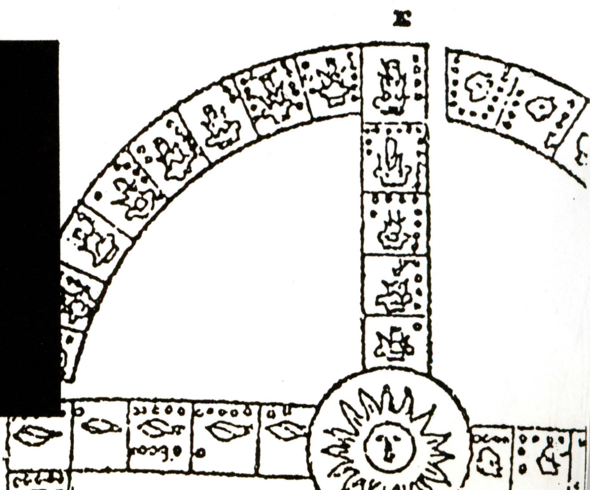
君の淋しさに溶けてしまえる僕にはそれができる



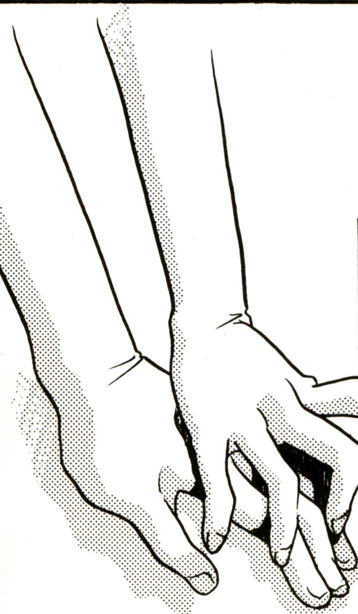
ツカマエタ!

僕は右手で
君が好きといいながら
左手で残酷な選択を
望む

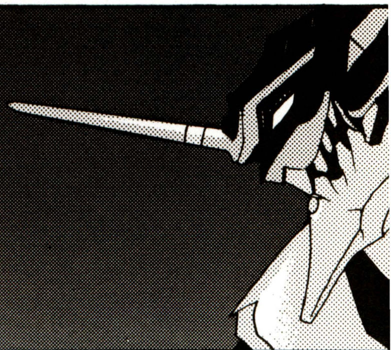




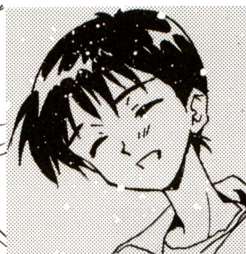
君をワナにかけて
創造主に
復讐をする



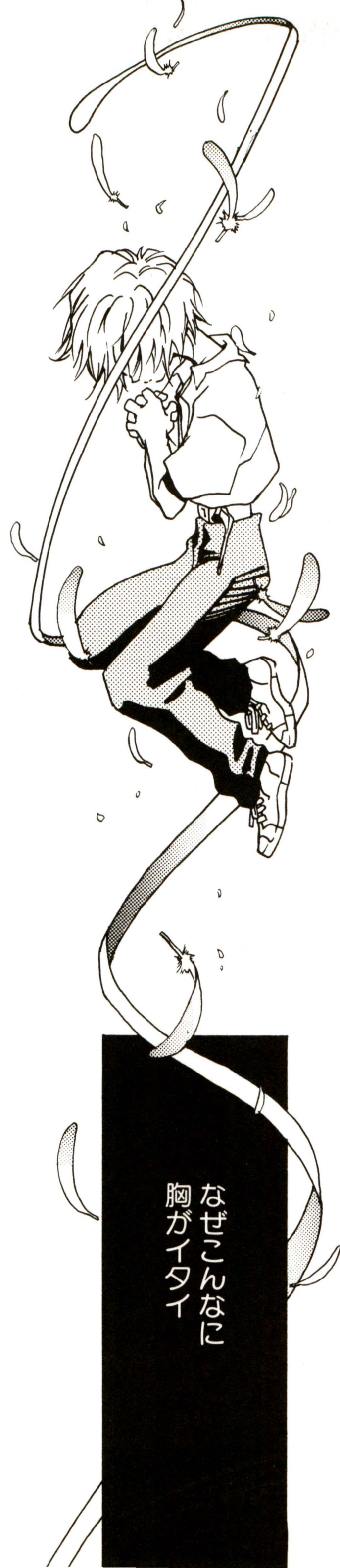
この日を待ち望んで
きたはずなのに。

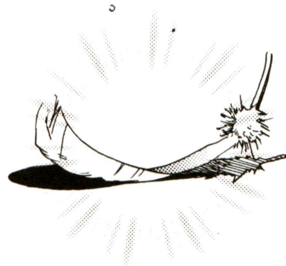






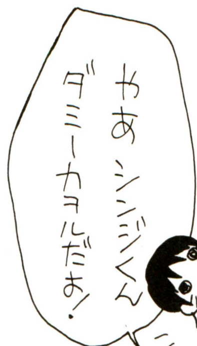



なぜこんなに
胸がイタイ



そして　ウロボロスは
尾を吐きだす

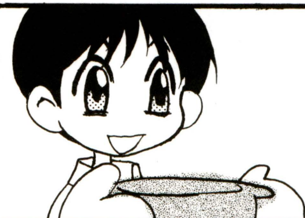
おわり



残酷なべ天使のおてまえ

副題ー地獄とは此処のことか

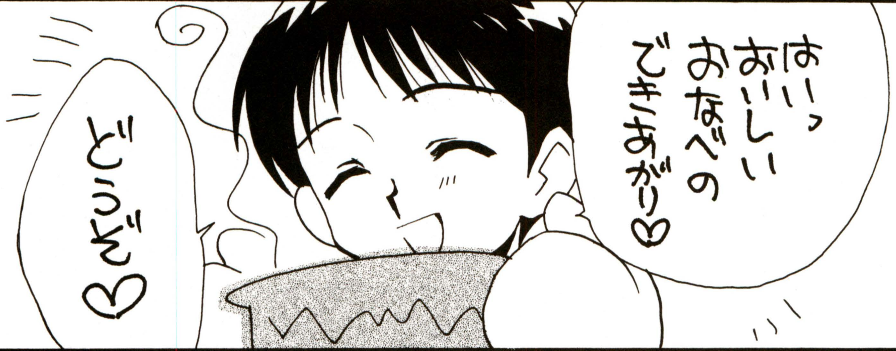
冬凪れく

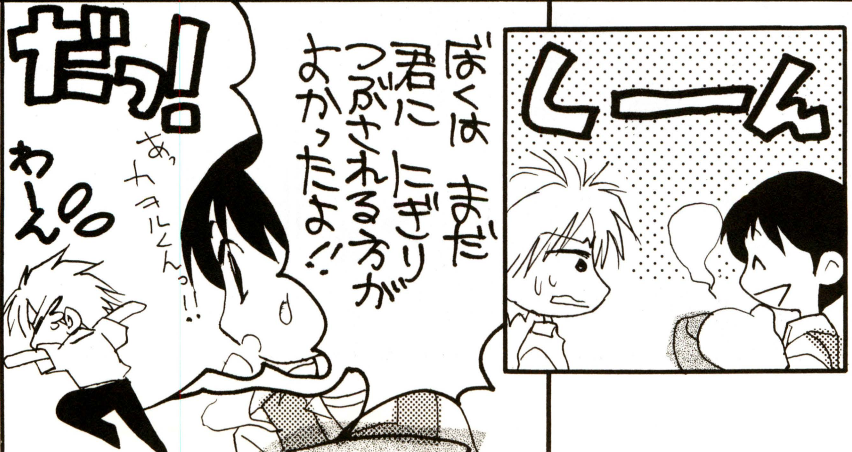






どじょーを入れてぐつぐつ煮るの！
おもしろいでしょ 新種のどじょうなんだヨ
ざばざばっ
ってキミ それはEVAの9号機〜15号機なのではっ
わーっ
そーすると、熱くて苦しんだどじょうがとうふの中に逃げるんだけど、そのまま煮られちゃうのさー！
ひゃー
ひー
きゃーっ
ぐつぐつ



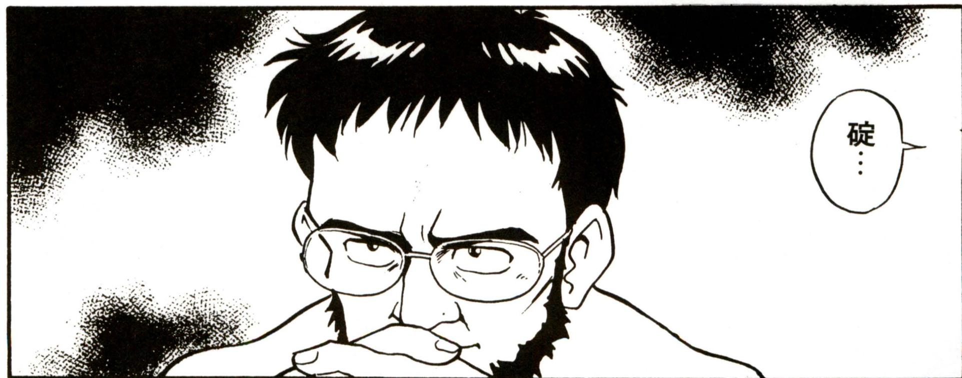


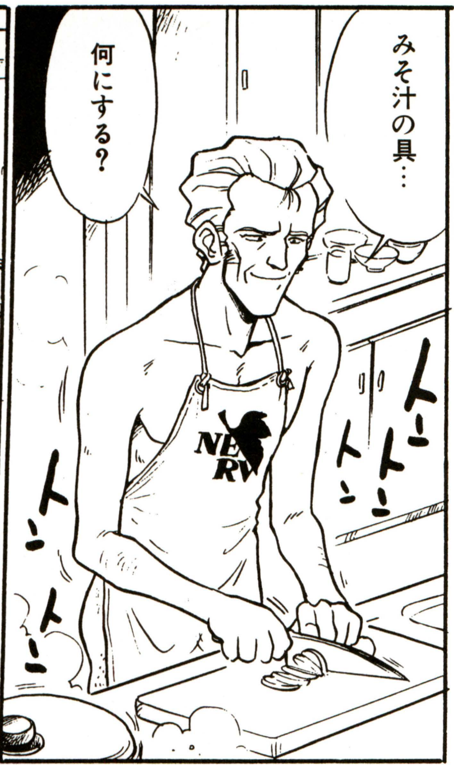


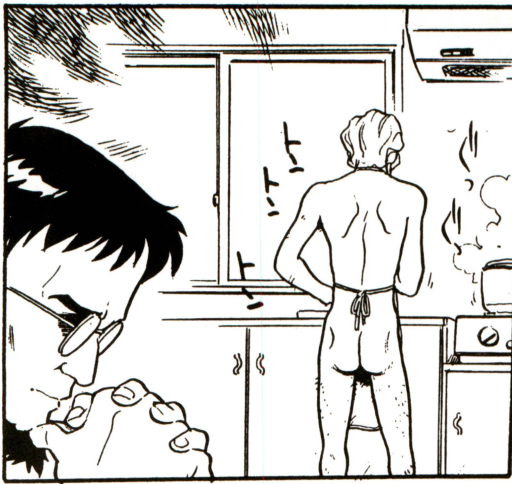
ゲンちゃん コウちゃんの イヤ〜ンな 感じ

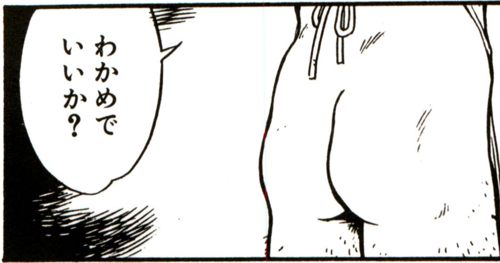


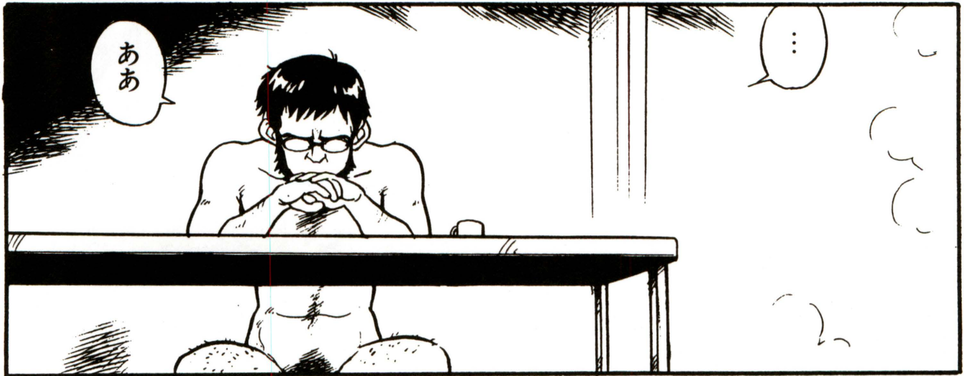
あさりよしとお




みそ汁の具…
何にする？
NERV
トン トン トン トン


トン トン トン


わかめでいいか？


…
ああ


ねェねェ 碇クンのお父さん 一人暮らし なんでしょ？
身のまわりの 世話とか 誰がやってるの？
さあ…
僕… 父さんのこと あんまり 知らないから…
完

Fallen Angel Fall in Love



ああ、おまえは天から堕ちた
明けの明星、曙の子よ
おまえは地に投げ落とされた

前田 栄 MAEDA SAKAE

Symbol Desing:Las CHIQUITAS

森の中だった。
僕はチェロを弾いていた。
今まで、自分から弾きたいと思ったことなんてほとんどなかった。言われるままに習って、教えられるままに弾いていた。
やめなかったのは好きだったからじゃない。
やめると言って、軋轢を生むのが嫌だったからだ。
ああ。なのに、どうして今、こんな気持ちで僕は弾いているんだろう？
弾いているのが楽しい。想いを音にのせることが、こんなに楽しいなんて……。
「何て曲なんだい？」
声が不意に響き、答えようとした僕は何故か曲名を思い出せないことに気づいた。有名な、誰もが知っている曲のはずなんだけど。
弓を置いて考え込んでしまった僕に、声の主が続ける。
「綺麗な曲だ。続けて……」
言葉に弓をもう一度持ち直し……だけど、やっぱり僕はそれを構える事はしなかった。
チェロを歌わせる代わりに、自分でその名前を呼びたかった。
「……カヲルくん」
「リリンは想いを伝えるために、本当に色々なものを生み出したんだね。孤独でいることがこんなに美しいものを生み出すためだと言うならば、それも悪くないような気もする」
微笑み。
少し目を細めて優しく笑う、その顔。
「まだその気にならない？」
「カヲル…くん……」
「何が怖いんだい？」
「………」
「君はずっと『解ってもらうこと』を望んでいたと思ってたけど……」
そうだ。
僕は解って欲しかった。
何もかも諦めた無表情と従順の仮面の下で僕が何を考え、何を感じているのか。
解ってくれる人なんていないと思いながら、心の底では求めていた。
僕を『好き』になってくれて、『そのままで良い』と言ってくれる人を……。
皆と一つになればそれが叶うと解っているのに、どうして僕はためらっているんだろう？
「いいんだよ、無理はしなくて。時がないここでは急ぐ必要なんかないんだし、ゆっくり考えればいい」
カヲルくんの言葉に、僕は俯けていた顔を上げた。
「時が……ない……？」
「正確に言えば、ここには少しは流れているけど、補完された世界には時はない。だって、必要ないからね」
「必要ないって……どうして？」
「一つだから」
「………？」
「過去も現在も未来も、皆一つだから。死者と生者と、これから生

まれ出てくるはずの者が同時に存在するから」

良く解らない。

だって、これから生まれてくるはずの人が今いるはずがないじゃないか。

僕の疑問が解ったのか、カヲルくんが微笑んで呟(つぶや)く。

「僕たちは一つだからね」

不意に胸に痛みが走った。

何だろう？

僕は何にそんなにショックを受けている？

「僕は君と一つになりたい」

甘くて優しい囁き。

「心も体も一つになって、君を良く知りたい」

頷(うなず)きそうになって、まだためらっている自分に気づく。

何故？

答えは僕自身にも良く解らなかった。



この世界が、例えるならば夢みたいなものだと教えてくれたのは、綾波とカヲルくんだった。(尤(もっと)も、二人にとっては夢も現実もさほど差があるものじゃないという話なんだけど)

もともと、人の心は個別に別れていて『一つになる』事に向いていないから、急激な補完は総ての人間の個性を抹消してしまう危険があるのだそうだ。

だから、完全なる補完へのゆっくりとした道が用意されている。

『こうだったら良いのに』と夢想する『現実』が実現し、僕たちはそこで過ごす事によって心の垣根を払い、『一つになる』事を学んで行くのだ。

僕が夢想したのは、平和な生活だった。

父さんと母さんが揃った、小さいけど手入れの良く行き届いた白い家。

戦いの噂さえ聞こえてこない学校。

カヲルくんがいて、綾波がいて、アスカがいて……、トウジも怪我一つしていない。

ミサトさんの姿は見えなかったけど、校医をしているリツコさんが加持さんと一緒にドイツにいると教えてくれた。

何も起こらない。

何もない。

平和で幸福な日々。

皆に心を開くシチュエーションとして、僕自身がそんな風景を選んだのだとカヲルくんは言った。

本当にそうなのだろうか？

ならば何故、僕は『一つになる』ことを、こんなにもためらっているんだろう。

完全なる補完が終了すると、総ての人が、自分も含めた総ての人を完全に理解する事が出来るのだという。

カヲルくんは図書館で僕に一本の木の絵を見せて、その感じを説明してくれた。

「この絵は『セフィロトの木』と呼ばれている。リリンが幻視した

僕たちの姿だ。見ると解ると思うけど、僕たちは一本の木の枝だ。枝葉に様々な名が付いていても、それが一本の木である事に変わりはないんだ。
一つになっても個が失われるわけじゃないし、個として生きていても一つでいる事に変わりはない」
正直な話、僕にはカヲルくんが何を言いたいのか良く解らなかったんだけど、カヲルくんもそれ以上、具体的に説明する事が出来ないようだった。
別にカヲルくんが何かを隠しているというわけじゃないと思う。だけど、僕にはまったく未知の世界で……。
カヲルくんにとって『一つになる』という状況は当たり前すぎて、あって当然のものを説明するのは難しいという事なんだろう。
僕は、早々に『補完された状況』を知ろうとすることを諦めてしまった。
あるいは、今の状況があまりに居心地が良すぎて、本来の目的地であるそれに、まったく興味が沸かなかったというのが真相かもしれない。
「一緒に行こう」
だから、ある日、カヲルくんがその一言を呟くまで、僕は幸福な夢に溺れ、目を閉じて日々を過ごしていた。
「僕は君と本当に一つになりたい」
僕の右手は血塗られている。
血は僕の運命の色。
その色に染まった瞳が、僕を見すえて囁く。
「僕と一つになるのは嫌かい?」

その日から、世界は変わった。
家もない。
学校も。
誰の姿も見えない……。
僕はたった一人で森の中にいた。
近くに綺麗な湖がある、静かな森だった。
そこでずっと考えていた。
『一つになる』ということ。
カヲルくんのこと。
綾波のこと。
父さんと母さんのこと。
「どうして来ないの?」
湖に見入っていたら、その声が聞こえた。
「何が、怖いの?」
「……綾波…」
姿は見えなかった。
だけど、その声と独特の話し方で綾波だと解った。
「皆と一つになるのが嫌なの?」
解りあうこと。
誤解の余地もないくらい、完全に解りあうこと。
『嫌』だというのは嘘になる。
僕はずっと、人に理解して欲しいと思っていたし、他の人を、特に父さんを理解したいと願ってきた。
でも……。
「何が、嫌なの?」

赤い瞳。
カヲルくんと同じ色。
運命の色……。
思い出した。
あの曲の名前は『星に願いを……』だ。
僕は何を願っていたんだろう?



「シンジ君」
声に顔を上げ、だけど今度は僕は手を止めなかった。
「チャイコフスキーだね」
返事の変わりに軽く頷くと、カヲルくんが音も立てずにゆっくりと近づいてくる。
「彼は孤独な人だった。自分が異端であるという事にずっと怯えていた。
僕には不思議でたまらないよ。孤独で不幸で傷ついていればいる程、リリンは美しいものを生み出す」
最後の一音を奏でてから、僕はそっと弓を置いた。
「カヲルくん……」
呼びかけると、カヲルくんは困ったような顔で少し首を傾げた。
「カヲルくん……僕は……」
「気は変わらないのかい?」
「カヲル……くん……?」
「君は『行かない』と言うような気がしていたよ」
「カヲルくん……」
やっぱり一つになんてなる必要はない。
だって、何も言わなくてもカヲルくんが解ってくれている。僕を理解して、好きだと言ってくれる。
僕は……僕は、カヲルくん以外に解ってもらわなくてもいい。
「僕は『今』が気に入ってるんだ」
「この状態を続ける事は出来ないんだ、シンジ君」
カヲルくんの言葉に、僕は自分の目が見開かれるのを感じた。
「これは補完へと至る道。補完を否定する者は、すべからく目覚めざるをえないんだ。現実へと、ね。
君がまだここに居ることが出来ているのは、新たなイブが君に固執しているからだろう」
「え?」
「彼女は君と一つになりたがっている」
カヲルくんの言葉に、僕はどう答えて良いか解らなくて、弓を持っている右手を緩く開いたり閉じたりしていた。
少し前まで、僕は右手を上手く握る事が出来なかった。開くことは出来るのに、どうしても力を込めて握る事が出来なかったのだ。
今は弓を持つ程度にまで回復している。
カヲルくんが『肉体は総てじゃない』と言ってくれて、そして右の掌に、彼を殺した僕の掌に口づけた……。
救われた僕の心に比例するように、その時から軽くなら握れるようになった。

『ずるい』
あの時、こだましていた声が蘇(よみがえ)る。
『ずるいわ……』
感情の読み取れない赤い瞳。
魂はアダムから、肉体は人類から……。
創られた、新しい人類のためのイブ。
「何故、僕を……？」
「言っただろう。君たちチルドレンはエヴァのために用意された魂。閉ざされて、傷ついて、ガラスのように美しく繊細な心の持ち主。
僕たちとはあまりに異質で、だからこそ、焦がれずにはいられない」
「でも綾波も……それにアスカだって……」
僕の問い返しに、だがカヲルくんは綺麗に微笑んだ。
「惣流・アスカ・ラングレー。彼女はすでに補完されている。
そして、レイは……。
彼女は僕と同じだ。エヴァと同じものを持っているから、魂のない器たるエヴァを操(あやつ)ることが出来るだけだ」
「じゃあ、トウジは？　トウジは４ｔｈチルドレンだ……」
「彼は補完された」
あっさりと何でもない事のようにカヲルくんが言いはなつ。
「だって……学校に……」
「あれは夢だ。君の見ている夢。彼等の一部ではある事は間違いないけど」
その言葉に、僕は自分の顔色が変わるのを感じた。
「夢……？　じゃあ、君も……？　カヲルくんも僕の夢…だって言うのか……？」
不思議と見慣れてしまったような気のするカヲルくんの困ったような顔。
「僕にとっては夢も現実もさほど差のあるものじゃない」
「カヲルくん！」
思わず叫んでいた。
たぶんしていたに違いないだろう僕の必死の形相に、カヲルくんが僅(わず)かに微笑んだ。
「シンジ君。僕がここにいるのは、君が望んでくれたからだ。そうじゃなければ、最初のイブの最後の子孫たる僕はここにいる事が出来なかっただろう」
「カヲル……くん……？」
「君達が『使徒』と呼ぶ僕たちは、あの瞬間に滅びたんだ」
「……あの…瞬間……？」
聞いてはいけないと思っていたにも関わらず、言葉は勝手に口から滑り出た。
「そうだ。君が右手に力を込めた、あの瞬間に……」
「………っ！」
悲鳴は口から漏れなかった。
漏れずに僕の心の中で幾重にもこだました。
こだまして、反射して、その度にいろんな場所が傷つき、血が流れるのが解った。
「……あ…」
何か言おうとしたのに舌が乾き切って動かなかった。
口もとを抑えようとして上げた右手から、緩慢な動きで弓が落ち

た。

「後悔する事はない。僕が死なず、アダムと出会い、彼のもとに還っていれば、君達、人類の方が滅んでいた。

君のした事は正しかったんだよ」

あの戦いの後、カヲルくんと初めて会った場所でミサトさんも同じ事を言った。

でも、僕は例え人類が滅んでしまっても、それでも、僕じゃなくカヲルくんが生き延びるべきだったと思う。

僕じゃなくてカヲルくんの方こそが……。

僕は何故、あの手に力を込めてしまったんだろう?

「君は……時に、見ている僕の方が辛(つら)くなってしまうほどに優しいね」

「カヲル…くん……」

「そうだな。たぶん、君は僕が何を言っても気にしてしまうだろうから……ちょっとした打ち明け話をしようか」

言って、不意にカヲルくんが破顔した。

「以前、言った事があると思うけど、僕たちはずっと不思議だったよ。

最初にアダムと違う道を選んだのはリリスの方だというのに、その子孫たる君たちリリンが、何故アダムを奪ったのかとね」

今は僕も知っている。

セカンド・インパクト。

アダムを奪われたイブの怒りが地球の地軸を捩(ねじ)曲げ、未曾有の天変地異を引き起こした。

人類は文明を維持出来るぎりぎりの数しか残らず、以降も著(いちじる)しい増加を見ていない。『死海文書』に記された予言がなければ、もっと悲惨な事になっていただろう。いや、あんなものがあったからこそ、あの悲劇が引き起こされたというべきなのだろうか?

「アダムを奪い返さんと仕掛けた攻撃は、ことごとくイブの魂なきコピー、君たちが『エヴァ』と呼ぶあれに阻まれた。

魂なくして、僕たちも人類も動く事は出来ない。ならば、アダムから生まれたものではない魂がエヴァには宿っているのだ。

リリンたちの魂が、ね」

チルドレンは14歳でなければならない。

それより若くても、年かさでもいけない。

セカンド・インパクトのあった年に生まれた子供だけが、エヴァのパイロットの資格を持つ。

アダムを奪われ、自らも倒され鎖に繋がれたイブの、その悲痛な叫びを、胚(はい)から胎児へと至る途中で聞いた者だけが。罪を犯し、楽園から追放されたヒトとなる以前の状態であり、『原罪』に染まらぬままの者だけが……。

使徒と呼ばれる彼等と、リリンと呼ばれる人類。両者が分かたれる前の存在と同じ姿をした胎児であった彼等だけが、イブの苦痛を感じ、理解する事が出来る。

だからこそ、イブのコピーであるエヴァと感応し、シンクロし、その魂たる事が出来るのだ。

「君たちが15使徒と呼んでいた者の事を覚えているかい?」

「15使徒……? 二号機に精神攻撃を仕掛けた使徒の事だったよね?」

僕の答えに、カヲルくんは不可解な笑みを浮かべた。

「あれは攻撃じゃなかったんだ。
だから、あのせいで彼女がひどく傷ついて、自らの殻に閉じこもるきっかけになってしまった事に対しては反省している。
それを知った時は驚きもしたし、感動もしたけど」
「カヲルくん?」
『私の中に入ってこないでぇっ!』
悲痛なアスカの叫び。
「僕たちは、ただエヴァの魂たる事が出来るリリンの心を知りたかっただけなんだ。彼女があんなに固く心を鎧っていなければ、もっと効果を弱められたんだが………。
君たちがこれ程、繊細で傷つきやすい心を持っているとは知らなかったんだよ」
カヲルくんが本当にすまなそうに言うので、僕は思わず頷いてしまっていた。
あんなにも苦しんで傷ついていたアスカの事を考えれば、頷くべきじゃなかったんだろうけど……。
どうしてだろう。
僕はどうして、カヲルくんの言葉を無条件に受け入れてしまうんだろう。
「そして16使徒……」
「綾波を殺した……」
「最初は殺すつもりじゃなかったんだ。リリンの姿を僕が取るために、ちょっとDNAを覗かせてもらうだけのつもりだった。
だけど、途中で気づいた。彼女が僕たちと同じものであるということに。
だから、肉体を破壊して、魂を解放してやるつもりだったんだよ」
そう言って、カヲルくんが晴れ晴れと微笑んだ。
「準備は整った。リリンと同じ体と知識を手に入れて、リリンの心も知った。
僕は君に会いたくてたまらなかったよ」
「え?」
突然、話の矛先が自分に向けられて、僕は驚いて目を見開く。
「ぼ、僕……?」
「そう。君だよ、碇シンジくん。
惣流・アスカ・ラングレーの心は知っている。綾波レイは作られたチルドレンだ。
残っているエヴァのパイロットは君一人。
どんな相手だろう、と正直僕は興味津々だったよ」
カヲルくんの言葉に、僕は思わず赤くなった顔を隠すために下を向いた。
「想像以上だった。
君の心は、高く築かれた塀の中に閉ざされていた心は、僕の思っていた以上に傷つきやすくて繊細で、触れただけで脆く崩れる水晶のカケラを思わせた。
アダムを奪ったリリンに向けられたイブの憎しみすらもコピーされているはずのエヴァが、その魂たる事を許している理由が良く解ったよ。
あっという間だった。
君と数回話しただけで、僕は君を害する事など出来ない自分に気づいた。

例え、それが、種族の滅亡を意味していようと……」
「カヲルくん……」
「だから気にしないでほしいんだ、シンジ君。君を失っていたら、僕は喪失の痛みに耐えられなかっただろう。リリンの肉体とリリンの心を模倣する事で、僕は弱くなってしまっていたから」
綺麗な笑みだった。
だけど、奇妙な程に儚く見えた。
「……僕が現実に戻ったら、君は消えてしまうのか？」
「………」
カヲルくんは答えなかった。
答えずに、黙って微笑むばかりだった。
「……い…嫌…だっ！　嫌だ！　嫌だ！　嫌だっ！」
「シンジくん……」
宥(なだ)めるように掛けてくる、優しい声さえ僕を辛くさせた。
「嫌だ！　絶対に嫌だっ！」
「……補完を選ぶかい？　そうすれば、ずっと一緒にいられる」
それも嫌だった。
だから、反射的に首を強く振っていた。
今、気づいた。
僕は嫌だったんだ。
カヲルくん以外の人と一つになる事も、カヲルくんが、僕以外の人とずっと一つでいる事も。
「困ったねぇ……」
少し笑ってるみたいな声に顔を上げると、カヲルくんが全然困ったようじゃない顔をして微笑んでいた。
目を眇めて、優しく僕を見ている。
「君がフィメールだったら話は早かったんだけど……」
「……？」
「君が女性体だったら、僕の形を作っていたＤＮＡをコピーして、君の子宮の中に滑り込めば良いだけだったんだ。僕の形の大本(おおもと)のレイの体は、君のお母さんのコピーだから、さして問題なく受胎、育成がなっただろう。
だけど、君は男性体だしねぇ」
「カヲルくん……？」
突然、とんでもない事を言い出したカヲルくんに一瞬、絶句する。
「君が補完を選ばないのなら、僕は肉の体を用意しなきゃならないからね」
「……え？」
何を言われているのか解らない。
今聞いた言葉は僕の聞き間違いだろうか？
それとも、都合の良い思い込み？
「僕が一緒に行くのは嫌かい？」
カヲルくんの顔が少し寂しそうな色に染まって、僕は慌てて首を振った。
勘違いじゃなかった。
カヲルくんは僕と一緒に行こうとしてくれている！
「で、でも良いの？　だってカヲルくんはもともと……」
カヲルくんの指が、『静かに』という仕草(しぐさ)を僕の唇の上でする。
白くて綺麗なそれは、言葉を封じるほどの力は込められていなか

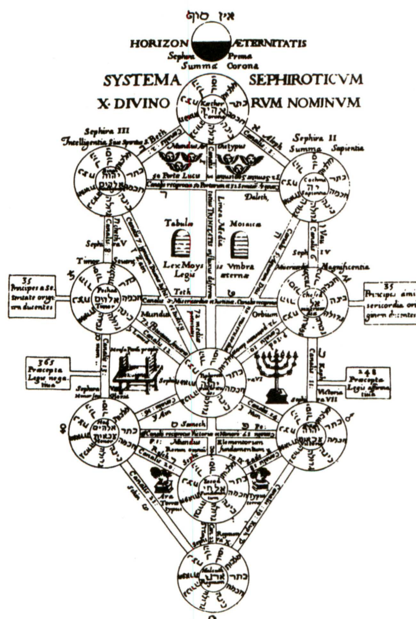
ったけど、それでも僕は唇を動かすことが出来なくなった。
「君の言うとおり、僕は『一つでいる』ことが当然の生命体だけど、君と会った時、すでに僕は一人だったんだ。
種族の最後の一人。それが僕だったんだよ。
だから、君は心配する事はない。僕は、他の誰と一緒になる事より、君と二人一緒に孤独でいたい」
カヲルくんは優しい。
僕の事を理解してくれて、好きだと言ってくれる。
そして、今、僕のために当然そうあるべき姿さえ捨て去ろうとしてくれている。
良いんだろうか？
僕はカヲルくんにそうしてもらう程、価値ある存在だろうか？
「行くの？」
声。
振り向くと、綾波が立っていた。
「行ってしまうの？」
「レイ……」
カヲルくんが何かを言いかけて、そのまま口を噤(つぐ)む。
「また彼を選ぶの？」
「……綾波？」
「皆があなたを待ってる。それでも行くの？」
目。
綾波の赤い瞳。
そこに涙が盛り上がって、頬を伝った。
「綾波！」
「涙、流せるようになったの。『寂しさ』と『悲しさ』が解るようになったから。でも、こんなに辛いのなら、知らなくても良かった」
「綾…波……」
「いずれ帰る」
言葉を失ってしまった僕の隣で、カヲルくんがそう呟いた。
「でも、変わってしまう」
「いたし方ない。リリンとはそういうものだ。月のように欠けては満ち、満ちては欠ける。
そういうふうに出来ている」
「でも……」
「シンジ君は変わるだろう。どんなふうに変わるかは解らない。それは、時すらない閉ざされた完全の中に住む僕たちには予想すらつかない事だ。
恐れる気持ちと同時に、僕はそれが嬉しくもある」
涙に濡れた綾波の目は綺麗だった。
ときどき僕に不吉なものを感じさせた（彼女が招き寄せるという意味じゃなくて、彼女に降りかかるんじゃないかという気にさせた）赤い瞳は、今は、幼い頃母さんが指につけていた指輪の石みたいに、ただ綺麗に見えた。
「ごめん、綾波。考えたんだけど、僕は……僕は欠けたままでいいと、そう思うんだ」
「碇くん……」
「僕は欠けたままでいい。補完されなくてもいい。カヲルくんを連れていくのは我(わ)が儘(まま)かもしれないけど………」
「違う。それは僕の我が儘だ」

僕たちの言葉を黙って聞いていた綾波が、再び涙を一筋、その頬に伝わらせた。
「ネルフの基地の最下層の一室に、私のダミーを作るためのDNAのデータがあるはずよ」
「綾波……」
「ベースがあれば体は作れるでしょう?」
泣いている綾波。
自分が泣いている事に、本当は気づいてないいんじゃないかという顔で、泣いている……。
「待ってる。いつまでも。あなたが還ってくるのを待っている……」
言葉と同時に、綾波の姿がかき消すように消えた。
まばたきをする間の一瞬の事だった。



籠もる血の匂い。
倒れている沢山の人、人、人……。
帰ってきた現実は、廃墟だった。
顔も知らない沢山の人と、顔だけ知っている少しの人。
そして……。
「ミサト…さん……」
壁に寄りかかり、うずくまるようにしている見慣れた赤い姿。
「…よ、酔っぱらってるの? だ、駄目だよ。風邪引いちゃ…う……よ」
答えはない。
「飲みすぎだって…加持さんに…怒られちゃうよ……」
自分の声が震えているのが解る。
不意に視界がぼやけて、僕の目から見たくないものを消してくれた。
壁にべっとりと付いた赤い色の染みを……。
震える足を騙し騙し、廊下を歩き続ける。
不思議な事に電源はまだ生きているのか、明かりもついていたし、試しにボタンを押してみたらエレベーターもやってきた。
「ひぃっ!」
ドアが開くと同時に、何かが倒れ込んでくる。
「い、伊吹……さん……」
仰向けになったのは、見慣れた伊吹さんの顔だった。だけど、見たことがないくらい顔色が悪い。
「伊吹さん……」
支えようとした手に冷たい感触。
僕はそれが何だか見たくなくて、後ろ手に壁に擦りつけ、そのまま走り出した。
良く知っている筈の建物なのに、奇妙なくらい人気がないここは、まるで迷路のようだ。
何度も倒れている人につまずき、よろめきながら、僕はエヴァの墓場のその奥に走り込んだ。
ホッとする。
ここには誰もいない。
以前見た時よりも水槽の中の水位が下がっているのか、僕のとこ

ろからでも水面が見える。
見上げて僕は息を飲んだ。
「リツコ……さん……」
声が掠れているのが自分でも解った。
うつ伏せに水に浮いている。
白衣が水の動きに合わせて揺れていた。
僕はその情景から目を逸らせ、綾波のダミーを作るためのプログラムを探し始める。
『そこよ』
綾波の声が聞こえたような気がした瞬間、それは見つかった。
人工の羊水の満たされた水槽の中、残された『綾波レイ』の細胞が増殖を始める。
どれくらいの時間が経ったのか。
『効率が悪い』
どこからともなくカヲルくんの声が聞こえたような気がした次の瞬間、目の前の水槽の水が不意に濁る。と、見る見るうちにその濁りは人の形を取り出した。
長い手足。
均整の取れた体。
不意に目が見開かれる。
瞳。
僕を見て、優しく微笑んでいる赤い瞳。
水槽の中をゆっくりと泳ぐようにして、彼は僕の側に近づいてきた。
ガラス越しに手を重ね、僕はカヲルくんを良く見ようと子供のように顔を近づける。
冷たい感触。
ガラスの……無機質な冷たさだけが唇に残るのに、それが熱いような気がしたのは、僕の錯覚だろうか？
血臭の漂う、地底深くの、地獄のような場所でのガラス越しの……。
それが、僕たちが交した最初の口づけだった。



密会

小川沙凪

OGAWA SANAGI



Symbol Desing:Las CHIQUITAS

「そういえば、今日は彼女との約束の日だったな」

私はコーヒーポットから煎れたてのコーヒーを注ぎながら呟いた。

「ああ」

彼は返答に倦怠をにじませる。

私は彼女と彼の仲は密会の日取りまで熟知している。何故なら彼が、何もかも包み隠さず私に話すからだ。

彼は、

「おまえが女だったらな。何もかもいちどきに用が足りるのに」

などと、平気な顔で言う。普通の人間相手なら冗談だと笑ってすますのだが、彼は案外本気で言っているので、始末が悪い。まったく呆れてしまう。

彼は非常に合理的な考えをする男だ。非情、と言い換えてもいい。この世の全ての人間は、彼にとって必要か不必要か、で二分される。不必要な人間に対しては、彼は全く無関心だ。必要、に区分された人間はさらに細かく役割ごとに分別される。

彼にとって彼女がどういう存在なのか、私には分からない。NERVにとっても、彼の進めているプロジェクトにとっても、彼女はなくてはならない人材だ。だがそのことを別にして、一個人の女性

としては、最近の彼女はもはや彼にとって欲望の捌け口でしかないように思える。一方私はといえば、彼にとって忌憚なく野望を語ることのできる相手、彼の吐き出した夢の玩具箱というわけだ。

……そんなわけで、彼女も私も彼にとって一応必要な人間に分別されているのだろうが、私はあまりありがたくない。いっそ、不必要な人物に分類されれば良かったと思っている。彼女とて、もし彼の本意を知ったら怒るだろう。

「碇。そういうふざけた態度を彼女に取るなよ。本気でないなら慎重になれ。我々は何があっても彼女を失うわけにはいかないのだからな。五年前には優秀な頭脳を失っても代わりがいた。しかし、彼女の代わりはもういない」

彼は苛々したように、

「分かっている」

と言う。本当に分かっているのだろうか？　碇ゲンドウの女性に対する感性は全く謎だ。

彼の不思議なところは、並外れて優秀な女性たちに対し、その才能ばかりでなく、肉体まで求めてしまう点だ。そこに感情の高まりを伴わないにもかかわらず。……しかし女性の方は違う。私に言わせればおよそ男性的魅力の皆無な彼に対し、彼女たちは例外なく夢中になる。結果として、遠からず破綻が訪れる。

男の方も、女の方も、二人の関係が決して利口なものでないことは百も承知のはずなのだ。なのにとめられない。

私は深い溜め息をつく。

「彼女もな……母親の悲劇を見ているのに、どうして同じ轍を踏むのだろうな。第一、母親が寝た男と寝るという神経が並みじゃない」

「エレクトラコンプレックスなど、古臭い用語を持ち出して精神分析などするな。

俺にもコーヒーをくれ」

「……ああ」

私は彼のコーヒーカップを手にとった。

彼は不意に言った。

「冬月。……女は、苦手か？」

私は手にしたカップを危うく落としそうになった。相変わらずのあの嫌な笑いを浮かべて、彼が私を見ている。私は憤然と彼を睨みつけた。

「語弊のある言い方はやめてもらおう。……私は、人間そのものが苦手なんだ。それに第一、女性に対しておまえのように無責任な態度は、私には取れない」

彼は私が満たしたコーヒーカップを受け取りながら、苦い笑いでさらに口を歪めた。見ようによっては嘲りを含んだ悪質な微笑だ。だが実のところ、彼はそういうふうにしか笑えないのだ。彼と共に働くようになってしばらくして、ようやく気づいたことだ。以来、私はできるだけ彼の笑いを好意的に受けとめようと努力している。だが未だに慣れない。

「融通のきかない男だ。生真面目。潔癖。杓子定規で几帳面。……だが、俺はおまえのそういうところを見込んだのだ」

私は嘆息した。

「おまえになど出会わなければよかった。そうしたら私も平凡な大

学教授で一生を終えていたかもしれん。ひょっとしたら結婚でもしていたかもしれん……おまえを見ていると、自分が男であることに幻滅する」

彼はうんざりしたように、

「残念だが、おまえが平凡かつ平穏な生涯を送る可能性など、はなから皆無だ」

と、言った。

「俺はこうと決めたらその通りにならなくては気がすまないたちでね。俺が望めば、望んだものは必ずこの手に入るのだ。おまえとて、例外ではない」

私は彼の言ったことをしばらく反芻していたが、不意にある考えに打たれた。

「碇。おまえはユイくんのレポート作成に手を貸したのか?」

彼は肩を竦めた。

「ユイのレポートは、それだけでよくできていた。……完璧すぎた。俺はおまえが関心を抱きそうな問題点をいくつか盛り込んで、わざと不協和音を奏でた」

「君はユイくんをわざと私に近づけたのか?」

彼はニヤリとした。

「ユイはかねてからおまえのファンだった。大学で女子学生の注目の的の教師だが、なかなか知り合うきっかけがないとこぼしていた。だから俺はほんの少し、力を貸してやっただけだ」

彼は不意に私に近づいてきた。彼は耳元で言った。

「残念だったな、冬月。ユイが欲しかったか? だがあれは出会った当初から俺のものだった。……そして俺はおまえも手に入れた。言っただろう。俺は欲しいものは全て手に入れる、と。

ユイからおまえの話を聞くにつけ、俺の今後の計画に、おまえはなくてはならない存在だという確信は高まった。おまえの清廉さ。おまえの良識。おまえの謙虚。どれも俺にはない資質だ。だが俺の計画には必要な要素だった」

私は十二年前の彼の誘いの言葉を思い出した。

(冬月。俺と一緒に、人類の新たな歴史を作らないか)

それまで私を先生と呼び、馬鹿丁寧な敬語を使って話していた彼は、その一言を囁きかけた時、途端に今までの態度をかなぐり捨てたのだった。己に対する不遜までの自信をみなぎらせ、彼は私を見くだした。あの時、その鮮やかな変わり身に、私は呪縛されたようになってしまった。

よく考えた上での決断ではあったが、その後結局、私は彼の誘いに乗って大学を辞め、闇の世界へ足を踏み込んでいったのだった。以来、私は常に彼の傍らにいる。彼の作り出す負の磁場を中和し、彼の放つ冥府の空気を浄化するために。

皮肉にも彼は〝人類の新たな歴史〟を作り出す創造主を気取りながら、非常に冥い力に支配されてもいた。彼の中には正と負のエネルギーが渦巻いている。思えば恐らく、その渦が作り出す圧倒的な力が、善きにつけ悪しきにつけ、人々を引きつけてやまないのだ。

碇ユイ。赤木ナオコ、リツコ母子。ゼーレの権力者たち。忠実かつ勤勉なるNERV本部の職員たち。そしてこの私、冬月コウゾウ。

西暦二〇一〇年、彼が所長を務める人工進化研究所の実体であっ

た組織ゲヒルンは解体した。それに伴い全ての実務が新組織NERVに移行した時、彼はNERV本部の司令に着任した。そして私は彼に従い特務機関NERVの副司令のポストにつき、今に至る。

……年を経るごとに彼の呪縛はますます強くなりつつある。

彼は私に囁き続ける。

「自分の人生の選択を後悔しているのか？　いや、おまえは後悔してなどいないはずだ。

俺が初めておまえをジオフロントに招いた時、おまえは人類の未来がこの俺の手に握られていることを悟った。そして人類の行く末を見守る傍観者たることを望んだ。おまえはそういう男だ。俺はそのことも分かっていた」

私は彼を振り切るように歩き出す。

「何もかもがいつまでも自分の掌のうちにあると思うな、碇。思い上がりは身の破滅を招くぞ。

それから……いいか。くれぐれも言っておく。彼女とは程々にしておけ」

彼は笑い出した。地の底から這い上がってくるようなくつくつという笑い。彼は私を追ってきて、肩を摑んで振り向かせた。色のついたグラスの奥から、闇を含んだ暗い瞳が私を見つめていた。

彼は言った。

「破滅のその時は、あなたもぜひ私と共に煉獄まで……冬月先生」

彼は飲み残しのカップを置いて、執務室を出て行った。

「お早う、シンジ君」

ある朝、私は碇シンジの姿を見かけ、声をかけた。少年はびっくりしたように私を見て、「お、お早うございます」

と口ごもりながら言った。

碇ゲンドウとユイの一子、シンジ、十四歳。彼という存在に含むところがありながら、これまで私は彼とほとんど話したことがない。彼も私には近づいてこない。

「お早うございます、冬月副司令」

背後から私に声をかけてきたのは加持リョウジだった。私は逃げるように去っていく碇シンジの後ろ姿を見送りながら言った。

「なんでまた、あの子はあんなにおどおどしているのかね。……とてもあの碇の子供とは思えんな」

加持は笑った。

「意識しているんでしょう、あなたを。あなたは碇司令の一番そばに居て司令のことを一番よく知っている人だから。本当は彼は、あなたにいろいろと聞きたいことがあるはずですよ」

私は不意に優しい気持ちになった。

ゲンドウによく似た額を持ち、ユイのような大きくてつぶらな瞳をした少年に、いつか全てを話せればいい。彼の父が話そうとはしない、私の知る父の全てを。

そう、もしも我々が人類の輝かしい未来をつかみ取ることができるなら、その時は、きっと。

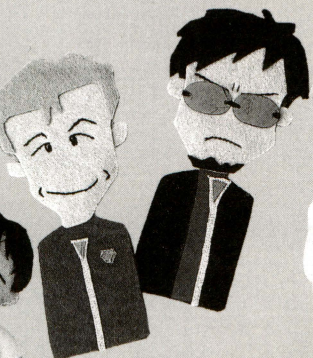
（了）

「人形はいいね。人形は心を潤してくれる。一次的接触もしほうだいさ」

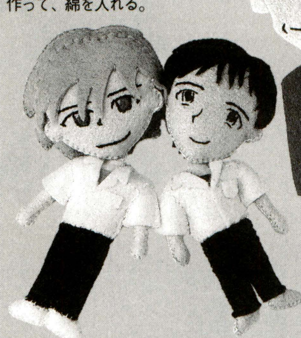
HAND MADE EVANGERION

たのしいお人形教室

講師／井口佳子
（ぬいぐるみ）
／桑竹井介
（フィギュア）

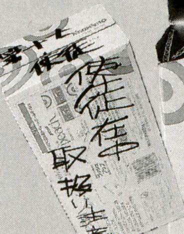


▶フェルトの布を切り貼りしてゲンドウ&冬月♡　エリのあたりの細かいところは綿ブロードで。顔は木綿の黒い糸で刺繍。サングラスは鉛ビ板を縫いつけて。
　シンジ君たちは、フェルトで裏表作って、綿を入れる。





▶ファンドS（ソフト）という人形用の粘土を、竹串で作った骨組にくっつけて肉付け（乾燥すると少し縮みます）。すっかり乾いてから、彫刻刀で削ったり、紙ヤスリをかけて表面処理をして、着色はアクリル絵の具を筆塗りでしてみました。



◀手近にあるティッシュの箱などを収納BOXにするのも一興（笑）





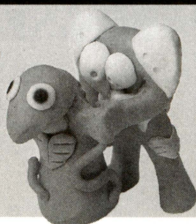
▼30センチくらいのゲンドウ&カヲル君。ボディ生地はボア。服はハギレを利用。髪は毛糸。中に“自由自在”という針金を入れて、ポーズは思いのまま♡　靴は、底にラバースポンジ（3ミリ）生地はキャンパス地…けっこうタイヘン。



▶小道具。このランドセルは色付きのボール紙で。止め金の部分はゼムクリップを曲げて。帽子は、三角形の布6枚と、ボール紙を芯にしたドーナツ型のをツバにして、手縫い。ゲンドウ・サングラスは、針金でフレームを作って、茶色の塩ビ板（レンズ部分）をはさんで接着。

井口佳子（いぐち・けいこ）
9月29日生まれ。てんびん座。B型。書店員。私は、やっぱりどうしてもシンちゃん。君のことが好きなんだ♡　君の笑顔が見たくて、マヌケな人形をたくさん作りました。少しは笑ってもらえたでしょうか？

桑竹井介（くわたけ・いすけ）
1969年生。東京都出身。エヴァにハマってキャラクターフィギュアを始めました。まだまだ修行中の未熟者であります。人の心をとらえるものを創るには、まず自分の心を豊かにしなければ、と思っております。
'97海洋堂、渋谷ホビーロビー『ガレキゲリオン～DEATH編』に渚カヲルのフィギュアを出品



▶「ねんどけしごむ」の5色セットで作ってみた使徒。5分間くらいゆでて出来あがり！ 黒がないので、目はマジックで。

★人形の作例は、表紙、カラー（44P）、パズル（168P～、232P）をごらん下さい



╲出題・イラスト
白神こまち

お絵かきパズル

いらすとろじっく

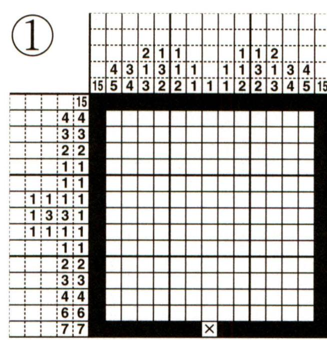


☆ルール☆

①数字に従ってマスを塗ると、絵ができあがります。
②数字は連続して塗りつぶすマスの数。タテの列は上から、ヨコの列は左から、数字の並び順どおりに、その数だけマスを塗っていきます。
③数字と数字の間は、必ず１マス以上あきます。

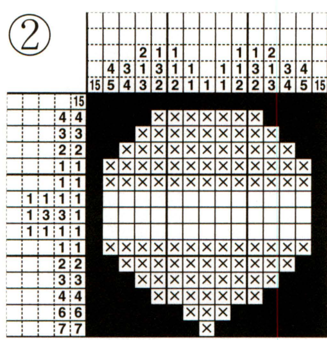
ファイル名：サキエル　難易度：6

①



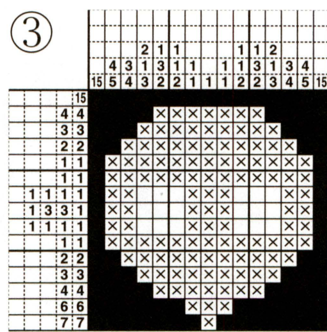
大きい数字に注目すると「15」があり、その列、段は全て塗ることができます。いちばん下の段の「7・7」も真ん中の１マスをあけて黒マスになります。

②



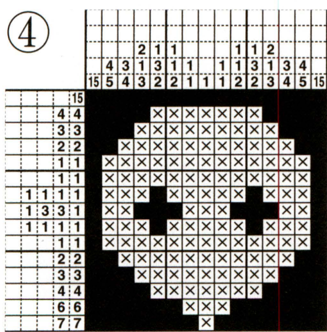
両端から塗っていくことがわかるので、２～６段目、10～14段目の黒マスの部分が決まります。

③



タテ方向も、2・3・7～9・13・14列目の白マスが決定します。

④



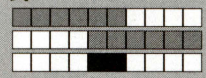
5・11列目の黒マス、８段目の黒マスを塗ることができます。７・９段目、4・6・10・12列目の黒マスも決定して、サキエルのできあがり♡

ポイント

(1)大きい数字に注目。10×10マスの問題で、「6」という数字があったら、どう塗っても黒マスになるマスが２つみつかります。



(2)絶対に黒マスになるマスを探します。10×10マスの問題で「2・3・3」なら、下図以外の塗り方はありません。また、白マスになるマスにも○や×で印をつけましょう。



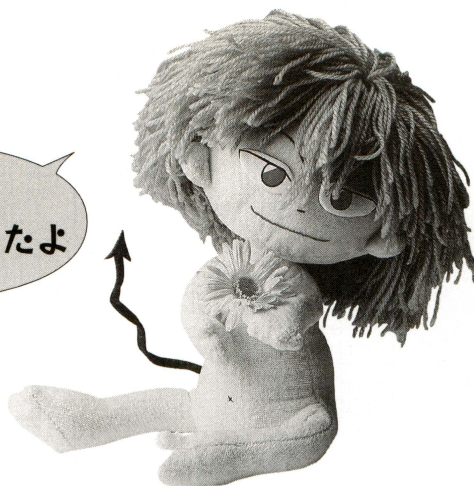


(3)タテの方向で黒マスが決まったら、ヨコの方向はどうなるか、タテ・ヨコ両方から推理して塗っていきましょう。



ファイル名:逃げちゃダメだ

難易度:132



Column clues (left to right, each read top to bottom):

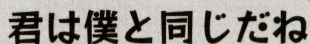
Column	Clues
1	42 1
2	20 21 1
3	9 2 1 19 2
4	6 8 2 17 1 1
5	5 17 15 3
6	4 16 1 13 4
7	3 5 8 1 3 12 3
8	2 6 6 2 2 10 2
9	1 5 1 11 2 2 9 1 1
10	5 3 14 1 6 1 2
11	5 7 9 4 2 2
12	5 4 5 5 1 2
13	6 6 1 3 4
14	5 8 1 2 12
15	5 6 1 1 2 2 1
16	5 9 1 2 2 2 1
17	17 1 1 2 2 3
18	11 1 1 2 1 3 5
19	15 6 7 2
20	17 4 5 3
21	11 3 5 2
22	15 2 1 4 1
23	17 2 1 4
24	9 1 5
25	7 1 6
26	8 1 5
27	10 5 2 1 4 2
28	17 10 4 3
29	13 4 4 2
30	17 3 11
31	15 3 2 2 3 2
32	14 1 4 2 4 3 1
33	4 6 1 2 2 5 3
34	4 9 2 2 2 7 3
35	4 7 1 2 3 8 4
36	1 3 4 3 5 10 1 2
37	8 6 1 3 2 11 2 1
38	2 3 11 3 2 13 1
39	3 3 10 2 14 2
40	4 20 16 2
41	5 12 17 2
42	5 4 2 5 24
43	6 3 3 23 1
44	8 1 3 25 1
45	14 28

Row clues (top to bottom, each read left to right):

Row	Clues
1	9 22 10
2	8 25 9
3	7 29 7
4	6 31 6
5	5 26 5 5
6	4 8 16 4 3
7	3 5 18 1 4 2
8	3 4 10 9 2 3 2
9	3 6 11 9 1 4 1
10	2 3 1 11 10 1 4 1
11	2 3 2 12 11 2 1 1
12	2 3 1 7 2 2 15 2
13	2 3 9 2 2 5 10 1
14	2 4 6 2 2 2 1 3 2 5 1 1
15	2 8 2 2 2 2 1 2 2 5 2
16	2 8 1 1 1 1 1 1 1 7 1
17	2 8 1 1 1 1 1 1 5 1
18	3 7 9 1
19	3 6 10 7 2 1 2
20	2 7 5 4 2 1 2
21	1 5 2 6 1 8 3 3
22	2 1 1 3 2 1 3 4 1 1 4
23	3 1 2 1 1 2 2 2 1 2 1 4
24	3 1 3 2 2 2 1 1 4
25	4 2 3 2 2 2 4
26	4 1 2 1 1 2 5
27	5 2 1 1 3 6
28	6 2 2 2 3 7
29	7 5 1 2 8
30	8 4 2 9
31	9 5 5 2 10
32	9 2 3 2 11
33	9 1 1 2 2 12
34	10 1 2 3 2 13
35	12 3 3 2 14
36	12 1 8 4 14
37	12 1 14 14
38	12 1 13 14
39	10 2 10 2 12
40	7 4 2 3 4 10
41	5 4 2 1 3 6 8
42	2 3 2 3 1 3 6 6
43	5 2 5 4 2 3 4
44	3 3 2 2 3 2 2 2 4 1
45	3 2 3 2 2 6

Column	Clues
1	11 10 21
2	10 11 18
3	8 8 7 14
4	7 6 10 12 1
5	5 6 14 10 1
6	4 6 12 3 9 1
7	4 5 15 2 9 1
8	3 4 4 10 3 8 1
9	2 3 3 5 5 3 7 1
10	1 3 2 5 2 3 3 6 1
11	1 3 2 3 2 2 1 3 2 4 2
12	3 1 2 3 1 2 2 3 2
13	3 2 1 1 2 5 3 1
14	2 4 2 4 1 1 4 1
15	2 7 1 3 4 2
16	2 11 2 8
17	2 2 5 2 2 3
18	2 2 8 3 2 2 1
19	1 6 2 4 1 2 3
20	1 2 3 2 1 1 3
21	1 7 1 1 3
22	1 8 1 2 2
23	1 5 1 1 3 2
24	1 3 1 2 3 2 1
25	2 11 1 1 10
26	1 7 1 2 1 7 1
27	2 2 1 4 2 9
28	2 6 1 4 2 12
29	3 4 1 1 3 5 3
30	3 3 4 2 4 5 4 2
31	3 3 1 3 3 1 2 10 4 1
32	3 1 1 3 2 1 2 10 5 1
33	1 5 5 2 2 5 4 6 1
34	2 2 1 3 6 4 2 1 3 7 1
35	2 5 3 1 4 2 1 4 8 1
36	3 3 1 6 4 10
37	4 4 3 3 5 12
38	5 4 6 2 5 13
39	7 9 8 15
40	8 13 16

Row	Clues
1	11 11 4 8
2	9 7 8 7
3	8 5 5 5
4	7 5 4 4
5	5 4 3 3
6	4 3 4 2 2
7	4 3 1 5 2
8	3 4 2 4 1
9	2 4 1 2 3
10	7 1 2 1 3
11	1 4 2 2 1 1 2 2
12	5 2 2 1 1 1 2 1 1
13	4 2 2 2 2 1 3 3
14	4 2 1 3 2 4 1 2 4
15	3 3 2 3 2 8 8
16	3 3 1 6 3 5 2 4
17	3 3 2 7 3 2 3 2 3
18	2 3 1 2 9 2 2 2 1 1
19	2 4 1 1 4 3 2 2 2 1
20	7 6 3 3 8 3 1
21	11 3 2 2 2 4 5
22	9 1 1 3 8
23	1 7 4 6 1 3 2
24	9 3 2 2 2 2 1 2
25	1 6 1 4 3 1 2 2
26	1 6 1 3 1 4 2 1 2
27	2 6 2 2 2 2
28	2 2 3 2 2 3 3
29	2 1 4 1 6 2
30	3 2 3 2 7 3 1
31	3 2 3 1 2 7 2
32	4 3 1 3 3 2
33	4 3 2 4 8 3
34	5 3 2 8 4
35	7 2 3 8 5
36	8 2 1 3 9 6
37	9 9 7 2 7
38	10 2 2 11 1 8
39	11 1 1 7 1 9
40	14 4 4 11
41	14 5 6 11
42	14 1 10 11
43	10 3 3 1 3 10
44	2 5 1 1 1 3 5
45	1 9 2 3 8 4

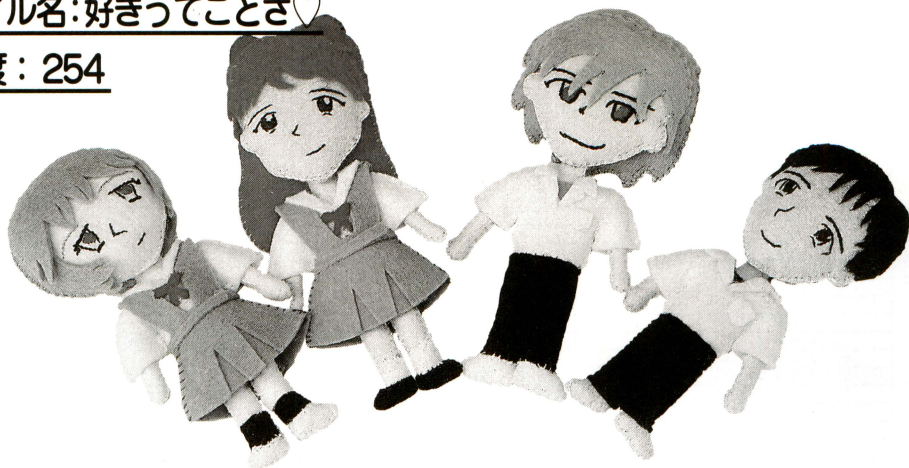


ファイル名：私が守るもの

難易度：246

ファイル名：好きってことさ♡

難易度：254

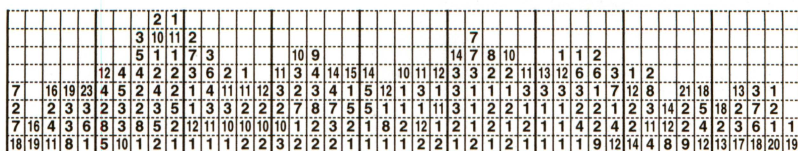


6	4	3			4									
4	4	5	2		4	2	1					2		2
5	5	3	3	3	3	3	3					6		4
3	4	8	4	11	3	2	3	3		6	7	1	2	7
1	2	3	14	3	4	10	13	6		1	2	2	8	2
13	13	13	13	8	6	4	2	12	6	1	2	9	8	3
1	1	2	1	2	2	2	2	6	25	18	14	3	8	8

									6					11
									1	3		12	11	2
4	4	3		2		2			1	3	7	1	2	1
3	3	3	2	2	2	3	7	8	1	1	3	2	2	2
3	1	2	4	1	4	1	1	3	2	3	2	3	4	6
2	2	3	3	3	1	1	6	1	2	1	6	2	5	5
4	3	2	2	3	4	6	3	7	5	14	3	2	2	1

3	2													
5	4				9	5								
3	7		9		2	1	3							
1	2		1	7	1	3	2	7						
2	1		2	2	4	6	1	1		15	3	2		1
8	3	15	7	5	2	2	9	10	20	3	9	5	8	6
5	7	17	10	11	13	14	19	21	20	19	20	28	29	30

				4	3	1	2	2	1
			4	2	1	3	3	3	1
	3	2	2	3	4	5	1	1	1
			2	3	2	3	10	5	1
	1	3	2	3	2	8	1	7	1
			1	2	2	3	2	18	1
			2	7	2	3	11	3	2
					4	7	21	3	1
		4	7	3	2	6	4	4	2
2	1	7	2	1	3	4	6	3	2
		1	2	2	7	6	3	3	8
		1	2	2	8	3	3	5	6
	2	3	1	2	2	5	3	7	6
			1	3	1	4	3	4	9
			6	1	1	2	6	2	5
	5	2	2	1	2	2	2	4	1
		5	3	2	1	1	2	5	2
		1	3	2	1	1	2	4	3
				1	5	2	2	4	3
				5	4	1	2	4	3
					5	7	2	5	3
					5	9	2	4	3
			2	2	8	1	8	5	3
		1	1	9	2	5	3	2	3
					12	2	4	1	3
					12	1	3	2	4
					4	9	2	2	8
					2	10	2	2	9
				2	7	2	3	3	9
				4	7	1	4	5	8
				4	8	4	4	1	8
					4	7	6	5	9
				5	1	5	10	2	10
			6	1	2	1	10	2	10
				7	2	2	9	1	11
				8	2	2	4	3	13
			8	1	2	2	2	2	13
		7	2	2	1	2	1	1	13
			6	3	2	1	1	3	14
					5	4	3	1	18
				4	2	2	2	2	17
				2	2	1	3	2	17
					3	1	2	3	16
					3	2	1	2	15
						1	1	2	14



列	ヒント
1	7 2 7 18
2	16 19
3	16 2 4 11
4	19 3 3 8
5	23 3 6 1
6	12 4 2 8 5
7	4 5 3 3 10
8	3 5 4 2 2 8 1
9	2 10 1 2 4 3 5 2
10	1 11 1 2 2 5 2 1
11	2 7 3 1 1 12 1
12	3 6 4 3 11 1
13	2 11 3 10 1
14	1 11 2 10 2
15	12 2 10 2
16	11 3 2 10 3
17	10 3 2 7 1 2
18	9 4 3 8 2 2
19	14 4 7 3 2
20	15 1 5 2 1
21	14 5 5 1 1
22	12 1 8 1
23	10 1 1 2 1
24	11 3 1 12 2
25	12 1 11 1 2
26	14 3 3 3 2 1
27	7 7 3 1 1 1 2
28	8 2 1 2 2 1
29	10 2 1 2 1 2
30	11 3 1 2 1
31	13 3 1 1 1
32	1 12 3 1 1 1
33	1 6 3 2 4 1
34	2 6 1 2 2 9
35	3 7 1 4 12
36	1 12 2 2 14
37	2 8 3 11 4
38	14 12 8
39	21 2 2 9
40	18 5 4 12
41	18 2 13
42	13 2 3 17
43	3 7 6 18
44	1 2 1 20
45	1 19

行	ヒント
1	6 28
2	6 2 17 2 4
3	6 2 18 2 4
4	5 2 20 6
5	5 3 22 7
6	41
7	42
8	26 16
9	26 15
10	7 9 9 4 11
11	6 8 4 4 3 8
12	6 4 3 5 3 2 2 6
13	5 3 3 4 2 2 1 6
14	4 4 3 5 2 1 1 7
15	5 2 3 3 1 1 7
16	5 1 2 2 1 5
17	4 1 1 5
18	4 3 2
19	1 2 1 1 3
20	2 2 1 1 1 1 1 2
21	1 1 2 1 1 2 1 2
22	1 1 2 5 1 1 7 1 1 1
23	1 4 8 1 1 7 1 1 1
24	1 1 1 12 11 1 1 1
25	1 4 2 2 2 2 2 1 2
26	2 1 3 2 2 2 6 3
27	2 5 2 2 5 2 2
28	3 1 2 3 2 2 2 2 3
29	4 2 4 3 2 2 1 4
30	6 11 10 2 1 4
31	2 3 10 2 3 5 4
32	2 2 11 1 2 4 4
33	2 3 11 1 2 4 5
34	3 3 11 1 3 3 6
35	3 4 9 1 3 3 6
36	3 3 9 1 5 3 7
37	4 4 6 2 3 2 3 8
38	4 3 6 9 1 3 8
39	4 4 8 3 4 8
40	4 7 3 4 8
41	4 5 7 16
42	4 3 4 4 13
43	6 5 3 12
44	4 8 17
45	1 2 6



間もなく最後の絵が現われるはずだ
それができれば願いがかなう
もうすぐだよ、シンジ♡

ファイル名：我々には時間がないのだ

難易度：270

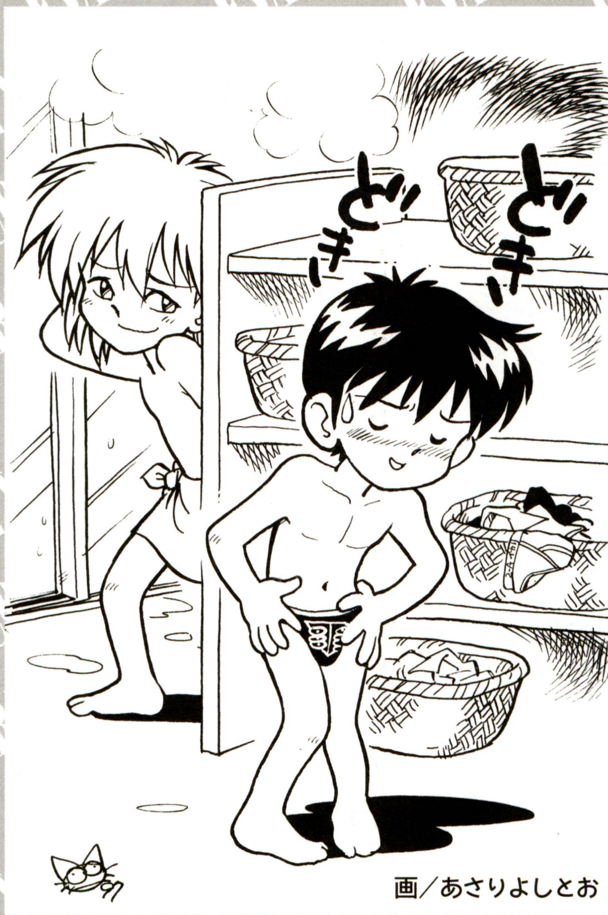
答えはP232・233にあります



特別読み切り発作的思いつき出たとこまかせ企画

出張版

エヴァンゲリオン補完委員会



画／あさりよしとお

〝エヴァンゲリオン補完委員会〟とは、漫画家あさりよしとおが、「エヴァ」の放映3週目位に酒の席で発作的に思いついた〝エヴァンゲリオンを応援しつつ、それをネタにして遊ぶ〟ための集団である。それ故、特定の出版社やメディアに傾ることなく、面白そうだからやってみよう的理由を第一に無軌道な活動を続けてきている。とりあえず、レギュラー的に活動しているのは徳間書店「月刊アニメージュ」の2色ページ（たまにカラーあり）である。基本的には読者の投稿を紹介しつつ、それに対して勝手（ホントに勝手なのだ）なコメントを放言するというスタイルだ。

今回「JUNE」読本に登場するきっかけは、同誌編集長のオーダーによるものであった。そのいきさつ（というほどのものではないが）については本文内で触れている。

内容については御覧戴くとして、投稿紹介ではないので、いつもとはかなり趣きが違うハズだ。（本コーナーを知っている読者なら、この文章のスタイルで違和感を覚えていることだろう。にちがいない。絶対）

考えてみたら、いつもの数倍のトークをしなくてはならないのだ。とはいえ、「覆水盆に還らず」引き受けてしまったものはしょうがない。というわけで始まり始まり。

補

時に西暦1997年。春、新宿区四谷三丁目にほど近い出版社で、その男は夏に出版する別冊の企画を練っていた。

今、最もナウ（死語）でホット（死語）で、アニメファンのみならず、多くの人間をフィーバー（死語）させているアニメ「新世紀エヴァンゲリオン」を題材に、評論、パロディ、小説など、あらゆる要素を投入したヴァラエティ本である。まさに最強の企画である。「いける」編集生活50年（ウソ）の経験が、その別冊の成功を確信させる。

折りしも校了予定の雑誌に、予告を載せる。〝6月下旬刊行予定〟と。だが、既に7月の今、本書を手にしている賢明な読者は、この予定が既に崩れていることに気がついていることだろう。

何故遅れたのか？　それは永遠の謎、S²機関の動力の秘密や、その他の「エヴァ」の謎と同じ位、ヒミツに包まれている。

しかし、その謎を解くカギはある。本書の目次を御覧戴きたい。そこで目にする執筆者の人間の原稿の遅れが原因のひとつなのだ。そう、例えるならまるでクリスティの「オリエント急行殺人事件」のように○○が犯人と断言できよう。

とはいえ、その中でも最も罪が重いのは、このページ（つまり、本コーナー）を安易に引き受けた我々補完委員会のメンバーであることはいうまでもない。（→いばるなよ）

岸川靖（編集者、以下、岸川と略）というわけで1回コッキリの大放出企画のこれをどうするかだなァ。

あさりよしとお（漫画家、以下、あさりと略）そうだな……ウ～ム。とりあえず「JUNE」なんだから、格調高く耽美的にやりたいね。カットも竹宮先生にお願いするとか……。

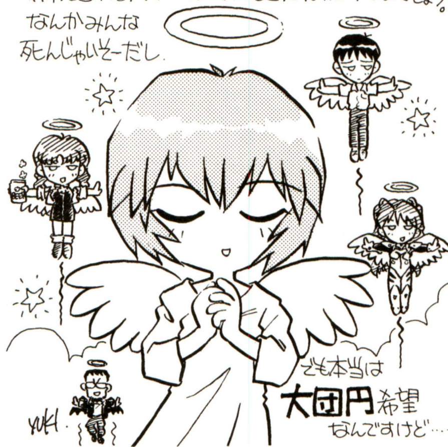
岸川　なんか現実に即さないねその案。とりあえず書体を明朝から、淡古印とかに変えてみるとか。

あさり　こう？　なんかホラー雑誌みたい。

岸川　女の子風の書体ルリールとかは？

あさり　こう？　なんかイヤ～ンな感じ。

岸川　じゃ、いつも通りで。



■岸川　投稿がないのでヤラセです。トップバッターは模型誌でおなじみの藤田幸久さんです。あさり“決”の字“結”じゃない？

GUEST Member：01　藤田幸久

岸川　最初は関係者インタビューというのはどう？　本誌独占の。

あさり　誰に？　今は映画製作の最中だから忙しいんじゃ……。

岸川　最初に仕事の話があったのはいつ頃？

あさり　俺かい。……94年の暮れだったかな。

岸川　連絡は誰から？

あさり　庵野の旦那から直接。「今度ロボット物やるんで、敵のデザインをお願いします」と電話があったのが最初。

岸川　それで最初に描いたのがコレね（次ページイラストⒶ）。キ

［EVANGELION補完委員会］執筆者

あさりよしとお

■62年11月20日生まれ。サソリ座の0型。補完委員会のゲンドウ的存在。アニメとロケットと腕時計にうるさい。最近、ダイエットに目覚め自転車を買う。出かける時にNERVのロゴ入りキャップを愛用する勇気ある人。本人曰く「だって俺マニアだし、エヴァ好きだから」。主な著書に「宇宙家族カールビンソン」（徳間書店刊）、「ワッハマン」（講談社刊）、「まんがサイエンス」（学研刊）がある。

岸川　靖

■57年1月30日生まれ。水がめ座の0型。補完委員会の冬月的存在としてあさり氏のフォローにまわる。「スタートレック」と模型が好き。職業は編集者。専門は特撮関係だが、「エヴァンゲリオン・フィルムブック」「eve」「ADAM」（すべて角川書店刊）など、エヴァ関連の本を多く編集している。新刊は「新世紀エヴァンゲリオン劇場版〝DEATH編〟フィルムブック」（角川書店刊）。あさり氏とは10年以上のつきあい。

完

ャラクターデザインの貞本義行さんが「監督に"これどう?"って見せられたとき、マントを着てるんでビックリした」って云っていたなァ。

あさり　だって、大きさとか聞いてなかったし、俺の描いているイシュタル（「ワッハマン」に登場するキャラ）みたいな感じという注文があったんだもの。

岸川　で、その次に描いたのがコレ（イラストⒷ）だよね。かなり決定稿に近いケド、頭とか腕とかが違っているかな。

あさり　この腕のカッター、というかイメージ的には日本刀なんだけど、ギミックが「Gガンダム」のガンダムシュピーゲルに似ているといわれて変えたんだ。でも、よく見ると同じようなギミックじゃないんだけどね。

岸川　それからこうなる（イラストⒸ）になるわけだ。このあと決定稿になると。

あさり　でも最終的なクリンナップ（仕上げ）はやってない。

岸川　このサキエルの他に、第3話のシャムシェルとか第19話のゼルエルのデザインをやっているんだっけ。

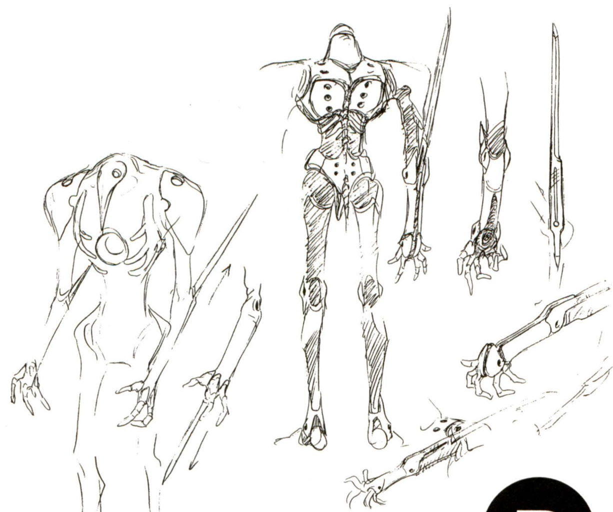
あさり　そう。シャムシェルはデザインを持っていってもらったじゃない。

岸川　ああ、別件で行ったときね。宇宙船かと思ったよ。で、他のデザイン画は？

あさり　まぁその他のデザイン画に関しては、いずれ別の機会に発表しようかと思っているんだけど、まずはこれ位にしておこう。アニ







メ誌じゃないし。
岸川　そういえば「JUNE」MOOKということで何かコメントがあったんだよね。
あさり　そうそう。

お姉さん見てますか？

岸川　何ソレ？
あさり　いや、うちの姉がJUNEの読者なので一発かましてみました。先生やってんだけど、オレがこういうマニアになってしまったのも、全部姉のせいだから。
岸川　（ボソっと）濃い姉弟……。
あさり　何か？
岸川　あっいやいや別に。
あさり　ところで、こないだアメリカの即売会に行ったんだって？　向うでのエヴァの人気というか知名度はどうだった？
岸川　ビデオは今4巻まで、LDは4話収録の一枚目が出てたね。人気？　うーん、日本ほど濃い人はいないんじゃないかなァ。ちなみにバンダイのLMHGのプラモ、2500円（税抜き）は、ニューヨークのお店では40ドル（約5千円）で売られていたよ。
あさり　LDって英語字幕？
岸川　いや2ヶ国語。声優さんも声質が割と似ていたね。
あさり　でも、ジャパニメーションって、日本でいわれているほど知名度も人気もないからね。一部のホントに一部のマニアにだけうけているというカンジだよね。
岸川　うん。怪しげなグッズでもあるかと思ったらなかったし。そういうのが出てくるとブームっぽいんだけどね。
あさり　そういえば、ブームになってきて、普通なら誤植で「エバンゲリオン」とか書いちゃう雑誌とかありそうなのにないねぇ。
岸川　それだけ好きな人が多いんでしょ。
あさり　うーむ。みんなマジメだなァ。
岸川　さ、て、と。ここで編集長から当委員会にいただいた御質問に答えましょう。まず最初の質問。補完委員会はどうして作られたのか？
あさり　前に説明しなかったっけ？
岸川　その通り。設立の事情については単行本「新世紀エヴァンゲリオン4コママンガ全集」（角川書店刊）の巻末に載っているので、ぜひお読み下さい。
あさり　以上CMでした。俺の高校の時の先輩に似ている「少年エース」編集部のハラダさん(仮名)、宣伝しておきましたからね。
（電話の音）
岸川　はい。……？　あさり君、ハラダさん。
あさり　はい、あさりです。
ハラダ　どーして歳下の私が、あさりさんの先輩に似ているのよキーッ。
あさり　（黙って受話器を置く）

GUEST Member：02　冬越さなぎ

アニメーター。残念ながらエヴァには参加していない。現在テレビ東京の深夜アニメ「はいぱーぽりす」などに参加中。静岡出身らしいが詳細は不明。



岸川　何か？
あさり　問題ない。次の質問は？
岸川　会員数はどのくらいいるのか？　主な構成メンバーには、どんな人間がいるのか？
あさり　200名くらいだっけ？　そのうち業界関係が50～60人くらいかなァ。
岸川　一応、協力者の氏名と住所のデータはうちの方で管理してるよ。え～っと、全部で217名。そのうち業界関係が53人だね。一応、会員証のピンズがあるので、それを持っている人は会員というワケだ。
あさり　といっても特典もなにもないケドね。
岸川　いや、一応これをつけてガイナックスに行くとバカにされる。
あさり　質問はそれでおしまい？
岸川　うん。さてと、どうしようかね？　……とりあえず、ガイナに電話でもしてみよう。
あさり　本社は、劇場版で忙しそうだから関係ないセクションがいいね。
岸川　（電話をかける）もしもし、いつもお世話になっております、山賀さんか佐竹さんいらっしゃいます？
佐竹　『はい佐竹です。』
岸川　実は（中略）……というわけで、何かコメントをいただきたいんですけど。
佐竹　『じゃ、茶飲み話として。春の劇場版を渋谷に観に行った時、REBIRTH編のアスカの「エヴァシリーズ!?　完成してたの?」というセリフに『夏もある、夏もある』と突っこんでしまいました。（苦笑）』



■漫画家。現在「月刊Gファンタジー」に「ペルソナ」連載中。「W」「エヴァ」とハマリ、現在はＴＯＫＩＯにハマっているらしい。

GUEST Member：03　上田信舟

岸川　それ載せていいんですか？

佐竹　『茶飲み話ですから。本社の人も怒らないでね。じゃ。』

あさり　ところで今の人は？

岸川　ガイナックスのプロデューサーの佐竹正徳さん。エヴァとは全然別の作品の担当者です。

あさり　と、いよいよネタにつまっている我々に力強い味方が現われました。ジャーン。

岸川　この封筒は？　手紙が入ってるケド。

あさり　「JUNE」の編集部にあった。

岸川　あったって……

あさり　とにかく、投稿だからここで紹介しちゃっても構わないに違いない。最初のお便りは静岡県の山田里枝さん。

「一言で言ってしまうと「わかりませんっ」私、おん年31才、主婦、はーるか昔にお子様から大人になったハズなのに、なのに〜〜何度見ても20話目以降の話の内容がつかめない〜〜どうして突然あーなっちゃうの？　25・26話はなんだぁあれは、って感じです。でも、1つだけはっきりきっぱり分かるのは、イカリゲンドウはただの鬼畜ぢゃっ！　奥様を（たぶん）愛してらした気持ちは分かりますがね、あんたは人間以下だよっ！　ともあれ31才にもなって、今さらロボット（とはちがうけど）アニメにはまるとは思いませんでした。エヴァはむずい。私にもわからないのに、きっと小学生なんかも——っと分からないと思うぞ。使徒と戦ってるところはおもしろかったけど（プラグぬけて動けなくなっちゃうトコとか）。20話以降は裏ストーリーがフクザツすぎて、伝わってきませんでした。劇場版では、そのへんをきちんとつながる様にしてほしいでっす。カヲル君の声がイガなのにはうれし涙がるるるー」

岸川　次は奈良県の上原レンズさん。僕らが「JUNE」的だと感じる（多分、誤解百パーセント）お便りですね。

「なーんと、シンジ君のオナニーシーン（ネタはアスカだけど）から始まる、20ウン分（でもその時のカオはうつんないの、くすん）。そん時に一人称"オレ"になってたのは成長のあかしか？　今回で、終わらないときいた時はくらくらしましたが、20ウン分。でも、さすがにアクションは見せる！　さすがあんのカントク。弐号機大暴れシーンと、ラストの天使降臨を思わせる、量産型エヴァがまうシーンですべてを許せる気分になってるワタシ…。そして、そしてなんとダミープラグ"KAWORU"だとぉ。すると、カヲルもレイみたく、あーんな事やこーんな事になってたのね。やらしい。やらしすぎ!!　この先ダミープラグの中身がシンちゃんに知れるなんてことがあったら…。ああドキドキ。これ以上妄想がふくらむ前にカモーン完結編だわ！（でも完全におわんのもイヤっすね）。ところでカヲ×シンのかわいいフィギュアが出るときいたんだけど、どこでかえるのー？　かえなかった場合にそなえて写真はのせてねJUNE様？」

岸川　次はそのカヲルくんのガレージキットについてのお便りです。投稿してくれたのは東京都の大日本ハルミさん。

「今月のMGにスゲエかをるくんのってたんで送ります（ってもう見ました？　ほんと良くできてるでございますよ）。なんか「シト新生」でやっと全国におひろめになったカヲルくんですが、あわせてガレージキットがいっぱい出るみたいっス。うーむ。次の「スーパーロボット大戦」にもウワサの白いトビウオエヴァ（ハネ生えるんですよね）に乗って登場するらしい（テキとしてだろうけど）し、CD−ROMのエヴァものにもハズせないキャラに成長なさって（笑）こういうデジタルなメディア展開とか3Dであそべるというのは、男の人が中心にもりあげてる作品の特有の面白さですね。男の目から見るとこーなるか、というオドロキもあり。とにかくこれはツボ。5万円出してもほしいッス。JUNEでもいつかガレージキットとりあげてちょ！」

岸川　フォローを入れときますと、MGとは「月刊モデルグラフィックス」（大日本絵画刊）という雑誌で、いわゆる模型の本です。ちなみにそこで紹介されていたカヲルくんのフィギュアは、この別冊のどこかでも（編集者注43ページ）掲載されているのでチェックして下さいね。そうそう、そのMGから夏発

売の予定でエヴァの別冊を出すとか、当然、フィギュアもあると思うので、ファンの人は要チェックして下さい。

あさり　なんかCMくさいなァ。

岸川　さて次は東京都の渚にまつわるエトセトラさんです。そのペンネームの通り、カヲルくんについてですね。

「新世紀エヴァンゲリオン劇場版「シト新生」観ました。渚カヲル亡き後のエヴァの主人公は、どうしても庵野秀明になってしまうんですね。今回作り直された「REBIRTH」に出てくるシンジは、TVシリーズどこの騒ぎじゃない程庵野さんだと思いました（ほんと。もうシンジじゃなくなってるもん。あれはカヲルくんのせいじゃないぞー）

　でもってエヴァの世界を庵野さんのインナースペースに置き換えると、カヲルというのは「決別すべき現実逃避を象徴するモノ」なのだそうです（前売りチケットについてきた予告ビデオにテロップがありました）。エヴァに出てくる男の子なのに、カヲルが徹頭徹尾ウソのようにキレーで魅惑的なモノとして描写されてるのにはこういう必然性があったのですね（単に天使だからだと思ってた。まあ物語として観ればそういう事にもなるんだろうけど）。ああ〜。エヴァの世界が「逃げちゃダメ」な庵野さんの殻を打ち砕けない限り、少年の再生劇にこのヒトは2度と関わっちゃいけないわけなんだ。私はてっきりカヲルというのは「ありのままの自分を肯定し、受け入れてくれる他者」だと思ってたので、それをわざわざ殺してしまう意味ばかり考えてたんですが、現実に考えれば確かに「そんな奴はいない」んですよね。カヲルは夢であり理想であり幻だからこそ、シンジにとっていっそ都合のいいほど優しく誘惑をしかけてくるわけで。カヲルってのは我々にとってはまさしく「JUNE的なモノ・やおい」を象徴する存在だとも言えます。万人は万人の中で美しく理想化された、逃げ込むべき「渚カヲル」を握りつぶして生きなきゃならないよと（例えば尾崎南がいつか「BRONZE」という虚飾に決着をつけ、オトナになっていかねばならないように）。でもさー。そう易々と卒業できるもんじゃないからこちとら人間なんだよー！　もしカヲルが貞本義行のあーいうデザインじゃなく、ゲンドウみたいな顔だったら私も考えるけどさ（それじゃカヲルくんの意味ないよ…）。現実に「逃げちゃうのが僕のリアル」と言ってしまえる貞本さんの漫画版エヴァは、庵野さんのアニメとは対照的にしごくカラッと健やかですよね。「生物が気持ち悪い」という理由で肉を食べないとか「人間には興味がない」とか言う庵野さんにとっては、カヲルは決別すべきモノなのかもしれないけど、カヲルとうまくつきあいながら、ちゃんと現実にも適応して生きていける人ってたくさんいる。特に日常何もしなくても抑圧と差別を受け続ける女にとっては「渚カヲル」ってまた別モノなんだもん。アニメのエヴァ観てたって、なんでここまで女を蔑むかなーと思うし（そのくせしがみつく。しがみつくのが蔑んでる証拠か）。男の子はそれより「綾波レイ」と決別すべきだよー。母にさようならできるか否かが男の瀬戸際じゃん。たぶん夏の完結編で庵野さんはこのテーマについては突っ込んでくるはずだけどさ。そういう男の子に向けてエヴァ作ってるんだし。

　あと「REBIRTH」にはシンジが壊れたアスカをオカズに手淫する場面があるんですよね。カヲルを握りつぶして血に汚れた右手をさらに精液で汚すという（アスカもカヲルくんも汚された気がしてちょっとブルー。生々しくてゾクゾクとも言うけど）えらい背水の陣で。堕とすところまで堕とされたシンジの再生劇は夏におあずけだそうです。シンジファンの人はかわいそうかも（まああれは庵野さんだから…）

　ところでラストに出てきた白いエヴァシリーズのダミープラグにはカヲルの人格が移植されてるんだとか。クローンでも何でもいいからもう一度出て来て欲しいよー。「DEATH」の新カットにも、今展開しているエヴァとは違う世界と思われる設定の学校の講堂で、カヲルとおぼしきシルエットの人物（声は石田彰さん）がヴァイオリンを奏でる場面があったりして（弦楽4重奏のシンジがチェロ、アスカがビオラ、レイが第2ヴァイオリン）これもエヴァお得意の、明かされるかどうか不明の謎ながら気になるところです。

あさり　ところで、このページを作っている現在、公開まであと約1ヶ月というところなんだケド、果して映画はどうなると思う？

岸川　内容的なコトとか、全然知らないからね僕ら。

あさり　去年「アニメージュ」でTV版の最終回予想したことがあるじゃない。

岸川　あー。その時冗談で、最終回はシンジが目を覚ますと、ゲンドウが台所で新聞読んでいて、ユイが朝食の支度をしていて、とか書いたら、むこうのほうで、おもしろいからこのまま通しちゃえってことになって、ノーチェックだったらしい。

あさり　いぢわるな話

岸川　ガイナックスらしいといえばらしい。

あさり　基本的にエヴァに関する原稿というのはガイナックスでチェックしてもらうんだけど、それならなぜ「ココ、TVと似てますからダメ」と云われなかったのかな？　不思議。

岸川　というところで、出張版はこれにて終了させていただきます。

あさり　じゃ、続きは「月刊アニメージュ」（別売）で読んで下さい。

（アニメージュ9月号8月10日発売へつづく）

私のE体験 ——JUNE読者のおたよりから

加虐の苦しみを快感に変えつつ見ました

こんにちは。初めて手紙を書きます。最近ちまたで、またJUNEでも取り上げられていた「新世紀エヴァンゲリオン」と出会い、私なりにエヴァンゲリオンについて書いてみようと思いペンをとりました。

TV版も見ず、たいした予備知識もなく、ただ単に「流行りもの」を1度は見てみたいというミーハー的な好奇心だけである春の日、姉と2人で劇場版「シト新生」を観に行きました。私ももう20代半ばすぎ、周りにアニメ通の人などいるはずもなく、ホントにいきなりという感じで観に行ったんです。

そうしてイキナリ「エヴァンゲリオン」なるアニメと遭遇した私の、劇場版を観た最初の正直な感想は…〝なぜこんなアニメが人気があるのかわからない〟でした。〝なぜこんなアニメを見るためにこんなに人が集まるのだろう？〟、そして〝皆こんなアニメ見て平気なの…？〟

イキナリ観るのは良くなかったです、はっきり言って。ちょうどその時ブルーな状態におちいっていた私にとって、「エヴァ」はショックでした。その日は虚脱感、脱力感に襲われ、あの例のエンディング・テーマが頭の中をぐるぐる回っていました。生々しすぎる。痛すぎる。辛すぎる。哀しすぎる。大画面にこれでもかと展開されるキャラクター達の感情。そしてバックに流れるパッヘルベルのカノンや第九。なんて哀しくて、そして切ない映画なんだろう……。話の筋はほとんどわからないながらも、そんな胸をしめつけられるような強烈なイメージが劇場版エヴァを観た私の心に残りました。（感動ではなく。デス編はTV版を知っている人よりもエヴァ初心者の方がきっとキョーレツだったはず）

その後、否定的な感情を抱いたにも関わらず「エヴァ」が私の心に灼きついたことに代わりはなく…ちゃんとした内容が知りたくなった私は早速ビデオを借りたのでした。まるで、自分の心に塩をすりこむかの如く…見ましたが、加虐の苦しみを快感に変えつつ…見ましたが、やっぱ辛かったです。

でも「エヴァンゲリオン」、スゴい作品です。第拾八話なんてシンジの心の痛みがこっちにまで伝わって、見てて痛かったです。鳥肌立ちました。それにあのサブリミナルのような印象的な演出と構成。全体的に急にギャグ的になったり急にキャラのモノローグが入ったりと、まとまりがないなあとは思いましたが。前半はガンダム路線だったのに、中盤からデビルマン的になってきたのには言葉を失くしました。そして、見ている側にまるで出し惜しみをするかのような心憎い演出。極端に言って、「エヴァ」という作品世界の、ほんの少ししか映像化していないのではないかと思うほどです。また、あの強引なまでの不親切さ。あの不親切さは演出ともとれますが、それは謎となって見るものをぐいぐいと引っぱっていく。（本当に時間がなかっただけなのか…）TV版を大体見て、なぜ「エヴァ」がこんなに話題を呼ぶのか、なぜ多くの、あらゆる人の心を惹きつけるのかわかるような気がしました。なにせ、「エヴァ」というアニメを構成するあらゆるものが、この現実にある、あらゆるものの集合体のようなところがあるのにはビックリです。そうすると、「エヴァ」は「鏡」なのかもしれないと思います。

そしてなぜ「エヴァ」はJUNEなのか？それはカヲル君のようなキャラクターが（多分）必然的に生まれてきた（と思う）ところにあると思います。彼は、ただ単に制作者側がやおいファンへのウケ狙いのためだけに造ったキャラではないでしょう。（でも、最初の企画段階からカヲル君登場は決まってたみたいだからちょっとあやしいかな…）とは言うものの、もしカヲル君のような存在が出てこなかったとしても、「エヴァ」はJUNEだと思います。自分の存在の不安に、ガラスのように脆い繊細な心をふるわせるシンジ。死ねない少女綾波レイ。母親に心の中でその存在を消されてしまったアスカ。成人した、一見自立した女性に見えるミサトやリツコも、各々のトラウマを抱えつつ生きている…。

中でもシンジは可愛いですね♡（結局それが言いたかったんじゃないのか？）清潔感があって、くっきり「白」というイメージで、女の子みたいに細くって、アスカのように強がることさえできず、見てるこっちがイライラするほど優柔不断で情けない、そんなシンちゃんがたまらなく好きです。（いわゆるロボットアニメであそこまで女々しい主人公なんて今までなかったのでは？）それにあの中性的な魅力。キャラクターデザインをした方が、シンジのイメージを日本の古典的美少年ヒーローに基づいて決めたというのも頷けます。綾波レイもちょっと中性的だし。（初めにレイのイラストだけ見たとき、男か女かわからなかった）

とにかくそんなシンジが、父親ゲンドウの計画の内かどうかはわからないけれども、はからずもトウジに重症を負わせてしまったり、同性愛的恋愛対象であったカヲル君を自らの手で殺さなければならなくなったりと、精神的にこれでもかというほど痛めつけられ、ガラスの神経を粉々にして苦しむさまが、私のサド心を刺激してくれるのです。でもその反面かわいそうでたまらなくもありますが。

私は、シンジがなぜエヴァに乗るのかわからない。劇場版リバース編で、全く生きる気力を失い「死にたい」とまで口にするシンジに、「何言ってんだ！　しっかりしろ!!」なんてとても言う気になれない。時々シンジの意志さえ無視し、勝手に暴走して使徒さえ喰いはじめるような（あの喰われた使徒、かわいそうだった）エヴァなんかに、もう乗らなくていいじゃないか。他の人間の命なんか救わなくたってもういいじゃないか。父親の期待も、もうどうだっていい。もっと自分のために生きて欲しい。死にたかったら何もかも捨てて死ねばいいじゃないか、と思ってしまいました。そう思うことは甘いでしょうか。たしかにあの時のシンジは最低でした。廃人状態のアスカに助けを求め、命がけで自分を



「キテレツ大百科の」ブタゴリラの本名が「かおる」であることが世の中に、J社会にどれほど浸透しているかはあまり気にせず描いてしまいました。男にも「かおる」という名がO．Kだと子供たちに知らしめた功績は、渚くんよりブタゴリラです。

香川県／アイブロウズ

守ってくれたミサトの言葉にもただうなだれるだけ。最低だけど、私はあれが人間としての自然な反応だと感じるし、あそこでけなげに使命感、正義感に燃えて、はいそうですかと初号機に乗られても首を傾けてしまうでしょう。でも、彼はきっと乗るのでしょうね。自殺したくても自殺できない、それがシンジだという子だと思うから。

それにしても、今まで私は女々しいキャラも15才以下の子供キャラも好きになったことはなかったのに…。シンジだけは別です。現実の14才の男の子に比べてあまりにも男の子っぽさのなさすぎるへなちょこシンジくんだけれど、少年独特の繊細さのかたまりのようなところに妙に惹きつけられるのです。そしてあらためて中学生という年齢の、ちょうど大人と子供の境目にあるあやうさ、不安定さを再認識させられるようで、中学生ってかわいかったんだなあと思ってしまいました。私は結構…かなり…シンちゃんにメロメロです。

ところで、私はあの例の第24話も最終話も、実はまだ見てません。TV版は22話まででしか。なんだか見るのが勿体なくて。いずれ見るでしょうが…。カヲル君、映画だけで拝見しましたけど、メチャクチャ浮いてましたねえ。加持さんを除いたキャラのほとんどが眉間にたてじわ作って自己の内面と闘っているというのに、何もかも全てを受容しているかのような肯定に満ち満ちた余裕たっぷりのあの態度…!! 全てを悟った迷いのない、人ではない彼のあの存在感の大きさに目を瞠る思いでした。「歌はいいねえ…。リリンの生み出した文化の極みだよ」全てを肯定し受け入れる、彼の落ち着いた物言いに救われた気がしたのはなぜでしょうか。

カヲル君といえば、一般の「エヴァ」ファンに“ホモ男”と言われ、可哀相です。カヲル君は果してホモでしょうか? まあ、そのまんま見ればホモにちがいないでしょうが、シンジがたとえ女の子だったとしても、彼は同じようにシンジに対したはずです。それに私は、もしかしてカヲル君って両性体? とも疑っているのです。綾波レイよりも謎が多い。(綾波レイと同じクローン人間なのだとしたら、レイのようにまだどこかにいろんなカヲル君がいるのかしらと妄想ふくらませたりして…。現にエヴァ量産機に彼のダミープラグが使われてるみたいだし) 何にせよ私はむしろ同性のカヲル君にそれとわかる好意を示され、頬を赤らめるシンジの方が心配。でもアスカの裸に反応したりして、将来ホモにはならないでしょうがロリコン男になりそうで怖い。(シンジのあの自慰シーンは嬉し…いえ、ショックでした) アスカの身体を前にしながら彼女を全く無視して己の快楽にのみ終始してしまったシンジ。あれはとても象徴的なシーンでした。他者との関係を結べないという点で…。やっぱり「エヴァンゲリオン」ってJUNEだったんですね。

でもホントにカヲル君って何者なんでしょうか。あらゆる劣等感を克服したもう一人のシンジ…。シンジにとっての自己の理想像? 概念としてはそうなのかもしれない。彼という存在は、シンジにとっていわゆる誰にでもあるナルシシズムの極致なのかも。でも、もしそうならなんだか哀しい。シンジは結局もう一人の自分を自分で殺してしまったわけですから。「人間の敵は、人間」という文句がシト新生のパンフレットに書かれていたけど、それって「自分の敵は、自分」という言葉にもシンクロしませんか? そうやって考えると、あらゆる解明されない謎がわかりやすくなる気がするんですが。私はあまり“謎”には興味ないんですが、今度の完結編で多分ルシファーとして覚醒するだろうエヴァ初号機が、何をもって覚醒するのか、そしてその時の敵は何で、何と戦うのか、そして自分の中の「悪=使徒の血」を自覚したシンジ(母親の碇ユイが本当に使徒であったら、の話ですが)がどうなるのか、とても興味があります。でも、私はとにかくシンジには自分の意志でエヴァを降りて、あのエヴァを消滅させてくれることを願うばかりです。でも、最終的にシンジも死んでしまうかもしれない…登場人物皆殺しとか。それも仕方ないですね。

エヴァンゲリオンには他にもいろいろと思うところがあるんですが…とにかく、とても不思議なアニメ…としか言いようがありません。あれだけマスコミに取り上げられ、“社会現象”とまで言われ、「すごいアニメ」なんだろうなと思いながら見てやっぱりすごいと思わせるエヴァンゲリオンって、「すごい」。

たとえ「エヴァ」が商業ベースに徹した制作者側の巧みな策略だったとしても、私は「エヴァ」に出会えて良かったと思ってます。あえて言うなら、20代のいま、出会えて良かった。もし10代の時知っていたのなら、きっと違った捉え方しかできなかったと思うから。これほど心動かされることはなかったと思うのです。

ただ単なる流行りものにはなってほしくない。「エヴァ」ブームを世間ではすでに過去形にしてしまっているところがありますが、劇場版にはまってしまった人(私)はどうすればいいんですか(笑) 過去形にされても…困ります。

大阪府／水城佐紀緒



▲大阪府／ミズチヤクモ

“百合”かと思うほどレイが好き♡

私にとってエヴァンゲリオンとは、夢中になれるものです。自称生粋のJUNESTな私が、カヲル×シンジというおいしい2人がいるにも関わらず、なぜ綾波レイに入れ込んでしまったのかが分からないところです。

レイには、シンジやカヲルには感じられない不思議な魅力があるのは確かだと思います。彼女に感じる魅力は、私が思うに、退廃的であり自虐的である精神、かよわい心、でも強い、というところだと思います。こういったところが「炎のミラージュ」で感じた高耶と直江、「ガンダムW」のヒイロ、「フジミ」のユウキに私の中で重なり、なおそれらをあわせ持ったレイだからこそ、好きにならずにはいられないのかもしれません。レイには具体的な人間の部分(感情)といったものがあまりはっきりと描写されていませんが、言葉の節々、行動等から感じられて、『レイと話してみたい』『レイの部屋を片づけたい』みたいな感じにさせられ、『これは一種のゆり?』とか錯覚してしまう、させてしまう女

の子なのです。「なんかわかんないけど好きなのだ!!」と言わせてしまう子なのです。だから、あまりにレイに思い入れし過ぎて、シンジやカヲルが（もちろんJUNESTですから、あの風呂場のシーンはグーでしたが…）出てきても、「そういえばこんな子も」と、バチあたりにも思ってしまったのでした。

ところで「幸せって何？」というセリフにはビクッとさせられました。…これは本当に何だろうと考えさせられ、以前「蛙の王様」（フジミ）で、マム・マリアが「欠けてる心を音楽で塞いでるなら、あの子はあんたの同類だね」と言ったとき、一応ピアノを弾く私は、『欠けてないもんなー』と思い、これも以前に「小説道場」で「抑圧され傷つけられた少女たちのパワー」というお言葉を見たとき感じた私はなんの必要があってJUNEを読むのか、父には「あんな低俗なもの」と言われながらなぜ読み続けるのか…それは読み物が面白いとか、好きな作家がいるとかではなくて（もちろんそれもありますが）JUNEという世界に共感するものがあったからだと思います。ただし、それが何なのかは今はまだわからないから、結局は冷やかしだったのかなと、淋しくなりました。何かを埋めようと思う渇えが私にはないから、あんなにも苦悩している人たちに惹かれるのか。「人類補完計画」という言葉が心に響きました。私はきっと自分にないものを埋めようと思って、JUNEやエヴァに惹かれ、レイたちを好きになることで、彼女たちに近づきたいと思っているのだと思います。話がそれまくってしまいましたが、これが今のところの私のエヴァの感想です。



◀東京都／映画に出てくれえ

〝エヴァ〟に「逃げちゃダメだ」

福岡県／タカシイ

私がエヴァを始めて見たのはなんと、たったの10日前。浅い（笑）。動機も不純で「ひまだから」（笑）。しかしですね…。1・2巻を借りて見て、すぐ、出てるヤツ全部（10巻まで）1日で見ました。この感覚は「ハマった」ってやつじゃないですね。だって見た後、いつも脱力感と不安、次回予告見てまた不安。でもやっぱり続きを見ちゃう。そしてまた不安に…。なんでしょうね、これは。エヴァは私の精神を混乱させてしまうんです。それは一つに、シンジくんが主人公だから。それは一つ私を不安にさせます。他の方もそうだと思いますが、アニメを見るとき（ドラマでも）主人公と自分を重ね合わせて見ると思います（少なくとも私はそう見ます）。たいていの主人公ってのは元気で勇気があるものなのに、シンジくんはちがう。ひねくれてて、暗くて、愛情に飢えてて。シンジくんが苦しむたび、私も苦しみます。「楽しいことばかり考えて、何が悪いんだ!」っていうのには、誰もがドキッとしたのではないでしょうか。自分のかわりにシンジが代表で言われている、責められている。私はシンジを通して庵野監督の言葉を受けとったような気がします。時にはゲンドウになり、レイになり、ミサトになり…。シンジへ投げかけられた言葉は、私たち現代人が社会を生きていく上で造りだしてしまった悲しい心の壁へと打ちつけられる。

「エヴァ」を見て一番感じたこと、今までになかったと思うところは、〝スクリーンの中の人間らしさ〟でした。ドラマを見ても、結局は〝ドラマ〟という枠の中の世界。「ドラマみたーい」っていう形容詞が使われるのは〝人間らしさの欠如〟だと思います。エヴァは非現実的なロボット（正確には人造人間）アニメでありながら、そこいらのドラマよりも、臨場感を与えてくれました。そしてその〝人間らしさ〟こそがエヴァ最大の魅力であると思います。

何か変なことばかりゴニャゴニャと書いてすみません。私の一番好きなキャラはもちろんシンジくんです。でも私まだ21〜26話を見てないんです。見れないんです！ビデオ出てないから（泣）だから見たくても見れない劇場版。そんな私ですが、シンジを愛し、自分を愛し、他人を愛し、仕事も頑張って、エヴァを食べすぎないよう努力しようと思います。やっと高校を卒業し、社会に出ます。現実はキビシーです。社長もキビシー。私の財布もキビシー。（苦）だからといってエヴァに「逃げちゃだめだ、逃げちゃだめだ」ですね（笑）

やまとこななみ

ゲンドウのパンツはチェック柄…

JUNE編集部のみなさんこんにちは。皆でエヴァ特集などやるものだからすっかりハマッてしまったじゃないですか。やっぱりシンジ君が一番♡と思う私ですが、5／30に碇ゲンドウさんがラジオに出演されたので報告したいと思います。

毎日放送の「グーチョキパー」（AM0：00〜2：00）という、氷上恭子さん、金月真美さんがやっている番組内の「キャラクターショッキング」のコーナーで、花沢さんの紹介で碇ゲンドウさん（立木文彦さん）が来たんです。

内容は「テレフォンショッキング」そのままで、ゲストがキャラクターになりきって話すというコーナーです。メッセージ&電報まで来ていて、ネルフ本部からは花束とかが届いていたり、シンジ君からの「お父さん、大きな声で話さないと駄目だよ。ミサトさんの部屋から聞いています」というメッセージに対して「なんとかしよう」と渋い声で話すゲンドウさんに、パーソナリティさんはもうメロメロ状態でした。

質問は「シンジ君に兄弟はいますか」とか「長男なのになぜシンジなの」という真面目なものから、「甘いものはお好きですか」とか「はいてるパンツの種類は」とか変な質問も結構あって、照れながら答えるゲンドウさんに好感度120％UP！

ゲンドウさんになりきって話す立木さんですが、ときどき素に戻ってしまって「僕」って言ってしまうところがすごくカワイカッタです。ときどき笑ってくれるのですが、気さくそうなおじさまって感じでした。とっても素敵なんですよ。

また、「ペンションのオーナーになりたい」とか「川を見るのが好き」とか淡々と語る意外な一面も見せつつコーナーは終わっていくのですが、お友達の紹介まであって、紹介されたのは目玉オヤジさんでした。「話すときはサングラスを取る」とか「破天荒な人生を送っている者同士、話が合う」とか真面目に語っていてすごく笑ってしまいました。いいなぁ。

ゲンドウさん（立木さん）はチェック柄のトランクスをはいてて「とろけるプリン」が大好きなんだそうです。（さぁ想像してみて下さい。真夜中なのに笑いが止まらない私がいました。苦しかった…）ファンの方はプリンとかハーゲンダッツの抹茶味を差し入れに持っていってあげて下さいね♡ 「グーチョキパー」も女の子が集まってほとんど井戸端会議みたいな番組で楽しいですよ。聞いてあげてね。以上報告でした。

兵庫県／みんみん

新迷解
エヴァ辞典

第壱版

柏崎玲央名　原田朱実
星真司　JUNE編集部

この辞典は、
深読みしてしまいたくなるエヴァの世界を、
各執筆者の**思い込みとギャグ**によって
辞書化しています。
したがって、
記述のほとんどが**いい加減**ですが、
万一、正しいことが書かれていても、
責任は取りかねますので、
あらかじめご了承ください。



あ行

アダム　「最初の人間、アダムだよ」……同じセリフは、「ふしぎの海のナディア」でも聞かれる。
以下、アダムの活用例。
「最初の奥さん、マダムだよ」
「フランスの三波春夫といえば、アダモだよ」（星）

アダルト・チルドレン　「親との関係でなんらかのトラウマを負ったと考えている成人」「自らの生きにくさの理由を自分なりに理解しようと努めるひとがたどりつく、ひとつの自覚」「忘れ去られた子供たち」と呼ばれることも。（斎藤学「アダルト・チルドレンと家族」学陽書房より）
ファースト、セカンド、サード……といずれも一人ずつしかいないのに、シンジたちがチルドレンと複数で呼ばれるのは、このアダルト・チルドレンを意識しているからだと思われる。
コンビニに依存している者はレトルト・チルドレン、超自然に依存している者はオカルト・チルドレン……?

綾波レイ　ある少女マンガ家の人が、綾になっている波＝遺伝子の二重螺旋のイメージ――と言っていて、座布団を三枚あげたくなった。　戦艦の名より、こっちのほうがレイにはふさわしい♥

アンビリカル・ケーブル　なんと〝ヘソの緒〟という意味らしい、アンビリーバブル・ケーブル！　その中でも特に形のよいものはクラーク・ゲーブルと呼ばれている。

碇　碇という字は破綻という字に似てるわ♪

インターネット　「渚カヲル」でサーチをかけてみたら、571個ものウェブページを検出。ニュースグループには、japan. anime. evangelion. japan. anime. evangelion. ayanami. 同asuka. 同nervなんてのもある。（朱実）

ATフィールド　劇中ではABSOLUTE TERROR FIELD＝絶対不可侵な領域、今までのSFでは〝バリヤー〟と呼ばれていたもの。手でむりやりこじ開ける描写が圧倒的で、物理的にも心理的にも〝レイプ〟のイメージがって、見るものをドキドキさせた、アット驚くフィールド。（ちなみに、ヒマラヤ山脈の雪男がよく目撃される地域のことは、イエティ・フィールド……）

親子どんぶり　碇ゲンドウが赤木ナオコ・リツコ母娘をいただいちゃったこと。ゲンドウがシンジに手を出した場合は、親子丼のお代わり。（星）

「俺って最低――」　REBIRTH編にて、ついいたしてしまったシンジの感想。
その程度で罪悪感を覚えるようでは、父の域に達することは永久にできまい。（朱実）

温泉ペンギン(ペンペン)　実は使徒?!　実はゼーレ?!　実はマグマの中も泳げる?!……など大ドンデン返しをみんなに期待させたペット・キャラ。せめて〝暴力温泉ペンギン芸者〟ぐらいのパワーが欲しかった。

か行

「ガラスのように繊細だね」　カヲル君がシンジに言った名ゼリフのひとつ。繊細だがドンカンともいえるシンジは、〝繊細バカボン〟といったところか。

キャッチ・コピー　エヴァの魅力のひとつに、印象的なタイトル、セリフなど、秀逸なコピーがある。日常会話や、広告コピーなどに引用・活用されているものの中から少しピックアップ。
「碇シンジの3wayバッグ」の広告より……
「荷物の選択を！」「きみはどうしてこれを買うの?」「絆だから」

SIAM SHADE　マリス・ミゼルが、チラシでロゴをエヴァにした遊びをやってましたが、シャムシェイドも「TOUR97逆襲のシャム」（これはガンダムですね！）のチラシに「見なきゃダメだ。来なきゃダメだ。」「覚醒せよ」というエヴァチック・コピーをつけてました。シャムシエル（第四使徒）とは関係ない？

拒食症　廃人のアスカの様子は、拒食症であることを匂わせる。母子関係や女性として成熟したくないという思いからくるこの病は、大島弓子「ダイエット」（あすかコミックス）に描かれる。家族からないがしろにされているところから発病するのだが、特に父が他に女を作って、家を出てしまうところなど、アスカの幼い頃の状況に重なる。

このマンガの結末は主人公の友達が彼女の母になることを決意することで終わる。もう一度幼児からやり直しをさせてあげようというわけだ。アスカの場合は、弐号機から母の愛を知る。REBIRT編のアスカの復活は、自然な流れであるといえよう。

（追記）しかし……「シト新生」サントラによると、アスカの復活場面のBGMは「偽りの再生」というタイトルなのだった……

（玲央名）

ケージ　格納庫のこと。コロンボとは関係ないらしい。

ゲヒルン　人工進化研究所。上品の反対の機関なのだ。

「好意に値するよ」　カヲル君名セリフのひとつ。「コウイ?」（シンジ）「好きってことさ」と続く。これを「行為に値するよ」「コウイ?」「やるってことさ」と、わざと聞き間違うやおい乙女が後を断たない。

さ行

サザエヴァン　エヴァの登場人物の名は軍艦の名から借用しているというのが通説だが、むしろ海の関連でまとめた――すなわち、磯野波平、フネ、ワカメ、タラちゃん、マスオ、綾波、そして渚という名を考えると、カツオ……の、サザエさんの世界に近いのではないだろうか?!　渚カヲルの初期型は、渚カツヲ、だったのかもしれない。

334　2年A組が避難するシェルターは、第334地下避難所。この334という数字は、たぶんトーマス・ディッシュのSF小説「334」からとられている。「334」は急激な人口増加によりスラム化したニューヨークの高密度高層アパートが舞台で、この数字を使うことで密室の息苦しさを暗示している。もし生徒たちがあのまま避難所から出られなくなれば、ムフフな展開も予想されよう。

（朱実）

死海文書　もちろん重い書物だが、死海は塩分が多いのでプカプカ浮いているところを発見されたらしい。多くの誤解文書を生んだ。

仕込まれた子供　「僕はカヲル、渚カヲル。君と同じ、仕込まれた子供、フィフス・チルドレンさ」

――何をしたんだ、父さん！

（朱実）

シズラー　ガイナックス本社近くにあるファミリーレストラン。「トップをねらえ！」に登場するマシーン兵器の名前でもありますが、さらに重要なのは、ここで誕生日を迎えたお客は、店員さんたち数名に囲まれて、〝ハッピーバースデイ〟を歌って、「おめでとうございます」パチパチパチ……と祝ってもらえること！

そう、これはまぎれもなく、26話のラストシーン！

セミナー的だとか宗教的だとかいう説は、みんな間違い。あれは、シンジくん新生のお誕生祝いだったんですね♥

使徒襲来　エヴァの四文字タイトルを見たときに思い出したのが、わかつきめぐみの「So WHAT?」（花とゆめコミックス）。「阿梨、帰還」「居候来襲」など、少女マンガのやわらかさと漢字を使ったタイトルのミスマッチにインパクトを受けたものだ。

そして注目すべきは、主人公阿梨の祖父の研究（タイムマシンを作る）を探っている（実は左遷）「組織」に所属する、松23号。彼は所長で、ほんとは凄腕なくせに、仕事する気なんかなくって、自給自足のためと称して、畑仕事をしているのだった。髪の毛を後ろでちょこっとしばってしっぽにしてて、細身のネクタイをしている。その姿は、スイカに水をやる加持リョウジにオーバーラップする。また7年前に別れた恋人がおり、再び出会い、よりを戻している。「So WHAT?」の場合、二人で逃げてめでたしめでたしだったが、加持の場合は……（泣）

（玲央名）

しとっち　プリクラにもエヴァフレームが登場したことだし、次は、たまごっちのエヴァ版なんか出たりしないだろうか。育て方によっていろんなしとっちになると楽しい。うまく育てるとカヲルっちになる。失敗すると…やっぱりおやじっちになる（笑）（朱実）

14歳　エヴァのパイロットたちは、なぜ14歳なのか？　大人と子供の境界線だから、と庵野監督はいう。ちなみにナボコフの有名な小説「ロリータ」では、ニンフェット（大人の男性を誘惑するロリータ）を9歳から14歳までと限定している。不思議な色気を感じさせる年ごろでもあるのである。（朱実）

呪文?　主題歌（ディレクターズ・エディット・バージョン）と「魂のルフラン」の途中で歌われる女声コーラス。あれは、エロイム・エッサイムとかエコエコアザラクのような、使徒除けの呪文なのか、逆に使徒さん使徒さん来てください……という呼ぶための呪文なのか、など諸説あって、何語なのかも特定できていない。

「残酷な天使のテーゼ」（一分四十六秒〜）

あーりーやー（あーりーやー）
せーだーめーそー（せーだーめーそー）
あーりーやー
くーせー……

（空耳アワー訳＝ありゃーダメそ、ありゃクセえ）

「魂のルフラン」（二分三十六秒〜）

えーがーみーてー
しーたーいーしー

（空耳アワー訳＝笑顔見て、したいし……綾波の笑ったシーンでのシンジの気持ちであろうか？）

初号機＝キース・エマーソン説　キース・エマーソンは70年代に超人気を博したプログレッシブロック・キーボーディストであり、彼を含む美青年三人バンド、エマーソン、レイク&パーマーは黎明期のやおい同人誌の格好の餌食になったものだ。彼らの代表曲は「ナイフ・エッジ」。キースは自分のオルガンにナイフを突き刺し、そのオルガンの上に乗ってヒヒのように暴れる。エヴァに装備されたプログレッシブ（ロック）・ナイフ（エッジ）という武器の名前でもしやという予感はしたのだが、19話でヒヒのように暴れる初号機はもはや、どうみてもキースが元ネタである（!?）。（朱実）

精神汚染　汚染されると、やっぱり、ひしゃくで少しずつ汲んでキレイにするしかない、やっかいなもの。

世界の中心でアイを叫んだけもの　ハーラン・エリスンのSF小説からのタイトルだが、三本立てオムニバスの薔薇族映画の二本目だというので付けられたのが、ソルボンヌK子監督の――「映画の中心でアイを叫んだけだもの」

デブ好き、SM好きのゲンドウのため、必死に太って、SM好きになって……おなかとおなかを触れ合わせて愛しあう二人は美しい――なんてことはない（笑）。全員、フンドシ、80キロ以上の男たちが、スポットライトの中で椅子に座っているシンジに、次々と言葉をかけていき、祝福するシーンは、26話を彷彿とさせて感動的である――なんていうことはない（笑）。

〝女性が描くゲイの世界〟として製作さ

PART 2
映画の中心（まんなか）でアイを叫んだけだもの

れた「不思議の国のゲイたち」。開田裕治、睦月影郎といったオタク系有名人（80キロ以上）も友情出演しているので興味あるかたはチェックを。ちなみにK子さんは、マンガ家の鹿野景子さん、夫はトンデモ雑学系で有名な唐沢俊一さん（80キロ以下）。

ソラリス　ソラリスとは、ポーランドのSF小説の巨匠レムの代表作「ソラリスの陽のもとに」（タルコフスキーが映画化して有名になった）に登場する惑星の名。高度の知性を有しながら、人間とのコンタクトを拒絶する惑星ソラリスの〝海〟。人間の理解を絶した知性の姿は、使徒に似ていなくもない。主人公の前に死んだはずの恋人を複製して送り込む〝海〟。主人公の前に魅力的な親友を送り込む使徒。ソラリスの〝海〟と使徒は、何だかやり口も似ているのである。（朱実）

た行

月　月は、エヴァの重要なモチーフのひとつである。ターミナルドグマに隠されていた使徒リリスは、アダムの最初の妻であり、ユダヤ人の男たちが恐れた夜の魔女であり、はたまた月の怪物どもの女王であった。月は、古くからセックスと結びつけて考えられることが多いが、インディアンの神話には、月がペニスを膨張させるというものが各地にある。

テーゼ　オープニングテーマ「残酷な天使のテーゼ」のおかげで、全国の親が、子供にたずねられて絶句した言葉。ベーゼと間違って教えた親もいたらしい。

な行

渚カヲル　渚という名は、大島渚監督から。大島監督が美少年だったころ、もっぱらお風呂で他の少年達を誘ったというエピソードをヒントにしている（信じちゃダメだ信じちゃダメだ信じちゃダメだ……）

〈縁語〉**カヲル**　なぜ、カオルでもカホルでもなくカヲルなのか？　不明だが、もしかしたら、レイもレキなのかも？（それはイヤ……）

渚シュールくん　ガシャポンの5インチ・フィギュアやプラモデルを作る時にいちばん大事なことは何でしょうか？──そうです、まず余分な部分を切り取ることですね！　付けたまま組み立てると──ほら、ごらんのような、シュールなフィギュアができてしまいますので、くれぐれも、ご注意くださいね！



カット／たきぐちけいこ

逃げちゃダメだ　投げちゃダメだ、逃げちゃダメだ、脱いじゃダメだ、寝ちゃダメだ、飲んじゃダメだ……

熱膨張　シンジの場合は×起のこと。

は行

早口言葉　アカラミエル、アオマトリエル、キサハクィエル

パレットガン　絵の具を置いて色を混ぜ合わせることもできる便利な銃。

バンド系　ロックバンド「ｎｕｖ：ɔｇｕ」（ニューボーグ）のギタリスト、CIVAさんによると、ミュージシャンでもエヴァにはまってる人はいっぱいいるとのこと（〝キャッチ・コピー〟の項参照）。そう言うCIVAさんも、「とりあえず流行ってるから」で見始め、3日のうちにビデオで20話まで見たというからりっぱなものである。

風俗　流行ものは何でも取り入れるエロ業界。イメクラ（イメージクラブ）で綾波のコスプレがあったり、記事の見出しが「エマンゲリオン」（何じゃそりゃ？）だったり、コスプレではなくボディ・ペインティングで綾波ってみたり……！　「快感をシンクロさせたい」「使徒と戦うより二人で楽しもうよ」とかなんとか……

FLY me to the Moon　月に関する謎の回答はまだないが、月関連の少女マンガといえばこれ「ぼくの地球を守って」日渡早紀（花とゆめコミックス）。異星人が現代の日本人の高校生たちに転生したって設定上、SF度はエヴァより落ちるけれど、主人公の少年が、月にいた前世の自分の記憶や感情に翻弄されたりするところは、碇ユイの記憶や使徒として（？）の自分と葛藤する綾波の心理描写を彷彿とさせる。（朱実）

BLOOD TYPE：BLUE　「波形パターン青」使徒反応検出時にモニタに表示される「BLOOD TYPE：BLUE」は東宝映画「ブルークリスマス」の英語タイトル。1978年、岡本喜八監督、倉本聰脚本のこの映画も、宇宙人（？）の謎の侵略に対抗して陰謀をめぐらす国防庁が舞台になっている。ラジオから流れるメサイアなど、どうも共通点の多い「ブルークリスマス」とエヴァ。物語の後半、勝野洋演じる主人公の前に、死んだはずの友人・原田がふらりと現れ、自分の血が青いこと（宇宙人化（？）した人間の特徴）と、宇宙人との戦いをめぐる国際的な陰謀を告げる。主人公をシンジと重ねてみれば、この原田がカヲルに相当するのだが、演じているのは沖雅也である。ちょっとトウがたってはいるが、なかなか良いのではないでしょうか（？）（朱実）

ま行

プログ・ナイフ　別名、エヴァ包丁。

水　綾波レイは、水のイメージを重ねて演出される。水槽に浮かぶ魂のないクローンの姿は圧巻。19世紀の作家フーケーの「水妖記」には、魂のない水の精であるウンディーネという美少女が描かれている。16世紀の医師・錬金術師パラケルススの記述によれば、水の精はアダムに由来する人間ではない（クローンに通じる？）とされている。（朱実）

村八分？　冬月、レイはもちろん、日向も青葉もロンギヌスの槍のことを知っていたというのに、ひとりだけ「あれがロンギヌスの槍？」と呟いている作戦部長・葛城ミサトの、ネルフ内部での立場を推測するに、こういうことではなか。「ネルフも甘くないわね」とか言ってる場合ではない。（星）

や行

「やけくそ天使」　豊島ゆーさくさんがLDのライナーに描いていたネタ（「やけくそ三佐」）なので今更だけど、いたいけなシンジを囲い自らの欲望のままに生きるミサトと、そんなミサトに溜め息をつきながら家事に尽くすシンジの姿は、まるっきり吾妻ひでお「やけくそ天使」の阿素湖素子と進也（あいざき進也がモデルらしい）である。可愛がりつつ結局は手を出せないところも似ているのだ。（朱実）

ら行

リリン　アダムとリリスの間に生まれた子供。それ以外の子は、フリンと呼ばれる。

そして……

THE END OF EVANGELION　冬以降の劇場用タイトルとしてTHE ENDLESS OF EVANGELIONが用意されているという。

参考作品（？）事典

「愛と幻想のファシズム」村上龍　鈴原冬二（鈴原トウジ）、相田剣介＝ゼロ（相田ケンスケ）、洞木一（洞木ヒカリ）、山岸良治（ゲーム版の山岸マユミ）──といったキャラクターの名前や、内容的にも、けっこうエヴァと（というか庵野監督と）シンクロしているらしい小説「愛と幻想のファシズム」。その中から、ちょっと気になる箇所をピックアップ。

○八分の「残像」を描いたアニメを作るために十七歳の時から二十年かけて、49・

33秒まで作った「未熟児」のアニメーターが登場。「未熟児には欠けているものがある。この男はその欠けたものをアニメーションで埋めようとしているのだ」
「事態は洞木のシナリオ通りに進んでいる」
「人類はその最終的な形態をとろうとしておる」
「我々は神の使徒としてあらゆる手段を行使して生きのびるつもりだ」
「作品って最初は目に視えないだろ？　白い紙だよ。イメージが頭にあるだけだ。オレは「巨大なる祈り」という作品にどんどん自分を近づけて、同化させようとしてるんだ、大変な作業だろ？　味がわかんなくなるくらい当たり前のことだよ」
「あなたが知っているゼロと、あたしが知っているゼロと、それとゼロ自身と。ゼロは三人いるわけでしょ？　それが正常よね、みんなそう（中略）自分が一つになったら悩むこともないし、苦しむ材料もないものね」
「少年だけが選ばれて生き残りました」（十五歳の少年）
「ゼロが求めているものがわかった気がした。父親だ。禁止し、拒否し、立ちふさがる暴力的な父親だ。衝突して、戦った後で、いい子だ強くなったな、とほめて貰いたいのだ」
「俺達は神ではない。
ただの、動物なのだ」
「オレは、母を犯して、父を殺すんだよ……」
「ゼロは、システムに夢で対抗しようとしている。だが、夢は、夢である間だけ、システムに抗する力がある。夢が作品になればそれで終わりだ」





◀『マジンガーZ』（永井豪）中公文庫コミック版全4巻、『魔獣戦線』（石川賢）完全保存版全3巻（双葉社。巻末に永井・石川対談）そして『デビルマン』のみっつを、3大フォーエヴァー・コミックと言います

「マジンガーZ」（永井豪）

○主人公が、巨大ロボットの顔と対面する。
○女の子がロボットに乗り込む。
○ロボットが獣のように動く（機械獣）。
○ロボットから、血のようにオイル？が吹き出す
○一身二体のロボット（ドグラ・マグラ、第七使徒イスラフェル）が登場する
○徹底的に踏みつぶして殲滅する
○実は〝娘〟ではない〝人間〟でもないキャラクターが出てくる。
○まったく同じ外見の三人の美少女（ガミアQ）登場
○戦艦の艦隊が出てくる
○救護室で眠っている少女（さやか）の毛布をめくるとハダカだった
○ロボットがマントをつける
○タテにまっぷたつにしてやっつける
○いっしょにお風呂に入る（ただし男女）
○円盤に手がいっぱいはえたような「手のお化けみたい」な機械獣が出現
○首が落ちる（グロッケン伯爵）
――以上、ざっと見ただけでも、これだけエヴァとの共通点、類似点が見られる。もちろん、大ヒット作のエヴァにヒントを得たとしか考えられないが、問題は、1972年にどうしてエヴァを見ることができたか、である？？？

「エンダーのゲーム」

なぜ、チャイルドでなくてチルドレンなのか？というのがもっぱら謎にされてることだけど、実は「サード」「ファースト」にも意味があった?!　オーソン・スコット・カードのSF「エンダーのゲーム」（ハヤカワ文庫SF）。ただしこの話の中では、第三子、第一子というょ兄弟の順番として使われてる。

主人公「エンダー」（終わらせる者の意）という少年は天才的な戦闘能力の持ち主で、わけのわからない異星人バガーと戦うことを余儀なくさせられていく……ってのがストーリー。敵が謎だらけとかいつのまにか戦いに巻き込まれてるってとこが、割りとエヴァに近いが、それだけじゃない。最終基地が実は敵が作ったところだってのも、ジオフロントを思わせるし、章の冒頭に入るエンダーを操ろうとしてる大人たちの思惑は、会話だけで構成されており、ゼーレの長老たちのそれと似ている。それから「自然は、生きのびる意志を持たぬ種を進化させることができないのだ」「全体としての種族は、決して、存在をやめることを決定できないのだ」など、エヴァテイストなセリフの数々。エヴァの難解と思われてるセリフは、実は翻訳口調だった（？）。そして、敵を倒した後の本当の敵、人間が攻めてくるってのも、劇場版につながる。世界を救ったエンダーがその後どうしたかは、本を読んでみよう。エヴァの結末はひょっとしたら……

（玲央名）

「伝説巨神イデオン」

「ガンダム」の次に富野監督が作り上げた、哲学的形而上学的ロボットアニメ。悪しき魂を持ってしまった人類を滅ぼし、新しい生命を生み出そうとする無限エネルギー「イデ」（神様みたいなものです）が登場する。

そのイデを宿しているのが巨大ロボット・イデオン。イデが「発現」すると勝手に必殺技を繰りだして、惑星をまっぷたつにしたりするあたり、エヴァの「暴走」と相通じるものがある。イデは、無垢な魂の純粋な防衛本能に反応する……というとややこしいですが、つまり赤ん坊がおびえて泣きだすとイデオンが吠える（大魔神状態！）。またイデオンを操縦できるのも純真な少年少女と決まっていて、このへんかなりエヴァです。

打切りの憂き目にあったTVシリーズを完結するべく作られた劇場版「発動篇」（この公開スタイルはまんま「シト新生」）。そのクライマックス、宇宙船内部での白兵戦はREBIRTH編のネルフ本部みたいだし、メインキャラがと顔面に弾や爆発の破片を浴びて死んでいくところは、拾九話の弐号機や零号機のやられっぷりを思わせる。（主人公が心を許した美少女は首が飛んじゃうし……）敵役・ドバ総司令とそのお目付け役のギンドロ・ジンムのコンビは、ゲンドウと冬月っぽい。また、ラストは、キャラクターたちの魂が全裸で宙を飛び、新しい星の海に降りそそぐ……という壮大なもの。子供たちが「ハッピーバースデー」を合唱してたりするけれど、その歌詞は「ハッピーバースデー　ディア　チルドレン」！（星）

おまけ「超光戦士シャンゼリオン」

エヴァに遅れること半年経って放映された、東映のC調（死語！）特撮ヒーロー番組。（テレビ東京系）　タイトルからして既にナニですが、ヒーローをサポートするロボットを開発する場面では「コアのエネルギーが上がりません！」なんてセリフが連発されたり、コアの露出した初号機そっくりのデザインの怪人が登場したり、微笑ましかった。しかも最終回はいきなりの夢オチ。実はそれまでの物語は、悪に滅ぼされそうになっているもうひとつの世界の主人公が見ていた夢だった……という、エヴァ最終回の学園バージョンと本編の関係を逆転したラストを迎えた。劇場版で補完ってことは……ないか。（星）

Ⓐ VIDEO

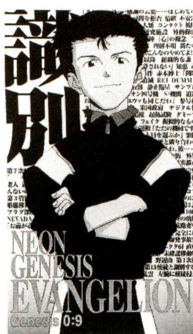
NEON GENESIS LIBRARY





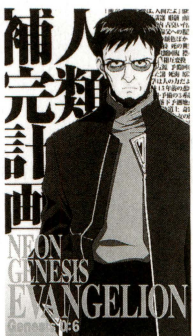














Ⓑ' DVD



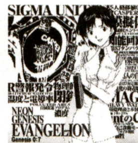
Ⓑ LD

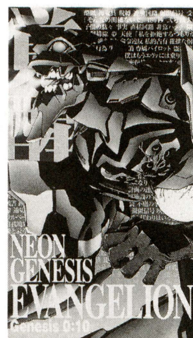












Ⓐエヴァ関係で、なんといってもおさえておきたいのはまずビデオ。1本に2話ずつ収められていて10集まで発売中（5300円。レンタルも有）。つまり20話までなので、カヲル君の24話は残念ながらまだ…。また、0:0として、スタッフ・インタビューやダイジェストが入った29分の入門ビデオも出てます（1980円）

Ⓑ繰り返し見るマニアならLD（5300円）ジャケットに解説ギッシリ。6枚目と10枚目の、ビデオと違うデザインのは、まとめて収納できるBOXの（初回のみの特典）また、ビデオ、LDとも、とても濃い内容の「友の会」の会報が毎回付いてます。

Ⓒテーマ曲はもちろん、忘れられないBGMの名曲が聴けるCDも5枚発売中。庵野監督自らの構成・銘名のセンスを味わうのも楽しみのひとつ（『トップをねらえ！』のCDは、チャプターが99までありました！）。「フライ・ミー・トゥ・ザ・ムーン」は、2枚目に5ヴァージョン、3枚目にはナント12ヴァージョンも収められていて、おかげでJASRAC賞を受賞（①～③各2913円）。4枚目の『ADDITION』には、20分を越える（パロディ）ドラマ「終局の続き」（仮題）が入っていて、〝ホモ男〟（？）のカヲル君もしっかり登場♡さすが本家のケッサク・ドラマです！期間限定発売だったので、まだの人は、店頭在庫をあわてて探しましょう（1650円）。5枚目は、劇場版「DEATH」のサントラ。予告使用曲のレクイエムがたっぷり入ってます。「吾への、涙」「末了への調律」「脆弱な、自我境界」など曲名に唸ってしまいます（1429円）

Ⓓカラオケ派には、CDシングル、高橋洋子『残酷な天使のテーゼ』（「月の迷宮」も収録）。CLAIRと高橋洋子の「フライ・ミ～」とカラオケ入りの『FLY ME～』（各、971円）。OPとED、ひとつずつ入れたのも出てます（874円）。映画版のには高橋洋子「魂のルフラン」「心よ原始に戻れ」と、各カラオケ入（971円）

以上　発売はすべてキングレコード。

Ⓔコンピューターを持っている人には『コレクターズディスク』が5集まで発売中（GAINAX、各6800円税別）グラフィック、サウンド、時計、ミニゲームなど盛りだくさん。カヲル・ジャケの第4弾には19話～最終話が入っているのでカヲル君の画像と声が♡第5弾にはDEATH編が入っているので、これにもカヲル君が♡　『スクリーンセイバーVol 1には、ディフォルメキャラや描きおろ

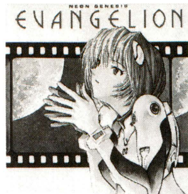
Ⓓ CDシングル



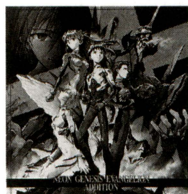




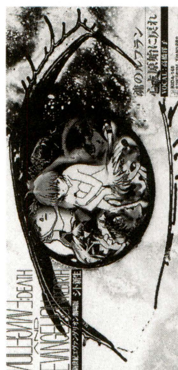
Ⓒ CD









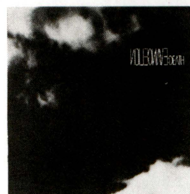






Ⓔ CD-ROM



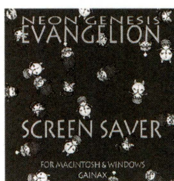


Ⓕ COMICS













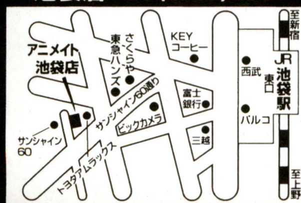


レイラストのセーバーが30点！（GAINAX、6800円）『DAILY SELECTION』には、コレクターズディスクの中から400枚の名場面、イラストを収録。"壁紙"として表示できる。「特製日めくりエンジン」起動で毎日違うグラフィックが（発売元：パイオニアLDC、販売元：キングレコード。4800円）

Ⓕさて、ビデオと共にぜひ手元に置いておきたいのが、アニメ版にもキャラクターデザイン等で参加している貞本義行さんのコミックス！　脚本を原作として描いているので、TVとは少し違っていて、マンガの方が好きという人も。3巻目のラストで、ようやく綾波が笑ったとこなので（TV版の6話）まだまだ（カヲル君までの）先は長い。2巻の巻末に、牛若丸とか日本古来からある中性的なヒーロー像とか、筋肉少女帯の「包帯で真っ白な少女」のイメージがレイだとか、興味深いインタビューが。（角川書店、各544円）

Ⓑ CDサイズのディスクで映画が見られる、新らしい「DVD」でEVAが登場!!業界初の「片面2層式」で読み出し速度が向上、高画質に。1巻に4話が納められ、①用語解説②録音台本③キャスト・スタッフのプロフィールを静止画で検索可能。第1巻は7月19日発売（以下毎月、5巻まで）6600円制作・発売＝ガイナックス　販売＝ガイナックス・キングレコード

◀グッズ類が入手しやすいお店アニメイト。札幌、仙台、新潟、高崎、宇都宮、大宮、静岡、名古屋、千葉、川越、吉祥寺、渋谷…などにショップがありますので現物はそちらで

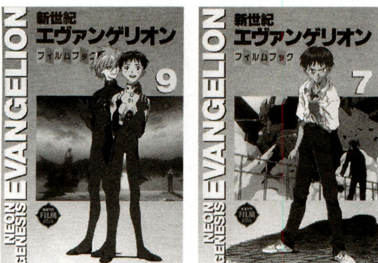


豊島区東池袋3-2-4共永ビル

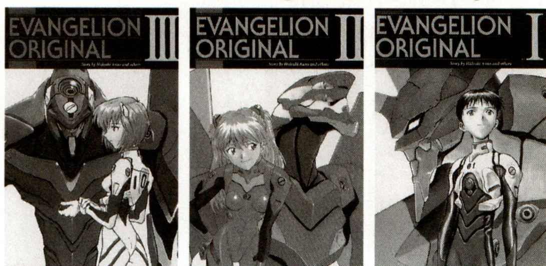
Ⓗフィルムブック



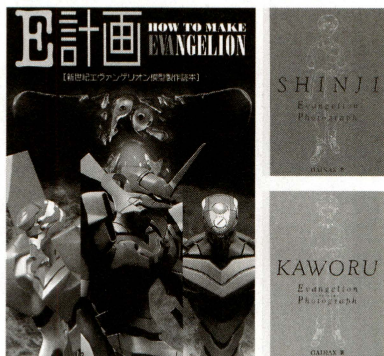




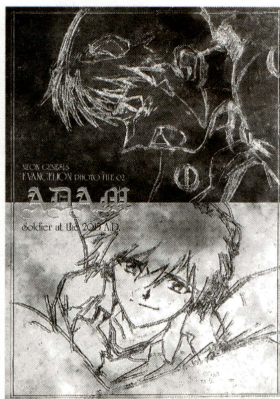
Ⓖシナリオ集

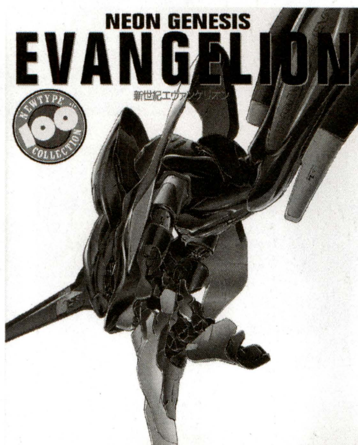


Ⓘピクチャーブック









Ⓖ『EVANGELION ORIGINAL』と題された決定稿の脚本集全3巻。「第弐拾四話／最後のシ者」はⅢに収録（富士見書房、各951円）

Ⓗ画面、セリフ、ストーリーに予告に設定、注までついてとっても便利な『フィルムブック』は全9巻。弐拾四話は9巻目に♡（角川書店、各573円）

Ⓘ文庫の写真集『SHINJI─シンジ─』『KAWORU─カヲル─』（角川文庫、GAINAX著、各440円）。模型を作りたい人のための入門書が『E計画』（角川書店、1300円）。鮮明な写真と細かな解説はもちろん作る人のためだが、エヴァ・マニアの読み物としても面白い。パロディ的な改造作例は必見かも（笑）　大判のイラスト、設定集ならこの一冊『NEWTYPE100% COLLECTION29　新世紀エヴァンゲリオン』（角川書店、1456円）。

キャラクターの表情集ならこの2冊♡女性キャラをまとめた『eve』と、男性キャラ、メカを集めた『ADAM』（角川書店、各951円）。ガレージキットも掲載。

Ⓙ雑誌では監督のお顔を表紙にした『Quick Japan』10号（太田出版、800円）の勝ち（?）。ここでのロング・インタビューを単行本化した『スキゾ』『パラノ』（各800円）には、さらにスタッフによる"欠席裁判"座談会が載っていて、制作サイドに関心のある人には絶対必読書。分析的な特集では『STUDIO VOICE』3月号（INFAS、600円）。この号は増刷も。アニメ誌では、大判で迫力の『Newtype』（角川）評論的な『アニメージュ』（徳間書店）も、ひんぱんに特集してました。模型誌では『Hobby Japan』もありますが、カヲル君まで大フィーチャーしてしまう『Model Graphix』（大日本絵画）が、（女性投稿も多い読者欄も含めて）注目。『月刊モデルグラフィックス編『新世紀エヴァンゲリオン』」がこの夏発売に向けて企画中で、もちろん、カラーページでご紹介したカヲル君の造型も収録されるでしょうから、模型のように繊細なあなたも要チェック♡

Ⓚアニメ誌の場合、別冊フロクもあなどれません。『ニュータイプ』96年7月号の『Nerv Report』は、ハンディで便利な36頁の小冊子ですが、内9頁が24話！『アニメージュ』96年3月号のふろくは26ページの『よいこのGAINAXひ・み・つ大百科』。本誌に載ってる"補完計画"のコーナーもあり。

Ⓛ中身の濃さでは、劇場版プログラムが、2

Ⓙ MAGAZINE & BOOK

Ⓚ別冊フロク

Ⓜ楽譜集

Ⓞカセット

Ⓝ PARODY

Ⓛ劇場プログラム

種類用意されててビックリ（プログラム史上初めて?）『500円と千円。

Ⓜピアノができる人には楽譜集も。「残酷な天使のテーゼ」のソロと弾き語り、CDのⅠⅡⅢから16曲（ただし「フライ・ミ〜」が5ヴァージョン）収録している『ピアノソロ／新世紀エヴァンゲリオン』（東京音楽書院、80頁、1500円）。ピアノ弾き語りでやはりⅢまでで11曲（ただし「フライ・ミー〜」が7ヴァージョン）収録の『ピアノ弾き語り／新世紀〜』（同、72頁、1400円）。「魂のルフラン」3ヴァージョンと「心よ原始に戻れ」収録の『ピアノピース／新世紀エヴァンゲリオン劇場版　シト新生』（同、32頁、700円）などが出てます。

Ⓝあれやこれやパロディ本も出てますが、気軽に楽しめるのが『エヴァンゲリオン四コマ全集』（角川書店、825円）。あさりよしとむ、あびゅうきょ、このみちあゆみ、鈴木雅久、たかおひろこ、豊島ゆーさく、ふくやまけいこ、水玉螢乃丞、安永航一郎……他。補完委員会編。

Ⓞもひとつパロディで見落と…いや聴き落とせないのが『アニメイト・ボイスカセット新世紀エヴァンゲリオン　シンジ&アスカ編』（MOVIC、971円）。シンジ（緒方恵美）とアスカ（宮村優子）のお二人による、励ましメッセージ、モーニングコールなどのメッセージ集なのですが、DJ形式のかけあいがいかにも二人らしくて嬉しい。ちゃんとカヲル君の話題も出ます。シンジ&カヲル編、ゲンドウ&冬月編など、続編が期待されます♡

★5mのα―エヴァ、水兵服のカヲル、ピアノを弾くカヲル、「死の都」、裸で泳ぐ二人、〝魂の声〟、口づけ……、決定稿に至るまでに検討された別の可能性を垣間見ることのできる「第弐拾四話」の準備稿2本（脚本＝薩川昭夫）を収録しているのが『別冊JUNE』96年6月号。バックナンバーが多少残ってます。希望の方は（株）マガジンマガジンの通販部へ送料込1060円で申し込んで下さい。

かおる×新谷かおる

Kaoru Shintani



なんと、実在する〝かおる〟と〝シンジ〟の、夢の対談（笑）です♡ エヴァへのシンクロ率の高いお二人に、NERVのジャケットを着てらっしゃる佐伯先生（新谷夫人）も加わって、面白い話の尽きない6時間！ できる限りを収録してみました

（1月7日、新谷邸にて）

新谷　そうなんです、責任の所在なんです。最後のクレジットで、自分の名前が〝監督〟のところに入ってるんですよ。逃げて、終ってしまったという（笑）

和田　一話か二話で終りだもんなあ。

新谷　そうなんだよ。ちょっとやってみようかなあ、と思ったらほんとに終りやがんの（笑）だいたい三択で話が進んでいくんですよ。エヴァで事故を起こして使徒にボコボコにされたあと記憶を失うんです、シンジは。で、「僕は誰、ここはどこ？」みたいになっちゃうんですよ。で、例によってアスカが「あんたはバカシンジよー」「あんたは道化師なのよー」とか言って（笑）要するに〝学校の人気者〟〝道化師〟とかいろいろあってどれにする

新谷　（セガ・サターンのゲームの『新世紀エヴァンゲリオン』が）傑作なのはね、もちろんマルチエンディングになってるんですけど、シンジくんがね「こんな世界いやだ――！」って怒り始めるわけ。「でも、あなたが戦わないとみんな死んでしまうわよ」「そんなこと知ったことか、僕はもうやなんだ――！」って言ったら、それでエンディングなんです（笑）

――終っちゃう（笑）

新谷　ドーってクレジットが流れてね〝監督・新谷かおる〟（笑）一番初めに自分の名前打ち込むのはなんでかな、と思ったんですよ。

――責任の所在が。

和田慎二

Shinji Wada

シンジ対談



か、思い切って〝道化師〟選んだり（笑）

――そういう人生もあるっていうことで（笑）

新谷　シンジくんがむちゃくちゃ明るくなる。ほとんど〝バカシンジ〟になっちゃう（笑）

――ゲームだと、それをやってもいいから面白いですよね。

新谷　それで委員長とキスしたりして、横っつらはたかれたりね。これで記憶が戻ったなと一瞬思ったんだけど戻んないの。ずっとバカをやるわけ（笑）だから、これは変なシミュレーションゲームだなあと。やってみるとそれなりにはまりますよ。失った記憶をどう取り戻すかという。人間というのは、きっかけが悲劇を生むなあという（笑）

――おいしい弁当が食べられて。

和田　なんじゃそりゃ。

――ヒカリちゃんの。

和田　トウジの立場がない。

――トウジとまたけんかする。弁当をめぐって（笑）

新谷　次のエヴァンゲリオンは拾参号まで出



Kayono Saeki

ゲスト 佐伯かよの

ネルフでエヴァに乗ってる子っていうのはもう全部家庭崩壊した子ですよね

てくるっていうじゃないですか。参号機はトウジだったわけだから、じゃ、四号機はヒカリちゃんだよね。あのクラス全員ですから、基本的には。

―― パロディで、先生が乗るのがありましたが。ずーっとみんな授業を聞いてない、あの年寄り教師が、プラグスーツを着て（笑）

新谷 14才だったのかぁ！（爆笑）それとも、14才の次は74才って。

―― シンクロできる次の周期が。

新谷 「74才？」って、すみっこのほうで冬月がプラグスーツに着替えてたり（笑）

―― 年寄り総動員。

和田 やっぱりゲンドウを乗せてみたいね。黒のプラグスーツかなんかでね。拾参号機かなんかで、ドワーッと。

新谷 「全てのプログラムを書き換えております」とかなんとか（笑）

和田 ゲンドウが乗るなら冬月も。

―― 初号機はユイが入ってるんですよね。

新谷 アメリカとかで造ってるエヴァは全部爆発してしまいましたよね。ドイツで造った弐号機はアスカを乗せて来てるわけなんですけども。日本のエヴァ関係がシンクロ率低下で事故を起こしてるけども、とりあえず実用化になってるのは、ユイっていうシンクロ率の高い人間のクローンみたいな形の細胞を組み込んじゃってるから。だから初号機にしろ次の、おそらく日本で造るのは全部ユイになるんだろうけれども、それのみが成功できるんじゃないかと。つまりエヴァっていうのは、ほっとくとそのまま使徒になっちゃうんで、そこにシンクロ率の高い人間の細胞を組み込んで初めて人間として動く使徒になるんじゃないか。そうするとなぜアスカの弐号機が動いてるんだと。首くくったおかあちゃんの細胞、どっかから取ったんちゃうかーと（笑）

―― 人柱が必要。

新谷 そうそうそう、常に人柱が必要な機械で。

―― アスカのおかあさんも、一度試験中にラリっちゃった。

新谷 だから、どれもこれも、おっかあがラリると、なんかうまくいくんじゃないか。

和田 （第壱中学校の2―Aが）そういうのがみんな集められたクラスなんじゃないかと思うと、怖いよね、なかなか。

新谷 で、ヒカリちゃんのおっかあがラリっちゃったのか、どうなるんだろうと。僕らの世界では、ヒカリちゃんのプラグスーツの色を決めようと（笑）「やっぱ、お約束のピンクでしょう」「黄色でしょう」とかみんなで言ってたんだけれども。ヒカリちゃんがピンクのプラグスーツを着てですね、「エヴァ出動」とかなんとか言って、風呂敷包み持っててさ、お重かなんか弁当持って、バーッと出撃してしまうわけですよ（笑）

和田 LCLの中でお弁当溶かさないように。「これは私の娘だ」とLCLが反応してね。

新谷 使徒を待っている間、むこうで背中丸めて「今日のお惣菜」っていう本を読んでたりするわけ（笑）

和田 LCLの中、タマゴ焼きとか飛んでたりするんだよね（笑）

新谷 トウジの参号機を四号機が追っかけるんですよ、お弁当食べながら。しょうがないからトウジはエヴァのかっこうのままお重をあけて食い始めるわけ。そうすると管制センターで「食ってる…」とか「弁当を食ってる…」。トウジは「ワオーン」って、まずいのかうまいのかよくわからない（笑）

和田 ヒカリちゃんの機だけがニッコリしてて。「ああ、エヴァが笑っている」（笑）

新谷 シンクロ率めちゃめちゃ高いな、とか言って（笑）

和田 拾参号機までがこう、みんなでシンクロして踊り出すというわけね。

新谷 俺、絶対ね、拾参号機はゲンドウもそうなんだけどね、まずケンスケだろうなと。あれほど乗りたい乗りたいって言って、それがことごとくはずされているわけで。

―― オタクは乗れないのか。

新谷 理由は、って言ったら、シンクロ率が高すぎてエヴァそのものになってしまうから



▲暴走した初号機が、「使徒を食ってる？」有名なシーン（第拾九話）EVAが人を食った話だと言われるゆえんである（？）



◀いつもビデオを回してるケンスケ（CV＝岩永哲哉）

ダメ（笑）こいつシンクロ率下げなきゃだめなんだ、という。

和田　やっぱりプラグスーツは迷彩だよね。

新谷　エヴァはなんていうか、今言ったように、われわれが久々にパロディ化できるマンガなんだよね。パロディにできるマンガっていうのは、たわごとを大真面目にやってないとだめなんですよ。つまりエヴァっていうのは面白いことにたわごとなんです、ほんとに。個人から出たたわごとが軸になってて、そしてそれを組織化してさらにたわごとをやってるわけなんですよ。本人たちが大真面目にやるんです。だから我々がパロれるんです。これくらいのパロディが出来るマンガって言ったら、過去にさかのぼったら『巨人の星』くらいしかなかったんでね（笑）

――梶原一騎系。

新谷　そう、だからそれからいけばエヴァっていうのは、ものすごく正当な流れを汲んだ少年マンガなんだわ。

――熱血で。

新谷　で、成長物語なのね。

――非常に複雑。

新谷　複雑ですね。それは要するに、現代の社会の中において、離婚劇であるとか、男女の別れだとか出会いだとか、昔だったらそれは大人の世界だったんだけど、今子供の世界でももっといじめの問題にしろなんにしろ、人間関係っていうのが、複雑に絡みますよね。で、子供自身の意識の中にも、「自閉症だぜ」っていうような、いわゆる自閉っていうのをはっきりと学術的に理解してなくても、言葉の感覚で、どういう症状かっていうのがわかるんですよ。そういう時代になってる。だってネルフでエヴァに乗ってる子っていうのはもう全部家庭崩壊した子ですよね。それを操ってる大人たちも全て家庭崩壊させてますよね。もう、赤木博士にいたっては親子どんぶりですからね。だから、そういったものを、普通アニメでは禁忌とされていた要素を「エヴァ」は全部ぶちこんじゃった。本来みんな、いっこぐらい人物像っていうかキャラクターの深みの部分として、そういうのを入れようとしたはずなんだけれども「いや、やっぱり子供に見せるにはこういった複雑なものは」っていうのがあったの。ところがその垣根を、庵野氏はいきなりとっぱらっちゃったわけ。多分、俺たちが創ってる中でも、どうしてもなんか商業誌でやってる以上、あるいは公共電波に乗せる以上、これは踏み越えられない垣根だなって思って自主規制してる部分があるんです。別に、法律的にはやっちゃいけないってのはないんですけれども。その垣根の部分でみんな不満があったんだけれども、庵野氏は多分見たかったんだろうと。

――あと、子供のほうでも、まき添えをくっちゃうっていうか、自分が被害者になっちゃうし、それどころか加害者になる場合もあるので、やらざるを得ない。積極的に男と女のドロドロにも介入して行かなきゃいけないっていうふうになっちゃったのでは。

新谷　第20話でミサトさんと加持さんのベッドシーンがあった時に、時間帯が6時半だよね、みんな飯食ってる最中だよ。うちだって飯食ってテレビつけて見てて最後に「ああ〜ん」とかなって、みんな箸が止まったわけ、そこで（笑）

和田　「おいおい」だったね、あの時は。

新谷　おいおいおいおい、TBSの9時台やっちゃうか、おいって（笑）

和田　うちでも、仕事してたけど、みんなの手が止まったもんね、やっぱり。

新谷　セリフもきわどいしさあ。

――あえぎ声が。

新谷　あえぎ声が入って。とにかく今まで男女が愛しあうシーンなんかっていうのはマンガとかでも、『ガンダム』以降わりとポピュラーに使うようになったんだよね、でもね〝寸止め〟だったわけ（笑）。庵野氏はフルコンタクトやっちゃった。俺、あれを見たときに、最初にまず思ったことは、局の電話回線がふっとぶだろうなっていうことと、それと編成局の局長なんかに、誰かが呼び出し食らってるだろうなっていうこと。もうひとつ、これを見ている14才15才以下の子供がいる家庭では、半数が頭が真っ白になって棒立ちになってるか、あとは母親がリモコンを動かしてスイッチを切るか（笑）その何通りかが考えられるなと。次の日にうちの娘に聞いてみたわけ「あれどうだった？」「いやー、うちのクラスでもかなり話題が盛り上がった」って。

新谷かおる

X年4月26日生まれ。牡牛座。（高校の時、自分で調べた）A型。大阪府出身。'70年、「りぼん」増刊号でデビュー。佐伯先生とご結婚なさり、松本零士先生のプロダクションに入社。'77年に独立。『ファントム無頼』（原作／史村翔）『エリア88』『ふたり鷹』（小学館漫画賞受賞）、『砂の薔薇』『ジェントル萬』『ALICE12』など数多くの傑作を描いてらっしゃいます。『クレオパトラD.C.』（スコラ）など名作の文庫化も着々と





ある子はね、あのシーンになった瞬間に「やばい!」って思ったんだって（笑）そしたら母親はやっぱり箸が止まって、父親の箸も止まって、ボーっとしてテレビを見ている。いつマヤちゃんの声で「電源を切って!」って（笑）「だから内容よく覚えてない、ドキドキしちゃった」って。

―― 僕は、たまたまそのとき見てなくて、みんなが「すごい長かった」とか「半分ぐらいあったとか」いうので、ドキドキしてビデオ見たら、実は短いんですよね。具体的には一切見せてないし。

和田 全部止め絵だしね。

―― ホテルの隅を映してるだけ。

新谷 3分ぐらいですよね。

―― しかも、あえいでる時間そのものはもっと短いですからね。

和田 でも、見てる最中は長かったよ。めちゃくちゃ長かったよ、あれは。ドキドキしながら見てたもん。

―― だから見せないことがあんなにエッチだっていう。でも放送コードに触れるかっていったら、何も映してないし、あえぎ声がちょっとっていうぐらいですから…。

和田 雰囲気だけなんだけどね。

新谷 認識のない人にはただのホテルの部屋での会話にしか聞こえない。なんか変な声が入ってるけどこれは何だろう、でもよくわからない。でも認識のあるやつは「やっべー、これは局の回線パンクだよ」（笑）

―― だからすごくエッチに見えたというのが、あれは画期的だったと。ヘアヌードの時代になっても、ちゃんとみんなドキドキして、家族で気まずい思いをするような。

和田 やっぱり日本人だね、みんな。

新谷 僕はあれ見たあと、すぐにネーム、コンテ切っちゃいましたよ。「エヴァンゲリオン第27話 予期せぬ夜」「新第3テレビ東京」とかいって（笑）でなんかこう、「ああ」とかいって画面が流れ始めて、例のあの六角形の（モニターの）ところにババババババっとか、それで、ヘッドホンをかけたプロデューサーふうの赤木リツコさんがマヤちゃんに向かって「画面、止められない?」「オンエア中はだめです」（笑）それで向こうから「局の回線、パンクします!」、それでミサトさんが「何よ、これは!」とか言ってやってきて、リツコさんの横っつらひっぱたいて「あんたが作ったんでしょ。責任取んなさいよ!」（笑）

―― 「視聴率は上がってます」

新谷 視聴率曲線は、グーって上がってる。「ニールセンリサーチもビデオリサーチも突破しました!」（笑）そしたらリツコが落とした眼鏡のレンズかなんかをチャリッとか「フッ」とかなんとか「でも、勝ったわよ」と言って。で、局長室が映ってね、碇司令があのポーズで「再放送はしない。この番組はこのまま凍結する」とか言って。そしたら加持さんが机のとこに腰掛けて「それが賢明な処置ですね」とか（一同笑いっぱなし）

―― それは絵にはしてないんですか?

新谷 してない、コンテだけ切った（笑）

―― 完成させる気はないんですか?

新谷 どうしようかなあと思って（笑）

―― ぜひ凍結を解除してやってください。

新谷 幻の27話。

―― 止まってる絵はエレベーターのシーンもすごく長いんですよね。

新谷 長かったですね。あれはやっぱり庵野氏のひとつの映像的な実験ではあるし、やってもいいと思う、あれは。

―― それを表面的に手抜きだっていうのはね。

新谷 あれは手抜きではない、はっきり言って。映画なんかでもよく使う手法だし。じゃあ映画でよくてアニメでなんでやっちゃあいかんのだっていうことになるんで。

和田 ベッド・シーンも、手は動かしてほしかったね。ほんとに煙草の煙の動きくらいだったしね。

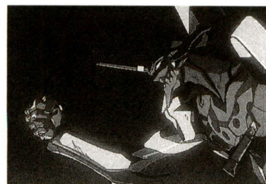
新谷 一番手前にビールのコップが置いてあるから、俺、泡だけ立たせろって思ったの。泡を動かしとけって。そうすればもうそれは画面的には止め絵なんだけど動画なんだって。映画っていうのは面白いことに、そういったシーンで、キャラクターが凝固したような状態でも、その息づかいの、肩が少し動いたり、またあるいは瞬きしたり、そういったのや空気の流れっていうのも映像に映し込まれてる。だから止め絵じゃないってことになる。アニメで止めちゃうと、ほんとに止まっちゃうんだよ。

■エレベーターのシーンは、劇場版の総集編では、アスカが身動きしたり、「止め絵」でなくしてましたね

和田　どこか動かしてくれてればねぇ。
新谷　どこか動かしてなきゃならない。そこまでやれば…。
和田　あの画面は完璧だったんだよ。
新谷　そこまでやったら「庵野、合格!」ってことになるの、ほんと。わずかだけれども、息をするたびに肩が動いてるとか、まばたきする、あるいはライトがチカッと点滅するっていうような、決して空気が止まってるわけじゃないから、必要な静寂になるわけで。
――シンジが初号機でカオル君を握ってるところも音楽はずーっと流れてますけど、完全に止まってますよね。
和田　やっぱり空気が動くっていうね。
新谷　なんとか空気を動かす。湯気を引き尺でダーッと動かすとかだけじゃなくて、なんかもっとこうね。
和田　欲しかったね。
新谷　カオルがシンジの手をガッと握った瞬間、シンジがグッと手を引こうとする、その動きが欲しかったな、決断として静止画面を使うってことは、大胆に踏み切っていいと思う。だけどそれを実行する段階で、もっと繊細に絵作りをしなくちゃならないと思う。要するにみんながそれをやらないのは、繊細にやらなきゃならないっていうのが前提であるから、めんどいからやらないんだと思う(笑)それだったらいっそ動かしてるほうがいいやっていうことになるわけ。俺がもしアニメ作る立場でも、この静寂、この息の詰まるような静寂感っていうのは欲しいなと思う。だけど、それをやるには、きっとこの静寂の中にわずかずつ動きを入れて行く。でもそれってすっごいアニメーターに苦痛を強いるし、しかも微妙なとこだから。レイがこう止まってて、こう息をしてるのに、俺だったら胸のしたの影をわずかずつ動かすだろうと思うの。それを多分俺はブラシ処理の、5・600枚で済まないような処理をなんかこう駆使してやると思うのね(笑)
和田　そこまでやる?
新谷　金はかかるわ時間はかかるわ。とてもじゃないけどそれはできないと思う。
――時間もねえ。マンガの週刊連載だって落としたりってことがあるのに、テレビで落とさないっていうのはすごかったですよね。

リツコさんのおしおきっていうのは、体罰が入るよね(笑)

新谷　第一、いくらたくさんの人間でこしらえてるっつったって、コンテ切るのは一人なんだから。そういうクオリティを考えると、とてもじゃないけどそこまではできない。だけど、とりあえず庵野氏がやった、アニメで今まで禁忌とされていた部分に切り込んだ大胆さ、ある意味での傲慢さ、そういったものにすごく拍手したいね。まず切り込み隊で、切り死にする奴が出て来ないことには、後から切り込む奴がいないからよっていうさ(笑)
和田　あの緊張感のある場面っていうのは、見ていて気持ちがいいよね。なんていってもね。だからもう最初の方見て、途中からやっぱり目が離せなくて、毎週あの時間帯だけは楽しみにしてたからね。なにはともあれ、つけて見るっていう。だから終るともうさみしかったね。最後が、ああだったけど、結局もう「エヴァンゲリオン」の番組そのものがなくなっちゃうっていうのが、めちゃくちゃさみしかったね。いい時間だったよあれは、あの30分ていうのは。
――一回目から見てたんですか?
和田　僕が見たのは4回目ぐらいかな。
――それは噂を聞いてとか?
和田　アシスタントが好きでビデオ撮ってたんで見せてもらったらおもしろくて以後4回目からずっと…。
――そのあとはリアルタイムで欠かさずに。
和田　うん、だから、ほんとにあれは楽しい時間だったので。あんな緊張感のある画面がテレビで見れるっていうのは幸せだったなあ。
――最近はそういったアニメとかテレビ番組は。
和田　ないね。だからむしろほかのは見なくなっちゃった。
――何以来の、っていう感じですか。
和田　あんなにのめり込んじゃったのは、い


◀カヲルを握ったままずっと沈黙を続けた初号機。シンジにとっては一瞬だったか永遠だったか……

つだろ。

―― 僕は『未来少年コナン』以来、でした。

和田　『ヤマト』とか『ガンダム』とかね、あの系列とか、まあ宮崎（駿）さんの系列、『コナン』かね、あのあたりずっとそうだったけど。そのあとで、って言われるとちょっとむずかしいね。

新谷　そうだよね。おれも『ガンダム』も別に毎回見てたわけじゃない。どっちかっていうと、テレビつけた時にやってれば見てたっていう感じだし。だからわりとその時間帯を待ち遠しくというか「あ、今日は『エヴァ』の日だね」と、その時間帯になったら「お、六時半だ、つけろつけろ」って言ってテレビつけてたのは、この15・6年の中では『エヴァ』ぐらいじゃないですかね。わりと「あ、熱狂させるなあ」っていう。僕は『エヴァ』放映の前に〝ガイナ祭〟っていうのを千葉でしたときに、そこで1回目と2回目は見たんですよ。先行で。で、見た時に印象としては「わあ、地味な世界観やってるなあ」っていう感じがあって、で、どうするんだろう、この人型ロボットっていうのはもういい加減みんな飽きてるのに、これをどう処理するんだろうなあと思って。しかも主人公、いやがってるじゃんとか（笑）

和田　それはもっともだ（笑）

新谷　1回目、2回目しか見ていないから、そういう印象しかなかったわけ。主人公いやがってるよ、おい（笑）

和田　主人公がいやがるっていうパターンは、まあ昔から『マジンガーZ』とかのロボットものからけっこうあるわけなんだけど、お父さんが嫌いだから乗らないとかさ、なんで僕がここにいるのっていう、そのへんに持ってくからねえ、現代的になるんだよね。

新谷　そう、1回目見た限りでは、そうとう複雑なご家庭っていう感じがするしさ（笑）

和田　しかもどう見てもこう、ロボットに乗りそうもないタイプなんだよね、実は。正義のために戦うわけでもなし、誰かのために戦うとかそういうのでもなし、自分だけの理由で仕方なく乗らなきゃいけないって言って――乗るからねえ。

新谷　妙に冷めた男の子と、なんかその妙な陽気さで表向きの人格を作ってる女と。

和田　いやあ、ミサト良かったなあ。あれだけ破綻していながらね、元に戻ったっていう生命力がね、ミサト好きなんだよね。逆にアスカがかわいそうでかわいそうで。緊張感・緊張感・緊張感に持ってきて、で、キレちゃうでしょ。あれが一番かわいそうだったなあ。

―― TVでは、寝たきりのまんまで終ってしまった。

和田　なんとかしてくれ。

新谷　俺はリツコさん派なんですけど（笑）

―― 白衣の、ちょっと知的な。

新谷　いや、あのねみんなに言ってたの、「この人のおしおきっていうのは、体罰が入るよね」（笑）。

―― そういう見方を（笑）

新谷　「この人は、ムチ出ちゃうよね」とか「ロウソク出ちゃうよね」とか言って（笑）

―― 時々、白衣の下は特殊なものを身に着けていたりするという（笑）

新谷　ああいった、なんていうのかな、非常に高度な頭脳と、おそらく非常に女としての本能的な部分と、それを常に、自分で制御できない・できるっていうスレスレのラインで動いてる女っていうのは好きだなあっていう（笑）だから母親を死に追いやったゲンドウっていう男を憎みながら、ゲンドウっていう人間を慕っている自分もいるっていう。だから、できれば親子どんぶりしないで欲しかった。もうそのギリギリのラインで、だけど自分がもしゲンドウを取るか仲間たちを取るかっていった時に、自分はきっとためらいなくゲンドウの方に行くだろうって。その時に、ミサトも加持もシンジくんもみんなを裏切ることになるけどごめんね、っていうそれぐらいのことを平然と言ってのける女であって欲しかったわけ（笑）

和田　でも親子どんぶりやってたから、リツコさんの苦悩が出てきたからね。ゲンドウ、なんだあいつは！　許せんな（笑）

新谷　あいつは、おいしいとこだけ取ってるんだよ。

和田　それで「ユイ…」なんて言われたら腹立つよね。

―― 年齢的にいうと、お二人とも本当はゲンドウに近いですよね。立場上も。

新谷　立場上そういったものになるんだろうけどねえ。



▲「…どうしたらいいの、母さん」と、独房の中で苦悩するリツコさん（第弐拾四話）

『エヴァ』というものを出したけれども、実は庵野氏は使徒の一人だったと

和田　ゲンドウに近いって言われると腹立つ（爆笑）

新谷　俺はあんな鬼畜じゃない（笑）。しかしなんで碇ゲンドウは『哭きの竜』みたいにいつもこんなかっこうしてるんだろうね。「あんた背中が煤けてる」。

和田　煤けてるのは貴様だ。

――そういう意味ではキャラクターに感情移入はして見てたんですか？

新谷　そうですね、キャラクターに感情移入して見なければ、それだけ熱狂できないわけなんですけれども。

――それはやっぱりシンジくん？

新谷　っていうよりね、キャラクターにね、「あ、感じ出してるな」ってバッと盛り上がる自分の気持ちと、あと「あ、うまい演出だな」って冷静に見ようとする自分と、なんか職業的にね。で、のめり込んだら作者の勝ちだよね、ってそういうのがあるわけ、やっぱり。そのせめぎあいのあったアニメーションだなっていう。

和田　わりと、外から見てる部分のほうが、多かったなあ。

――バカシンジと言われても、ギクっとかそういうことはなくて（笑）

和田　バカシンジ見りゃ、ああかわいそうにとかね、ミサトを見ればミサトに感情移入するしっていう形で。みんなそれぞれ抱えてるものがだんだんでかくなってくじゃない。最後に向かってどんどん膨らんでいくでしょ。あそこは見ているほうが辛いよね、切ないよね。

新谷　だから見てる最中に、同業者というかいわゆる制作者側のほうに自分の感情がスッと入っていくというか。

和田　こう持ってきたか…と。

新谷　ああ、そうかこうやったか、でもこれやるとよぉ、後のオチがつかねえぞこれ、とかなんとか言って。

和田　ここまで持ってきてどうやって引き止めるんだとかね。

新谷　どうするんだ、これ、話どうやってまとめるんだ、あと4話しかないじゃんと。

和田　数えちゃったね、あれから（笑）

新谷　20話以降、はっきりいって数えたね。

和田　ここまでしかない、どうするんだ、どうまとめるんだ！

新谷　ちょっと待ってくれ、ページ足りねえなんて。

――単行本にする時に描き足すか、とか言ったりして。

新谷　プロとしては、当り前だけどページ数内でピシッとまとめなきゃならない。でもどうやってまとめるの、まだ散らかったまんまだよ。どれとして収束してないしっていうね。

和田　ロンギヌスの槍飛ばしたままだし。「あれどうするの取ってくんの？」とかいって。

――伏線張りっぱなしで。

和田　伏線張るには遅いんじゃないか？　もうワンクールは、いるぞ。

新谷　ロンギヌスの槍飛ばした段階で、「あ、もうワンクール行くつもりかな？」って。ただその段階で延長が決定したとしても、このクオリティで作ってガイナックスの体力が持つかなって。そういったことがね、フッフッと頭の中にね、出るわけ。

和田　そっちの方がドキドキしたりして。

新谷　だって、自分でこの話をこういうふうにして作って行ったら、最後血の嵐だよな。

和田　もう、ズバズバ殺して行くしかない。私ならやってる。

新谷　ほんとにだって、そうしないと責任がとれないんだもん、みんなやってる罪が深すぎてさ。

和田　みんなとにかく死んで、シンジだけ生き残って、最後に…だな。

新谷　俺はね、最後にあのロンギヌスの槍飛ばした時にもうワンクール延ばすとして最終的にそうだなあ、『エヴァ』っていうのは、オープニングなんかで変な翼みたいなの出てきてるから、あれで結局、空を飛行可能になるという、そういう状態にして、それでロンギヌスの槍を空に放って取りに行って、向こうに光る滅亡するべき地球に向かってそのロ

和田慎二
X年4月19日生まれ、牡羊座。広島県出身。大学在学中に「別冊マーガレット」でデビュー。以後、『銀色の髪の亜里沙』『クマさんシリーズ』『あさぎ色の伝説』『ピグマリオ』など、少女マンガ誌で活躍する貴重な男性マンガ家として今日にいたってらっしゃいます。新刊は『花とゆめ』連載の『少女鮫』（白泉社）。マンガの原作者としても活躍中。ちなみに、EVAのアスカの名は「超少女明日香シリーズ」の明日香からとられたという





ンギヌスの槍をガッて構えて、どっち側に投げるかっていうのが、ラストシーンかなと思ってたの。

――なるほど。

新谷　おやじに向かって投げ込むか、それとも人類を救うために、そのロンギヌスの槍をまた別の方向に投げるか。その最後の選択肢を、大人の考え方になって来たシンジくんがどうとるか、それをラストシーンに持ってくるかなっていうふうに考えてたわけ。その時にはもう人類補完計画とか、そういった謎も全て明かされてて、つまりああいった最後のセミナーみたいな状態でお茶を濁すんではなくて。

和田　本来普通のロボットものなら、始めのほうにああいうゲンドウとシンジの親子関係の引き方してるから、それに成長があると思うんだよね。当然最後にゲンドウがはっきりとした意思の下にそれをやっていて、シンジはそれをわかって乗り越えて行こうとするというパターンかなと思ったんだけど、ゲンドウの性格が、あまりにも悪すぎるんだよね（笑）何話になっても転換がなくてね、だから狙いがわかんなくてグルグルしちゃった。だからいまだに後どう持っていくのか、俺は楽しみにしてる。

――ゲンドウのシナリオってどこまでどういうふうに書いてあったんですかね。

和田　親子どんぶりはするわ、ユイが好きなんだかどうなんだかもよくわからない。変な奴。

「親と子の絆は」とか「果たして愛とは」と考えてしまうのがすごい

新谷　深読みしようと思えば非常に深読みできるアニメーションであることは確かなの、ただ深読みしすぎるとこのアニメーションの本筋を見失ってしまう。

和田　ものすごく単純に考えた方がいい。

新谷　単純に考えていいんじゃないかなとも思う。こういう言い方したらあれだけど、所詮アニメじゃん、っていう。「ガンダム」の時にも、アムロの精神状態がどうこうだとか、連邦軍だとかジオン軍だとか、あれもあの当時のアニメとしては異常に複雑な人間関係をやったわけなんだけども、その中での心理状態とか、グチグチ分析せずに、ガンダムがカッコ良く戦ってだねぇ、アムロくんが最後にハッピーになればそれである意味でいいんじゃないかと。もしその時に自分が感動できればそれで良いアニメだし、なんか食い足りなければ、あんた大人になってこれ以上のアニメ作んなさい、っていう（笑）早い話が『ヤマト』とか『ガンダム』を見て育った世代っていうのが今作ったのが『エヴァンゲリオン』だよなあ。じゃあ、次に彼らが待っているのが、今これを見てどうこう言うファンの声明文ではなくて、おそらく『エヴァンゲリオン』を見て育った人間たちがあと20年後に作り出してくる、それこそがサードインパクトになるんじゃないかなっていう。

――エヴァンゲリオン・チルドレンが。

新谷　そうそうそう。作品とシンクロした子供たちが、次に果たしてどういうものを作ってくるか。だからこの段階で『エヴァンゲリオン』というものを庵野氏は出したけれども、実は、庵野氏は使徒の一人だったと（笑）果たして、そのままサキエルとなって消えるか、アダムとなってその次を作ってくる制作者側の気持ちの中に沈むか、という。

和田　どっちかというと、アダムが『エヴァンゲリオン』になっちゃうんだろうね、きっと。だから14才限定っていうのも、これが16年後のタイムロスの後に、またなにか出てくるんじゃないかっていうね。

――自分でも、もし14才の時にこれを毎週見てたら、どういう大人になるんだろうと。単にガイナックスに入れたらいいというものでもないはず（笑）宮崎さんが「トトロ」が当たった時に、あるおかあさんから手紙が来て、「トトロはすばらしい」と、「子供と一緒になって何十回も見てます」と言われて、それは困ると。そうじゃなくて外の自然を見に行って欲しいと。アニメオタクになってどうするみたいな。だから、いい作品って危険なのは、深いマニアになって、全部集めたりするような、そっちの方向に行ってしまうのはなんか違うっていうか。



▶評判の悪いゲンドウ　息子のシンジに殺されるのか、それとも…？

新谷　そうなんだよね。でも、現実問題、アニメの制作現場における制作費、つまり食料となる部分を確保している部分は、その人達なんだよね。コレクターなんだよね。それがなきゃ、メシが食えないわけですよ、この業界は。

――そうなんですよね。そこの矛盾。

和田　アニメオタクの力は強い。

新谷　さっきも和田先生と車に乗ってて話したんだけど、なぜアニメに狂うかと。これだけバラバラバラバラ雨後のタケノコのようにアニメが出てきて、それで食い合いになって当り前なんだけれども、食い合いしてる割にはまた次から次へと出てきて、そこそこみんなが食えてるっていう、これいったいどういうことなんだって。

和田　ほら、アイドルオタクっているじゃない。予備軍のもうほんとに小さな子供からずーっと目をつけて、育つのを見て楽しむみたいなね。そういう方向が認められたから今の方向もあるんじゃないかと思ったよね。

――ずっと追っかける趣味として。

和田　そう。もう予告以前の、企画段階から目をつけていて、放映前に内情を知って、で放映後ずーっと。で面白くなければそれでおしまい、次へ行く。そういう感じのオタク精神みたいなのが、まだ続くなァっていう気がするね。

――同人誌でも、昔は、好きな作者がいるとインタビューに行ったり、未収録の作品を探してきて作品リストを作ったり、そういう研究するみたいな楽しみがあったのが、今は、作者はどうでもいい感じで、例えば車田正美先生は置いといて、『聖闘士星矢』で遊んじゃえ、みたいな感じで、パロディをつくるっていうのが増えて。でも、『エヴァ』では、また脚本の意図とかガイナックスが、とかそういうのがもういっぺん話題になるようになった。それと同時にパロディ本も、相変わらず山のようにエッチな成人向きやら、わんさと出てるっていう、なかなか面白い状況で。

和田　まあ、例えば5千、『エヴァンゲリオン』のパロディがあったら、その中でちゃんとエヴァの本質考えて作る作家がいるでしょ。それがけっこう多いじゃない。だからそれはそれなりに育ってるのかなって気がしないではないんだよね。玉石混淆ではあるけど。だから90%はもうそれこそエロとかやおいとかですんじゃうけど、残りの10%が伸びていくような気がするんだよね。

――『エヴァンゲリオン』のパロディ本を見てると、けっこうみんな詩人になってますね。

和田　そうそう。「親と子の絆は」とか「果たして愛とは」と言ってね、考えてしまうのがすごい。

――心と向かい合ってるなみたいな。

和田　ある意味、青春の部分を直視するようなところを作ってるんじゃないかなあと、いい意味でも悪い意味でもね。

――僕なんかだと、セミが鳴いてたりするシーンが出てくると、石森章太郎の『ファンタジーワールド　ジュン』みたいな感じで、『COM』が頭に浮かぶというか、アニメで『ガロ』、『COM』が出て来たのか、みたいな感動がありました。

和田　ああそうね。『COM』で人生考えさせられた時代に。

――それで血がドバーッと出たり、引きちぎられて痛そうだったりすると、白土三平だみたいな感じで、横山光輝から白土三平へみたいな、年齢的にそのへんが蘇って。

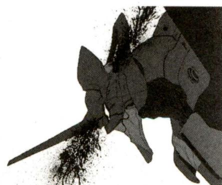
和田　じゃあ『カムイ伝』なんだな、やっぱ『エヴァンゲリオン』は（笑）

――なんかそういうヘビーな、キャラクターが死ぬとか、足がなくなってるとか、おかあさんは首を吊ってるは、けっこうドキッとするようなことがね。あの昔のパワーがアニメで見れるとは、みたいな。それが、押井守さんとかのように作家性が強いのも、逆にできるようになったみたいなね。子供向けのエンターテインメントだからとか、おもちゃを売るためにっていうのをクリアしつつもそういうのが出て来て、COM、ガロの時代に突入して、でもこの先はなくなってしまうのかなとか、ちょっと不安が。ひとりよがりばっかり増えても困るし、みたいな。

和田　アニメで、これが増えても困るんだけどね。

――そう。最初にやる人はえらい。まねするとなんだか違う方に行っちゃう気もする。

和田　そうだと思うね。石森先生の『ジュン』もあれが出た後で、実験マンガっていうのが



◀傷口から液体が音をたてて吹き出す。元祖は白土三平の劇画か、黒澤明監督の映画『用心棒』の決闘シーンか（第弐話）

■手塚治虫の「火の鳥」が連載されていた実験的なマンガ専門誌『COM』には、大友克洋、諸星大二郎、竹宮惠子、山岸凉子、いしいひさいち、中島梓…といった人達も投稿していた。今となってはフシギな雑誌。CD-ROMで全巻復刻！…にならないか？

山ほど出たからね。

―― それこそ手抜きの言い訳にできるみたいな。そういう危険性もあるかなあと。でもアニメもそういう時代がきて、それからまたエンターテインメントに、子どものためにって言って、『仮面ライダー』に戻りましょう、みたいな、そういう進化になるのかなあと。

和田 本質的には庵野くんもエンターテインメントやりたいと思うんだけどね。

―― ガイナックスはもともとやっぱり、面白い、うけを狙って作るというね。

和田 面白いことを大真面目にやるっていうところがね。

―― だから、予告でも「サービス、サービスゥ」というのが。あれにみんな過剰に反応しすぎちゃったみたいなところも。

和田 いやあ、途中であの「サービス、サービスゥ」っていう予告がなくなったのがさびしくってね（笑）あれ、けっこう、うれしかったんだけどな。

新谷 さっきも言ったように『COM』が出て来た時の衝撃、『ガロ』でいろんな作品が出て来たときの衝撃に近いものは確かに僕も感じるんだけれども、『COM』とか『ガロ』が出て来たときって、まだ日本のマンガが円熟期ではなかったんですね。まだグツグツのマグマの状態だったんで。ただその中での、戦後マンガというか、戦前から続いている児童マンガの古い因習みたいなものに不満を持ってた連中が、ワッと吹き出してしまった。つまり、もうちょっとマンガの世界ってそういうもんじゃない、児童マンガをここまでって規定するんだったら、児童マンガからおれたちは出てもかまわないっていう段階ね。それがあったわけ。で、アニメなんかでも、『エヴァ』の位置づけが同じだとすると、アニメーションっていうのが子供向けだっていうのからおそらく脱却したかなと。

和田 逆にね、もうちょっと下から見ると、例えば『COM』、『ガロ』とかね、あそこらへんの雑誌を見たときに、マンガ家志望者としては「ああ、こういうのやっていいのか」「ここまで描いていいのか」っていうのがあったわけ。『エヴァ』というアニメがそうなったら困るような気もするんだけどね。

新谷 ある意味ではね。日本のマンガがダメになったのは、またあれのせいでもあるんだよなあ。

―― なんでもありになっちゃって。

新谷 あの段階で、タガがはずれたんだよなあ。

和田 広がった部分、それこそ玉石混淆の世界が広がって…でも、あれがひとつやっぱり線になったかな。

―― そういう意味では俳句や短歌と同じように定型のままでがんばる方が。一度は崩すと面白いんだけれども。

和田 マンガはタガがはずれたらはずれたでいいんだけど…っていう感じもあるよね。でも、これでいいんだって思われると違う。そこにはやっぱり練ったものがあり、積み重ねてきたものがある方が読みやすい。いきなりタガをはずすのはちょっと。形だけはできるだろうけれども、作る方も読む方もつらいと思う。

―― あと、マンガっていうのは文学や映画っていうお手本があった。だから文学やSFや、いろんなものからパクッて、パクることによってマンガはすごい豊かになって、逆に今はパクられる状態になったっていうか、今マンガはお手本がなくなっちゃった。

和田 というか、地位が向上した分、パクりもだめ、版権の問題が出る、これでだめになったのが映画なんだよね、実は。それで日本の映画界もどんどん落ちていった。マンガも同じでスポットライトが当たって位置が確定した分、芸術的な意味を持たせろとか、倫理観とかで縛り付けられたから、マンガはこれ以上もう伸びないと思う。

―― たかがマンガっていうふうに見てくれなくなっちゃった。

和田 だから雑草の強さっていうのを、もう一回マンガも映画もアニメも持つべきだと思うんだけどね。

新谷 でももう雑草になれないと思う。植木鉢に植えられて、販売されちゃってるんだよね。

―― 長者番付に載ってたり。

和田 そうじゃいけないんだと思う。やっぱりマンガ家だと言って石投げられる、映画はもちろんテレビにしても、電気紙芝居だと言って石投げられる。SF作家見なさいよ、石投げられて痛い痛いって泣きながらやってく

からSF作家だったんだけれども、今のSF作家は「SFでーす」とか言って。

新谷　売れちゃうもんなあ。

――拡散しちゃって。『スターウォーズ』なんかのおかげで、一般向でも、タイムパラドックスもありの、ロボットもありの。家族そろって見に行くのが全部SF超大作映画っていうのがずっと続いてて、で、肝心のSFはもうなくなっちゃってる感じで。

和田　SFマインドみたいなのがね、そもそもなくなっちゃった。

新谷　昔は『スターウォーズ』はSFには入らなくて、スペースオペラなんだよ、あれは。分類が別だったんだ、はっきり言って。

和田　いわゆるスペオペなんだよね。それで済んでたのが、あれがSFの代表って言われちゃったから。好きだけど（笑）

新谷　あれSFじゃないって。SFっていうのはブラッドベリであり、ハインラインでありと言いながらさ（笑）

「へんなとこに入れないでよ」って、へんなとこってどこだっ!?

和田　そこらへんが結局何かを崩しちゃったから、映画が弱くなっちゃったよね。SFも弱くなっちゃったし。結束力持って雑草の強さを持つべきだと思うんだけど。

新谷　「ナウシカ」を初めて見た時っていうのはものすごい衝撃でしたけどね。ウワーって思って。まあ『エヴァ』とはちょっと違うんだよ、質が。「エヴァ」っていうのは、これ毎週毎週やってくのか、こんな煮詰まった話をっていう。いつこの親子がつかみ合いをするか、このガキはひ弱そうだから親父につかみかかるってことはできないにしても、この親父がいつこのガキの首を絞めるかとかさ（笑）いろいろなんかこう危機感をはらんだ人間関係っていうのがあって、それはもちろん『ナウシカ』にもあったわけ。いろんな危機感をはらんだ人間関係っていうのがあって、それがやっぱり衝撃なんだろうな。今『ガンダム』なんてのはどういうふうにやったって結局はロボット同士の戦闘になってしまって、ウオー、ガッコンガッコンってどんなにやったって緊張感ないじゃないですか。『エヴァ』って、かえってエヴァンゲリオンが出動してから使徒とガッションガッションやってる間のほうが安心感があったよね。使徒をやっつけて帰ってきて、ぜーぜー言いながらエントリープラグから出て来て、で、向こうに親父が仁王立ちになってて、じーっとその目を見たときにみょーな緊張感があるね（笑）

和田　なんて言われるだろうっていうドラマ。

新谷　シンジくんにとっての使徒襲来っていうのはそれなんだからさ（笑）

――ほめられても不安になっちゃう。

新谷　そう、不安になっちゃう。ほめられても不安、けなされてもいやというさ。

和田　使徒そのものの謎もわからないんだよね。

――ところで、JUNEですので（笑）ここで、カヲルくんっていうのはなんだったんでしょうね。

和田　使徒の侵略、あるいは浸食っていうのは、最終的に人間に一番効くのは人間だったっていうとこへ持ってきてるから。

――英語で言うとエンジェルで、カヲルくんも天使の像の壊れたのに座ってハミングしてる。

新谷　そのへん深読みしようと思えばいくらでも深読みできるんですよ。でもね、こういう言い方したらもしかしたら庵野氏怒るかもしれないけど「使徒ってかっこいいじゃん、これにしよう!」っていうさ（笑）「かっこいいじゃん」っていう（笑）

――あの落書きみたいなやつ（サハクィエル）とか、ちょっとすごいですよね、あのデザイン。

和田　もう使い果たされてるからね、アニメでは。はにわ原人やられちゃったし、円盤獣やられちゃったし、次何にしようっていう（笑）で、使徒だった。

――「最後のシ者」で渚くんだとか、そこでしゃれがうまく決まる。

和田　全部、水系だし。

――辻褄が合っちゃうところが、うまく行



▶第9を鼻歌で歌いながら、湖の壊れた天使像に座っていた少年。第一声が「歌はいいね」―衝撃の登場（と退場）で、J少女の心を完璧にゲットしてしまった渚カヲル（CV=石田彰）。DEATH編では、石像に胸があったような…？『猿の惑星』のような結末が待っているのか？？



◀カヲルを信じてたシンジ。「僕の気持ちを裏切ったな!」

ってる時の好循環。偶然もあると思うんですけれども。
新谷　頭の中のどっかに、いくつかのデータがパラパラと置いてあるんだろうけれども、それがフッフッフと符合して、ゴロ合わせをぱっぱっぱと考えていくっていうね。うーんって考えたものもあるだろうし、フッて思いついて、これ行けるじゃんっていうやつもあっただろうし。
――後付けで言われてみて、そうだったなっていうのも絶対あるでしょうし。
新谷　そういうのはほんとにね、なんていうのかな、手前味噌でごめんなんだけど『エリア88』でアスランっていう国を出したらファンが「アスランっていうのはフランス語でライオンっていう意味なんですね」ってなんか符合したことを言って来たわけよ。「バシュタール家のうんぬんかんぬんとあれって、アスランというフランス語での獅子というネーミングを考えついたんですか」っていうことで。全然考えていなかった（笑）そんなこと全く考えずに。
――ゴロだったんですか。
新谷　ゴロというか頭の中に出て来たそれだけなんで。だいたい砂漠にしたということ自体、いい加減だったから。童謡で〝月の砂漠をはるばると〟とか、「あ、いいなあ」とかいって（笑）
――そのあとの湾岸戦争だとか、予見していたように。
新谷　予見もなにも（笑）〝旅のラクダが行きました〟「いいじゃない」とか言って（笑）
――『エヴァンゲリオン』も　碇とか、加持は〝舵〟かなとか言っても、サザエさん一家だと思えば、そんなに深読みしてもね（笑）なぜ、サザエで、妹がワカメで、って考えてもしょうがないみたいな。
新谷　あれは要するに船が好きなんだよ。いわゆる戦艦ものという。
和田　六分儀ゲンドウ。
――それを名字に持ってくるか（笑）
新谷　あとは、戦艦、空母、だいたい日本の連合艦隊の巡洋艦、駆逐艦、全部名前に持ってきてますよね。だからパラッと名前見たときに、ああ、全部これ船の名前だなってわかったくらいだから。
和田　全て統一してくれりゃいいのに。加持くんてかわいそうだね。舵って（笑）
――でも舵をとるのは、重要なキーパーソンかもしれないんですよ。
新谷　だからそれは深読みだって（笑）
――ただ無農薬の野菜を作るだけがとりえの、全共闘くずれみたいな（笑）
和田　深読みするとね、ほんとに加持くんなんかまだ生きてることになるからね。舵がなくなると地球も人類も危ないだろ。
新谷　だって20話のHシーンでも「へんなとこに入れないでよ」って、へんなとこってどこだっ!?（爆笑）
――あれは何してたんでしょうね。
新谷　みんなで「鼻の穴にでもつっこんだんじゃねえの」とかいって（笑）
和田　鼻だったら絶対声が変わるからね（笑）
――実はハンドバッグにいきなり手を出しただけ（笑）
和田　深読みしたいなあとか言ったりして（笑）
新谷　だから深読みしようとすればいくらでも深読みできるわけ、あれは。
和田　いけない方向にいってしまったり、いろいろするからね。
――それは見る方の人徳によって、高潔な作品にもなるし、「こんな下品なものをつくってもいいのか」ってなったり。
新谷　これを下品と判断したらオヤジシンクロが一番上がってると（笑）
和田　いきなりアダルトになっちゃうからね。
――心の問題で。
和田　思わず謝っちゃう、「私いけない想像してました」って（笑）
新谷　「やべー、俺違うことかんがえちゃったよ、根がいやしいからよ」とか言って（笑）
――シンジは、「好きだ」と言ってくれたのがカヲルくんで初めてで、男の子で。それ

相手は同性だということで意識しないから侵入を許してしまうわけでね


▶落書きのアメーバの紙っぺらのような第10使徒サハクィエル（第拾弐話）



◀新谷先生の代表作！『エリア88』。スコラ漫画文庫でも発売中。（全13巻）OVA化された時の声は塩沢兼人さん♡新谷マンガ未体験の女性には、まずこの『エリア88』をおすすめします♡

で頬を染めたり。女の子にもそんなに、まあドギマギとかはしてますけれども、やっぱりあぶないというか。旧制高校に逆戻りみたいな。

新谷　まあ、シンジくんのキャラクターはホモネタに使えそうなキャラクターなんだよね。自分自身を常にあんまり持ってないんで。どっちにも染まりかけるし。

——　自信持ってて、でも優しくしてくれる人にすごく弱い。だから、加持にも下手するとくどかれてたかもしれないみたいなね。

新谷　だって『エヴァ』のパロ本の中では加持くんとやるやつ多いよ、すごく。

——　やっぱりみんな見破ってるなと。

和田　シンジは女の子を意識して、逆に遠ざけてるけれども、要するに男性に関しては安心感がある。ものすごく、女の子だと意識しちゃうんだけど、相手は同性だということで意識しないから侵入を許してしまうわけでね。

——　レズビアンも同じパターンかもしれませんね。男の人を遠ざけていたのに、男役の女の人には弱かったりしてね。心の垣根をとっぱらってしまう。

和田　そうそう、同性だからっていう安心感。心の中にすんなり入れてる。だからまあ、やっぱり加持くんとか渚くんとか、そこらへんには弱いだろうね。侵入を素直に許してしまう、同性だから。

新谷　『エヴァ』パロでは、赤木リツコさんと伊吹マヤさんがレズ関係が多いですけどね、なぜか。

——　制服組。

新谷　「これはダメなの?」っていうと「ダメです、ダメです」としか言わない。〝ダメ出しのマヤちゃん〟とか言われてるんだけども(笑)

和田　でもやっぱり私だとね、ミサトとシンジのほうに持って行きたいんだけど。

新谷　だから、パロディはいくらでもできる。もちろん、レイとシンジとかっていうのもあるんだけど、あれどっかのエピソードをそのまま使って導入させないとだめなんだよね。延長でしかないの。だけどミサトとシンジっていうのはね、全く元ネタの『エヴァ』のエピソードを使わずに始められるんだわ。

和田　おねえさんが、少年をいたぶっちゃうそういう設定…好きだな。

新谷　ある同人誌では、シンジが部屋で一人でごそごそと、綾波の学生証かなんか見ながらやってたら、いきなりおねえさんがバーンって入って来て「どうして私はこの3センチ×3センチに負けなきゃなんないのよ!」バシッとかなんとか(笑)「近くにこーんないいものがあるくせに」「3センチ×3センチよりも劣るっていうの」とか言ってさ、始まっちゃうんだよな(笑)

——　最初の方でシンジくんを自分の部屋に泊めるってリツコに電話して、「手を出したりしないわよ」あれはよかったですよね、新鮮というか、そういう考えになるっていうのが。普通だったらそうはならないっていうか、単に一人暮らしは心配だから同居するっていう。そんなことは絶対思いもしないっていう。

新谷　ということは、こいつ手を出したことあるのか?(笑)

——　言い訳してるところがあやしい(笑)なかなかおねえさんしてるなあ、みたいな。そういえばシンジくんの目の前に、「気持ちいいこと」って言って三人迫ってくるところがありましたけど、自分だったら誰を選びますか?

新谷　あれは、レイとミサトさんとアスカと。俺はあの三人には入ってないんだよね。リツコですよ、リツコさん。できればリツコさんのおかあさん(笑)ちょっとこのへんに小皺ができてたりなんかして、「ほらほらマギシステムよ」とかなんとか(爆笑)「どのへんがマギ?」とかなんとか。

新谷　「このへんがマギ」とかね(笑)

——　ドギマギ(笑)

和田　分けたらいいのにね、女のマギと母のマギと。

——　ヒステリー起こしても助けてくれる。

和田　こっち解除、とかね。

——　娼婦のマギ(笑)

新谷　リツコさんが管制で「今日はレイとシンジの初号機と零号機、相性いいわね」とかなんとか言ったら、母のマギの方がプチプチとか、火花が散ってたり(笑)

——　和田先生さんは三人だったら?

和田　当然ミサトでしょ。当然ミサト。

——　当然ですか。



◀「ダメ出しのマヤちゃん」こと、伊吹マヤ(CV=長沢美樹)。ちゃんとガレージキットも出ている人気者(日向と青葉は出てないのに…)

和田　ミサトの持ってる、なんていうかなあ、父を慕う部分で、加持に惹かれるでしょ。じゃ女の部分はどこにあるんだろうな、と思うとシンジに女の部分を向けたような気がするんだね。ミサトとの年齢差が結局別のあらわれ方をさせるけど。シンジも、ほんとはミサトに向いてたんじゃないかなあっていう気がするんだよね。おかあさんいないし。だから初めて女性を身近にしたのは、ミサトっていうことで、それでインパクトあるんじゃないかなあって思ってるんだけどね。

――　ところがそこにカヲルくんが現れて、「気持ちいいこと」っていったらカヲルくんのほうに行っちゃった。

和田　そうそうそう。

新谷　あれもどうしようもない男だね、ほんとにね（笑）

――　使徒じゃなかったら、あのまんまカヲルくんと幸せに暮らしてたって、なっちゃってたかもしれませんよね。

新谷　やばいよねー。

――　いつもカヲルくんの後を付いて歩いて。

ゲンドウの優しさを、シンジが一番望んでるから

和田　あれ、プチッといかなきゃずーっと一緒に暮らしてたよ。だって一番心地いいんだもん、きっと。安心感もあるしね。

――　カヲルはいったい何しに来たんでしょう。

新谷　やっぱり使徒側のほうとしてはね、初号機が非常にシンクロ率が高くって、しかもどんどん成長させていく、覚醒状態に入って行くような、そういった初号機を相手にするのは非常に分が悪い。まず初号機の要である脳味噌である碇シンジをなんとかせねば、と。そうしたらさっき言ったように、こいつ優しくされたらだめになる（笑）力づくでビームを発したって「いやだーー！」とかなんとか言って「おとうさーん」「嫌いだー」とかなんとか言いながら、けっこう力強いから（笑）だけどお風呂場でキュッと手を握ったりして優しくされたらもうパーッと行っちゃうから。

和田　なだれ込みだよね、あれね。

――　ゲンドウって言葉数が少ないですけども、カヲルくんは、「ガラスのように繊細だね」とかもう、結婚詐欺でも言わないようなすごいセリフを。「君に逢うために生まれてきたのかもしれない」とか。

新谷　言う言う。

――　免疫のないシンジはやっぱり弱いですよね、言葉で攻められると。

和田　というよりね、あれはゲンドウの優しさを、シンジが一番望んでるから。男からの、男親からの優しさを望んでるから一番効いたんだよ。

――　ほんとはゲンドウが「ガラスのように繊細だな、おまえの心は」とか言えば。

和田　いやーやめてくれー！　それはやめてくれーー。（笑）「君に逢うために生まれてきた」とか？

――　すりすりとか。

和田　ごしごしとかいって、ひげが痛いとか言って。やめて、それ。

――　そういう親子の触れあいの、第一次接触ドラマに。

和田　だからシンジは父親からの優しさっていうのを望んでたと思うのね。ミサトの、母としての優しさでもなく、父からの慰め、励ましを期待していたところが、いきなり男としての。まあ加持もそれは若干あったけれども、それほどストレートじゃないよね。

――　あと加持は、女の方で忙しい。

和田　そう、女の方で忙しいから。それは正当なんだけど。

――　シンジくん置いて遊びに行っちゃうぐらいですからね。

和田　やっぱりそこらへんでシンジの精神汚染が始まった（笑）

――　見事に汚染。あっという間に。

和田　だから、「渚、うまい」とか言って。

新谷　あれね、完全に狙ったなっていうのがあった。

和田　あるよね（笑）

――　インタビューで聞いたら庵野さんは否定してらっしゃいましたけど。



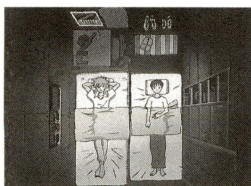
▶和田先生に「当然ミサト」と言われた葛城ミサト（CV＝三石琴乃）



◀J系少女にトドメをさした大浴場でのカヲルとシンジの混浴（？）シーン。準備稿では、川で、裸で水遊び…さて、どっちがHでしょう？

新谷　そんなん嘘だよ。狙ってなきゃ、できないよ（笑）
――もしかしたら、ほんとに庵野さんはそういうのが好きだったんじゃないかとか。
新谷　もしかしたら、庵野氏、潜在ホモかもしれないね（笑）
――ほんとに言われたいのかもしれない。「ガラスのように繊細だね」って言って欲しかったのかもしれない。
和田　アプローチの仕方が、ほかの女性陣と全然違うじゃない。やっぱ狙いがあるよな、あれは。男に狙わせるっていうね。なにかしら狙い目があったんだと思う。
――新谷先生、かおるっていうのは本名ですか？
新谷　そうです、本名なんですよ。
――それは親は？　今は女性でも男性でもどっちでもありみたいな。
新谷　生まれるときに、男か女かわかんないから。
――準備しといた。
新谷　準備しといたんだけど、どっちでもつけられるようにって。ただ単に非常にぞんざいに。
――でもそれで女性っぽくなったっていうのはなかったですか（笑）
新谷　だから、しばらく少女マンガ描いてたじゃない（一同笑）
――本名で描ける少女マンガ。でも和田先生も、いまだに少女マンガ誌でやり続けているという、貴重な。ついに柴田昌弘さんも行ってしまいましたから。
和田　魔夜峰央だって行っちゃったもん。俺一人になっちゃった…（さみしげに）。不思議なもんだね。
――そういう意味では、女性性というのもないと。
新谷　どうなんだろうな、作家っていうのは女性と男性との両面をみんな持ってますからね。
和田　男だけ出る、女だけ出るっていうマンガ描いてるわけじゃないので。
新谷　もちろん男性の感性で描いていかなきゃならない時もあるし、女性キャラを描くときにはやっぱり、できるだけその女性キャラの身になってセリフも吐かさなきゃなんないし。だけど例えば、不得手な女性っていうのは、キャラに出て来ないですよね。自分の性格からあまりにもかけ離れている女性像で、仮にそういった女性がいるっていうことは認識していても「わからんね、この手の女は」っていうような女は。
――ある場面で、どういうセリフを言うかわからないとか。
新谷　わかんないですね、そういうのはね。
和田　出て来ても、要するに深い性格にはなってないよね。
新谷　いわゆる上っ面をなでた程度の。
和田　例えばコギャル出せっていったら、私、出せないもん。パターンのコギャルを描いて、パターンのセリフを。
新谷　その場限りで終わる。茶髪ロン毛で、ミニスカートで、お約束を全部満たしておいて、うしろにチョベリバ、チョベリグって入れて、パピポピパつってバーって向こう行って、ギャースカギャースカ……それで終わったと（笑）
――知らない人がみるとコギャルがよく描けてるって思うし、ほんとのコギャルが見ると、表面的にしか見てないのねっていう。
新谷　で、このお話は別にコギャルの話ではないからっていう（笑）
和田　まあ、そんなもんですね。
新谷　だから確実にセリフがあって、その物語を左右するようなセリフを吐いてくるようなキャラクターには、そういった自分が嫌いなタイプの男性、またあるいは自分が非常に嫌いなタイプの女性っていうのは、登場して来ない。何本も何本もいっぱいお話描くんだけれども、ずーっとそれこそ最初っから俺のマンガ読んでるファンの中には、すでにそれを見抜いてるのがいて、「どんなふうな、どんな状況で、どんな家庭環境で育って、どんな過去を引きずってても、あなたの描く女性キャラっていうのはこうですね」って言って来るのがいるわけ。
――そこは変わらない。
新谷　そう。
和田　うちにも言って来るのいる。やっぱり。長いことやってると読まれちゃうね。
新谷　それはしょうがない。だって描いてるのはひとりだし、俺は変えようがないから。だからたいてい、俺の描く女っていうのは、


▶カヲル君言うところの「一次的接触」♡　弐拾参話で、ミサトの手は拒絶してたのに…


◀「僕が下で寝るよ」と、やおい心を乱しまくるカヲル…。そして「僕は君に会うために生まれて来たのかも知れない」ですとーっ!?

男のほんとの強さっていうのは、どっちかっていうと頭脳のほうだと

自分の意志をどこかで明確にしてしまう女だよね。こういうふうに生きたい、こういうふうに生きるっていう形を非常に明確に持っている女になってしまう。それが貧乏から出ようが、お嬢様であろうが、あるいは犯罪者であろうが。
――なるほど。
新谷　たぶん、俺がそういう女性が好きだから、またあるいはそういう女性だと自分が感情移入しやすいから、たぶんそう描いてるんだと思うし。
――男の場合はどうですか。
新谷　男のキャラはね、肉弾派のキャラがいないんです、僕の場合。なぜかっていうと、自分がマッチョ系の人間にあこがれたことがないし、マッチョ系の人間が体をきたえたからといって、それで強大な力を得るってことは絶対ないわけなんで。極端な話、大山倍達ですら、上からICBMを使えば一巻の終わりなんで（笑）そうすれば、山にこもって石割ってるやつよりも、こっち側で赤いボタンを押した方が勝ちっていう。最終的な勝ち負けの段階で言ってしまえば、肉体は関係ないっていうことが自分の論理の中にあるんで。
――そういう意味では、武器やメカのほうは信じてるんですね。
新谷　そうですね。武器とかメカ、その脆弱さも知ってますけれども、最終的に、勝ち負けっていう図式でいくと、そっちのほうがいくらでもアイテムを交換できるわけで。男のほんとの強さっていうのは、どっちかっていうと頭脳のほうだと。つまりその、どのくらいのアイテムを使いこなせるかっていうことになってしまう。ただし、これはもし文明が完全に消滅してしまって、こん棒で殴り合わなきゃならないって状況になった場合、非常に弱いけれども、でもそうなったら俺はきっと、どうやって一撃で倒せるこん棒にするかという（笑）
――そっちのほうに全力をかける（笑）
新谷　相手と距離を置いたほうがぶんなぐれる、とかね。こん棒の先端だけが飛び出すとかね（笑）
――マッチョ派から見れば、そんなことをしている暇があったら体を鍛えれば（笑）
新谷　だからどうしても僕のキャラクターにはマッチョ系は出て来ないです。
――和田先生は？
和田　うちもマッチョ系は出ないなあ。基本的には骨だと思ってるからね。だから、うちの女性キャラはたいてい骨格がしっかりしているっていうのが条件なんだね。筋肉はそれについてくるところがあって、骨格だけはしっかりしているっていうのが、僕の好きな女性キャラの条件。
――それでフィギュアもお好きで。
和田　あ、そっちに持ってくか（笑）
――ぬいぐるみよりは、しっかりしてるほうが。
和田　ぬいぐるみはだめだな。
――骨がないと。
新谷　あれってディテールがどっかでぼやかされちゃうからね。
和田　あいまいになっちゃう。
新谷　ぬいぐるみの面白さはアレンジの面白さだから。アレンジがしっかりしてると「あぁ、いいぬいぐるみだな」って思うけれども、シャープなディテールっていうものになってくると、どうしてもフィギュアになっちゃうよなあ。
和田　あいまいな部分で印象を似させてよく見ると、正確なラインを保持できてないっていうのがぬいぐるみだから、どうしてもぬいぐるみの方にはいかない。
――輪郭がはっきりしてて。
和田　輪郭がはっきりしててシャープ、エッジが出てる方が好き。それは今までのおもちゃでとかフィギュアでは感じられなかったものだから。いわゆるタカラのジェニーとかリカとかねバービーからなんか、シャープなエッジっていうのは捕らえられない。やっぱりガレージキットだろうね。エッジきれいだし。
――うまくなりましたよね。
和田　いやー、この何年かでほんとによくなった。ポーズ取りもね、わずか…ワンフェス

■『ガレキの翔』（島本和彦、徳間書店）に、美少女モデルフィギュアコレクターの「谷かおる」という人物が……。また、『宇宙海賊キャプテンハーロック』（松本零士）のヤッタラン副長の笑顔のモデルは新谷先生

（ワンダーフェスティバル）始まったのいつだ？

新谷 今から8年…10年ぐらい前か。

和田 10年ぐらいまえか。そのへんから見てるけど、その当時は10分の1とかね、15分の1ぐらいの小さなフィギュアで始まって、シリコンも高かったし、キャスト自体も高かったしね。そういう時代から、最初はプラモのミリタリー人形の…

新谷 人形改造コンテストから始まったんだよ、フィギュアは。

和田 溶かして、形をととのえてとかいう時代から、ほんとに一気に伸びたなあ。爛熟期かもしれない、ある意味ではね。

新谷 キャラものが出て来たのが、フカヤとか、今のピエロさんだけれど。あのへんがやってて。

和田 その前からね、ワンフェスの第一回あたりから、あの当時だとザブングルとかそこらへんからバシバシ出始めて、ただただ女の子の人形だったんだよね。それがもうだんだん大きくなって。

新谷 初期のはもうほんとにひどかったもん。

和田 もう、だから流し込むキャストが悪いので伸縮がすごかったしね。

新谷 材料も悪いわ、型も悪いわ、原型もメチャメチャだわ、もうバリだらけイボだらけで、どれがパーツやらわかんないんだもんね。

和田 あのバリがすごかったね。絶対キャストの量が本体より多いんだよね。

新谷 だって切り落としてから「しまった、パーツだよ、これ」（笑）

和田 ほんとにわかんなかったんだよ。

―― 今エヴァンゲリオンはどのぐらい集めてらっしゃるんですか。

和田 エヴァは、やっぱりキャストのいいのっていうのはほとんど手を出してるね。おかげでけっこう金がいるー。

―― 初号機とか。

和田 私は女性フィギュア専門。

―― ロボット系には行かないですか。

和田 ロボット系にあまり行かなかった。だから『鉄人28号』とか、『ゲッターロボ』とかね、そっちのほうなら行くんだけど、あの貧相なエヴァンゲリオンの初号機なんかに私は感情移入できないよ。

新谷 あのバッタみたいな体にね。

―― 猫背の。姿勢悪いしみたいな。

和田 あばら骨浮いたようなね、

―― だから最初、確かにおもちゃ会社がスポンサーに付かなかったのは無理もないかもしれないって。あれを見て、これは行けそうだっていうふうには思わないかも。動き方とか、内容見ないと。

新谷 スニーカー履いてるしさ。アメリカからもし四号機とか五号機が入ってきたら、あそこエアマックスって入ってるよね（笑）ジョーダンモデルかー？とか言って。

正義っていう概念がないんだよね。とにかく来るから戦うんですよね

―― ケンスケが脱がして、持ってって隠してたり（笑）

―― 新谷先生はフィギュアは。

新谷 僕もやっぱりロボ師ではないんで、ロボットものには手が出ない。ロボットものって作るのがむずかしいんですよ。手間が3倍ぐらいかかるんだよ。

―― 部品も多いし。

新谷 それで部品のはめあわせをやっていくときに、レジンの部品を整形していく段階で全部こう擦りあわせしていかなきゃならないんで。で、あれってツボがあるんですよね。関節モデルとロボットは手を出してないですね。あとはだいたいのものはやりますけどね。

―― そういえば、ロボットマンガ描きませんよね、お二人とも。

新谷 なんか意識的に避けてたみたい。

―― 好きなロボット・マンガは？

新谷 『鉄人28号』よりは『アトム』だったんです。巨大ロボットじゃなくてより人間型キャラクターに近い…それで、サイボーグの『8マン』よりは『サブマリン707』だったの。

和田 僕はやっぱり『8マン』も『鉄人』も『アトム』も好きだし、何でもありだったよ。

新谷 小学校の時、8マン派と707派に完



◀走る初号機。足には…スニーカー？　しかし、女性にはこのプロポーション、評判よいのです♡

全に分かれてたね。僕は『8マン』ももちろん面白くて読んでたんですけど、緊張感はやっぱり『707』のほうが好きだったな。

和田　『707』は不思議な存在感があったよね。潜水艦をあれだけキャラクター性つけて作ったのは小沢（さとる）さんだけだね。

新谷　潜水艦マンガとなってくると、やっぱり「小沢の前に小沢なし、小沢の後に小沢なし」と言われるくらいの完成度を持ってたし、最初にして究極だったと。あの当時、サブロックとかアスロックっていうのは、マンガの中で未来兵器として扱われてたんだけど、今はもう実用化されて通常兵器になってしまったわけで。

——潜水艦の可能性を想像で描いてたのが、実際そうなったんですね。

新谷　だから、ものすごく緊張感があって。そういったものが『8マン』にはなかったんです。『8マン』は事件が起こって何かやって。あとはいつメルトダウンするかわからないような原子炉かかえて、東八郎はよくやるよ、というさ（笑）

——すごく詳しく描かれているようで実は穴だらけ。

和田　穴だらけなんだけどね、なんて言うか、色っぽいよね。8マンの色っぽさっていうのは、ちょっとなかったもんね。

——立っている姿勢とか。あの背中の反り方とか脇腹とか。

和田　黒タイツでね。

新谷　桑田先生のはセクシーだね。

和田　狙うとあの人のはセクシーじゃなくなるんだよね。だけど狙わないとすごくセクシーなキャラなんだよ。

新谷　『アンドロイド・ピニ』なんて狙ったキャラだったからさほどセクシーではなかったけど。でもあの当時、女の人の裸描いて、かなり綺麗でちゃんと見れたよね。片方に女性の理想の体型に近い桑田次郎の女がいて、かたや、ある意味でアバンギャルドだけれどって、モンキー・パンチの女がいたわけ。

和田　（桑田さんのは）いやらしさみたいなものがなかったんだよね。だけど綺麗で、何て言うかドライな線だったかな。

——やっぱり、マンガで全裸っていうのは珍しかったですものね。

新谷　珍しかったよ。もしかして、あれがあるから俺フィギュアにのめり込んでるのかも（笑）あれがトラウマかもしれない（笑）だって衝撃的だったもん。小学校六年生か中学校一年生くらいに見てるから。

和田　あの頃はあと『メゾンZ』。石森（石ノ森章太郎）先生の、扉ページが色っぽくて、あれで買ってよかったと思ったんだけど（笑）

新谷　考えれば、『メゾンZ』が、男の子の直接の上司に女性が出て来た最初じゃないかな。

和田　それは言えてるね。あの頃の石森先生のやつはよかったんだよなあ。『赤いトナカイ』とか。

新谷　あの頃の作品って、タイトルのつけ方が秀逸だったでしょう。

——『赤いトナカイ』はすごい複雑なつけ方で、ちょっと大人になった気がしました。あと『メゾンZ』にしても、いまだに『ZZ』とかありますから、アルファベットは不滅だなあと（笑）

新谷　やっぱり究極のものというので、とりあえずアルファベットの最後のものをつけちゃう。

和田　逆にA（エース）がメジャーになってつけられなくなったものね。

新谷　昔はいろいろあったよなあ。そういった意味でね、いまは『エヴァ』なんかでもワアワア言ってるけど、あと15年たったら「いやあ、そういうのがあってさあ」って（笑）

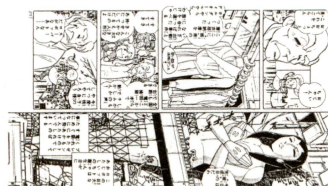
——でも『エヴァンゲリオン』の中には何でもある。ロボットも親子関係もHもあるし。

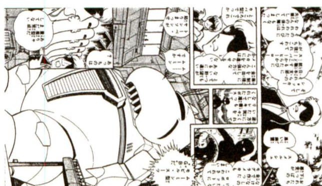
新谷　そういった意味では本当にてんこ盛りのアニメーションなんですよね。

和田　それにもかかわらず、正義っていう概念がないんだよね。たとえば『ゲッターロボ』なんかでも、それぞれの理由があって戦うんだけれども、（エヴァは）とにかく使徒が来るから戦うんですよね。

——補完委員会だって悪の組織みたいな感じがありますしね。

和田　そう。どっちが悪かわからないっていう。まあ、そこら辺は『ガンダム』でもやってるんだけども、ニュータイプっていうひとつの定義はあったでしょ。だけど今回は何もなくて、とにかく自分の理由で（エヴァに）乗って戦ってる。例えばシンジは戦うことに





▶和田先生の描いた珍しいロボット発見！『恐怖の復活』（秋田書店）に収録されている「ラムちゃんの戦争」には、おじいちゃんが作ってくれた姫（プリ

ほとんど意味がなくて、自分自身の心の問題が基本になるでしょう。そこら辺が不思議でね。ロボットものを作ろうとするわりには、そういう概念を欠けさせてるのは何か意味があるのかなと思っちゃうよね。明確な敵っていうのがあるようでないでしょう。使徒の存在の意味がわからないのと、それよりもみんな自分の心の戦いへ焦点を持って来てるでしょう。アスカもそうだし、レイに至ってはわからないまま、自分のこともよくわからないけどっていうね。

新谷　極端な話、使徒が狙ってきてるのは、ネルフの地下で、つまりセントラルドグマに置いてあるアダムと接触するために来てるわけだから（笑）そこにそういうもん置いておくから、街、壊してね（笑）

――そうなんですよね。あれを宇宙に出してしまえば。

新谷　出してしまえば使徒は来ないんじゃないかって（笑）

和田　使徒はそっちに行って、つまりアダムとイブだから全宇宙的にやるんじゃないのか（笑）

――壮大なHなドラマを、ネルフのイチジクの葉っぱで隠しつつ。

新谷　隠しきれないから半分になっていて。

和田　半分隠すのは何か意味があるのかな。

――そうか、逆にソソっているだけというか。そういう意味でいうと、なぜ使徒と人間は共存できないかっていうか、お互いに知らないままいられないのでしょう。

和田　そこら辺はもう、庵野くんの出方次第なんだけど。

新谷　彼のアダムとイブ観。でも別に彼はキリスト教徒でも何でもないしな。

――蛇が出てくるんだろうかとか。

新谷　蛇っていうのはゲンドウだろう（笑）地球を食べるとうまいぞという（笑）

和田　地球がリンゴかもしれないね。

新谷　まあ、人類補完計画っていうのは、俺なんかに言わせてみれば「ああ、全員がクローンになって終わりか」という。要するにみんなの細胞を取って、いつまでも人間は減らないというさ。

レイの日記!?「シンジ君に裸を見られた」とかね（笑）

――なるほど。そのためのレイもいっぱいいるしみたいな。でも、魂が入ったのは一個だけだった（笑）

和田　魂は一個ずつだから、とりあえずひとつ出しては入れ替え入れ替えということなのかもしれないです。

新谷　いまだによくわからないんだけど、レイのサードが最後のほうに出てくるじゃない。あれはセカンドやファーストの記憶っていうのはそのまま入ってるのかね。

和田　入ってないみたいだね。「わからない、私3人目だから」って言ってたから。

新谷　でも、シンジとかアスカとかの認識は一応あるわけでしょ。

和田　最低認識は持たせてるんだろうね。

――実は克明に日記を残してたとか（笑）

新谷　レイの日記!?「シンジ君に裸を見られた」とかね（笑）それをサード・レイがジーッと読んでてさ（笑）

――使徒もみんな形が違ってるけど、あの形態でいっぱい家族や友達がいるとか、サキエル族というのがあるとか（笑）あれで全員だとすると、あの使徒たちだけしか暮らしていない非常に人口？の少ない星があって、それがみんな地球にやってきてはどんどん壊れてしまって…どうなってしまうんだ。

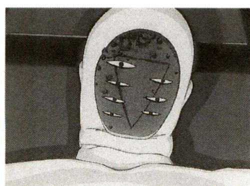
和田　しょせん使徒だからね。やっぱり神さんが頑張ってるんだろうと思うんだけど。やっぱり使い魔だからね。

新谷　木星のところで、サキエルさんのエプロンをしめたのがお母さんで、紙で折った兜をかぶってるのが子供で、ご飯食べて「お父さんは帰ってこないの？」とか「どうして僕たちには首がないの？」とか（笑）「あさりよしとおに言え、あさりよしとおに」って（笑）

――ギャグマンガの世界になっちゃう（笑）

新谷　いまパロディマンガが頭の中にポンポンいくらでも出てるの。レイの日記とか。ボーッと読んでるレイがときどきポッと顔を赤らめたりして。で、後ろから「早く次に回して」っていっぱいレイが並んでるわけ（笑）

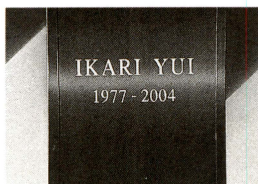
ンセス）が。カルダンやディオールのコスチューム格納庫があるところが女性型ならでは（…高そう!!）。同じく「さよなら林間学校999」（オイオイ…）には、ムーミン型モビルスーツGB（ガバ）と量産型のニョロニョロタイプが（笑）がガレキが出たら、欲しい！



◀DEATH編で、ロンギヌスの槍を抜かれたら、下半身が現われたアダム！　仮面（？）の下にはいったい…？

和田　授業中のH雑誌のまわし読みみたいな。
新谷　そう。
和田　あー、危ない、危ない（笑）
──「FLY ME TO THE MOON」をエンディングで延々と聞かされたのに、月はどうなってしまったんだろう。冬月というキャラもいる。
新谷　冬月コウゾウさんというのは結婚してないんですよね。生涯独身で通すつもりですかね。同人誌では童貞だってことになってましたけど（笑）で、みんなで、この年までかいって（笑）
──ゲンドウがみんな持っていっちゃう。
新谷　あっ、冬月の欲しがるものをゲンドウがすぐに察知して奪っていっちゃうのかな。冬月とゲンドウというのもそういった意味でのホモ関係ではあるけど。
──補完している（笑）
和田　そうね。ユイさん取るわ、リツコさん取るわ、リツコさんのお母さん取るわ。
新谷　だからそういうのもパロディで描ければいいのよ。冬月がちょっといい娘だなって思ったら、すぐゲンドウがチョイチョイっとか（笑）ああ、誘ってる誘ってるって（笑）
──やっぱりお父さんみたいなもんなんですか。逆に息子のほうが強くなっちゃった。冬月おじいちゃん。でも、おじいちゃんもあんまり孫を可愛がらないなあ。
和田　やっぱりねえ、ユイさんがとりあえず娘として、で、娘を取っていった娘婿。で、まあユイさんは死んじゃったけど、そのつながりで結局…
──傍に立っているという。
新谷　まあ物語の真面目な展開としては、セカンド・インパクトの後、南極から帰ってきたゲンドウと会いますよね、冬月が。あの段階で一つの計画を聞かされて、そのままネルフというものを創設していく一員になってしまうわけなんだろうと。だから当然、その冬月とゲンドウは知り得る情報は一緒だと思うんですよ。
──あの二人は完全に一緒なんですよね。
新谷　完全にシンクロしてるんですよ（笑）ただ、受け止め方が違うんですよね。ゲンドウっていうのは完全に目的に向かって、あらゆるものを排除していくタイプだし、冬月のほうは現状を維持したまま、どうやって目的に向かうかっていうことを考えるタイプだろうし。
和田　そういった意味では、いいコンビなんだよね。
新谷　あと気になってるところはね、最終回近く、23話くらいでリツコさんがゼーレか何かの本部に拉致されるところ。「私はどんな凌辱にも耐えてみせる」とか言った時に、なぜ裸なの?って（笑）
──何されてるんでしょうねえ。
新谷　そう。みんなで凌辱ねえって言って、ゼーレって確か一枚板みたいなのが立ってるだけなのに（笑）あの板みたいな奴が一体何をしようっていうんだ、板相手に何の凌辱があるんだろうと（笑）
──膝の上に一枚ずつ乗せて（笑）
新谷　わかりやすい（笑）「3枚目いきまーす」「ズドーンッ」「アーッ」とか言って（笑）石抱きやらされるか、オイッ（笑）
──そのためのゼーレ。そのためのモノリス。
新谷　お前ら他にすることないのかあ！　あれがちょっと気になってるところなんです。
──ちょっと深読みしたくなりますね。
和田　確かに。いいねえ。
新谷　あと、碇司令が一番、使徒を呼んでるんじゃないかと。なぜか使徒が来る時に碇司令がいないんだよね。
──一人二役とか言って（笑）
新谷　俺、そういうの考えたんだよ。碇司令が電話BOXにサッと入って、パッパッパッと着替えて、シュタッとか出ていくわけ（笑）
──変身して。マスクか何かで顔を隠すと巨大化してみたいな。
新谷　そうそう（笑）
──逆ウルトラン、実は悪のほうが仲間にいて、そいつがいなくなるたびに何かが来る。
新谷　使徒が来ないと、ネルフ解散させられるから。予算おりないし。
和田　やっぱり爆発させられた後にヨロヨロと使徒が電話BOXへ行って一生懸命脱いで、煙り立てながらゲンドウが帰ってくる（笑）
新谷　で、部屋に帰ったら、お面がいっぱい並んでいて、「ハアハア、次はこいつか」とか言ってる（笑）
和田　で、最終的に渚になる（笑）


▶使徒人気コンテストナンバー1のサキエル（第壱話、第弐話）。ラブリーなまばたきもチャーム・ポイントよね♡



◀ユイのお墓。でも墓の中には何もない。では…?

新谷 面白いかもしれない（笑）

和田 ラッキーとか言って（笑）

新谷 あと渚の仮面を被った時にしか息子を褒めてやることができない。

― そうか、最後の最後にいい目を見せて、しかし裏切るというか。「父さんと同じに裏切る」って、だって同一人物だから（笑）そういうことだったのか。

和田 それは凄い。恐るべし結末だね。

― 自分の息子を谷底に突き落とすためだけの組織（笑）

和田 でも首切られちゃう。

新谷 あれはお面が落ちただけなんだよ（笑）お父さん、一瞬首をグッとすっこめて（笑）

― お面のほうに入ってるとか（笑）あの首、シンジ君取っておいてるんじゃないですか。冷蔵庫にペンペンと一緒に。で、ペンペンが嫌がってる（笑）

和田 あそこら辺だと、もう横溝系だよね。首が落ちてね。

― 右手握り潰して首を…なんて、何で思いついたんでしょうね。フィギュアを何かやったことあったんでしょうか（笑）

和田 やっぱりドリフの首チョンパじゃない。

新谷 あれ、普通ならギュッと握った瞬間に、下にボタッボタッと血が落ちて終わりにできるなと。いま首落としたよなってことだよね。

― エヴァも、血みたいなのドバッと吹き出したり、けっこう思い切ったことしてますよね。

新谷 あの辺、白土三平なんですよね。白土先生のは首がボーンッと飛んだりしてましたよね。絶対、普通は死なないというヒロインが死んじゃうもんね。

― すごいパワフルなことやってますよね。

和田 まあ、アップでブチブチッとかドバッ

渚の仮面を被った時にしか息子を褒めてやることができない

ドバッって描くわけにはいかんから、演出的にはアレだろうっていうのはあるけどね。

― あの初号機とかエヴァシリーズは何に近いんでしょうね。ウルトラマンに強引に乗ってるっていう感じなのか、それともデビルマンで、敵と一緒のものになって敵を倒すというか。

和田 やっぱりデビルマンじゃないの。あの乗り移ろうとした悪魔が、逆に乗り移られてしまうみたいなところもあると思うけど。

新谷 まあ、どっちにしても一つのアニメのキーワードである変身願望だよね。

和田 それにしてもえらく限定したもんだよね。

新谷 というより、いままで限定しなかったから、限定したほうがいいんじゃないかっていうことを考えたんじゃないのかな。

和田 だから、思いっきり限定してみようっていうのがあるのかもしれないね。ガイナなら考えそうだもんね。

新谷 それと『エヴァ』を見てると、全てのいわゆるテーゼとしているものへのアンチテーゼだけで解答を出してきている。

和田 『ナディア』の時に、世界で一番好きになれない女の子を作ろうっていう発想がガイナであったらしいよね。それと同じで『エヴァンゲリオン』っていうのは、何かそういう限定した部分っていうか、拘束した部分をメチャクチャ多くしてみようという、その中で戦ってみようっていうのがあったのかもしれない。まあ、ウルトラマンと言われてもしょうがないよね。

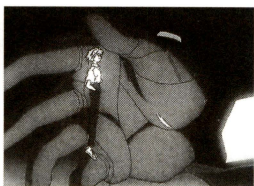
新谷 だから、強そうじゃないロボット、優しそうじゃないロボット、そして…

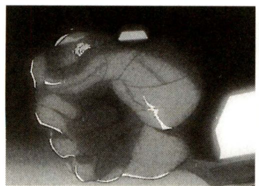
和田 頼もしくないロボットだよね。

― 庵野さんは自分でウ×××マンやってますよね。昔、実写で作った作品で、庵野さん本人が素のままで出てる。あと巨神兵も手掛けしてるし。だから、誰かに操縦されたい、脊髄に何か入れてくれると人生が楽かも、という（笑）自分の暴走をくい止めてくれる拘束服を着せてほしい。

新谷 冷たいやつをチューッと打ってほしいとか言って、危ないな（笑）

和田 やっぱり、ウルトラマンのゴム服が結局、拘束服になるわけだよね。口だって開かないし。





◀カヲルを握る初号機
もちろん第弐拾四話！

—— ウルトラマンも喋らないし、物食えないですものね。

新谷 ボンデージなんだよ。すごい究極のボンデージ。

新谷 とにかくコードがついてるっていうのがね。

—— あれは凄かったですね。

和田 あれは良かったね。いいアイディアだなあと。

—— 確かに、8ミリビデオでも何でもバッテリーもたないですからね。あんな巨大なものが動いて、燃料の消費はすごいでしょう。

新谷 自家発電だけだと、こんだけしかもたないとかね。

和田 あれは凄く良かったし、これでオモチャ出るなとか一瞬思ったんだけどね。

—— コードつけてリモコンそのままに。

和田 モーターどこに入れるんだろうっていうのが楽しみだったんだけど。

新谷 問題は、そのコード抜けるとこがガソリンスタンドの給油機と一緒なんだよ（笑）

—— だから結構商品化しやすいつもりで作ったはずだったのに、オモチャ会社はわかってくれなかった。大人はわかってくれない（笑）

和田 ゼーレ基地とかね、ボタン押したら初号機だとか零号機だとかが出てくるという面白さをね。

—— 建物が上に行ったり下に行ったり。

新谷 でもね『エヴァ』のああいったいろんなところ見てると、すごくあちこちパロッてるわけじゃない、いままでのを。だってサンダーバードの一号機かな、あれが発進するときって、パレットの上に乗せて、そのまま上にあげてってやつだよね。

—— 集大成。

和田 それこそ『ジャイアント・ロボ』とかさ、あのあたりのスピードアップ版だものね、やっぱり。

—— ちゃんと伝統は踏まえつつ、正しいものを作って。

新谷 でも、エヴァをガンッって上にあげる時にバッと火花が散っていくでしょ。ああいったのが新しいというか、今風に作ってあるんだよね。

—— あと、出てきた途端、敵がいるとかね。サンダーバードはそんなことなかったですものね（笑）ちゃんと音楽が全部なりやむまで。

新谷 あの辺は日本的な様式美の世界だよな。

—— ちゃんと発進が終わるまで待っててくれるという。日本では先回りしてとかね。だから進歩すると言えば進歩するし、エスカレートすると言えばエスカレートして（笑）どんどん難しいほうに入っちゃう。

新谷 たしかに世界観として、非常に陳腐なものではあるんだけれども、あっちこっちに非常に日常生活に近いものが散りばめられているんで。

ペンペンを抱えて風呂に入ると温泉になって気持ちいいーーという（笑）

—— ネルフにお風呂、銭湯があるというのも。

新谷 あれも凄い。しかも描いてあるのが富士山の絵というのが（笑）

—— あれとネルフマークが交互に出る。

和田 大真面目にやりながら、銭湯ぐらいはあるだろうっていう発想をもってくるところが凄いというかね、情けないというか（笑）

—— いいですよ、そういう日常性と大嘘の部分と。

新谷 あれだけ科学が発達して、シェルターだってああいうふうになってるくらいだからって思ったら、コンビニも映画館も、エビスビールもあるしさ。でもマンガの中で重要な要素なんだけどね。物を食うというシーンを俺はマンガの中で必ず第一回目には入れるんだけれども。

和田 重要なシーンだよね。私も良くいれる。

—— 庵野さん自身は食べ物に関して偏食のはずなのに、ちゃんと入れてますものね。

新谷 あの人はものすごく偏食児童と聞いている（笑）

和田 ビールこだわるしさ（笑）

新谷 まあ、一説には、あの人自身がファザコンだという話もあるんだけれども。

—— 本当にそうなんじゃないでしょうか。

使徒がみんなに向かって「おめでとう、おめでとう」ちょっと怖い（笑）

ご本人の家族問題がそのまま出てるのでは。そういう庵野さんの濃いところにいろんな他の人のが…レイも貞本さんのアレなんですよね。だからペンペンが活躍しないなと思ってたら、自分が作ったキャラじゃなかったからあまり動かせないみたいな感じで。

和田　ペンペンって結局なんなの？

新谷　これ、人から聞いた話だけれど、キャラ構成とかやる時に、「この手のもんって、やっぱペット的なものが必要なんじゃない」と言って、一番始めサルにしたんだけど描きづらくて。で、「ペンギンがいいんじゃないか」と言うんで、貞本さんがペンギンの絵を描いてて「これはいいや」って。それでライフセットを背中にしょい込んだようなペンギンをやって。だけど温泉ペンギンという設定は全くいきてないというか、意味がないというか。

和田　やっぱりあれは、最初にサービスシーンを多く入れるという設定があったんじゃないかな。

新谷　『エヴァンゲリオン』の中ではわりと不発に終わってるキャラだよね。俺はあれが一番最後に使徒にでもなるのかなと思ってたんだけど。

――　巨大化して（笑）あるいは「マグマダイバー」の時に助けにくるのかなとかね。温泉ペンギンはマグマの中でも生きられる（笑）でも、結局ヒカリちゃんのところに行かされただけで。

新谷　ようするに、そいつを抱えて風呂に入ると温泉になって気持ちいいーという（笑）浴用ペットだったという。

和田　サービスサービスにはいいんだけど、本当に不発だったね。

――　勿体なかったですね。あれよりネルフのマークのほうが有名になってしまって。ネルフマークは良かったですね。あとロゴや文字をL字型に組んだりするのは格好よかった。

新谷　L字型で出てくるのは、一番初めに市川崑さんもやってるんだけどもね。

和田　あとモニターの、バンバンバンッって出るのがいいね。あれで漢字が出たのがすごく新鮮で。本当に感激しちゃった。

――　あと「見知らぬ、天井」とか、いい言葉を選んだなあみたいな。

新谷　サブタイトルのつけ方が毎回凝ってたなあ。

和田　漢字とか平仮名のバランスがすごく良かったね。

――　気持ちいいですよね。そういう意味でいうと、すごく気持ちよく作ってる。オープニングの、ピッタリ音楽とシンクロさせたりするところもすごい見ていて快感でね。

和田　何が目立たないって『エヴァンゲリオン』のロゴが一番目立たないんだよね（笑）

新谷　字画が多すぎるんだよ。でもネルフのマーキングはよく出来てると思う。『ゴルゴ13』のマークを見た時と同じくらい秀逸だと思う（笑）

新谷　いろんな何かキャラクターのトラウマを考えさせてしまうアニメですね。キャラクターの過去に触れるエピソードが多かったのも特徴の一つですね。

――　そうですね。その辺、少女マンガ的ですよね。男のマンガは割りと先のほうばっかりで、次から次へと敵が現れたりするんだけど、少女マンガは過去へ過去へといって、実は幼なじみだったとか、そうやって収束させる。世界をまとめたくなるみたいな感じで。そういう意味でいうと、完結が楽しみっていうのは、いままであまりなかったというか。みんな拡散して最終回はなんだっけというパターンがずっと多かったんで。連載が続けばずっと続くみたいな。でも『エヴァ』は完結してはじめて一つの世界が出来上がるだろうという、ジグソーパズルのような楽しみがありました。

和田　シンジひとりのことだけで終わっちゃったので、寂しいと言えば寂しいんだけれど。だからまあ、全員にあの「おめでとう、おめでとう」をやってるのかなと。

新谷　毎回ひとりずつやってるの？



◀モニターには、英語とともに漢字も出る！壱、弐、参と書けるようになったのもEVAのおかげです。日本語を守る、愛國團隊ガイナックス♡

■『ゴルゴ13』（さいとうたかを）のマークは『週刊ビッグ・コミック』（小学館）かコミックスをごらん下さい

―― それは嫌かも（笑）

新谷　それもワンショットワンショット出てきたら、ほとんど全員、最後死んでたじゃない。リツコさん浮いてたし、ミサトさんなんて血まみれになってたしさあ。あれが本当の最後なんだろうなと俺は思ったんだけど。

和田　あそこに帰結するって考え方もあるんだけどね。難しいところだよな。まあ、補完計画がなんだったのか、それすらはっきりわかんないので。

―― 使徒側のほうからみんなを弔ってみたいな。

和田　そうかもしれない。使徒がみんなに向かって「おめでとう、おめでとう」って言ってると、ちょっと怖い（笑）

―― 手が叩けなかったりして。

和田　口ぱくぱく…

―― してる使徒もいれば、

和田　うにゅうにゅしてる使徒も。

新谷　だから、さっき和田先生が言ったように、このお話っていうのは正義というものの概念がないのに、心っていうものをえらく声高に言ってるのね。

―― そうですね。心がそんなに大事かって、逆に突っ込みを入れることも。

和田　しかもあくまで自分の心なんだよね。だから基本的には「私を見て」になってるんだよ。みんながみんなね。

―― レイみたいに「絆だから、仕事だから」というので。

和田　レイの立場って面白いよね。だからって、何でここまでレイが大ウケするんだかよくわからない。

―― あの喋り方がすごくいいと思いませんか。去年の暮れに出たCD聞いてないですか？　ドラマ編が20分入ってるんですけど、それがセルフパロディで、プラグスーツを色っぽくして、「これじゃ透けて見えちゃうじゃない」「シンジ君、どうしたの？　鼻から血が」とかいうHバージョンとか（笑）人気のあるレイをもっと喋らせたらもっと人気が出るかもしれないからって喋らせてみたら、すごい早口でベラベラって喋って、ゲンドウが「私のレイじゃない」って言ったり（笑）もう、さすが本家で。あと、レッドが主人公の戦隊ものとか。いろんなパターンをやるという。アスカが一番仕切ってやるんですけど。やっぱりカヲル君も呼ばなくてはという感じでカヲル君が出てきたら「まだいたの、このホモヤロー」（笑）アスカが「超ムカツク！」って（笑）お約束をきちっと全部しっかりやって、さすが本家の名に恥じない良品のパロディになってて楽しめますよ。笑えますし、主題歌もレイ、ミサト、アスカの3人で歌っていてなかなかいいですよ。

和田　あの歌はよかったね。

―― あれは誰の立場で歌ってるんでしょうね。

新谷　あれはミサトでしょう。

―― そうかあ。あと全国で〝テーゼ〟という言葉を聞かれて困った親がどれだけいたかというのが（笑）

新谷　「テーゼというのは〝掟〟なのよ」とか言って（笑）

―― 補完計画にしろ難しい言葉がね、ちょっとみんなIQ高くなった気がするって（笑）

新谷　いつも言うものね。ワンフェスとかコミケの時に晴海にICBMをぶち込めば、日本人のIQが少しは上がるかもしれないとかさ（笑）

和田　でも、ワンフェスはやめてくれ。いつも行くから（笑）

新谷　フィギュア作ってると辛いのがね…プラグスーツのレイって、フィギュアでたくさん出てるんだけど、結構これが大変なの。情報量がものすごく少ないの。バランスがすごく難しいのと、特にレイは全体が真っ白なんで。やっぱり作ってて派手にできるのはアスカだよね。なんせ髪の毛が長いでしょ。身体の流しが出しやすいっていうのと、やっぱり赤が…赤っていうのは、イメージする色としての情報量が多いんだね。

―― それでウルトラセブンとかもみんな赤で、レッドが主人公だとか。

新谷　多分そうなんだと思う。やっぱりモノクロ、白と黒って色としての情報量が少ないんだわ。

和田　でもシンジは情報量はあるけど、目立たないんだよなあ。

―― そうですね。白衣になると別の魅力が。

新谷　これはまた違う情報量が、妄想の部分が入ってくるから（笑）だけど、白衣ってい



▶JUNEというと、カヲルとシンジですが実は、綾波レイのキャラクターもJUNE的です（今回、この本ではほとんど触れられなくて残念ですが…）（CV＝林原めぐみ）アヤナミストは、男だけではありません

うのは作りづらいことは作りづらいんですよ。

――何体ぐらい完成させたんですか？

新谷　いまは3体ぐらいじゃないかな。昨日、完成させたのは森雪（『宇宙船艦ヤマト』）だけれども。持ってこようか。

――ぜひ見せてください。

（新谷先生、森雪フィギュアを取りにいくため席をはずす）

――和田先生は何体ぐらい作ってるんですか。

和田　今はほとんど作ってない。前の家の時に、カベに板を渡して作ったやつを並べておいたら、地震でそれが全部落っこちて。あれはショックだったなァ。とりあえず今はキット見るだけで。作るのは老後の楽しみ。

――あと、ああいうのは作るまでが楽しいってありますよね。

和田　うん。でも、基本的にキャストの匂い好きなんだよね。だから出来のいいキットの面を見てると気持ちいいぞ、結構。いやらしいと言われればいやらしいんだけど（笑）それでもキット見てるだけで楽しいっていうのはあってね、やっぱりワンフェスやらジャフコンに行っちゃうんだけどね。まあ、買った数は多いよ、おかげで（笑）新谷先生と知り合ってから買う量がほぼ3倍になったよ（笑）いつもだと、電車で帰るから持てる範囲って限られてたんだけど。

――あっ、車ですか。

和田　そう、新谷先生のベンツのワゴンで行くわけよ（笑）だから二人でバックシートいっぱいに詰め込んでね（笑）「あー、この人と付き合ってるとまずい」とか思いながら、毎回行くんだよね（笑）で、新谷先生も拍車かかったらしいね、結局（笑）

――やっぱり友達がいるとね。

和田　ワンフェスの会場に向かう時には、お互いに「今回は自制しよう」って言いながら行ってね。でも行くともう、キレて走りまわっているんだよね（笑）

――「やっぱり文化の極みだよね」とか言いながら、シンジとかおるは二人でフィギュアを買いあさっているというオチが（笑）

和田　実は、お互いに、シンジとカヲルのことに気がついてなかったんだ（笑）まったく気がついてなかった。で、ある時に「見た？この間の」「そうなんだよねえ、カヲルだしねえ」とか、かおるさんが言うから、「シンジだからねえ」って（笑）はっと気がついてね。お互いに気まずくて「はあぁぁ」って、「わあぁ、やめよう、この話は」っていう（笑）

（そこへ森雪フィギュア登場）

――おおっ！　すごいですね。ちゃんと台にメーターがついてるところが、らしいですね。

和田　やっぱり、昔とった杵柄（きねづか）（笑）

新谷　いまひとつ俺顔になっちゃって。でも、ちゃんと睫は埋め込んであるからね（笑）

――本当だ。いいですねえ。フィギュアはどっから見ても良くないとダメですからね。なかなか難度は高いと。

和田　立体化だもんね。本来こんなことできると思ってなかったよ。

――これ、どのくらいの期間で？

新谷　一日2時間くらいで、一週間くらいじゃないかな。下の台座のほうが時間かかったよ（笑）

――この台座はオリジナルというか、キットでついてくるわけじゃないんですね。

新谷　そう。そのアクリル板も自分の手描きで作ったやつです。

和田　これ、手描きでできる人ってなあ。やっぱり昔とった杵柄だよな（笑）

新谷　だけど、マーキングもまだ消してないとこあるし、仕上がりとしては40点というところでしょう。

和田　人形は顔が命（笑）

新谷　和田先生のはもうちょっとちゃんとしたの組んであげるから（笑）

――和田先生にも森雪を？

和田　もう、依頼してるの（笑）

新谷　このごろ注文ばかり受けて、とか言って（笑）

――そっちのほうでプロになってしまったりして。

新谷　プラモデルは好きでよく作ってたんだけど、プラモデルってだんだん精度がよくなってしまって、結局ね、組み上がった時に誰が組んでも一緒なんですよ。で、最終的にプラモデルっていうのは、汚れとか入れてリアルにいくか、資料考証して重箱のすみをつつ

新宿歩いてたら、イメクラの立て看があって〝綾波はじめました〟って（笑）

くか、もうそっちの方向しか行きようがないんですよね。だから、いきなりムスタングのキットを白に塗装してその後、黒のゼブラ模様にして、『紫電改のタカ』（ちばてつや）のタイガーモスキトンだあっとか（笑）そういうのがもうプラモデルで許されなくなっちゃってるのね。スケールモデルのほうは。

和田　個性的なのってないね。昔だったらそういうキットモデルとかいろいろあって面白かったんだけど。

新谷　で、面白くないんで、フィギュアのほうに流れてしまったという。おそらくフィギュアやってる人ってみんなそうですね。大抵プラモデルファンから入って来るんだけどね。これでやってると、俺が組んだやつって、やっぱり俺顔になるんで（笑）誰が組んだっていうのがわかるのね。

和田　それも楽しいよね。本当にうまい人が出てきて。いいキットもたくさん出てきた。しかし、エヴァも数が多かったね。

新谷　エヴァだらけだよ。

――　1／1のフィギュアは邪道ですよね。

和田　邪道というか、私は望んでたんだけど（笑）まさか本当にできるとは思わなかったんで。

新谷　1／1キット、オーダーしちゃいましたよ（笑）和田さんは「ときメモ（ときめきメモリアル）」の1／1に申し込むんでしょ。

和田　やだ、置くとこがない（笑）

――　それよりも、コスプレ少女の可愛い娘を月に一度だけ呼んで、援助交際するという、1／1としてはそっちのほうが（笑）

新谷　下心見え見えのこの計画は、人類補完計画と言う、とか言って（笑）

和田　この間アシスタントが言ってたんだけど、「新宿歩いてたら、イメクラの立て看があって、〝綾波はじめました〟って」（笑）「綾波はじめました〟ってフレーズがウケちゃって、もう（笑）

新谷　冷やし中華じゃねえんだからよお（笑）やっぱりさあ、ワンフェスとか終わった後、新宿のイメクラの前、行列だってえ!?

――　それも何だか。風俗と合体するというのは、なかなか不思議な現象ですね。会場の近くにバスもっていって、移動のキャンプにしちゃって「いい娘いますよ」って、行きやすくするとか（笑）

和田　「髪の毛水色っ」とか（笑）

新谷　「プラグスーツ、スケスケ」（笑）

――　「ここだけの話、和田慎二先生も！」とか、部屋に入ると色紙が貼ってあったりして（笑）

和田　「庵野」とか「貞本」とか（笑）

――　ガイナックスお墨付き（笑）ガイナックス風俗部門とか作って本格的に始めたりして（笑）

和田　やればいいのにね。別にイメクラじゃなくても覗きショーとかさ。綾波がバスタオルかけてパンツ一丁で歩き回るだけでウケたりすると思う。脱ぐ必要まったくなしという（笑）歩くだけでいい。

――　風俗とどこまで合体するか興味深いものありますよね。

和田　（アニメの）好きなイメクラの店長がいて、ミンメイの服や綾波の制服でやったというのがあったらしいんだけど。だからっていきなり立て看で「綾波はじめました」はないだろうって（笑）

新谷　また向こうも負けずに「ミサトはじめました」とか、「ペンペンはじめました」とか（笑）最終的には「カヲルはじめました」とか。

――　おおーっ！「ホストクラブ・カヲル」とか（笑）

新谷　ネルフ通りとか呼ばれてたり（笑）

和田　街灯にネルフマークがズラーッと（笑）最後、教会がセントラルドグマで、十字架になってて（笑）

新谷　寄付をしてリンゴを落としていくわけ（笑）それを全部回るのを、「ゼーレへの道」と言ってね（笑）

――　それだけで一大産業が。

新谷　一時、言われたじゃない、日本には産業が四つあって、第一次産業、第2次、第3次、そして『ガンダム』って（笑）

■1/1の綾波レイのフィギュア（ペーパームーン、28万円！　初回30体完売とか）は、6月25日現在、まだ届いていないそうです

和田　アダルトビデオでさ、『セーラームーン』の格好したやつらがわんさといたじゃない。あれで、そのうち髪を水色にしたのとか出てくるんじゃないかと。
——カヲル君は難しいな。
新谷　でも意外とカヲル君っていうのは、その辺の都立の高校生何人かあたってみれば、出てくるんじゃないかなあ。あれくらいのツラつきの奴はいくらでもいるような気がする。
和田　あとはもう頭に小麦粉かけて、真っ白にしたら。
——で、口がうまければ。それで、まず一緒にお風呂（笑）一次的接触から始めて（笑）それから一緒に横になって寝る。
新谷　それで十分満足できるんなら、言うことないんじゃない。
——「首持ち帰ります?」って（笑）首の持ち帰りもできるという、最後まで行き届いたサービス。
新谷　その代わり、サービス料って高いよね。だって首、1/1だからね（笑）
——いずれ実写版『エヴァンゲリオン』っていうのはできますかね。
和田　やめてほしいなあ。
新谷　ちょっとなあ。そういった意味では肉つけ?のないキャラクターが多いんで。
——そうか。じゃあ、スーパーモデルを使って。初号機はスーパーモデル（笑）
和田　全部、ボディペインティングでね。
新谷　拘束具つけて（笑）
和田　でも、ケーブルどこにつけるんだ…危ない、危ない（笑）
——『スケバン刑事』はアニメよりも実写のほうが嬉しかったというか。
和田　嬉しかった覚えはないよ。
——そうですか（笑）あれはあれでよかったと思うんですけど。
新谷　俺は次回作で『スケパン刑事』を描けっていったんだよ（笑）スケスケパンツをはいてね（笑）
和田　『スケパン刑事』っていうアダルトビデオがあったらしいんだよ（笑）
新谷　そうだよな、『銀河鉄道69』というソフトがあるくらいだから。
和田　でも『エリア69』ならありそうだけどな。
新谷　でも『エリア』ってそんなにその手のことパロれるほどメジャーじゃないから。
和田　でも、みんなコスプレして。
新谷　つまんないよお。頭に飛行機つけて?（笑）
和田　やっぱり身体全体でやって。
新谷　ただの着ぐるみショーじゃん。イギリスのなんとかってのがやってるサンダーバードショーがそういうやつ。
——あれ、よくできてたね。アイディアだなあって思って。
新谷　レイの髪形ってさ、『サンダーバード』というか、『謎の円盤UFO』に出てきたエリス中尉、ムーンベースのところの。
和田　あの紫のね。
新谷　これも聞いた話ね、あれがベースだって言うの。だから一番最初のイントロのカットバックでバッバッバッって入って来るところも『謎の円盤UFO』を、連想させる。
和田　なるほど。音楽違うけどね。
——ゲンドウがストレイカー司令官だったら良かったのに。
新谷　だから、詰め襟の服も、わりとシャドウの詰め襟とかとね。
和田　マニアックだよね、あそこも本当に。
新谷　その辺が全部ネタもとかなって。
——でも、根本に家族関係みたいな、プライベートなものが残ってるから良かった。ただのオタクにならなかったというか。
和田　そうね。まあガイナの作り方ってわりとそうだよね。基本設定はそこら辺のパロディでいこうって言いながら、肉付けしていくと違うものになってるんだよね。
——いままで見た作品だけからの縮小再生産というのはつまらない。ただ、暗いものになってしまいがちなのが、ちょっと。でも暗いものしかアイデンティティってないのかな。
和田　発散するタイプにアイデンティティもへったくれもないでしょうからね。やっぱりのめり込んでいく形でないとね。
和田　『未知との遭遇』や『ET』とかが出るまでは、友好的な宇宙人っていなかったからね。マンガとかではあるんだけど、映画では基本的に宇宙人は敵というのがあったか





◀和田先生の代表作、『スケ番刑事』。白泉社文庫版のカバーイラストはナント生頼範義大画伯！　和田先生のリクエストだそうです

■サンダーバードのショーは、頭の上に、よくできた初号機…もとい1号や2号を乗せたコスプレでドラマを再現。来日公演もありました。両手の人差指に小さなヤシの木はめて、開いてって投げすてて…発進するところでは会場から拍手が（笑）

ら。

新谷　『インデペンデンス・デイ』の宇宙人もそうなんだよね。でも、劇的とは言わなくても宇宙人とファーストコンタクトがあって、宇宙人との諍いがあって、それでお互いがわかりあってどうこうしていくという、『ペイトン・プレイス物語』みたいなSFがあってもいいんじゃないかと思うんだけど（笑）

和田　あってもいいんだけど、それだと『ペイトン・プレイス物語』になるんだよ（笑）

新谷　なっちゃうかな、別にこれ宇宙人にしなくてもいいじゃないのっていう（笑）だから、「侵略するもの」「それを阻止するもの」で、だいたいの話や構成が出来あがっちゃうみたいな。

――住み分けはできないのか。

新谷　だから相入れない者としての侵略者ってね。

――白血球みたいなもので、一つの生態系というか、異物が入り込んだら、ダメっていう、あれなんですかね。

和田　人間っていうのは、人間型の、知能が同等というものしか宇宙人と認めないから。

――あっ、ペットになる宇宙人が出てくるといいかもしれませんね。

和田　でも、それは結局、侵略に近いよね。

新谷　『ブレードランナー』と一緒ですよ。

和田　それに、人間はペットに意識があるって考えないからね。ペットが意識を持って動き出すと、今度は侵略じゃないけどたたき潰しにかかるから。人間の業だよね。しょせん人間というのは、宇宙的に言えば人間しか人間でいられないし、宇宙人というのは人間と同等できっちりつき合えて、お互い駆け引きが出来るような存在しか認めないからね。

――英語は外人も〝エイリアン〟ですから、逆にどっちも同じようなもの。でもオタクに国境はないというのは証明されつつあるので、オタクは恒久平和を願う人種ではないかという。

新谷　そうするとアメリカの『エヴァンゲリオン』ファンと日本の『エヴァンゲリオン』ファンはつるめるけど、アメリカの『ガンダム』ファンと日本の『エヴァンゲリオン』ファンはダメとかね（笑）だから、一番厄介だなと思うのは、人間っていうのは一人では生きていけないくせに、集団になるとすぐ争うんですよ（笑）一人で生きていけるタイプの人間…極端な話、一人でも生きていけるってことは、つまり夫婦でなくても繁殖行為を行える、自家授精行為で繁殖することができる人間で、それは人間とは言わないってなるわけで（笑）

――なるほどね。だから繁殖する気がないという人たちが増えてきて、オカマとか。

新谷　それは、ある意味で集団にならなくても生きていけるんだけれども、一代限りなんだよね。

和田　まあ、世紀末っていうのも関係してるんじゃないかなと思うんだけどね。ほら、年末って意味もなく忙しいじゃない。でも年が明けてしまえば、また走り始めるっていうのがあるんで。明るい未来はとりあえず2001年まで待つかなっていう気がするんだけどね。

新谷　『ナディア』で、ナディアの兄ちゃんのしっぽのほうに電気のコンセントついてたじゃん。で、エヴァもコンセントついてるじゃない。庵野氏って家電製品か何かにコンプレックスあるのかなって（笑）電気的なものに弱いとか。

和田　いや、へその緒をつけてるか、取りきれないかじゃないかなと思うんだけど。しっぽかもしれないけど。

――ああ、アンビリカルケーブル。

新谷　アンビリカルケーブルっていうのは、宇宙もの見てれば、必ずロケットの打ち上げの時に出てくるんですけどね。ああいうふうにして「第一プロテクターはずせ」とか命令が矢継ぎばやに飛んでやっていくというのも、日本の特撮で何かあったんだよね。

和田　でも、ウルトラの昔からやってるからさ。

新谷　やってるよね。だから、日本人がすごく好きなパターンなんだろうなって思うよ。

和田　そうね。やっぱり軍事主義的なところあるけど。号令とかさ。

――ただ、そこに女の人が増えましたね。

和田　時代性でしょうね。

新谷　『バトル・オブ・ブリテン』の時ってさ、イギリスの防空省のところの地図の上にいっぱいコマが置いてあって、回りにいるヘッドホンつけた女の人たちがそのコマを動か

して「スコードロン第なんとか編隊へ、西側からドイツ軍なんとか編隊が近づいてます」とか言って指示を飛ばすじゃない。イギリスのパイロットって女性の声で入ってくるから、結構よかったんじゃないかなって（笑）

和田　日本もああしてほしいよなあ。日本はもう男の声ばっかりだから。

新谷　おまけに無線機はほとんど聞こえないしさ。ジャリジャリ言ってるだけじゃない。あげくの果てに、隣で飛んでる飛行機と無線の交信できなくてさ、指信号かなんかでやって（笑）

和田　『マクロス』あたりで、女性スタッフが増えたじゃない。いきなりマクロスに乗り込んだりして。今回は地位も向上したし。

――　いまにスーパー戦隊も女4人、男一人とか、最終的にそういう比率になりますかねえ。

和田　そこはならないだろう、やっぱり。

新谷　『ゴレンジャー』とかあの辺の戦隊ものは一つの日本的なパターンなんだろうけど、『水戸黄門』と同じでね。

和田　色分けしたっていうのがはっきりしてていいよね。性格づけできるし。

――　ただ、コミカルだったのが、シリアスになっちゃいましたよ。怖い話ばかりというか。みんな眉間にしわ寄せてやってますものね。

和田　やっぱり定着に時間かかるんだよ。「エヴァ」だって最初はサービスサービスってやってて、結局は暗くなっていく。これはもう日本人のアレかもしれない。

新谷　まあ、日本人っていうのは、基本的にペシミズムだからね。

和田　そこら辺はやっぱり庵野君だから、抜けられなかったのかもしれない。最後までオチャラケで行くわけにはいかないだろ。

新谷　使徒なんて、日本人にとっての西洋文化への憧れっていうか、キリスト教的なものって何かあるんじゃないのかな。

日本人っていうのは、基本的にペシミズムだからね

和田　何か曖昧な部分がね、逆に使いやすいってとこあるんだけどね。

――　そのくせちゃんと体系があるっていうね。

新谷　これがヒンズーとかバラモン教の経典にしたがってやったとかいう話だったら、これほどいかなかったと思うんだよね。真言宗だからと言って…

和田　いきなり「ハンニャハラミタ」でいくわけにいかないしね。真言密教とか言いながらね。

――　仏教系！

新谷　だって、あれだけモニターに漢字が出るんだよ。漢字文化って言うんだけれども、やってることって西洋文化なんだよね。

――　ゲンドウがお坊さんふうに、座禅をくんだりして（笑）

新谷　それで「修行がたらん」とか「もっと功徳（くどく）をつみなさい」って（笑）で、エヴァはお釈迦様のように座禅を組んだような形で、半眼で首から数珠がぶら下がってて、それが拘束具でさ。

和田　ロンギヌスの槍でジャリーンって（笑）

――　托鉢に出掛けて（笑）

新谷　そういうふうなのにしたら絶対ダメだったと思うけど（笑）

――　やっぱり憧れのにはならないかなあ。

新谷　「クレリカ」っていうゲームの中に、登場する僧兵がいるけど、魔法を使ったりして闘うわけじゃない。僧兵って日本の高野山にもいっぱいいたのに、数珠を出して「ハンニャハラミタ、かーっ！」とか、なぜやらん！という（笑）

――　香港に作ってもらうとか。

新谷　俺、香港に行って言ったんだよ。「お前ら、『セーラームーン』の真似ばかりしてないで、香港セーラームーン作ればいいじゃん」って。

和田　実写でね。

新谷　うん。要するに香港返還前に風水がズレて魔神がいっぱい出てくるわけよ、海から空から。これを中国返還で中国の魔都にしてはいけない、というわけで中国全土のあらゆるところから選ばれた5人の少女たちが（笑）1997年の返還までに魔神を封印するとい

う使命を帯びて香港へ集ってくるわけですよ。

和田　返還まであと一年、とか（笑）

――タイムリミットはあるし（笑）

新谷　すごいでしょ。100万ドルの夜景の中でさ、闇を切り裂き光を放って五つの星が飛ぶわけですよ（笑）

――やっぱり、町おこしにもなるようなローカル色をきちんと入れて。

新谷　そう。一人はチャイナドレスの女の子が出てきて、中国ってあっちこっちの民族衣装があるから、それぞれそれをつけて。そういうふうに香港版セーラームーン作ればいいじゃんって言って。普通にしてるとOLさんとか、中華飯店で働いてる女の子とか、わりとみんなキョロンパになってるんだけど、「セーラーチーム集合！」とかになったらバーッと出て、バックの音楽が京劇みたいにシャンシャンシャンって（笑）中国返還前にそういうふうにすればいいんだって俺が言ったら「どうして、そういういい加減な発想を次から次へと」って（笑）

――だって、それはマンガ家なんだから。それは受け入れられないのかあ。じゃあ、真面目な顔して……

新谷　いや、真面目に言ったんだよ、俺も。なんだったら俺が原作を描いてやるって。「また今度」って言われて（笑）何がまた今度だ

キャラクターが「いい加減にしろ」って背中からどつきたくなるような（笑）

この野郎って（笑）

――やっぱり出来上がってみないとわからないってことなんですかねえ。

和田　いや、新谷先生の説明の仕方が悪かったんじゃないの（笑）陰にこもって話さなきゃついてこないんだもの。ガイナックスがうまいのは、そういうふざけた話を大真面目にやるからよ。

新谷　なるほどね。

――ちゃんとバランスよくやるといい加減だと思われちゃって信用されなくて、とんでもないほうが信者が出るという。

和田　そうそう。原作よりパロディ版のほうが人気が出るような…。うがったオタクみたいなのがね、ストレートは好きじゃない。

――バカバカしいのを大真面目にやるのが、実はマンガなのになあ。

和田　正道を逆にガイナックスがやってて。

――「そりゃマンガだよ」とか言われるのがマンガの名誉なのに、「それはただの現実だよ」ってなっちゃうわけでしょう。

和田　だからガイナックスとすれば、どっちかというと騙くらかして喜んでいるようなうさん臭いところがあるんだよね。そのうち抜き差しならなくなって、本気で作るしかなくなると暗くなっていくんだよな。だからガイナの出だしはいつもバカバカしく明るいよね。摑み方を知ってる。

――今、ちょっと怖いのは『愛國戦隊　大日本』とかやったら、真面目にウケちゃうんじゃないかって。

和田　作ればいいと思うよ。超合金出たら買うぞ（笑）

（佐伯かよの先生参加）

――佐伯先生は「エヴァンゲリオン」はどんなふうにご覧になってましたか？

佐伯　最初は全然知らなくて何週間か飛ばしてるんですよ。途中から見始めたんでよくわからなかったんだけど、ワイワイ回りから入ってくるんで、とりあえず見ようみたいな。でも、だんだんはまってしまいまして…キャラクターが時々「いい加減にしろ」って背中からどつきたくなるような（笑）性格してるんですけど。

――それはシンジとかですか？

佐伯　そうですね。「頑張れーっ」と思いつつ。でも、オープニングの、シンジのフッと目を上げるアップのカットが、私すごい好きなんです。それだけ見てもう満足っていう感じで（笑）

――なかなかフェチな（笑）シンジがキャラクターとしては一番好きなんですか。

佐伯　うーん、そうですね。他はちょっと苦手なキャラが多いんです。

――苦手？

佐伯　苦手なのはアスカ。

――ああいう賑やかなのが…



▶佐伯先生のお好きなオープニングの、フッと目を上げるシンジ♡

佐伯　私としてはあのキャラはちょっとつらいです。シンジは可愛いっちゃ可愛いです。助けてあげたいとか思う時もありますし。
―― 母性本能が入っちゃう。
佐伯　そうですね。で、時々やっぱり背中からどつきたくなるんですけど（笑）どちらかと言えば、可愛い、実は私、あのなで肩が好きなんですよ（笑）自分がすごい怒り肩で、キャラ描いてもみんな怒るんですよね。どんなふうにやってもなで肩描けないんです。で、あそこまでなで肩でキャラがちゃんと成立するっていうのがね、凄い。
新谷　なるほど（笑）
佐伯　それがすごく新鮮でね。私、一枚あれ描いたんですよね。自分流の似顔絵っていうか。描いたら、結構いいじゃんって（笑）どこがいいって、やっぱり肩ですね。肩がずいぶん愛おしいという感じがする。なで肩だからこそシンジだ…って。
―― いいなあ。なで肩フェチ。
和田　なで肩が愛しいと言われたのは初めてだな。
新谷　やっぱり女の趣味はわからんな（笑）
（佐伯先生の描いたエヴァイラストを見ながら）
佐伯　これで便せん作ろうとか言いながら。
―― おおっ、いいじゃないですか。
新谷　トーンまで貼ってあるという（笑）
―― いいな、これ載せさせて下さい。レイもいますね。（227ページ参照）
佐伯　そう。レイも可愛いんです。
―― でも、明るくしちゃってますね。
佐伯　明るいレイもやっぱりほしい。いつもあんなんじゃ可哀想でしょ。でもやっぱり顔私の顔なんですよ。で、雰囲気だけとりあえず似ればいいかと思って。
和田　なで肩。
佐伯　うん。私あまり人の似顔絵描かないんですけどね。
―― つい描きたくなる、ソソるものがあったという。
佐伯　どうやったらなで肩描けるんだみたいな感じですけど。難しいんです。着物で描いてる時は自然になで肩になるんですね。でも洋服で描くのは、とっても私には難しいんですよ。
―― じゃあ、特にキャラクターに感情移入してとか、例えば赤木リツコでどうこうとかはなしで？
佐伯　うーん、特になかったですね。シンジ君は可愛くて良かったですが。
和田　じゃあ、庵野君の狙い目はばっちりなんだ。
―― お父さんのゲンドウは？
佐伯　ゲンドウは怖くてちょっと苦手ですね。
―― やっぱりああいうお父さんは嫌というか。
佐伯　ええ。ちょっとうちの親父も、ああいうタイプではないけれど近いものがあるかもしれませんし。
―― えっ、うちのっていうのは…本当のお父さん？
佐伯　ええ。
―― 新谷先生ではなくて？
佐伯　なくて（笑）
新谷　俺があんなわけないじゃない（笑）俺はあんなに抑えて「フッ」なんてセリフ言ってないんだもん。
佐伯　いや、ああいう「フッ」とか抑えるとかじゃなくて。やっぱり、弱さを……弱いんですよね、あのゲンドウっていう人も。だから、それをガードしてるっていうか、強く見せようとしてる部分が。
新谷　あそこは全員が自分をガードしてるようなキャラクターが多くて。みんな本当の自分を見せていないみたいな。シンジ君だけなんだよね、無防備なのは。
―― そうか、シンジは剥き出しというか、正直に。
新谷　シンジ君だけが無防備で、あとの人間はみんなどっかでガード作っちゃってる。
和田　そうね。ガードのノウハウ知って、活用してるね。
佐伯　だから、ガードの仕方が、それぞれいろんな人の気持ちに触れる部分があって、視聴者の好みが分かれてくるんじゃないかなって思うんですけどね。
―― アスカは過激なアレがないのかなって思ってたら、一番ディープな…逆に一番立ち直れない人になってしまったりね。
新谷　そうそう。で、ミサトはあの調子だし。本当だったらもっと根の暗い人間のはずなのにという。



◀佐伯先生はナント、NERVジャケットを着てらっしゃいました（写真は、ウチの編集部＝JUNERVのメンバーですが）
これは「最終量産型特務機関NERV御謹製」のリバーシブルジャケット（春秋用、フリーサイズ）。もう店売は終わっていますが、通販はしているそうです。6800円（税込）発売元／㈱セガ・エンタープライゼス　販売元／㈲ライトニング　☎03（3339）3941

和田　どうしてあそこで立ち直れたんだろうっていう疑問が残るね。
新谷　だって、一回は病院でぶつぶつ言ってた時期があるわけじゃないかというさ。
和田　で、次出てきたらやたら明るいんだもんね。
新谷　いきなり男食い?に走ってるし（笑）
佐伯　だからあれを見て、庵野さんって、こういう所ああいう所みんなこの人なんだろうな、きっとって。まあ、そういうふうな見方しちゃいますよね。だから「ああ、庵野さん、辛そうだな」って思っちゃう時もありますね（笑）
――全部、庵野さんの分身だから辛くなるというかね。
佐伯　そう。だから、庵野さんって生きるのが結構つらい人だろうなあとか思って、つい気の毒になっちゃう時もありますね（笑）
和田　あのまんまで気に病んだら大変だろうね、本当に。
新谷　生き方が不器用なことは確かだね。
――そういう意味では、ちょっと少女マンガっぽかったですよね。
佐伯　そうですよね。
――だからロボットものなのに結構女性ファンがいるというか。
佐伯　だから、やっぱり女の子のというか、キャラクターの弱さを見せるというか…まあ、ガードしつつもその奥に潜む弱さみたいなものが、どのキャラにもみんなあるから。やっぱりそこの部分で女性は惹かれるんじゃないですかね。
――ＪＵＮＥ系読者に人気の高かったカヲル君というのはどうでした?
佐伯　ああ、カヲル君というのは、あっと言う間に来て、あっと言う間に死ぬ…
――そうそう、死んじゃいますけどね。
佐伯　勿体ないねえ。もっとなぜやらないのみたいな感じがあって。まあ、時間の都合もあったんでしょうけどね。私はどっちかというと、やっぱりちょっと苦手かな。あんまり美形すぎるのはちょっと。
新谷　美形とか何とか言うより、やっぱりストーリーの流れ上ねらって出て来たキャラクターなんで、どっちかというと制作者の意図が見えているキャラクターなのね。
和田　それにしても、もうちょっと…あれだとカエル顔なんだ。
――カエル君（笑）まあ、第九は聞いてるらしいとか、それくらいしか私生活ないですものね。加持というのは?　プレイボーイの。
佐伯　あんまりその辺、見てないんですよ、私。途中からなんで前半はほとんどすっぽ抜けて。その後、レーザーでもう一回見てるんですけど、まだ前後がつながってないんです。で、最初から終わりまできちっと見たいなあと思ってるんですけどね。こういう言い方をしたら悪いんですけど、まあ、シンジ君は仕方ないとして、トウジなんかは精神が健康的な感じがして、わりとスッと入れちゃうんですが、ほかは、みんなね、どっか病んでるまま格差がなくて。私のタイプじゃない男ばっかりなんですよ、申し訳ないけど（笑）
和田　そうね、みんなタフじゃなかった。
佐伯　タフじゃないの。だからね、神経質でもエキセントリックでもいいんだけど、どっかタフさを持ってる、そういうキャラが好きなんだけど。それがね、ないんですよ。女の子のほうもタフそうでいて実はそうじゃないなって。
――みんな無理をしてるというかね。
新谷　とにかくね、余裕がないの、みんな。もうギリギリなの。本当にみんなミニマムで生きてるの。
和田　そう、芯が弱くてね。
新谷　で、ギリギリに張り詰めて。
和田　必死に演じてる部分がね。
新谷　そう、そういうところがあって。どのキャラクターにもそれが共通してあるんだよね。
佐伯　だから、あの中で全員がそうだからこそあの作品なんだろうけど、何人か本当にタフなキャラっていうのがあると違うだろうし。またシンジ君に求めてしまうわけです。普通のただの読者（視聴者）として見た時に、そういったタフさを徐々につけていって、「あっ、この子はきっとしっかり生きていくだろうな」ってとこで終わってほしいなって思いますね。私は、わりとそういうふうに読んじゃうんです。
――そういう意味でいうと、悩んでる青春ものっていうか、その時期のハシカのような一度はかかる思春期の。
和田　まあ、基本的には成長を見たいってい


▶鈴原トウジ（CV＝関智一）

う部分はあるんだけどな。それが快感なんだけど。

新谷　だってこれ、庵野氏が一番最初か何かのインタビューでの時に「これは、ただ単にシンジ君っていう男の子の成長物語なんです」っていうことを言ってて。でも俺、それを聞いた時に、全然成長してないじゃんって（笑）

――崩壊物語（笑）

新谷　誰も成長してないよ、この話の中では。変化はしてるけれども成長はしていないよっていう。

佐伯　だから、割り切ってしまったりとか、ものの考え方をちょっと方向を変えたりしてるのかもしれないけど、彼自身の中に強い自信みたいなものが芽生えて、これで大丈夫っていう方向にはちょっといってないような気はするんですよね。ラストでね。

和田　いかなかったよね、結局。

――やっぱりそういう相手がいてこその成長みたいな。わかり合えないまま、自分一人での成長ってのはありえないですね。

新谷　ありえないのね。つまり相手を許容してないわけだから。あの中にたった一言でいいから、いわゆるミサトとリツコだけでも、同じ釜のメシを食ってきて、例えば何かした時に肩をポンッと叩いて「あんた、本当に昔から生きるのヘタだね」「あんたほどじゃないわよ」っていうような、ボソッとその二つのセリフで「お互い損だね」っていうような顔をしたら、「もう明日で30でしょ」っていうようなセリフもバッと入れていけば、これもう十分コンタクトがとれているわけです。それもないの。

――そういう意味でいうと、自爆するかもしれない時に日向が「ミサトさんと一緒ならかまわない」とか言って、あそこで何かわかりあったみたいな。おっ、みたいな感じで。

新谷　でも、「ミサトさんとだったらかまわない」と言った時に、じゃあ、ミサトがそれに対して何か「あんた若いから、そういうこと言えるんだよね」とか、そういうことをボソッと言うとか。そういう会話のフォローが一切なされてないから、「エヴァ」の中では。

――なんとなく、あの場のノリでそう言ってしまったみたいな。

佐伯　庵野さん自身がね、たぶん人とコミュニケーションするのが本当は苦手な人なんだと思うんです。

――そういう意味でいうと、作者が自分に忠実にお話を作っていいんだろうかみたいな。

和田　それは、いいんじゃないの。

――正直に作ったという意味では、とても誠実。

佐伯　だから素直に自分を出してるからこそ、共感を得られたわけで。あれがウケたっていうのは、同じようなところで同じような悩みを持ちながら、やっぱり人とのコミュニケーションがヘタな人たちが多くて。多分そういった部分で悩んでる子たちがすごく多いんでしょうね。

和田　庵野君が彼の言葉で喋ったら、今の時代が呼応したみたいなところがあるわな。

――ただ、ああいうの見てると結局、子供の時に失ったものはもう取り返せない感じで、過去が甦っちゃうみたいな。

新谷　だからね、それが子供の証拠なんだと思うの。大人っていうのは、もう子供の時は取り戻せないってことをどこかで割り切っちゃうの。だけど、その子供の時代を何とか取り戻せる方法はないのかって考えるから子供なんだと思う。子供の時の生活環境なんて…少なくとももう一秒前の自分は取り返せないわけだから。後は前に向かうだけだよねっていう。ただデータとしては残るから、そのデータを何回も反復しながら前に進む時の指針にしていくってのが大人の考え方なんで。

――そうか。それが過去にこだわって、過去に引きずられちゃって。

新谷　引きずられて、過去への呪縛で一歩も動けないっていうのは子供なんだよね。もうあれはゲンドウも冬月も全員がそうなの。つまり、セカンド・インパクトの時から全員動いてない（笑）

――恐るべし、セカンド・インパクト！

過去への呪縛で一歩も動けないっていうのは子供なんだよね



▶ミサト「すまないわね」
日向「いいですよ、あなたといっしょなら」
ミサト「ありがとう」
（第弐拾四話）

新谷　大人たちの世界が止まっているから、その間、14年経って育ってきた子供たちはその先の世界が見えないわけ。

―　じゃあ、逆に使徒という共通の敵がいるおかげで。第三新東京市もみんなとりあえずの目標があるから、ビル作ったり建て直したり。

新谷　目標っていうより、ひとつの結束の理由だよね。

佐伯　でないとバラバラだよね。

新谷　だって目的は彼らにもないの。使徒を倒したからといって一体どうなるものか、そして使徒が来ない間に何をしようというのかっていう。で、自分たち、要するに人類の再建計画みたいなものをどういうふうに立てているのかっていうのが、一切このお話の中では定義されてないわけです。そして彼らは毎日毎日あれだけ膝つき合わせて顔つき合わせて剣突（けんつく）やって、それでいて誰ひとりとして理解してないの。

和田　でも結局、第3の敵への準備っていう形で結束するしかなかったんだと思うけどね。

―　そういう意味でいうと、巨大な円盤が現れたおかげで『インデペンデンス・デイ』は。

和田　そうそう、地球人は…

―　独立意識が目覚めるというか。そういうのがないと。

新谷　でも、あそこまで仰々しいプロパガンダを日本の映像文化は作れないのね。怖くって（笑）

和田　作れないよなあ。前に『V』っていう傑作があったにもかかわらず、他が出なかったものね。それと要するに、小さい頃に愛を与えられない子供は大きくなってから人とのコミュニケーションが難しくなるっていうのが最近の見解で、その辺が見事に出ちゃってるかな。今の自分たちの愛情の持って行き方、どこに持っていけばいいのかわからないっていう…ひとつのテーゼになってるんじゃないの。

―　それで、とりあえずみんなSEXをしてみたけれど、まだ違うみたいだなって。

新谷　SEXっていうのは愛ではないのね。愛なんかなくたってSEXはできるわけ。

―　愛があるからできないってこともあるし。

愛の受けとり方をしらないの。感受性がどんどん鈍くなってるから

新谷　う～ん。SEXっていうのは、あくまで生殖行為だから。あれは哺乳類としてこの世に生を受ければ、基本的にはやれることなの。誰に何を教えてもらわなくたって。

―　でも、気持ちがいいっていうことで愛に限りなく似ているので、誤解されやすいという。

新谷　うん。でも愛って気持ちいいわけですまないでしょってなるわけで（笑）愛情っていうものは、もう本当に定義できないものだし。形になんないし。

―　温泉は愛か、という（笑）気持ちよくしてもらえると愛された気がするという。

佐伯　そういう意味では、あれも愛かもしれない。

―　だからシンジ君が一番くつろげるのは温泉なのは。

新谷　そう、地球の愛かもしれないけど（笑）

―　マグマも地球からの愛（笑）すごいな。大地の恵み、贈りもの。あと過食症の人は食べるってことが愛に似ているという。食べると満足して暖かくなるし、食べ物は裏切らない。

和田　でも、拒食症は食わないことが愛か？

新谷　だから、よく言われることだけど、今の子たちは小さい時に愛を与えてもらってないから愛を与えることができない……与えるんじゃなくて、愛の受けとり方を知らないの。感受性がどんどん鈍くなってるから。例えば人が言葉に対して託してる愛なのか、行動とか仕草に対して託してる愛なのかっていう、そういったものをどうやって受けとっていいのか。また、それに気づくべきアンテナ自体ももう喪失してしまって、育ってないの。

―　そこでうまい言葉が出てきたのが、〝援助交際〟。援助も交際もどちらも悪い言葉ではないんだけれども、そこで需要と

佐伯かよの
X年3月30日生まれ、牡羊座、A型。山口県萩市出身。19歳で『りぼん』デビュー。『スマッシュ！ メグ』『口紅コンバット』

供給、下心同士がうまく結びついてしまうとね。売春だと売る買うっていうのがはっきりあって、それなりの後ろめたさも開き直りもあったけど、援助交際になると援助の何が悪いんだ、交際の何がいけないのって言われちゃうと。

和田　曖昧にしてるだけだもんね。

新谷　それから言うなら、明治以降、姦通罪というものがなくなってしまって、その後は自由恋愛の世界に入っていくわけなんだよね。そしたら自由恋愛という言葉だけで済みそうなものなのに、なぜ援助交際という言葉がまた出てくるかっていう。

――　お金が介在したほうがすっきりするというか。とりあえずこのおじさんは払ったお金の分だけ私の価値を認めてくれたんだなって。それで自分の自信というか、これで私もやっていけそうな気がするっていうか。

新谷　それ売春と一緒じゃん（笑）

――　だけど、自分の商品価値というので…そういう形の認められ方でしか、自分の価値（存在）をわからないみたいな。

新谷　極端な話、いまの人間っていうのは狭い籠に入れられたキリギリスと同じ状態になってるわけですよ。昔っていうのは20年とか30年に一回、大戦なり戦争なりがあって人数が減っちゃうわけですよね。そうなってくると一応スペースが出来上がるものだから、みんながきちんとしたモラルのもとに愛を論じたりできるわけなんですけど。現実にいま日本が戦争状態にあって、自分の好きだった人が明日戦地に引っ張られていって、そのまま敵弾に倒れるというような状態が日常茶飯事であったとしたらね、おそらく俺、茶髪もルーズソックスも出て来ないと思うわけよ（笑）こんなにアニメブームにもならないと思うのね。だから俺に言わせれば「エヴァ」というアニメーションに対して、我々が論じるこの時間的余裕ということは「ああ、平和なんだ」ってことなんだよ（笑）

――　貧乏とか戦争だったら、こんな話ね。

新谷　こんなこと言ってらんない。ＪＵＮＥなんて本出してないよ。

――　こんな非国民な雑誌って（笑）

和田　平和だっていうのは言えるわな。

新谷　それからいけば、確かに使徒がいつ攻めて来るか、街をグシャグシャにするかわからない状況下にある彼らが、愛だ恋だとヌカしてる暇はないのかもしれないと思うわけよね。

――　そういう意味でいうと、弁当を作ってそれを食べるというあそこは一番愛の受け渡しが見える。

新谷　わかりやすいところだよね。

和田　わかりやすいっていうより唯一の小道具だね。

新谷　極端なことを言ってしまえば、あの段階のキャラクターの中で、唯一、ある程度相手を理解できてたっていうのがヒカリとアスカかもしれない。だって公園のとこでアスカがヒカリに「あんな男のどこがいいの？」とか言ったら、ヒカリが俯いてポッとかやってるシーンがあって。最終的にアスカが潰れ始めた時にヒカリのとこに行ってるわけじゃない。ヒカリは別にどうこうってことはなく、ゲームをしているアスカを黙って見ていてやるわけだから。考えてみればあれはある意味で理解できてたかもしれない。あとはお互いを認識してるけど、理解はしてない。

――　そういう意味でいうと、最後の学園ものがパロディで作られてますが、昔の少女マンガではパロディではなくて、転校生と衝突してこんなことがあったらなあ、という素直な気持ちだったはずで。そういうものをパターンとしか思えなくなっちゃってる。いままでに既に行われていることだから、それはパターンで本当の愛ではない、というふうな思い込みがあるのがいけないのかなって気もちょっとするんですね。

新谷　俺、一番ラストはパン食いレイじゃなくて、パン食いアスカのほうが似合うんじゃないかなって思ったの。レイのほうが幼なじみで。そしたら最後の「あんたたちできてるの!?」っていうセリフは、そのまま合うんだよね（笑）

和田　そこら辺は結局、庵野くんのレイへの思い入れだろうね。

――　だから、みんな同じようなルーズソックス履いたりしてるくせにパターンを嫌がるみたいな。

和田　マニュアル欲しがるくせに、パターン嫌うんだよね。

新谷　群れの中にいたがるんだけど、差別化

『星恋華』、『緋の稜線』（漫画家協会賞優秀賞受賞。コミックス、19巻まで発売中。秋田書店）『ファゾン』など代表作多数。『佐伯かよの 自選集』全5巻（講談社コミックス）も出ています。男性には、美しい画商が主人公の『燁姫――あきひ――』がおすすめ♡（自選集の3に収録。秋田文庫でも刊行中）

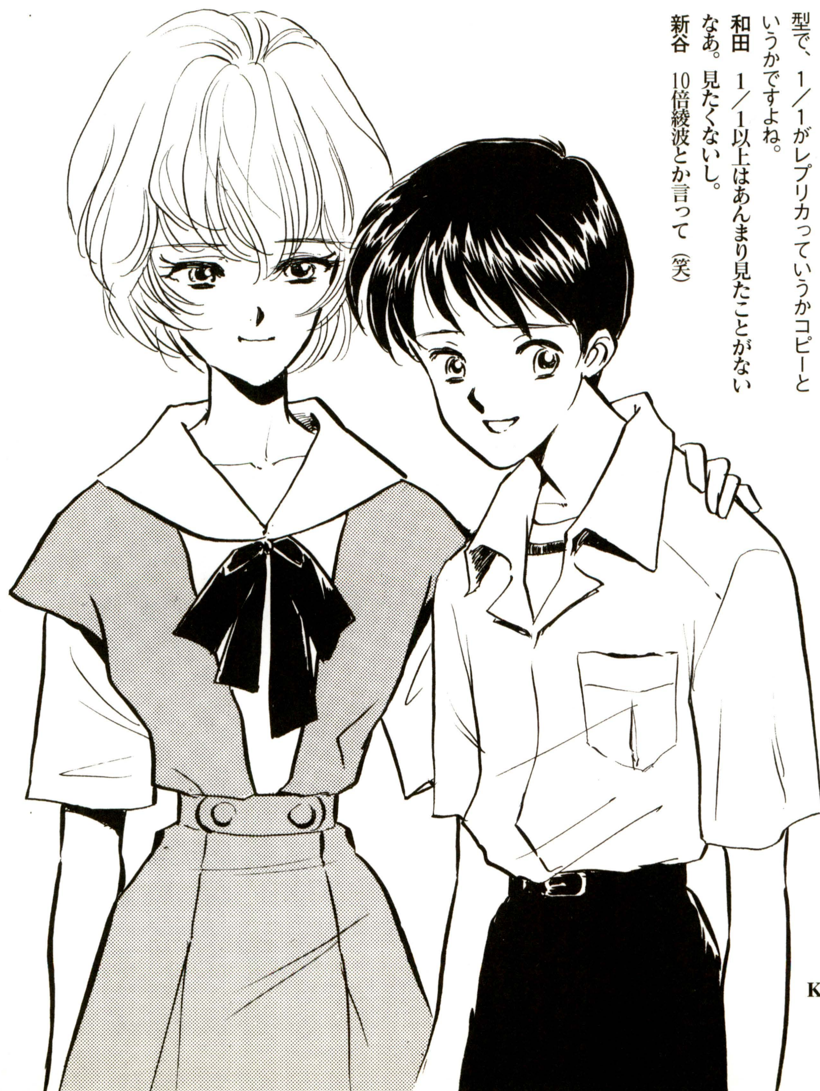


はほしいんだよ。でも群れの中にいないと不安だから、完全に離れてしまっても知らん顔はしてられないわけ。
和田　それが今の日本の風潮だよね。
――　どうなったら、そこでズレが起こらなかったんでしょうね。教育というか、環境というか。

多くの現代人たちが抱えてる愛って みんなそんなもんじゃないかな

新谷　意地とか見栄は持たせたけど、プライドは持たせてないから。プライドっていうのは別に高ビーになるっていう意味じゃなくって、自尊心だよね。自分が自分であるという。
和田　律することができるっていうかね。
新谷　そういったことの教育が戦後なされてないから。
和田　ホームレスのおじさんを蹴飛ばしてって、やっぱり差別化だよね。自分よりも弱いものとして扱ってるわけだからね。
――　それで勇気があることを証明するためにやったみたいな。それって逆で、強い奴をやっつけてこその勇気じゃないか。ヤクザを襲うとか（笑）庵野監督に愛を教えるにはどうしたらいいんでしょうね（笑）
新谷　『セーラームーン』のレイちゃんが好きって聞いた。綾波レイの名前はそのせいなんだと。そこでは俺と趣味が合うんだけど（笑）だからみんな考えることは一緒なんだよ。そういうふうなもんがパラパラっと出てしまったんだけど、みんながどんどん深読みするから、話がおかしな方向に行っちゃうんだ（笑）
――　愛ってやっぱり一般論じゃなくってそれぞれ別々ですよね、実は。
新谷　うん。違うと思うなあ。
――　一般論で言いだすと、全否定も全肯定もできないっていうか。
新谷　だから庵野氏にとっての愛っていうのは、優しい女の子が毎日蕎麦を食わせてくれて。ご飯と肉は嫌で野菜だけだから野菜入りの蕎麦やらうどんやら作ってくれて、インスタントラーメンを出してくれる時にレトルトのカレーもぶち込んでくれて
――　エビスビールも一緒に飲んで（笑）
新谷　そう。それで毎日、身体のことを気遣ってくれると最高って。俺は愛に満たされているという。
――　意外に簡単なことかもしれない。でもその簡単なことが埋められていないので、補完計画が練られてしまった。
和田　そこら辺がポッカリと底無しに穴が空いてるってわけだな。
新谷　でも、多くの現代人たちが抱えてる愛ってみんなそんなもんじゃないかな。
――　実はね。だからみんなペットで埋めようとしてるっていうか。
新谷　しかもそのペットも死んでしまったら悲しいからって、今度はブラウン管で飼って。さすがに俺、あれはちょっと変って思う。
――　でも、ブラウン管で妾を養うとかいうのがあると、真っ先にやったりして（笑）
新谷　でも、絵に描いた餅じゃな（笑）わしらの年代、それじゃダメなんですよ、もう（笑）
――　ときどきお金を援助しないと逃げてしまうとか（笑）何カ月か開けて訪ねていくと若い男がいたとか、そういうアダルト向けの。
新谷　『プリンセス・メーカー』を。
和田　綾波レイの1／1の後ろに、貯金箱の口を開けて、援助交際って（お金を）入れて（笑）
――　全部貯まったらお金持ちになれるかもしれない。
新谷　全部貯まったら尻が抜ける（笑）
佐伯　あれをどこに置くかっていったら、玄関しかないわよねって。
――　玄関でレイちゃんがお迎えしてくれる（笑）
佐伯　広いスペースが玄関しかないんですよ。
新谷　それで、できれば、胴体をくり貫いて中にテープレコーダー入れておいて、目のところにセンサー入れて、人が来たら「さよなら」って言って（笑）
佐伯　うちのチビどもが洋服作ってあげるって。そんなことしなくても、あんたたちの貸してあげればいいでしょうって（笑）もうすぐ中学も卒業しますんで制服が残りますから、じゃあ、それを貸してあげようとか言っ

てて。
――1／1ならではの楽しみが。
新谷　ペーパームーンのほうの綾波レイちゃんは基本的に裸なんで、着せ替えができるんだけど、俺が買った海洋堂のは、端からプラグスーツ着てるから、脱がせられないの。
佐伯　だから、ちょっと寂しいなって。
和田　先生にリューターで削ってもらう（笑）
佐伯　じゃあ、ロングスカートに長袖か何か着せればわからない。
――プラグスーツが透けてるという設定で色を塗る。
新谷　もう一回色を塗り直す。もう色も全部塗って、完成バージョンで送ってくるって言ってたから。
佐伯　中にやっぱりテープレコーダーぐらい仕込んでほしいよね。30万もかかるんだから。
新谷　いきなりカン箱に入ってくるわけじゃないから。多分ダンボールに入っててこちらで組み立てるんだろうけど。
和田　いや、いきなりだって言ってたよ。いきなり棺桶サイズの箱だって。海洋堂か何かの焼き印がジューッとか入ってくるんじゃないの（笑）
――すごいな。バラバラ死体ではなくて。
和田　箱捨てるなよ。価値が下がるから（笑）
――模型っていうのは大きく作ったりすることはないんですか？　1／1以上で2倍とか3倍とか拡大して作る。
新谷　そういう模型もありますよ。フィギュアでは『ああっ女神様っ』の中に小さい忍者が出てくるんですよ。あれをそのまま1／6でやっちゃうと、面白くないからって、だいたい3倍くらいの大きさで拵える。
――普通はだいたい実物より小さいから模型で、1／1がレプリカっていうかコピーというかですよね。
和田　1／1以上はあんまり見たことがないなあ。見たくないし。
新谷　10倍綾波とか言って（笑）



Kayono Saeki

佐伯　10倍って言ったらどんなになるの？　何階建てのビルっていうか。160センチだったら16メートルよ。

── ウルトラマンに限りなく近づいていきましたね。

新谷　だから、もうタイのねはん像？で寝かせておくわけ。16メートル横たわる（笑）

── 『模型の時代』（小松左京・原作／松本零士・マンガ）で原寸大の大和作れたっていう。

新谷　『模型の時代』なんか見てると、結局、模型っていうのはマクロにいくか…マクロはもう1／1ですよね、つまり原寸大っていうのがマクロ方面、あとはミクロですよね。どんどんどんどん縮小していくっていう。もうこのふたつしかないんだよね。

── 銅像とかそういう世界になりますよね。レイの2倍っていうのも意味ないですかね。あっ、大人バージョンというのは。そういうレイが成長したらみたいな、二十歳版、成人向きレイちゃんというのはありえないですかね。読み込んでこうなるであろうというのを予測して作るというのは。

新谷　成人するまでには8代目くらいになるのかなあ。今度、言ってみようか、成人版レイちゃん。

和田　まず貞本君に描かせて、それで海洋堂のほうで実体化すると。

新谷　成人版レイちゃん、老人版ミサト（笑）

佐伯　うちのチビどもも凄い好きなんですよ、『エヴァンゲリオン』。うちは家族全員であれ見てたんですよ。

── エヴァンゲリオン一家（笑）

佐伯　レーザーになってからですけど、チビどもは本当に夢中になって見てるんです。でもアニメの「エヴァ」とマンガを見た時に、双子の一人が「私はマンガのほうが好き」って言うんですよ。絵柄もセリフも少しずつ違いますよね。貞本さんの絵っていうのは、優しさみたいなものもあるんですよね。で、エキセントリックさ、ヒステリックさをそれほど感じないんですよ。アニメになるとそれが付け加えた形で出ちゃうんですね。それがそれぞれの個性ですよね。

── マンガ読む時も声はあのキャスティングで読んでるんですかね。

佐伯　一応、声はイメージとしてはあると思うんですけど、表情とかが違うんですよね。やっぱり柔らかくなってるし。

和田　マンガのほうが芯がありそうですよね。不思議にね。

佐伯　うん。何か思いやりが感じられるんですよ。それは貞本さんという作者自身の部分が出てるんだろうなと思います。だからマンガのほうがちょっとホッとします。

和田　でも、貞本君うまいわ。

新谷　『少年チャンピオン』でデビューした時、あんなふうになるとは思わなかった。

佐伯　（私と）同じ山口県出身なので、ちょっと嬉しいなあ。

新谷　やっぱり県人会を作るべきかなあ（笑）

佐伯　山口県もなかなかすごい人が多いんですよ。なんせ弘兼（憲史）さんでしょ、水野英子さんに青池（保子）さん。で、文月（今日子）さんも今は山口県にいるでしょう。もともとは福岡だそうですが。

── 庵野さんもそうですしね。

佐伯　えっ、庵野さんも山口県なの!?　それは嬉しい!!

和田　山口県って多いなあ。

新谷　結局、ガイナックスそのものも中国地方、島根と山口、そして鳥取、あの近辺の出身者が多くて。それが全部、大阪芸大で知り合って、DAICON大阪コンベンションの時に寄り集まったから。それで島根の方言で「大きい」ってことを「がいな」って言うんで「ガイナックス」なんですよ。

佐伯　島根県は「がいな」って言うの？

新谷　「でっかいなあ」「大きいなあ」って言うことを「がいな」って。

── 男だけの仕事場だから「ゲイナックス」なのではなくて（笑）

新谷　ＪＵＮＥバージョンだとそうかもしれないけど（笑）

── 男の友情があふれている、すばらしい仕事場（笑）

佐伯　私このしばらくは、人の作品を見ても、刺激を受けるっていうか、面白いのは面白いと思うんだけど、自分もマンガ家として頑張らなきゃとか、何か描かなきゃみたいな刺激って、あんまりなかったんですよ。体調悪かったりとかいろいろあったんですけど。これ

を見た時に、そういった部分の…描き手を刺激する何かを持っている作品だなって思いましたね。

――自分も何かしたいという。

佐伯　何て言うんですか、若かった頃…若いと言いたいんだが（笑）

和田　情熱をもう一回燃やしてくれるような感じがあるよね。

佐伯　うん、そう。やっぱり長く描いてきているうちに、本当に一番自分が血気盛んに頑張ってた頃の情熱とかパワーとかがちょっと萎えてきてて、いけないと思ってるんだけどそのまま来ちゃってるみたいなとこあったんですよね。その時に、本当に元気で自分のありったけをぶつけて作ってる作品だなって。

「あっ、もう一度自分もやらなきゃ」みたいな気持ちにさしてくれて

「あっ、もう一度自分もやらなきゃ」みたいな気持ちにさしてくれて、それはとてもすごいことですよね。

――和田先生はそういうのは？

和田　というよりは、ひさびさにみんなでワイワイ騒げるアニメが出てきて嬉しいっていうのはあったな。その中にはいって、あのキャラがどうのこいつがどうの、使徒がどうのって言って…

――フィギュアがどうの。

和田　うん。「わああーっ」ってやるのがものすごく面白かったなあ。あっ、面白かったって終わっちゃいけないんだよね（笑）

――過去形ではないですよ。まだまだ（笑）

佐伯　私、マンガは個人プレイで、アニメーションっていうのは集団で、いろんなパートをみんな集まってやってるっていう感覚があったんですけど。宮崎さんの作品から少しそれが変わってきた感じがあったんですね。監督であり脚本家であり、その人の作品なんだなっていう感覚がわりと全面に出てきた感じだったのに、『エヴァ』の中では庵野さんがもうマンガ家と同じ感覚があるんですね。マンガ家がひとり自分で作品を作っている…アシスタント使って作ってても、やっぱりその作家そのものですよね。このアニメの『エヴァ』に関して言えば、確かに絵は貞本さんの絵かもしれないけど庵野さんの作品っていうものがすごく突出してる感じがありましたよね。それとやっぱりほら、締め切りに追われて時間に追われて最後はいろいろあったわけでしょう。ああいうの見てると、締め切りに追われてる加減がね、自分たちとよく似てるなあって感じがあって。

――シンクロ率がどんどん上がっていく。

佐伯　うん、そうそう

和田　ええい、ここトーンもうはぶけっ、とか（笑）

佐伯　あれがすごいリアルで。

和田　他人事じゃなかったよね（笑）

佐伯　だから同じ作り手なんだなっていうのを、もっと身近に感じられましたね。

――テレビ連載という。

和田　そうそう、明らかにテレビ連載だったよね。

佐伯　宮崎さんの作品よりそういう部分で、もっとリアルに迫ってきた。

和田　そうね。なんか不安定な部分、ちょっとこっちに絡まってくるようなところがあったからね。宮崎さんのは安定して見られるし、大家でドンッて感じなんだけど、こっちはもう新人が『ジャンプ』のカンヅメで原稿が落ちるか落ちないかってやってるっていう危機感みたいなものが画面から出てたよね（笑）

佐伯　そうそう。思わず「ガンバレー！」と心の中で応援してました。

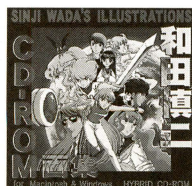
――お弁当を作ってガイナックスへ。

佐伯　弁当くらいで頑張ってくれるんだったら、いくらでも持っていってあげるんだけど（笑）

和田　でも、庵野君ひとりに弁当やったってしょうがないだろ（笑）

――肉食べないし（笑）では、そろそろ…新谷先生、最後に一言お願いします。

新谷　まあ、『エヴァ』を見ていて一番最初に感じたことは、セリフ回しなんかがすごく自分の感性と近いところにあるんで、非常に感情移入しやすいと。あるいは自分のすごく気に入ったセリフ回しっていうのは、基本的に公共電波に乗せるアニメには向かないって



◀『和田慎二CD-ROM画集』――名付けて「シンジー・ロム」（言わない、言わない…）。単に絵を見ることができるだけじゃなくスタジオの様子やお宝（南野陽子の鉄仮面など）が、くりくりくりと360度見られたり、メイキングの秘話は作者自身の声と2等身ちびキャラ先生で♡（聴き手はフラワードリームNANAちゃん＝声・くまいもとこ）制作／販売 株式会社ガイナックス 9800円（税別）
このあと、『新谷かおる』『ふくやまけいこ』などのCD-ROM画集がラインナップされてます！

いう、一つの自分の抑えみたいなものがあって。だから『エヴァ』っていうのは、セリフ回しを聞いていると非常に自分にとって気持ちのいい作品ではあるんだけれども、それが商業主義の中で成功できるのかどうかっていう、そのバランスの加減がまことに危うい作品だなって。だから常にファンとしての目と、同業者の、要するにマーケティングとしての目があって。非常に危ういバランスの中で成立してる作品なんでね、ドラマとは別の意味でまたハラハラさせられた作品ではあるなあという。これからコマーシャル分野に於いて劇場版がどうなるか、あるいは総集編的レーザーディスク、最後少し変えるだの何だのって、ちまたに乱れ飛んでる噂がありますけど、そういったものがどうなって出てくるのかなっていう。どっちにしても庵野氏はもう逃げられないとこまできちゃってるよねって（笑）

佐伯　逃げちゃいけないんだ（笑）

新谷　逃げちゃいけないんだっていうのは、まだ逃げてたんで、でももう逃げられないとこまできちゃってるんで。だからこれをどう処理するか。いよいよ本当にお手並み拝見というとこに来てるなという。

和田　いや、因果地平に飛んで行くという手もあるんだけどね（笑）

新谷　旅に出るっていうのもあるよね（笑）だけど、おおかた我々がこういった対談とかそんなところで出してくる結論、出せる結論っていうのは、もう、もちろん庵野氏は考えてることだろうし。ただ当然、庵野氏はそういった結論にはもっていかないで、「フッッフッ」と言いながら、また何かほくそ笑んでるだろうと思うけれども。

和田　そこら辺が、やっぱり我々の職業意識に引っ掛かってくるんだよね。あっこいつ、この野郎っていうね（笑）

新谷　そう。で、特に一番よくあるのが、自分らが続けた長い連載、誰もがラストを予想してくるんだよね。だけど、そのみんなが予想できるラストっていうのは自分も考えてるうちに入ってるわけなんで。そうすると、その予想を覆すラストを考えなきゃなんないっていう強迫観念というか、プレッシャーがかかってくるわけなんで。

読者も納得できて、しかも誰もが予想しなかった最良のエンディングを

和田　うん。連載の楽しみでもあるよね。苦しみでもあるしね。

新谷　うん。誰もが予想できなかったラスト、いわゆるエンディング。それは確かに考えつくんだけど、今度は反対に、それゆえに読者を裏切ってしまうエンディングである場合もあるわけで。だから読者も納得できて、しかも誰もが予想しなかった最良のエンディング。当然、答えは一つしかないんで。うん、そのたった一つを見つけるのにきっとハゲるし（笑）胃が痛くなるけどね（笑）

■――というわけで、笑ってタメになるロング・トークはおしまいです。おつかれさまでした♪リードで書いたように、これは、今年のお正月のお話なので、劇場版予想は、春のことを指してるわけなのですが…このまま夏版にも当てはまるところがラッキーというか何というか…（笑）





★このトークの感想、リクエスト（ＥＶＡ完結後にまたやって欲しいとか！）あるいは、この本全体に関するご意見などお待ちしています！〒160新宿区荒木町13－6（株）マガジンマガジン　ＪＵＮＥ編集部　ＥＶＡムック係までよろしく♪





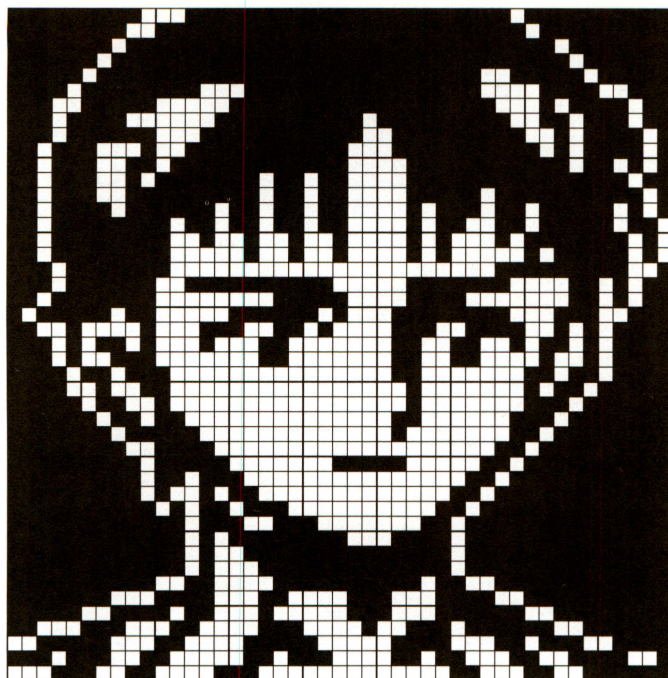


カット／たかおひろこ



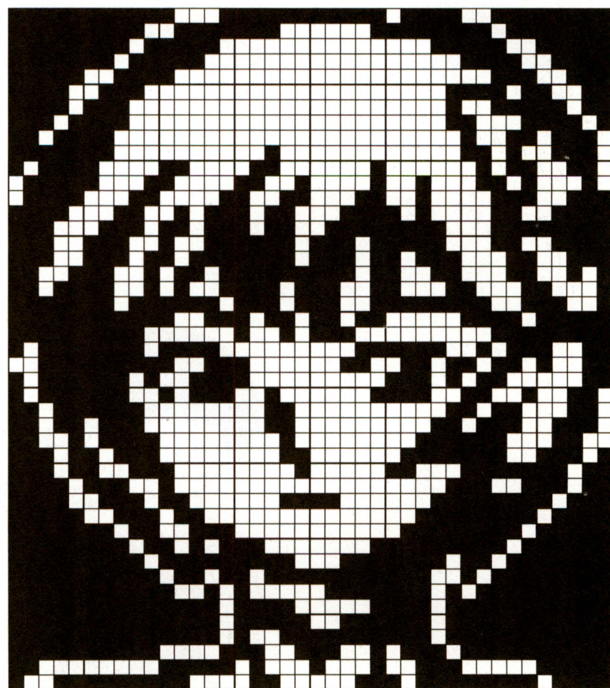
お絵かきパズルの答え

問題はP168～172にあります



ファイル名：逃げちゃダメだ

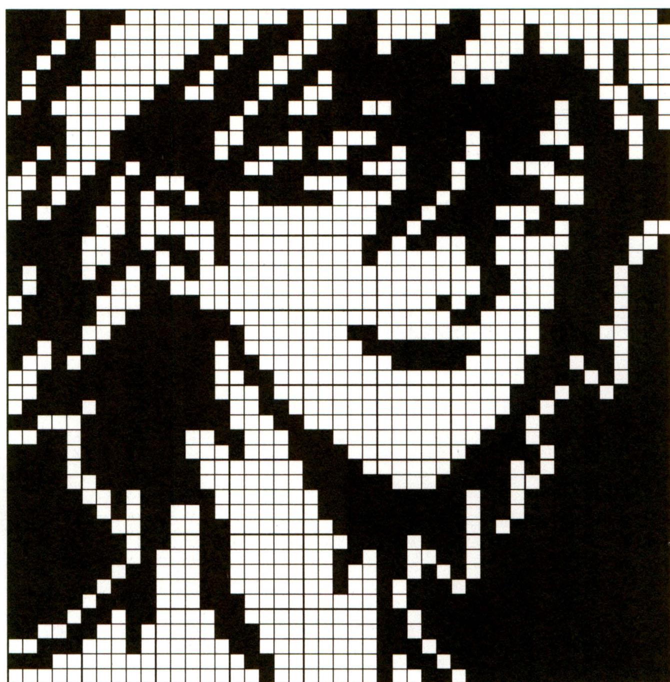


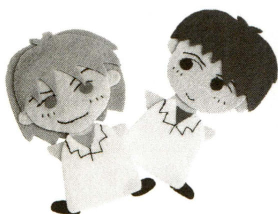


ファイル名：私が守るもの

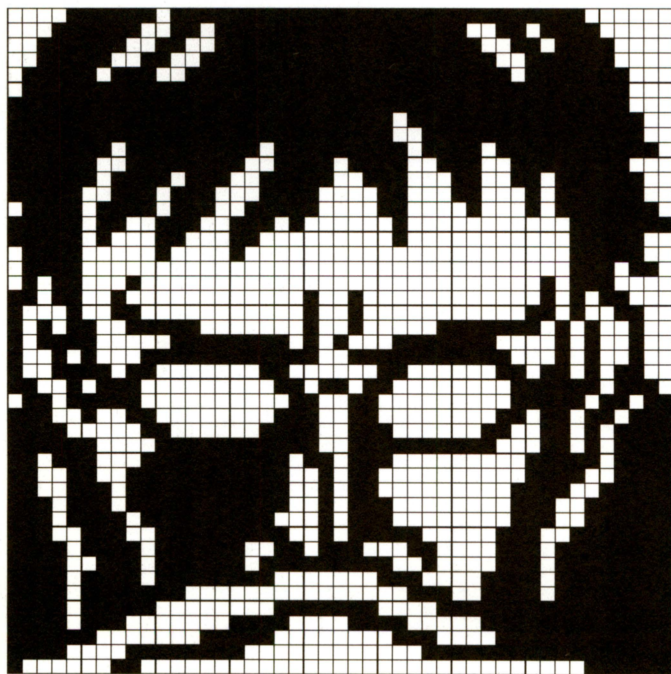








ファイル名：好きってことさ♡





ファイル名：我々には時間がないのだ



執　筆　者　紹　介

日下　皓（くさか・しろい）

1976年3月26日牡羊座A型
こんにちは、日下　皓です。今回四コママンガを描かせてもらったわけですが……難しいですね、エヴァは。好きなんだけど、好きな理由を考え込んで、どつぼにはまってしまうアニメですね。

柏崎玲央名（かしわざき・れおな）

1967年6月18日双子座A型
今回カヲル君なホームページの紹介が間に合わなくて残念（泣）。リンク集作っておくので、のぞいてね。URL http ://www.twics.com/ ^ hamada/eva/。みなさん快諾くださったのに、すみませんでした。

植田牧絵（うえだ・まきえ）

1971年9月21日乙女座A型
東京生まれ。普段は別名でゲーム寄りの雑誌数誌に駄文＆落描をかきなぐっている。現在、初号機好きを世間に露呈してしまったのでかなりの興奮状態にある。

明智抄（あけち・しょう）

2月8日水瓶座O型
東洋占星術だと陽の土星人。四柱推命だと日柱が丙寅で月柱が食神のダブル。姓名判断だと事故運の凶数。てなカンジの私です。占い信じてませんけど。えへへ。

白神こまち（しらかみ・こまち）

5月31日双子座B型
座右の銘は「行雲流水」。知り合いが自家用MACに残していったEVAの素材集を眺めているうち、ロジック制作を思いつく。例題と本問の難易度に開きがあり過ぎるのがちょっと心配…。

白泉らら（しらいずみ・らら）

半生・魂の座内罰型
沈黙は金、文化の極み。カヲルはよくぞ、と感無量。願わくば皆、幸せに…。
「イタリアはいいねえ」
「ぼくのパイプオルガンを?!」
「…知らない者はないさ」おっと失礼。

CIVA（シヴァ）

1971年3月21日牡羊座B型
最近になってようやく見た最終回。「おめでとう」に？？？　あと三回くらい見て考えたいなあ。
――たぶん僕は6thチルドレン。
※nuv:ɔgu、8月よりツアー開始！
問☎03・3478・0746　フロントミッション

佐藤嗣麻子（さとう・しまこ）

1964年4月17日牡羊座
映画監督。'92年、ジュリアン・サンズ主演の吸血鬼映画『ヴァージニア』が初監督作品。『エコエコアザラク』Ⅰ、Ⅱ。テレビ朝日「土曜ワイド劇場」のオープニングの演出も。　（編集部・記）

たらさわみち

4月3日牡羊座O型
東京都出身（三代続く江戸っ子…だけどただいま神奈川在住）。仕事中のBGMはもっぱらクラシック音楽（バッハが大好き♡）。『MAY』『JOUR』で執筆中。

たきぐち けいこ

？年12月生山羊座O型。
マンガ家。単行本『風花物語』他。PSのドレイと化して半年。FFⅦとFFTそしてサガフロンティア…今は森川君2号に振りまわされています。

高群保（たかむれ・たもつ）

19●●年天秤座O型
「砂の果実」に続いて「天国より野蛮」…今度はカヲルの歌。のせられてると思いつつ レンタル屋に走ってしまいました。
売野＆坂本龍一の商売上手…。

たかお ひろこ

12月26日山羊座O型
とりあえず漫画家…であるらしい。（現在本業は休業中）さしえ画描き、カット描き、シナリオライター等、なんでも屋。コミックス「伝説殺人事件シリーズ」（秋田書店）他、「王都妖奇譚」（光栄CDドラマ／岩崎陽子）シナリオ

ハルノ宵子（はるの・よいこ）

◎某年12月28日生、やぎ座A型
デビュー作「ラスト・セイリング」(Lala)
代表作「アスリエル物語」(まだ続刊)
「プロジェクト魔王」(まだまだ続刊)
現在"ちょっと不思議で地味なファンタジー(読切)"の発表の場を求めて画策中。
妹♪
スタクラ→
"捕えられた宇宙人"バージョン

白井恵理子（しらい・えりこ）

2月16日水瓶座O型
マンガ家。宮沢賢治へのオマージュ『賢治と水晶機関車』(角川書店)発売。『黒の李氷』シリーズ全7巻三国志遊戯『STOP劉備くん！』正・続、発売中(同)続々は9月に。
（編）

ふくやま けいこ

9月7日乙女座A型
マンガ家。『なかよし』で「まぼろし谷のねんねこ姫」連載中。『東京物語』（大都社、全3巻）。ガイナックスよりCD-ROM発売予定
（編）

原田朱美（はらだ・あかみ）

1967年8月22日獅子座O型
PCの壁紙をレイからアスカに替えてみました。とたんに、沈みがちだった気持ちが明るくなりました。今度はカヲル君に替えてみようかな？　でも喋りが伝染りそうでこわいなあ。

前田栄（まえだ・さかえ）

12月19日（生年秘密（苦笑））射手座A型
しばらく寂しい水曜日でしたが、今はウテナのおかげで楽しく過ごしています。ただ、このアニメ、煩悩はかき立ててくれないのでもっぱら「黄昏のプリンス×如月博士」（キューティー・ハニーF）で燃えてます。（苦笑）（小説ウィングスにて「ミカエルの騎士」連載中）

野火ノビタ（のび・のびた）

夏コミにて、エヴァ批評本及びパロディ総集編発行予定です。興味のある方は月光盗賊または月面うさぎまでお越しください。お問い合わせは〒166杉並区阿佐ヶ谷南3－4－7－5カーザアゼリア207榎本方野火ノビタまで。

冬凪れく（ふゆなぎ・れく）

8月27日（「生年」はトップシークレットですのでご容赦下さいませ）乙女座A型
EVAが終わっちゃう！　あんなに観たかった物語のエンディングなのに、来て欲しいような来て欲しくないような気持ちです。でも激嬉しいカヲルの出番有り！との情報!!はってでも観にいくぜ!!!この夏はまっかっかに燃えますっ。（最近の仕事……コミックボンボン6月号～8月号に連載。それをまとめた単行本が夏に発行予定）

天乃永遠（てんの・とわ）

8月17日獅子座B型
漫画家○「幸せなら手をつなごう」スコラ・コミックスよろしく♥
○夏コミ出ます。EVA本有。サークル名「LYRIC」or「AAAco,LTD」　○カヲルは心のオアシス♥彼さえいなけりゃ純真なFANでいられたのに…（!?）

FORCE-Ü（後藤祐介）

6月15日（斉藤清六やジャイアンと同じ日。トホホ）双子座A型
歌って、踊って、脱げるガレージキット職人フォルス・ユウでございます。今回はカヲル君を描かせて頂きましたが、如何でしょうか。剃刀など送られてきたらどうしましょう。ところで、この絵を描いていてある事を思い出しました。それは私が小学生の時、（中略）私のシンジ君側体験はこんな感じてす。カヲル君側の体験はまたの機会に。そっちの水は濃ゆいぞお〰〰〰♪　では、股。
（編注・JUNEに載せます）

c o n t e n t s

SUN-MAGAZIN MOOK
［新世紀エヴァンゲリオンJUNE読本］
残酷な天使のように



執筆者紹介　→右ページ



SUN-MAGAZINE MOOK
[新世紀エヴァンゲリオンJUNE読本]
残酷な天使のように

1997年8月1日初版発行

【スタッフ】
佐川俊彦
英保未紀　加曽利あや
【協力】
野崎岳彦
【デザイン】
TAKE ONE（鈴木哲也）
STUDIO SOCO（児玉勇治）

発行人　岸岡隆昭
DTP　㈱公栄社
印刷所　大日本印刷㈱
発行所　㈱マガジン・マガジン
〒160　東京都新宿区荒木町13-6
サンマガジンビル
編集部　03（3359）3515
営業部　03（3359）2550

乱丁・落丁本はお取り替えいたします。

Printed in Japan
ISBN4-906011-25-X　C9479
定価はカバーに表示してあります。
「屋根裏の散歩者」写真提供／バンダイビジュアル

SUN-MAGAZINE MOOK

「新世紀エヴァンゲリオン」JUNE読本

残酷な天使のように

JUNE編集部・編

マガジン・マガジン



したごころを、君に

SUN-MAGAZINE MOOK

「新世紀エヴァンゲリオンJUNE読本」残酷な天使のように

JUNE編集部・編

マガジン・マガジン

庵野秀明
監督インタビュー
PART1&2

和田慎二
新谷かおる
佐伯かよの
かおる×シンジ対談

お絵描きパズル
パロディ辞典



野火ノビタ
ふくやまけいこ

謎補完委員会

佐藤嗣麻子
mana
forceÜ子
仲村明子

明智抄
天乃永遠
植田牧絵
日下皓
白井恵理子
白泉らら
高群保
たかおひろこ
たきぐちけいこ
たらさわみち
ハルノ宵子
冬凪れく
前田栄

渚カヲルコレクション

あさりよしとお
岸川靖

「したごころを、君に」



9784906011254

SUN-MAGAZINE MOOK
新世紀エヴァンゲリオンJUNE読本／残酷な天使のように
1997年8月1日　発行　㈱マガジン・マガジン

定価：本体1143円＋税
雑誌　64181－01
ISBN4-906011-25-X
C9479 ¥1143E



1929479011432